

第8回

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

報 告 書

令和5（2023）年3月

川 崎 市

目 次

I	調査概要	1
II	アンケート調査の結果	
1	子どもの権利条例について	6
2	あなたの生活について	22
3	相談するところについて	31
4	学校・地域のことについて	34
5	あなたの思いについて	44
	参考資料	49
I	単純集計	50
1	単純集計表（子ども）	50
2	単純集計表（おとな）	82
3	単純集計表（職員）	105
II	調査票	134
1	調査票（子ども）	134
2	調査票（おとな）	142
3	調査票（職員）	150
III	川崎市子どもの権利に関する条例	158

- 本報告書中の「条例」または「子どもの権利条例」という記述は、特に断りがなければ、「川崎市子どもの権利に関する条例」をいう。
- 統計資料は端数処理を行っているため、パーセンテージの合計が 100 と一致しないことがあります

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの権利の視点から本市の施策を総合的に展開していくため、川崎市が、子どもを含む川崎市民及び子どもに関わる職員の子どもの権利保障に関する実態や意識を経年的に把握すること、また、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づいて設置された「川崎市子どもの権利委員会」が、令和4年12月27日に市長から諮問された「子どもの相談及び救済機関の利用促進」に関する調査・審議の基礎とする資料を得ることを目的としています。

2 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりです。

- (1) 調査地域 川崎市内
- (2) 調査対象
 - 子ども調査…………… 市内に居住する満10歳から満17歳までの個人
 - おとな調査…………… 市内に居住する満18歳以上の個人
 - 市立施設等の職員調査… 市立施設等の職員
- (3) 標本数 3,500人
 - 子ども調査…………… 2,100人
 - おとな調査…………… 900人
 - 市立施設等の職員調査…………… 500人
- (4) 抽出方法
 - 子ども調査…………… 住民基本台帳から2,100人（人口比2.9%にあたる外国人住民分60人含む）を無作為抽出
 - おとな調査…………… 住民基本台帳から900人（人口比2.9%にあたる外国人住民分26人含む）を無作為抽出
 - 市立施設等の職員調査… 抽出した施設（学校・施設（保育園・児童養護施設など））の職員
- (5) 調査方法 郵送調査（インターネット回答併用）
- (6) 調査期間 令和4（2022）年6月～7月

3 回収結果

本調査の回収結果は、次のとおりです。

(1) 有効回答数（数字は左が回収数、カッコ内が送付数です。）

子ども調査……………484件（2,100件）
 10～12歳 201件（700件）
 13～15歳 168件（700件）
 16・17歳 114件（700件）
 年齢不明 1件

おとな調査……………229件（900件）

市立施設等の職員調査……382件（500件）

総 計…………… 1,095件（3,500件）

(2) 有効回収率（数字は左が今回（令和4（2022）年調査）回収率、
 カッコ内が前回（令和2（2020）年調査）回収率です。）

子ども調査……………23.0%（28.8%）
 10～12歳 28.7%（40.0%）
 13～15歳 24.0%（32.6%）
 16・17歳 16.3%（12.9%）

おとな調査……………25.4%（35.8%）

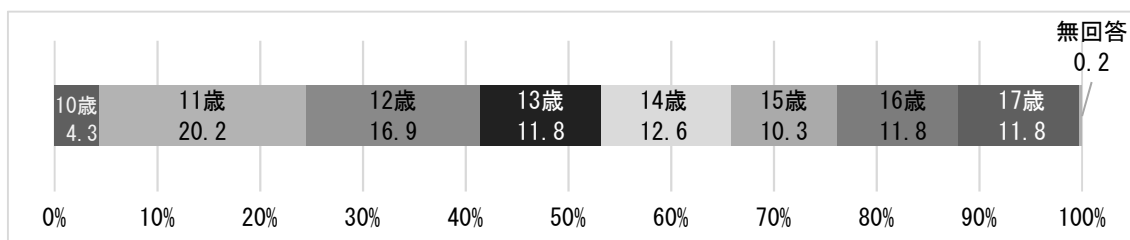
市立施設等の職員調査……76.4%（68.8%）

総 計……………31.3%（36.3%）

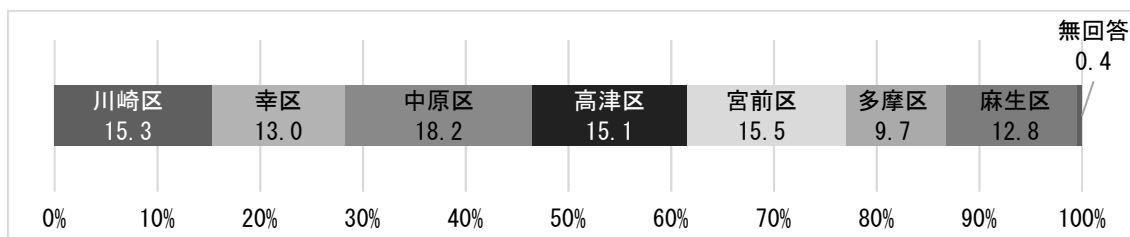
4 回答者（サンプル）の属性

(1) 子ども 回答数 484件（発送数2,100件、回収率23.0%）

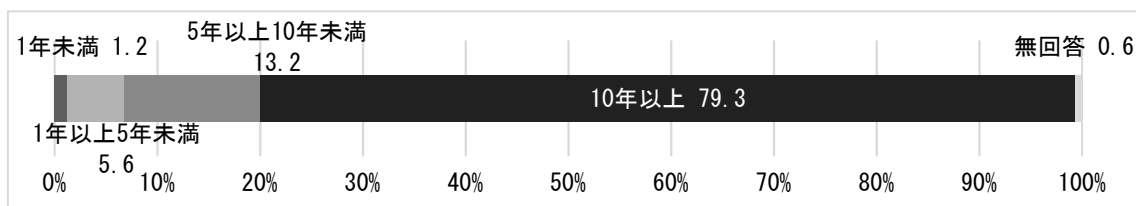
【年 齢】



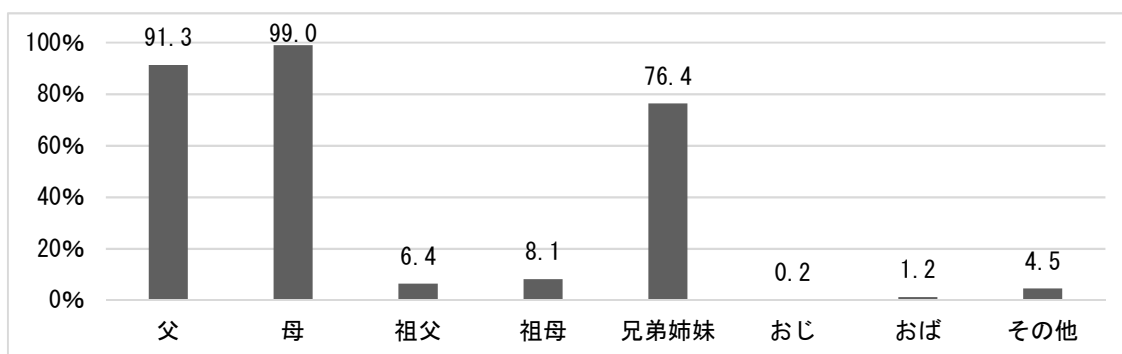
【住んでいる区】



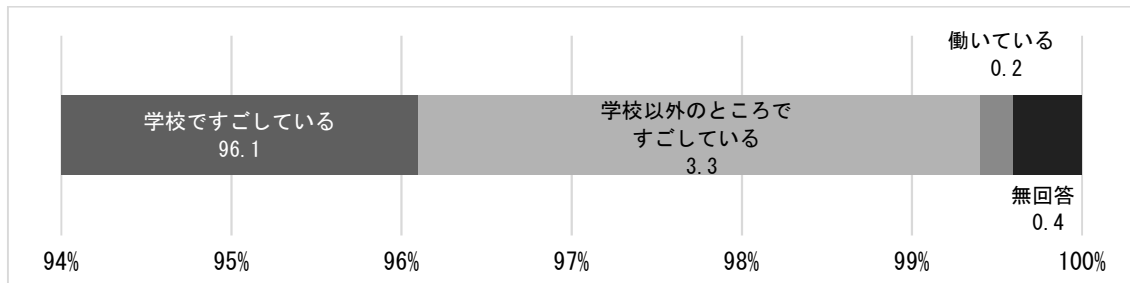
【住んでいる期間】



【同居者】

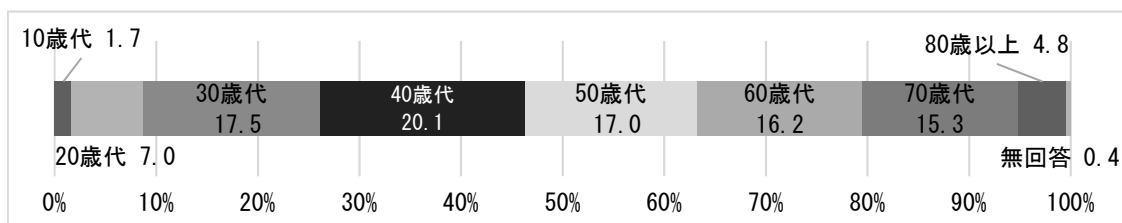


【平日の行動】

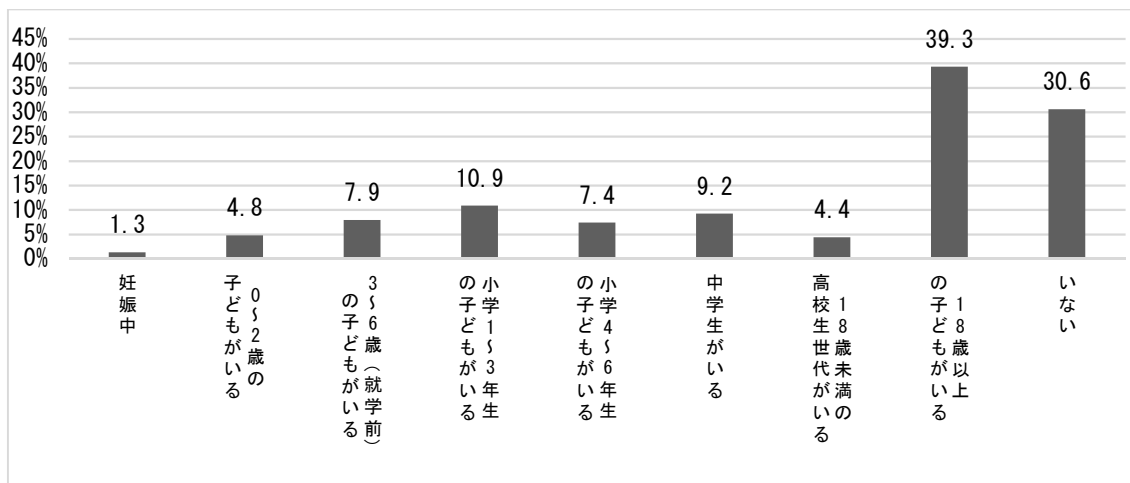


(2) おとな 回答数 229 件 (発送数 900 件、回収率 25.4%)

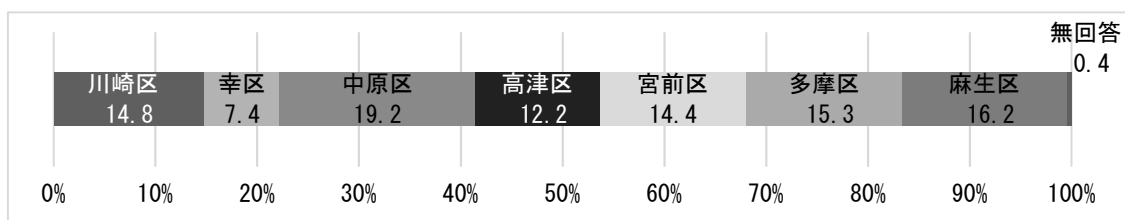
【年代】



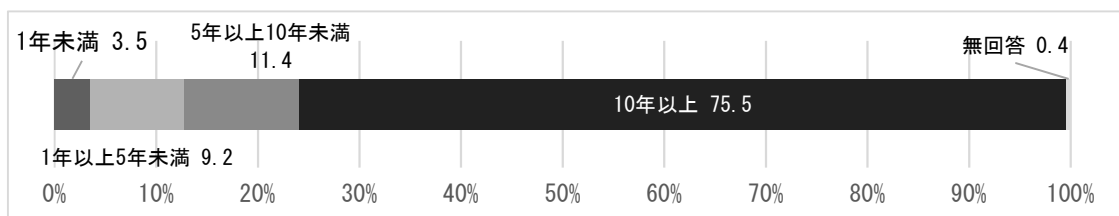
【子どもの有無】（複数選択可）



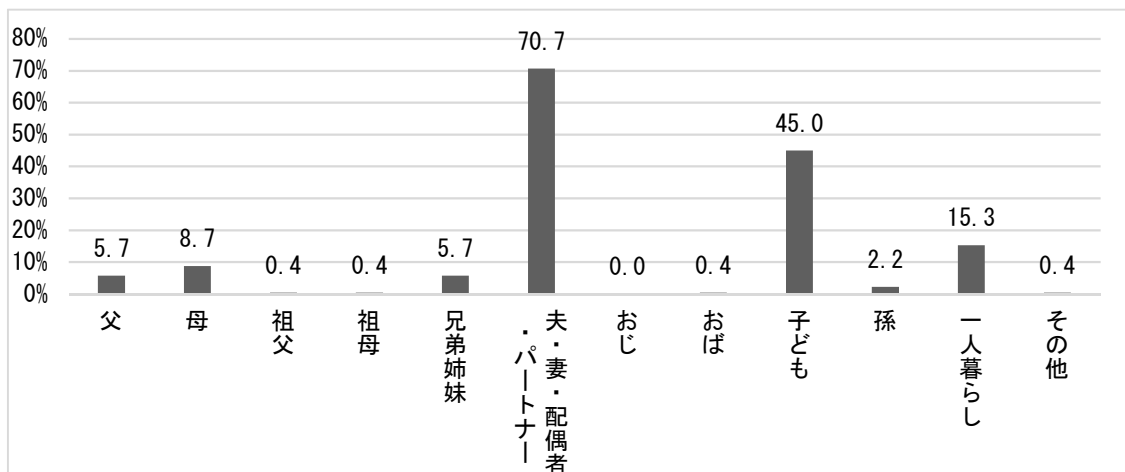
【住んでいる区】



【住んでいる期間】

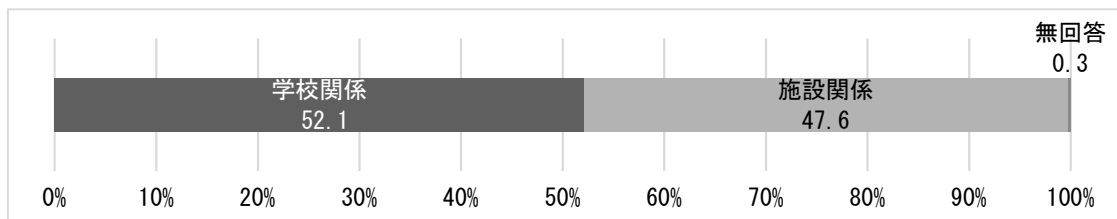


【同居者】（複数選択可）

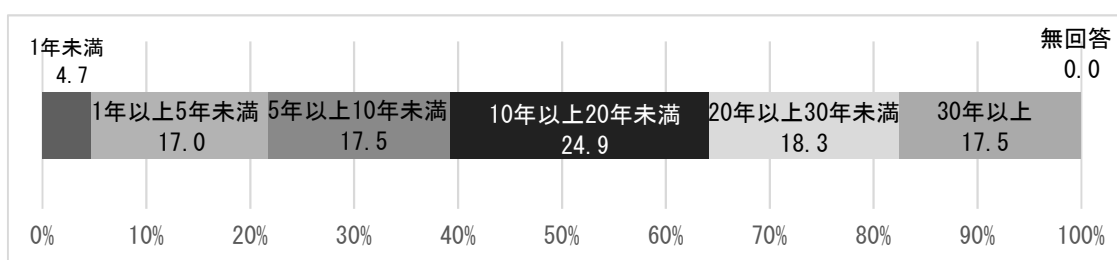


(3) 職員 回答数 382 件 (発送数 500 件、回収率 76.4%)

【所属】



【勤続年数】



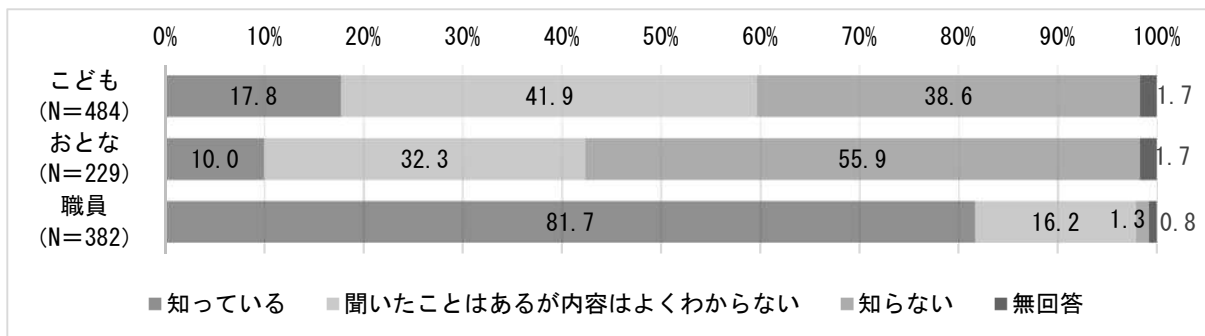
II アンケート調査の結果

1 子どもの権利条例について

(1) 条例の認知度

子どもの権利条例を「知っている」と回答した割合は、子どもが17.8%、おとなが10.0%、職員が81.7%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した割合は、子どもが41.9%、おとなが32.3%、職員が16.2%でした。子どもは38.6%、おとなは55.9%、職員は1.3%が「知らない」と回答しています。

図1 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【全体】

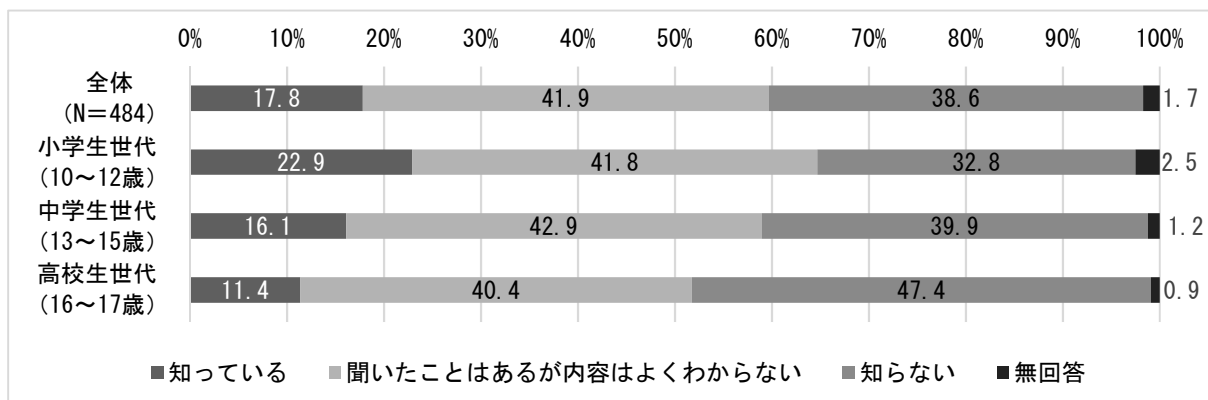


ア 子どもの認知度

【子ども：世代別】

世代別に見ると、「知っている」と回答した割合は小学生世代で22.9%、中学生世代で16.1%、高校生世代で11.4%と、世代が上がるほど減少しています。「聞いたことはあるが内容はよくわからない」では、小学生世代が41.8%、中学生世代が42.9%、高校生世代が40.4%で、「知っている」、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を合わせると、小学生世代が最も高くなっています。

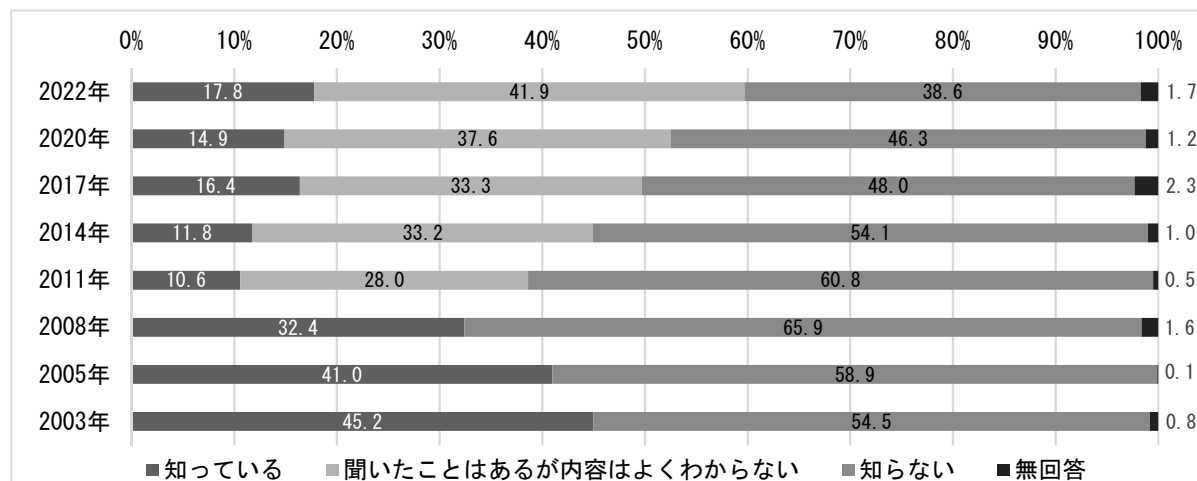
図2 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【子ども：世代別】



【子ども：経年比較】

前回の調査と比較すると、条例を「知っている」と回答した子どもは14.9%から17.8%と増加しました。「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した子どもも37.6%から41.9%と増加しました。「知らない」と回答した子どもの割合は過去最低でした。

図3 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【子ども：経年比較】



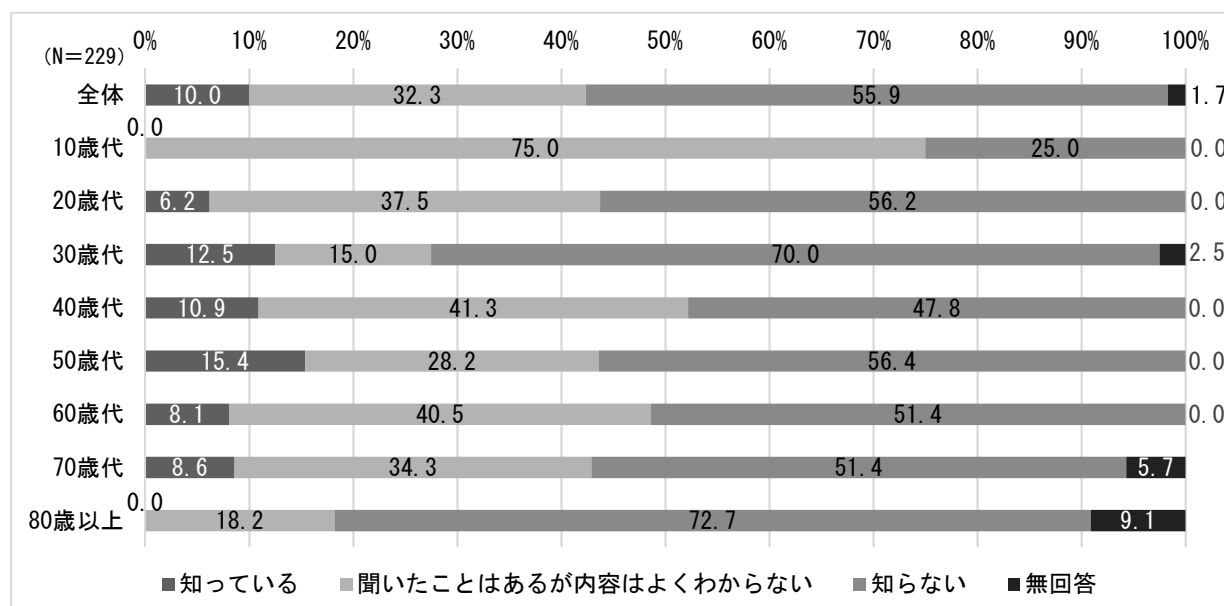
(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択

イ おとなの認知度

【おとな：年代別】

年代別に見ると、「知っている」、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した割合が最も多い年代は、10歳代の75.0%で、次いで40歳代の52.2%、60歳代の48.6%でした。

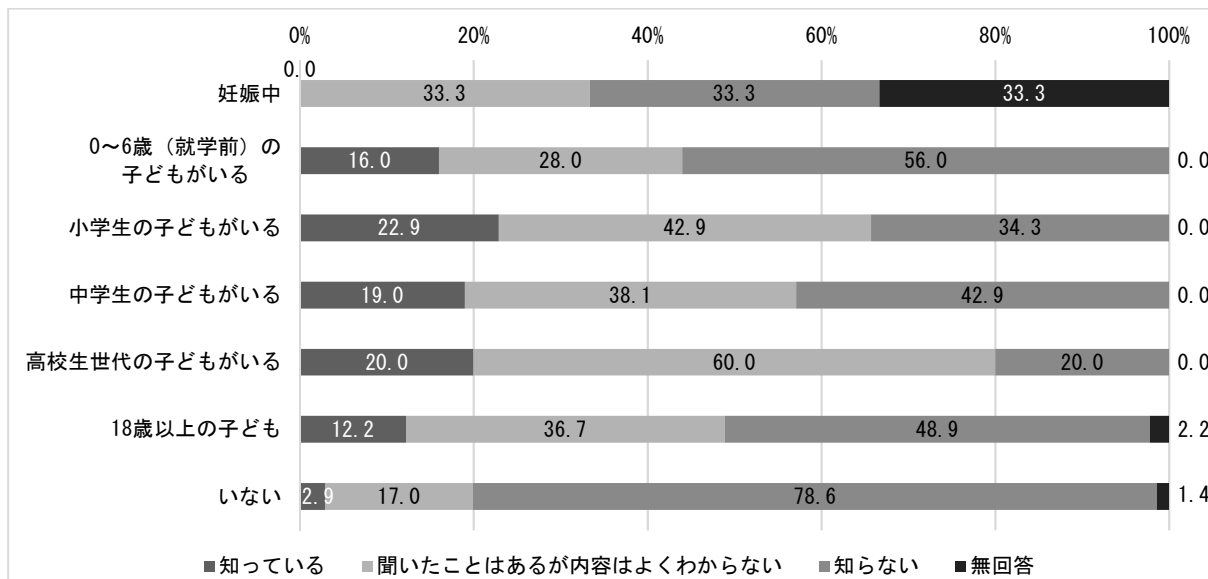
図4 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな：年代別】



【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、条例を「知っている」、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した割合が最も高かったのは「高校生世代の子どもがいる」おとなで80.0%、次いで「小学生の子どもがいる」おとなの65.8%、「中学生の子どもがいる」おとなの57.1%でした。これに対し、子どもは「いない」おとなは19.9%と最も低くなっています。

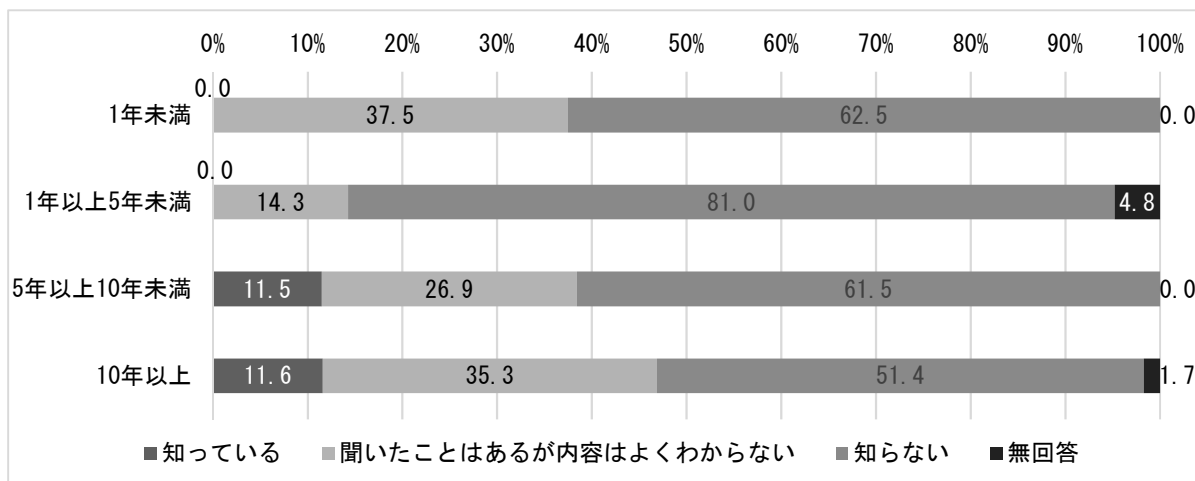
図5 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな：子どもの有無別】



【おとな：居住期間別】

居住期間別で見ると、条例を「知っている」、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した割合が最も高かったのは「10年以上」のおとなで46.9%、次いで「5年以上10年未満」のおとなで38.4%でした。

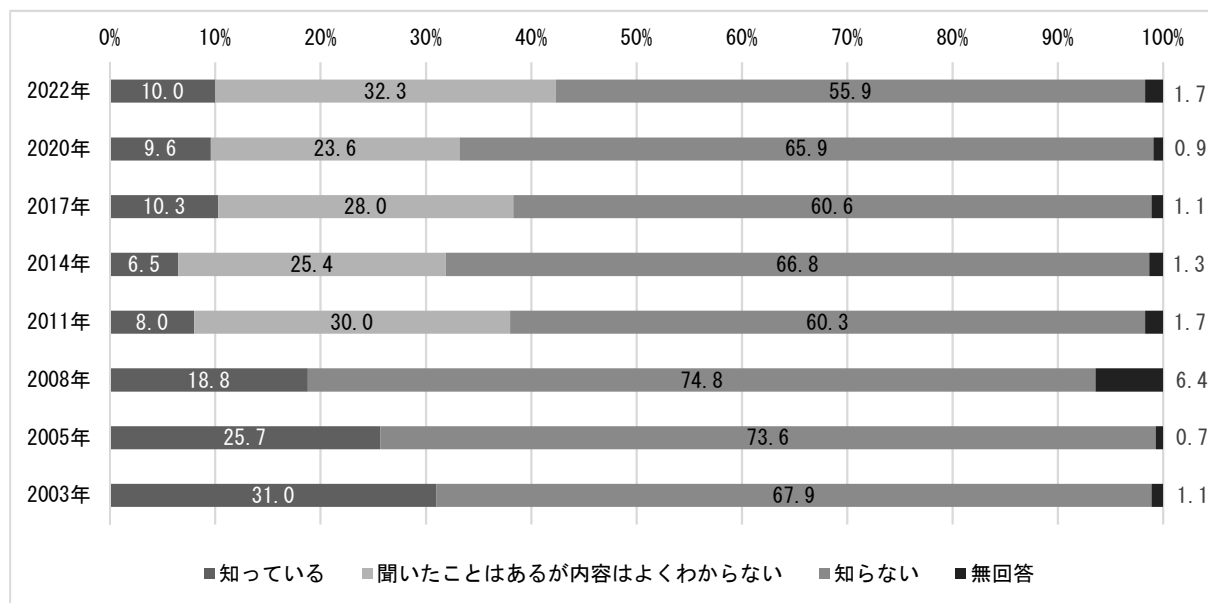
図6 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな：居住期間別】



おとな：経年比較】

前回の調査と比較すると、条例を「知っている」人は9.6%から10.0%に、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人は23.6%から32.3%と、いずれも増加しました。

図7 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな：経年比較】



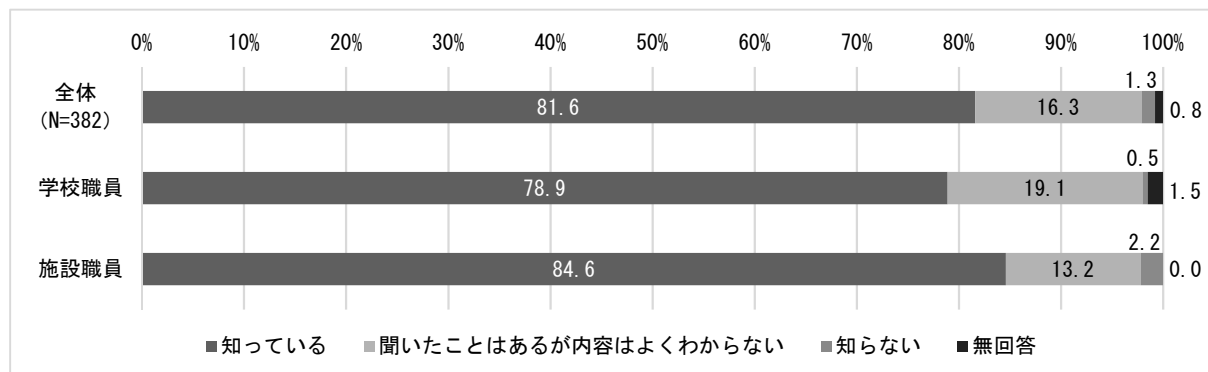
(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択

ウ 職員の認知度

【職員：施設別】

施設別で見ると、学校職員の78.9%、施設職員の84.6%が条例を「知っている」と回答しました。

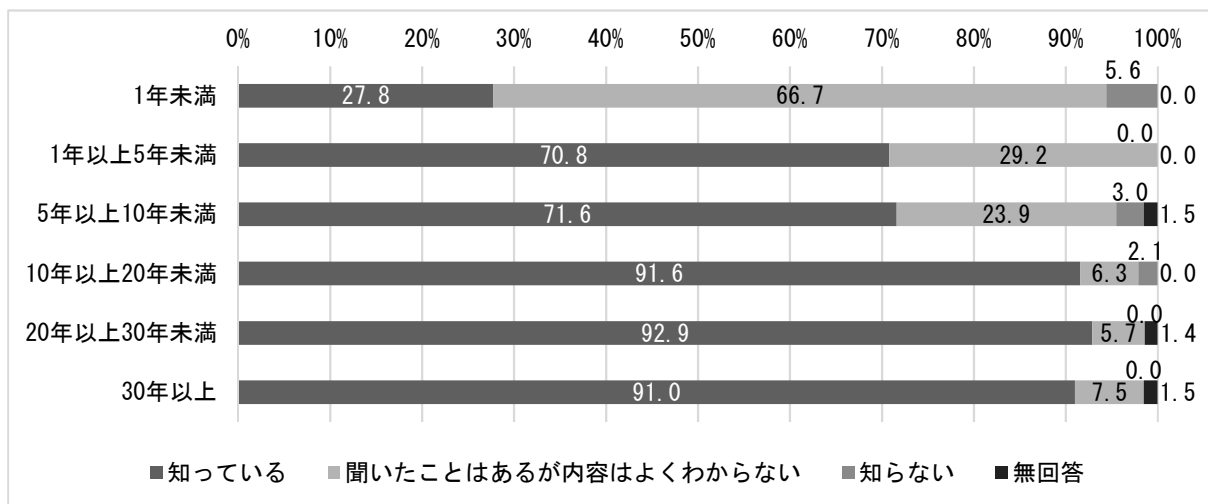
図8 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員：施設別】



【職員：勤続年数別】

勤続年数別で見ると、おおよそ勤続年数が長い職員ほど「知っている」と回答した割合が増加する傾向にあり、10年以上の勤続年数の職員の9割以上が「知っている」と回答しました。

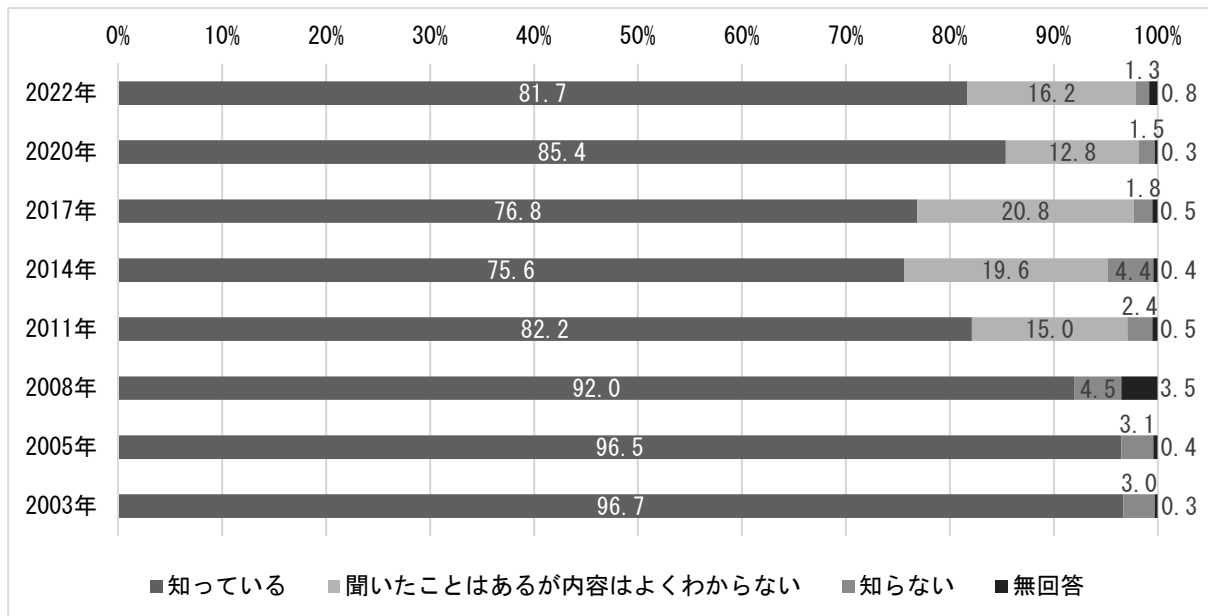
図9 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員：勤続年数別】



【職員：経年比較】

条例を「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と答えた職員が前回調査の98.2%から97.9%へと減少しています。「知らない」と回答した職員の割合は過去最低でした。

図10 Q1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員：経年比較】



(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択

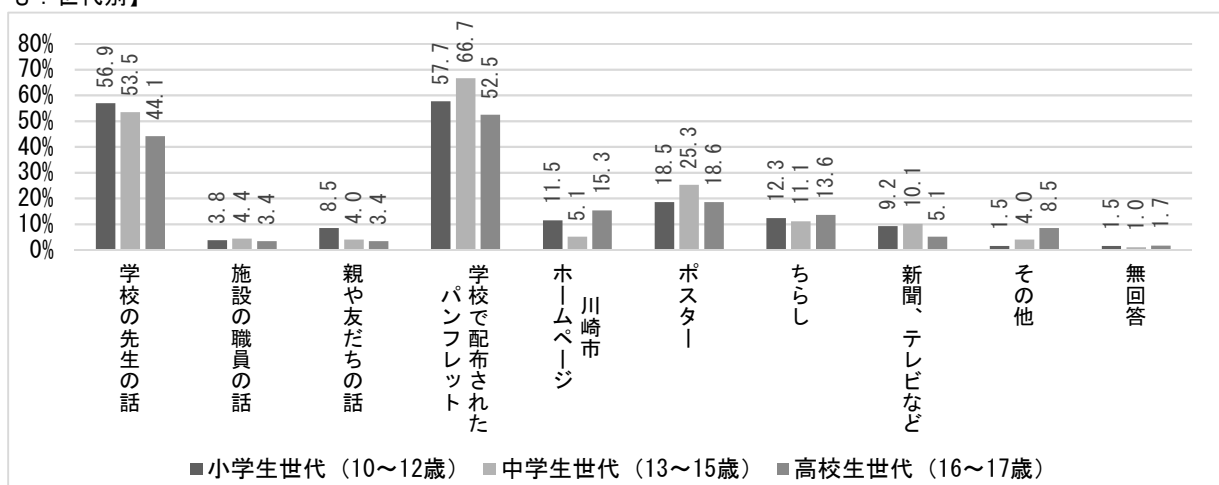
(2) 条例の認知方法（条例を「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答した人）

ア 子ども

【子ども：世代別】

世代別に見ると、小学生・中学生・高校生世代ともに、「学校で配布されたパンフレット」「学校の先生の話」と回答した割合が高くなっています。

図 11 Q2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。(複数回答可)【子ども：世代別】



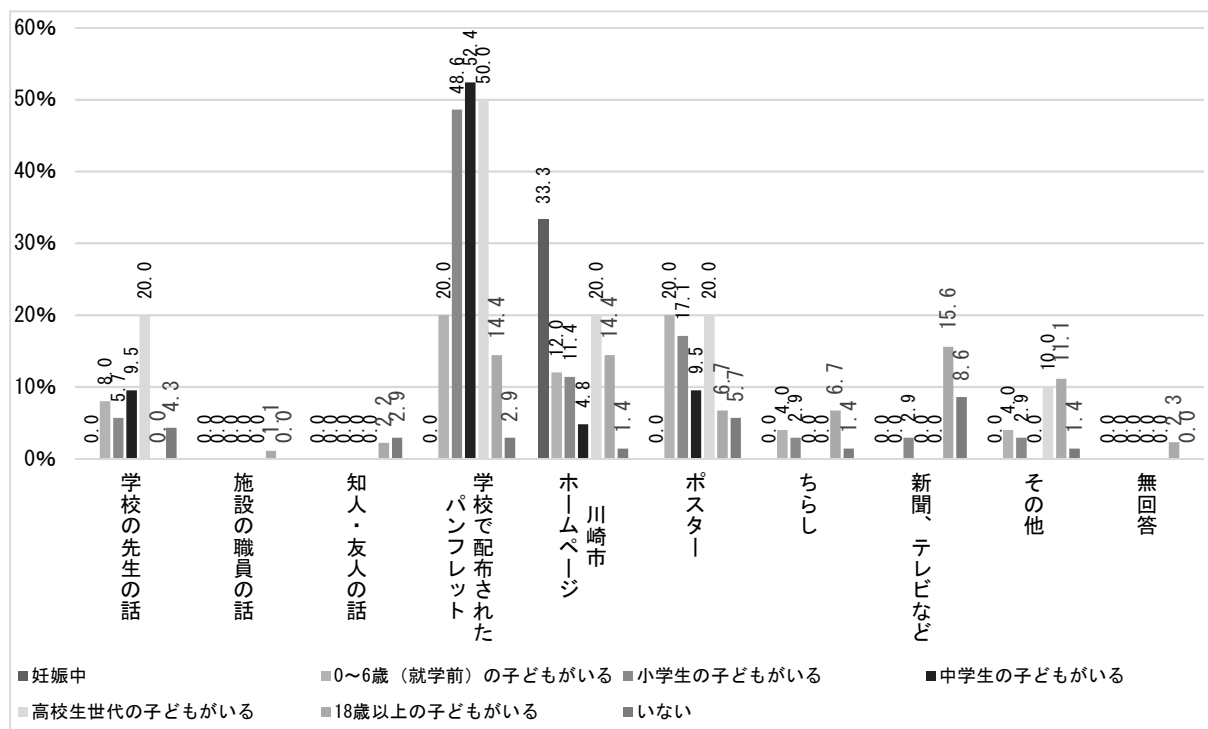
「その他」の回答については、P. 50 参照。

イ おとな

【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、小・中・高校生世代の子どもがいるおとなは、「学校で配布されたパンフレット」と回答した割合が最も高くなりました。妊娠中のおとなは「川崎市ホームページ」と回答した割合が多く、就学前の子どもがいるおとなは「学校で配付されたパンフレット」や「ポスター」と回答した割合が高く、18 歳以上の子どもがいるおとなと、子どもはいるおとなは、「新聞・テレビなど」と回答した割合が高くなりました。(図は P. 12 図 12 を参照)

図 12 Q 2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。(複数回答可)【おとな：子どもの有無別】

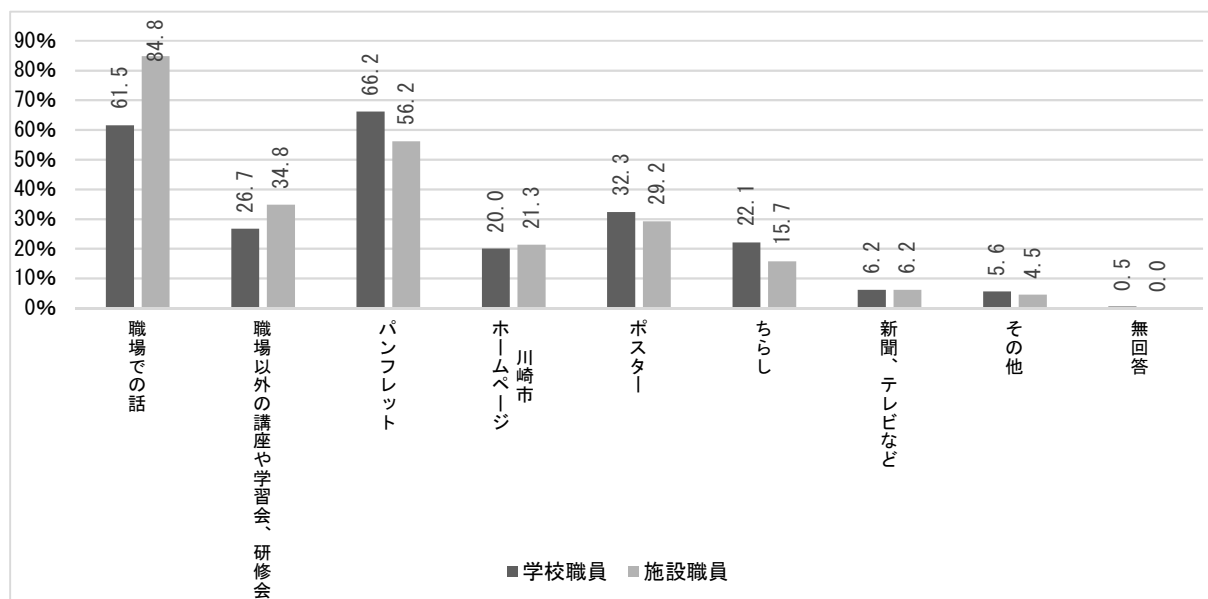


ウ 職員

【職員：施設別】

施設別に見ると、学校職員は「パンフレット」と回答した割合が最も高く、施設職員は「職場での話」と回答した割合が最も高くなりました。

図 13 Q 2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。(複数回答可)【職員：施設別】



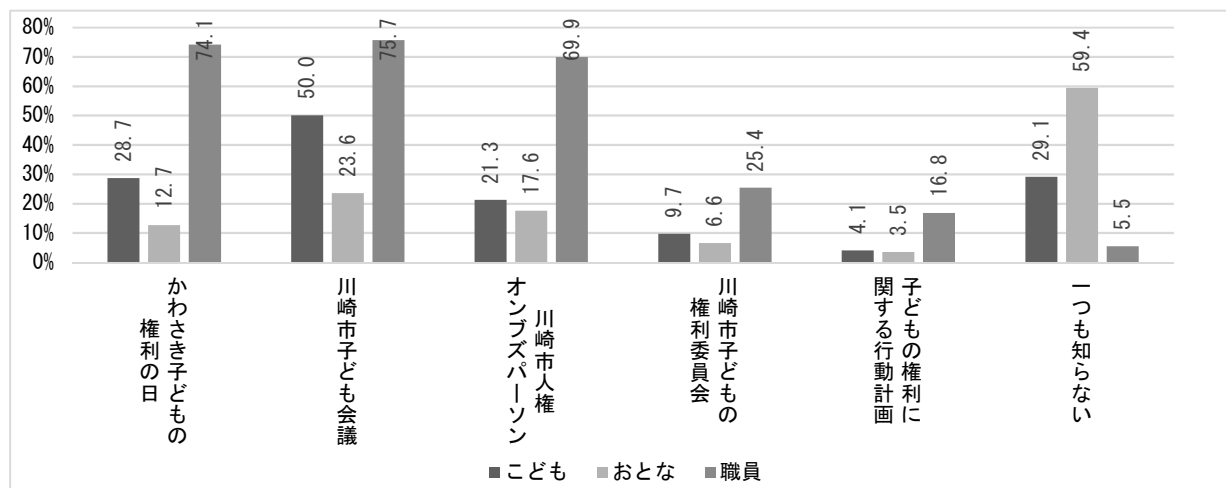
(3) 条例に基づく取組の認知度

条例に基づく取組のうち、子どもの回答で知っている割合が最も高かった取組は、「川崎市子ども会議」の50.0%で、次いで「かわさき子どもの権利の日」の28.7%でした。

おとなは、全体的に認知度が低く、59.4%が「一つも知らない」と回答しています。知っているものの中では、「川崎市子ども会議」(23.6%)、「川崎市人権オンブズパーソン」(17.6%)が比較的高くなりました。

職員では、「川崎市子ども会議」が75.7%と最も高く、次いで「かわさき子どもの権利の日」の74.1%、「川崎市人権オンブズパーソン」の69.9%という結果でした。

図 14 Q 3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【全体】



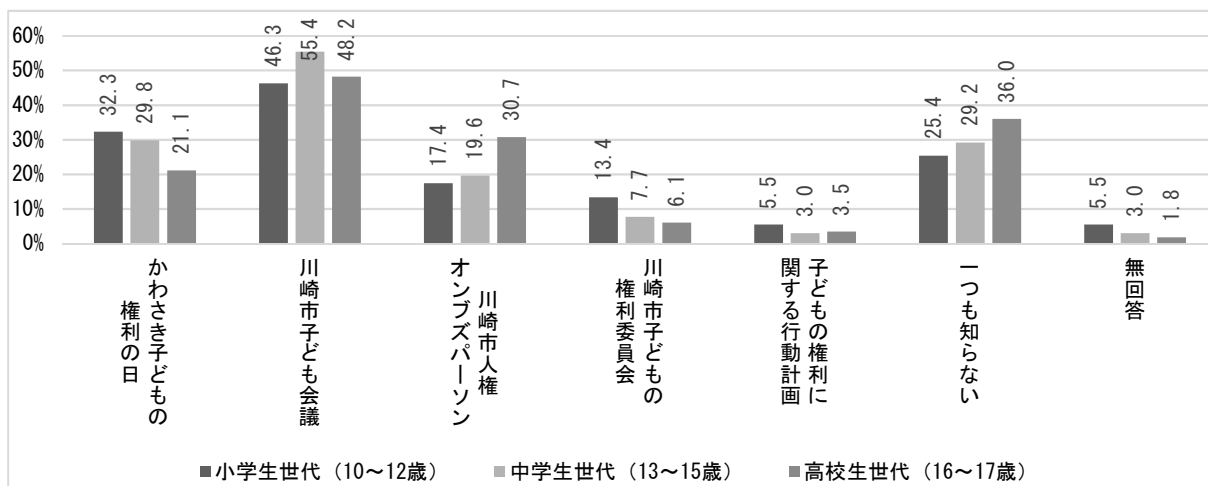
ア 子どもの認知度

【子ども：世代別】

世代別に見ると、子ども全体として最も回答の割合が高かった「川崎市子ども会議」では、小学生世代が46.3%、中学生世代で55.4%、高校生世代で48.2%でした。「一つも知らない」と回答した割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向にありました。

また、子ども全体で2番目に知っている割合が高かった「かわさき子どもの権利の日」は、小学生世代より中学生世代、高校生世代と、年齢が上がるにつれて認知度が低くなる傾向にありました。(図はP. 14 図 15を参照)

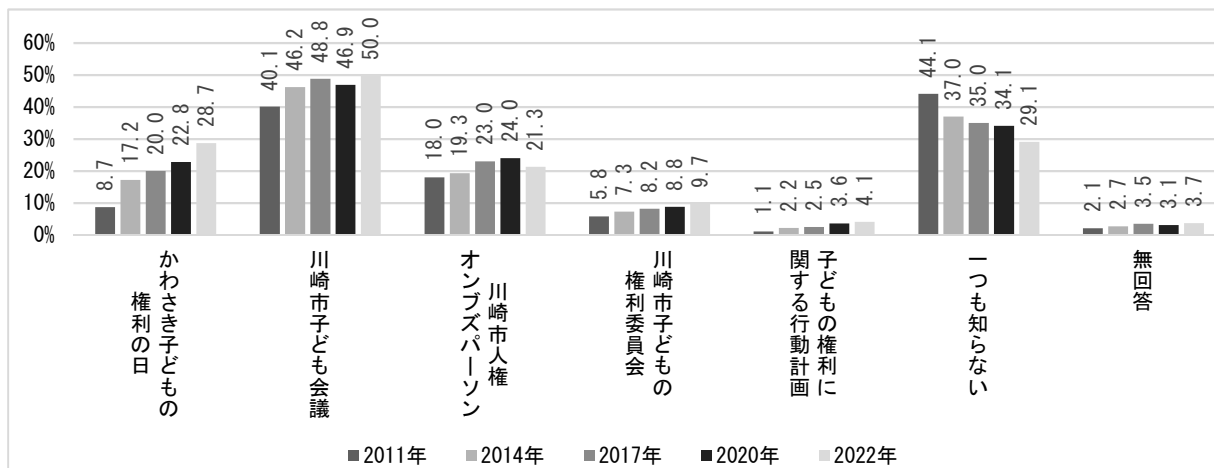
図 15 Q 3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【子ども：世代別】



【子ども：経年比較】

「かわさき子どもの権利の日」、「川崎市子ども会議」、「川崎市子どもの権利委員会」、「子どもの権利に関する行動計画」の項目においては前回調査より認知度が上昇しましたが、「川崎市民権オンブズパーソン」については2.7ポイント減少しました。「一つも知らない」とした回答は、今回の調査が最も低い割合となりました。

図 16 Q 3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【子ども：経年比較】

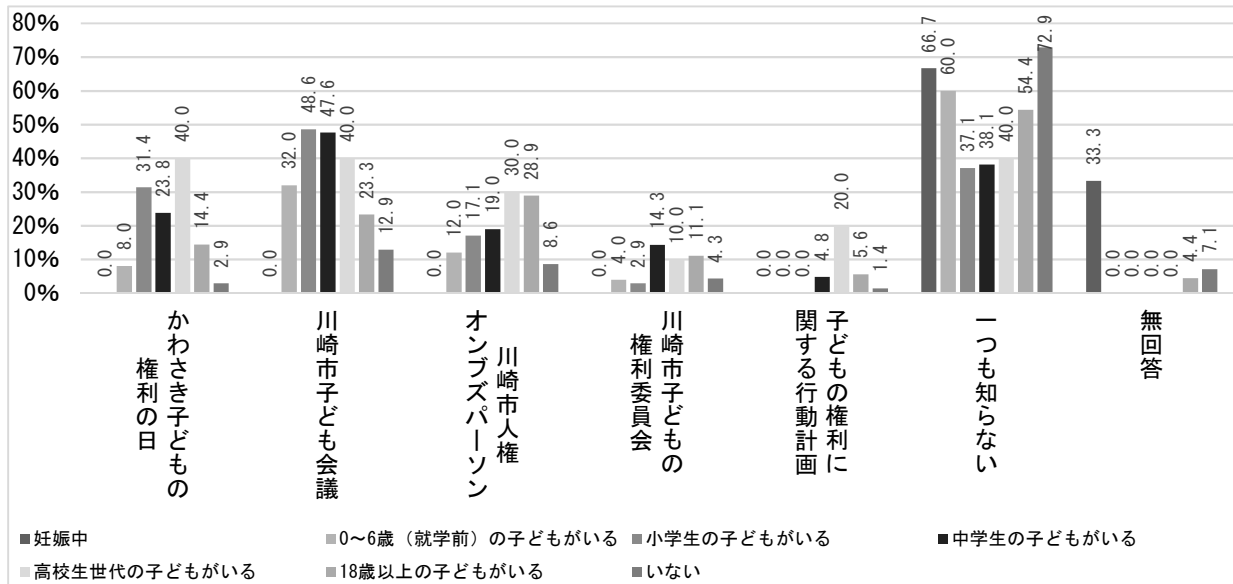


イ おとなの認知度

【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいるおとなでは、「川崎市子ども会議」の認知度が最も高くなりました。「一つも知らない」と回答した割合は、「妊娠中」のおとな、「0歳～6歳（就学前）の子どもがいる」おとな、子どもは「いない」おとなが高くなっています。

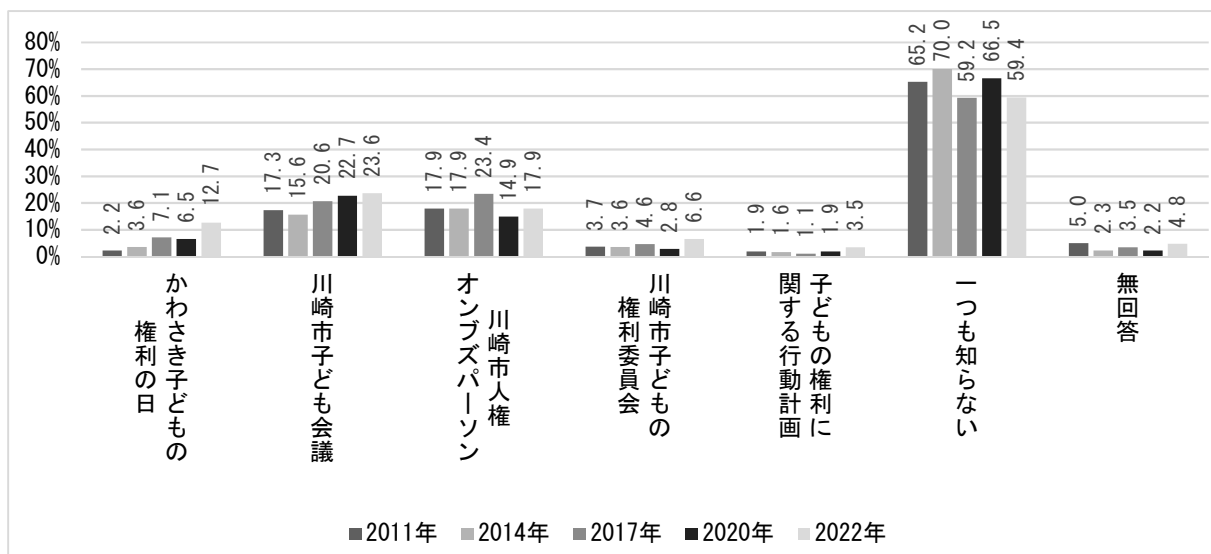
図 17 Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（複数回答可）【おとな：子どもの有無別】



【おとな：経年比較】

今回の調査では、前回調査と比べて「かわさき子どもの権利の日」の認知度が 6.2 ポイント増加しています。

図 18 Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（複数回答可）【おとな：経年比較】

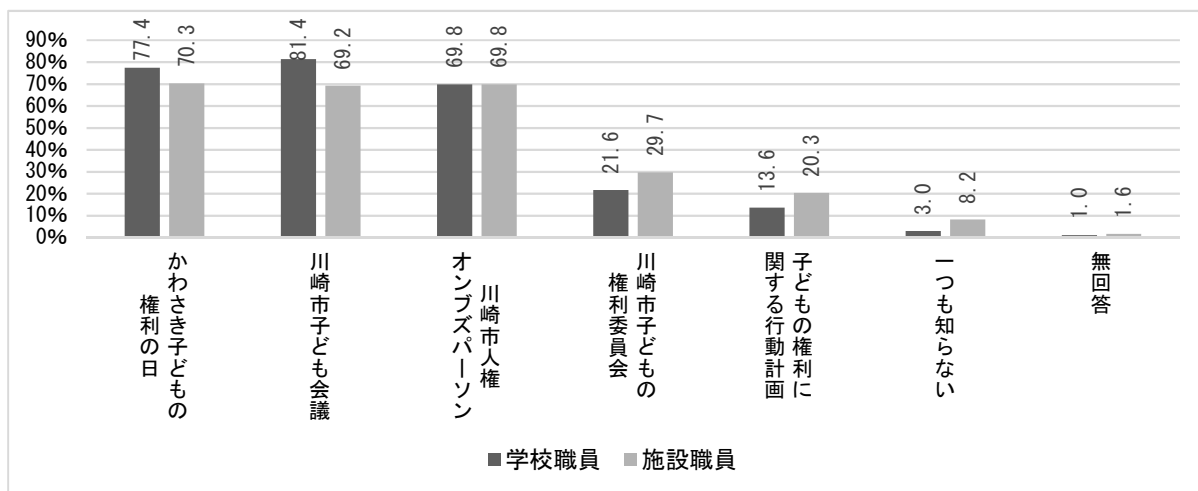


ウ 職員の認知度

【職員：施設別】

施設別に見ると、学校職員・施設職員ともに、「かわさき子どもの権利の日」、「川崎市子ども会議」、「川崎市人権オンブズパーソン」を知っていると回答した割合が高くなっています。

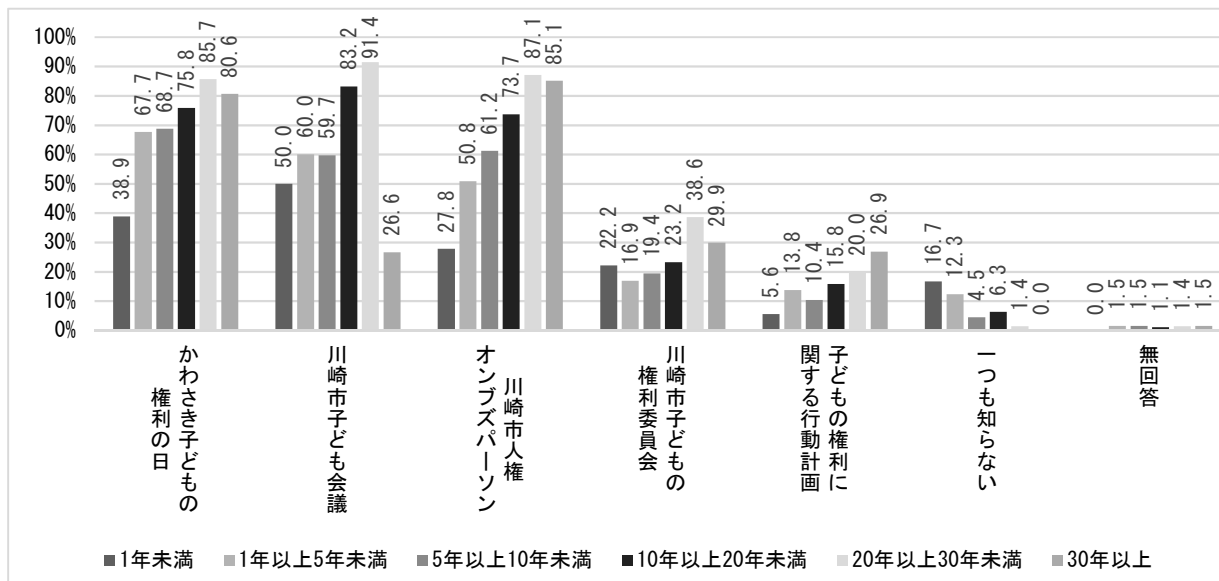
図 19 Q3 川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【職員：施設別】



【職員：勤続年数別】

勤務年数別に見ると、おおよそ勤続年数が長いほどそれぞれの取組の認知度が高い傾向にありましたが、「30年以上」勤務する職員の「川崎市子ども会議」を知っていると回答した割合が、26.6%と低くなっています。

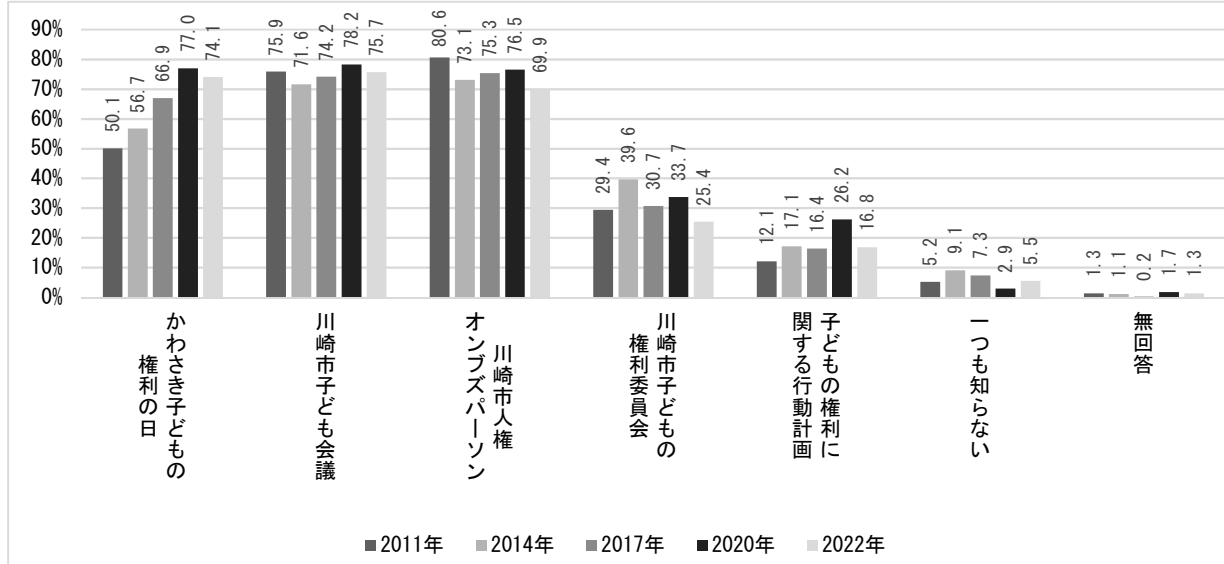
図 20 Q3 川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【職員：勤続年数別】



【職員：経年比較】

今回の調査では、前回調査より各取組の認知度が下がりました。

図 21 Q 3 川崎市の取組で知っているものは何ですか。(複数回答可)【職員：経年比較】

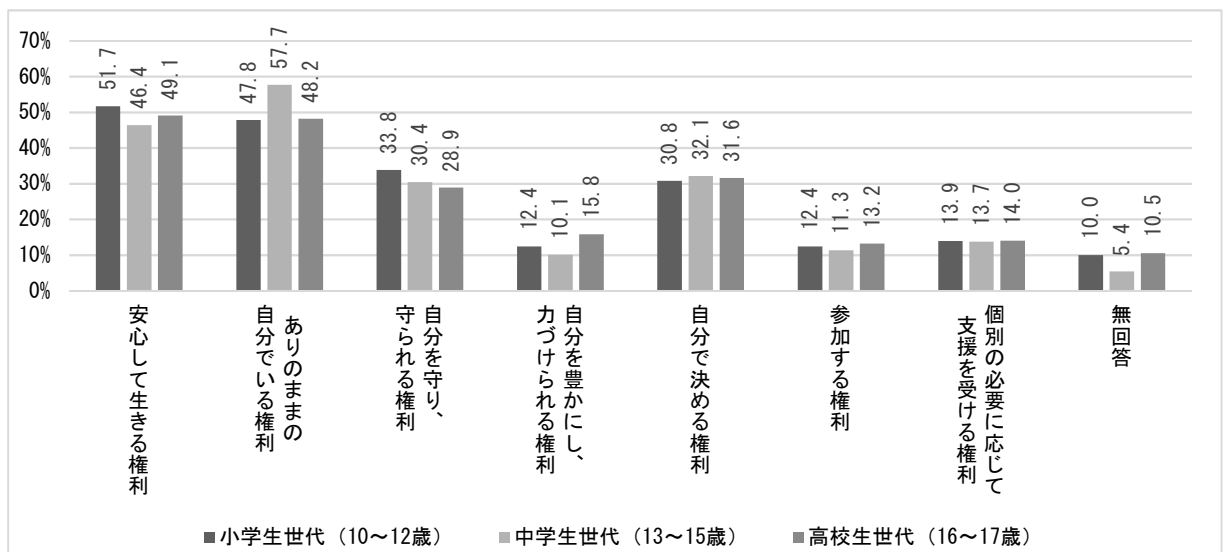


(4) 子どもの権利の中で、最も大切だと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利の中で、自分にとって最も大切だと思うものを大切だと思う順に3つ選んでもらったところ、最も割合が高い回答は、小学生世代と高校生世代は「安心して生きる権利」で、中学生世代は「ありのままの自分でいる権利」でした。

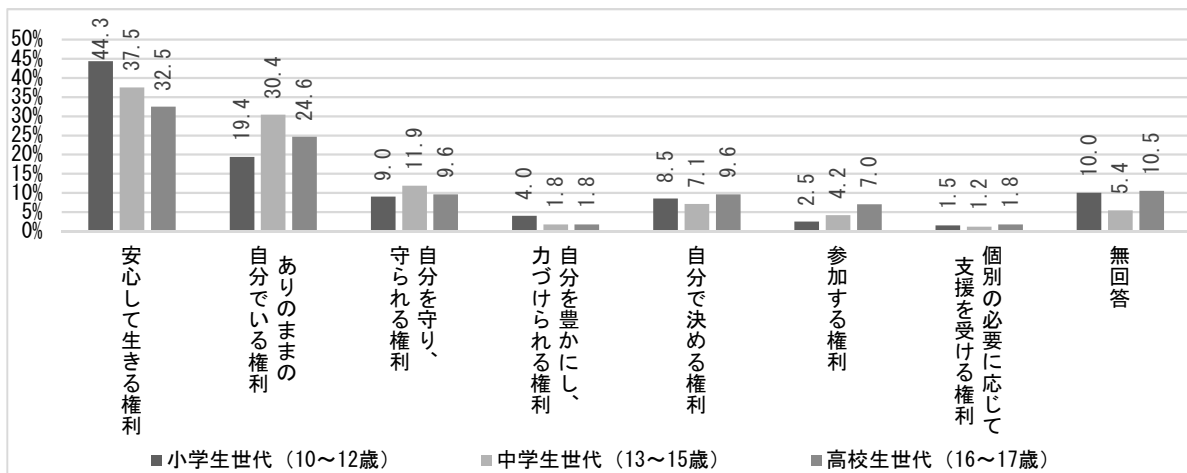
図 22 Q 4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか。あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。(全体)【子ども：世代別】



選んだ理由についてはP. 51~参照

大切だと思う権利のうち、一番目に選ばれた権利で最も多かったのは、全ての世代とも「安心して生きる権利」でした。

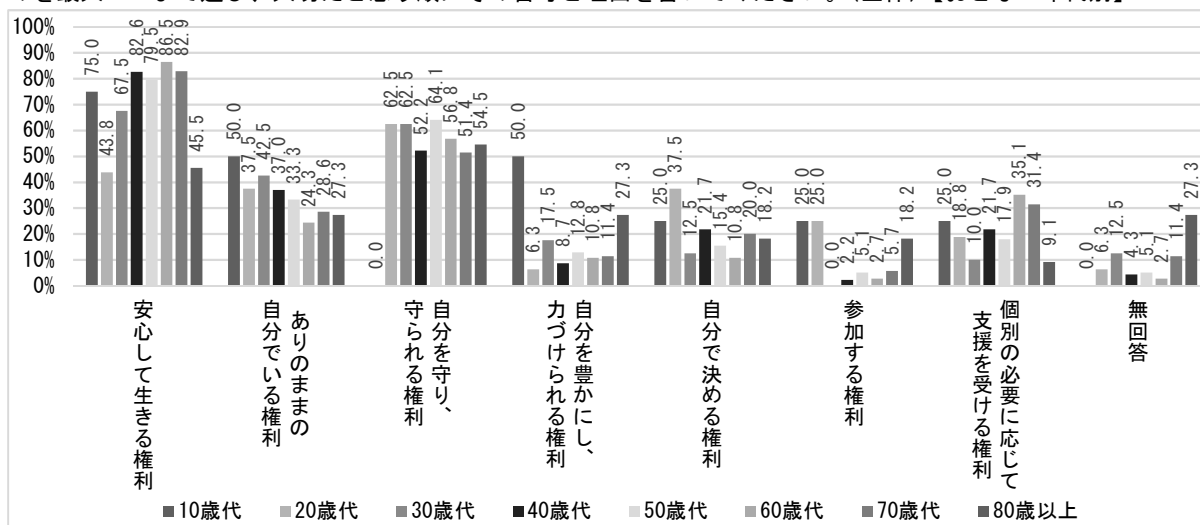
図 23 Q4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか。あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。(1番目)【子ども：世代別】



【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利の中で、子どもにとって最も大切だと思うものを大切だと思う順に3つ選んでもらったところ、20歳代、80歳以上を除く年代において最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。20歳代、80歳以上は、「自分を守り、守られる権利」が最も高くなりました。2番目に多く選ばれた権利については、10歳代では「ありのままの自分でいる権利」と「自分を豊かにし、力づけられる権利」、20歳代、80歳以上では「安心して生きる権利」、30歳代から70歳代では「自分を守り、守られる権利」を2番目に多く選びました。

図 24 Q4-1 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。(全体)【おとな：年代別】

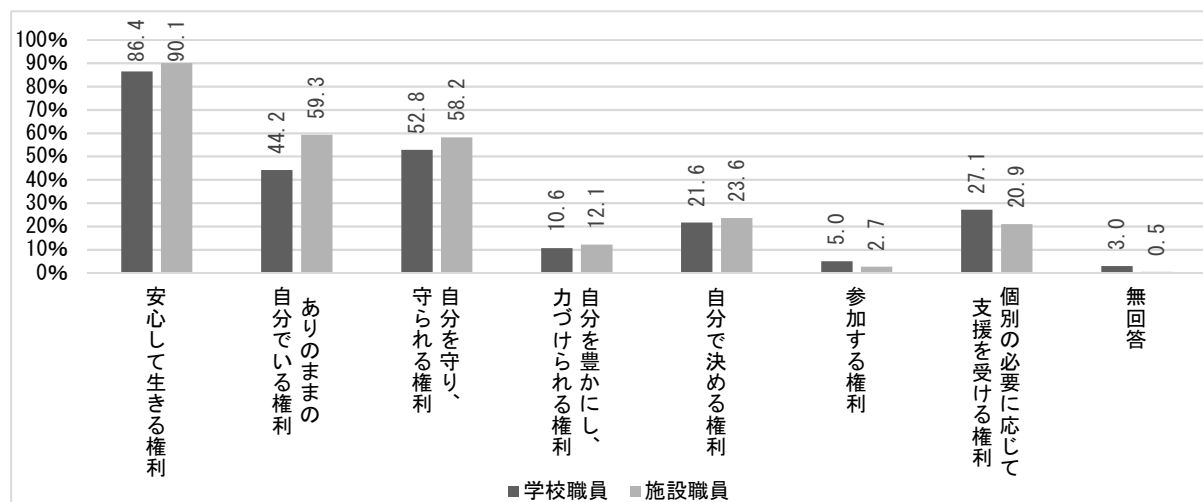


選んだ理由についてはP. 83~参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利の中で、「子どもにとって最も大切だと思うもの」を大切だと思う順に3つ選んでもらったところ、学校職員・施設職員どちらにおいても最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。2番目に多く選ばれた権利は、学校職員は「自分を守り、守られる権利」で、施設職員は「ありのままの自分である権利」でした。

図 25 Q4-1 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。(全体)【職員：施設別】



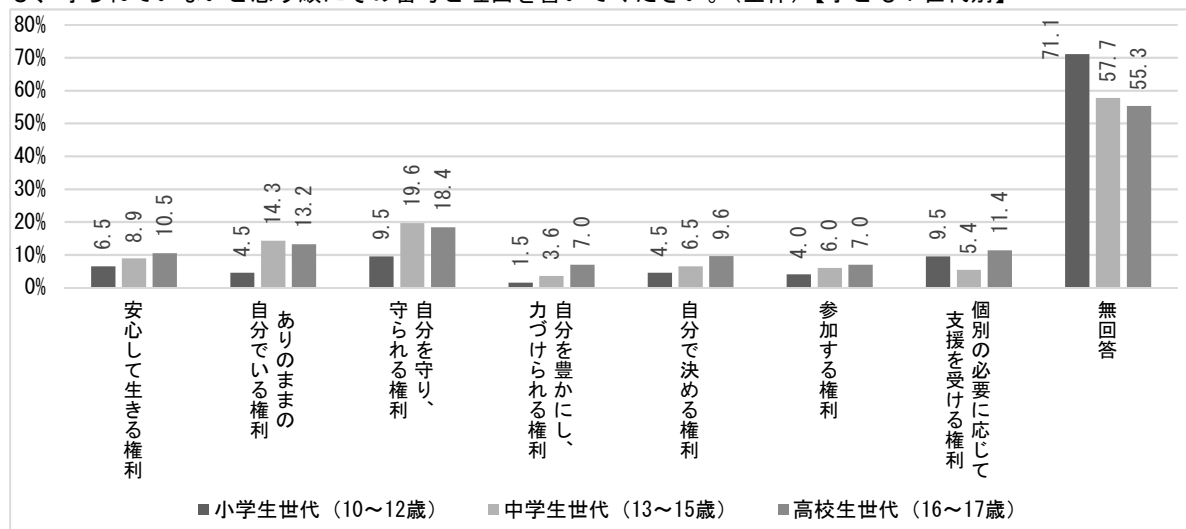
選んだ理由については P. 106～参照

(5) 子どもの権利の中で、守られていないと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものを守られていないと思う順に3つ選んでもらったところ、すべての年代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でした。(図は P. 20 図 26 を参照)

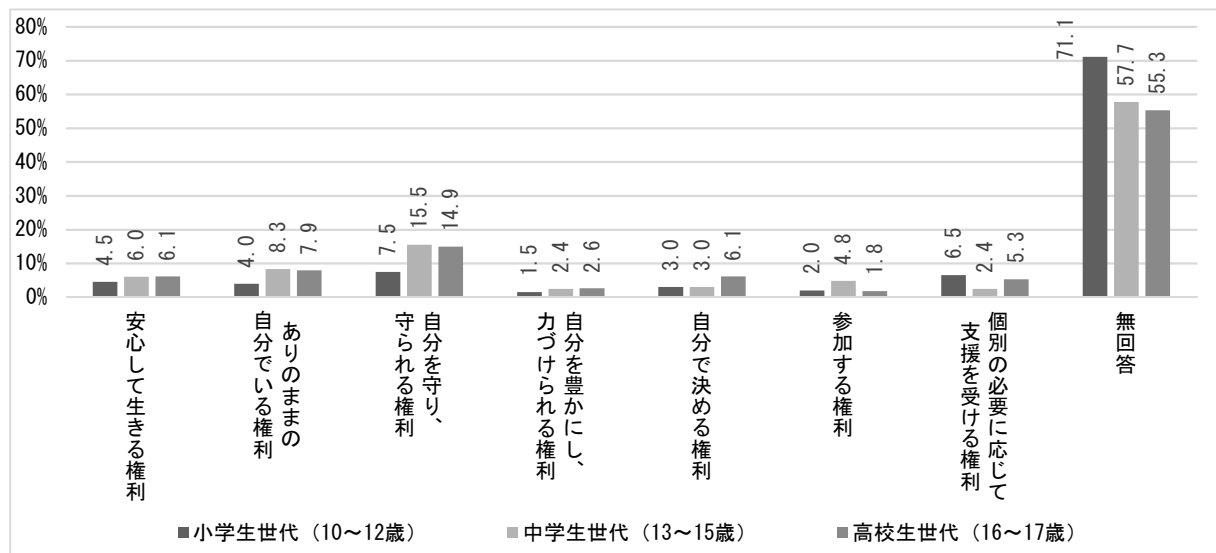
図 26 Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。(全体)【子ども：世代別】



選んだ理由についてはP. 57~参照

守られていないと思う権利のうち、一番目に選ばれた権利で最も多かったのは「自分を守り、守られる権利」でした。

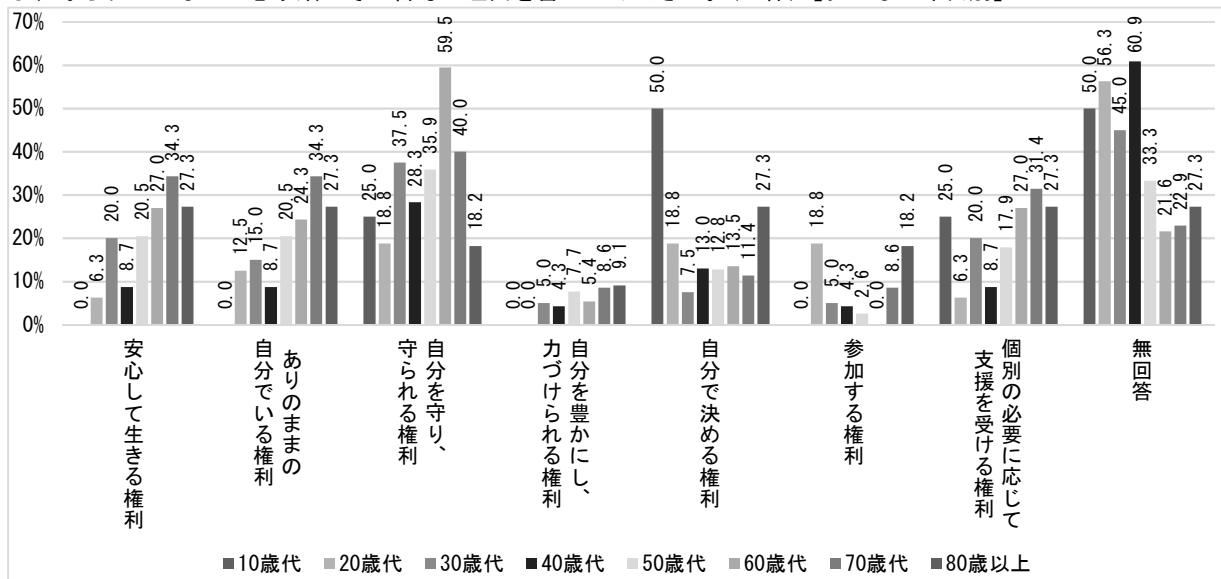
図 27 Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。(一番目)【子ども：世代別】



【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利のうち、「守られていないと思うもの」を守られていないと思う順に3つ選んでもらったところ、ほとんどの世代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でしたが、10歳代は「自分で決める権利」、80歳以上は「安心して生きる権利」、「ありのままの自分でいる権利」、「自分で決める権利」、「個別の必要に応じて支援を受ける権利」でした。(図はP. 21 図 28を参照)

図 28 Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。(全体)【おとな：年代別】

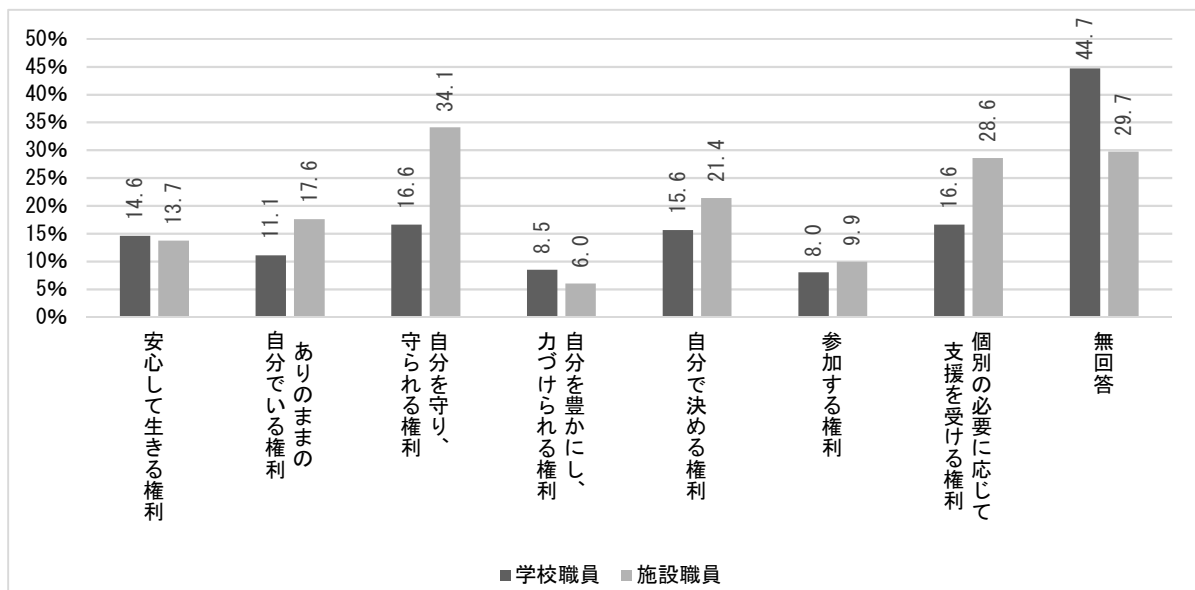


選んだ理由についてはP. 83～参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利のうち、「守られていないと思うもの」を守られていないと思う順に3つ選んでもらったところ、最も回答の割合が高かった権利は、学校職員は「自分を守り、守られる権利」、「個別の必要に応じて支援を受ける権利」で、施設職員は「自分を守り、守られる権利」でした。

図 29 Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と考えられる理由や問題点を書いてください。(全体)【職員：施設別】



選んだ理由についてはP. 113～参照

2 あなたの生活について

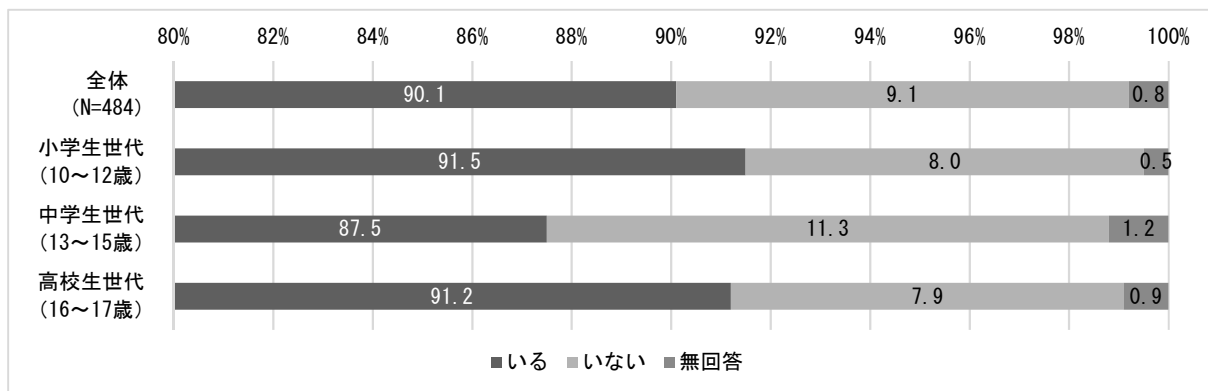
(1) 安心して話せる人

ア 悩みや相談事を話せる人の有無

【子ども：世代別】

子どもに、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が90.1%でした。世代別にみると、「いる」という回答の割合は、小学生世代が91.5%と最も高くなりました。

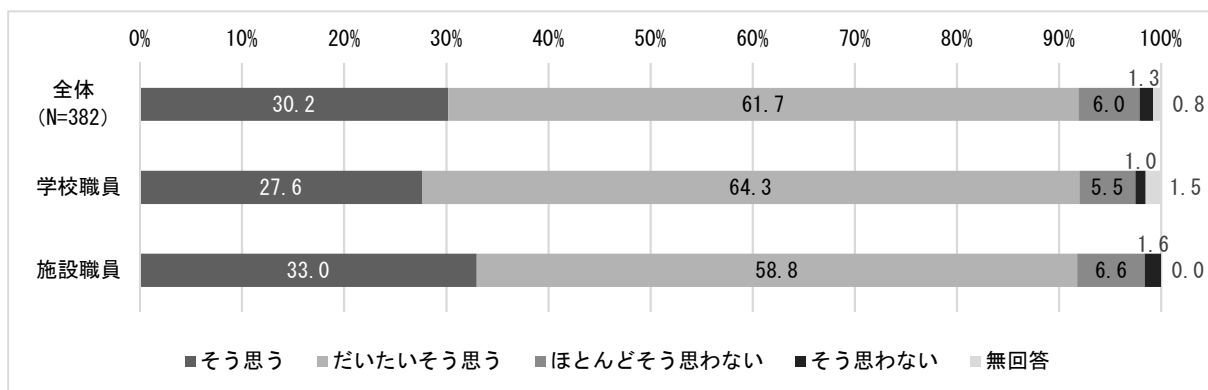
図30 Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。【子ども：世代別】



【職員：施設別】

職員に、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思うかをたずねたところ、職員全体として、「そう思う」という回答が30.2%、「だいたいそう思う」が61.7%、「ほとんどそう思わない」が6.0%、「そう思わない」が1.3%でした。学校職員と施設職員との間に、大きな差はみられませんでした。

図31 Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思いますか。【職員：施設別】

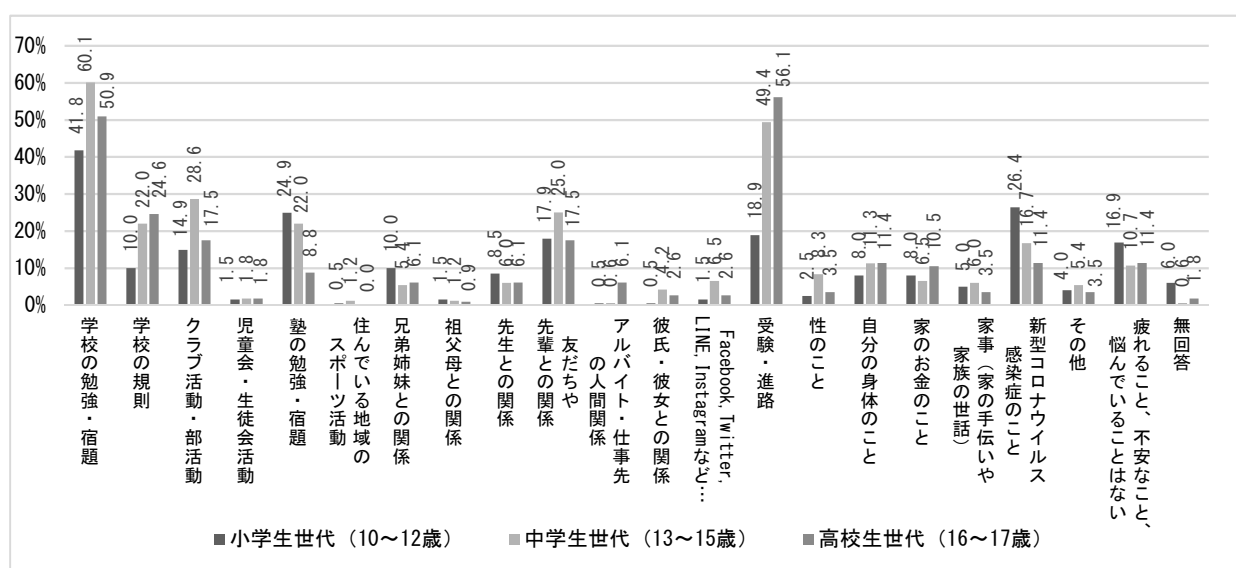


イ 疲れること、不安に思うこと

【子ども：世代別】

子どもに、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、小学生世代で回答の割合が最も高いのは「学校の勉強・宿題」で、次いで「新型コロナウイルス感染症のこと」でした。中学生世代も「学校の勉強・宿題」が最も高く、次いで、「受験・進路」でした。高校生世代では「受験・進路」が最も高く、次いで、「学校の勉強・宿題」でした。「疲れること、不安なこと、悩んでいることはない」と回答した割合が最も高いのは小学生世代の 16.9%で、次いで高校生世代の 11.4%、中学生世代の 10.7%でした。

図 32 Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。【子ども：世代別】



「その他」の回答について P. 61 参照

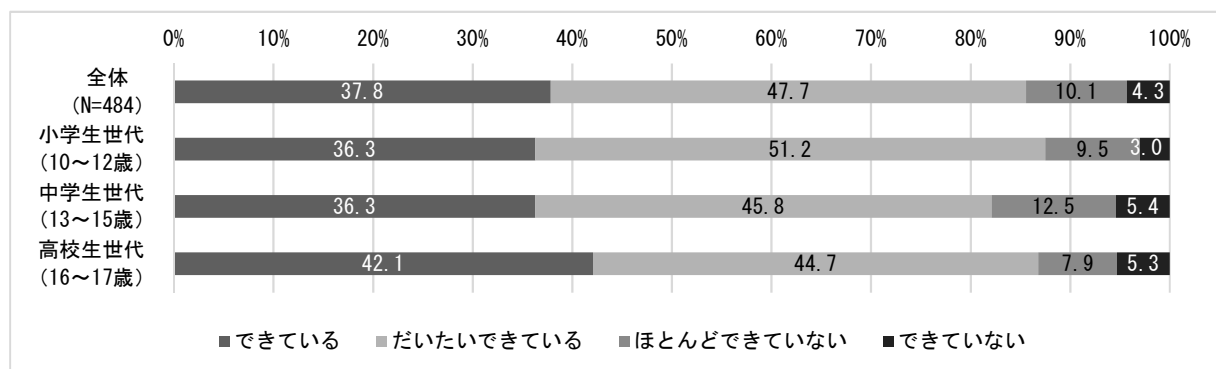
ウ 気持ちを伝えられているか、受け止めることができているか

【子ども：世代別】

子どもに、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができているかをたずねたところ、子ども全体としては、「できている」という回答が 37.8%、「だいたいできている」が 47.7%、「ほとんどできていない」が 10.1%、「できていない」が 4.3%でした。

世代別に見ると、「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した割合が最も高かったのは中学生世代で、17.9%でした。(図は P. 24 図 33 を参照)

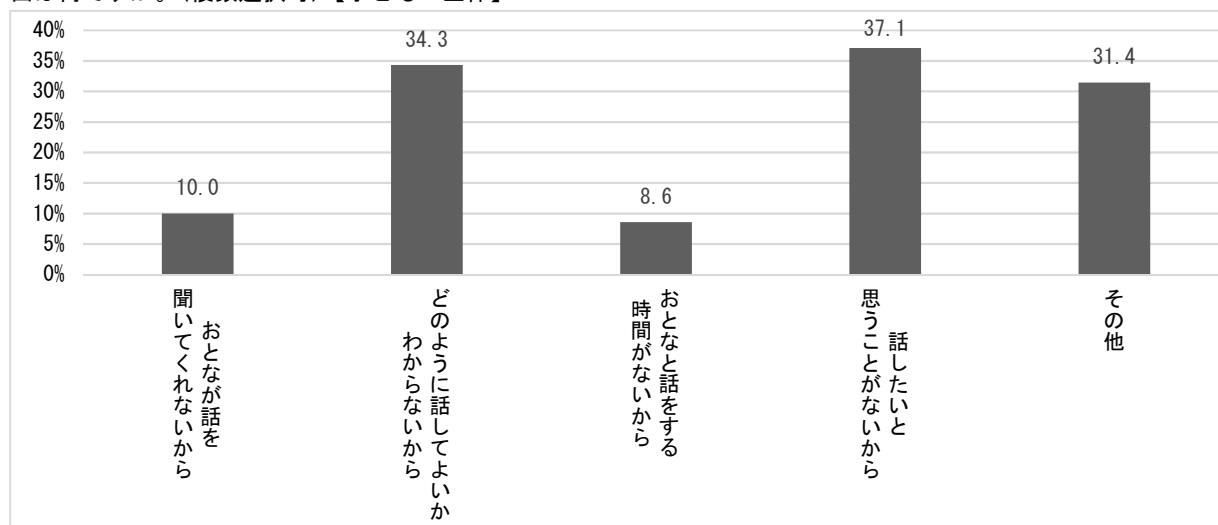
図 33 Q 7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができますか。【子ども：世代別】



【子ども：全体】

Q 7において「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだ子どもに対し、その理由をたずねたところ、「話したいと思うことがないから」と回答した割合が最も高く、37.1%でした。

図 34 Q 8 Q 7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数選択可)【子ども：全体】

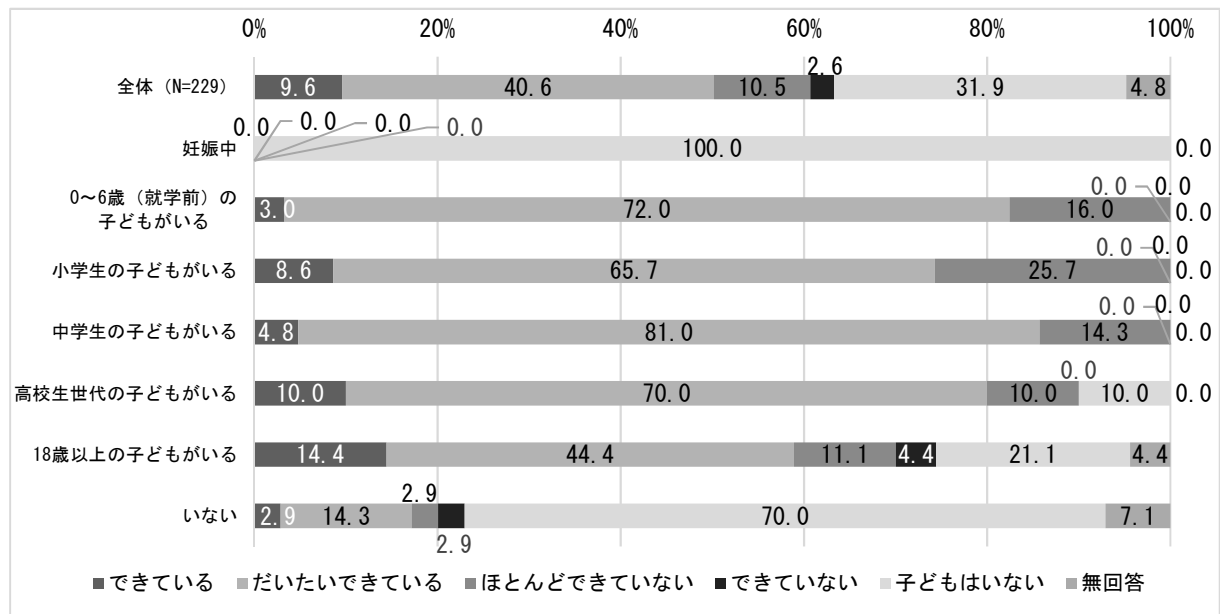


「その他」の回答についてはP. 62 参照

【おとな：子どもの有無別】

おとなに、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができているかをたずねたところ、おとな全体として、「できている」という回答が9.6%、「だいたいできている」が40.6%、「ほとんどできていない」が10.5%、「できていない」が2.6%でした。（図はP. 25 図 35 を参照）

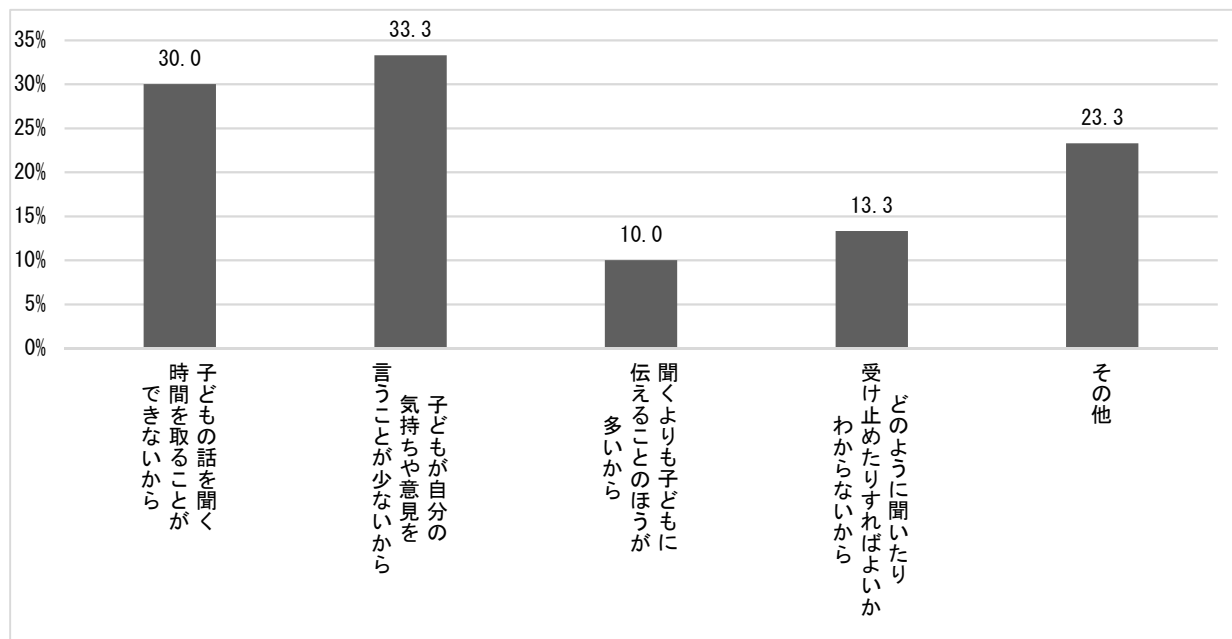
図 35 Q 7 あなたは、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。【おとな：子どもの有無別】



「できている」、「だいたいできている」と回答した人の具体例や工夫についてはP.91 参照

Q 7において「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだおとなに対し、その理由をたずねたところ、「子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから」と回答した割合が最も高く、33.3%でした。

図 36 Q 9 Q 7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（複数選択可）【おとな】

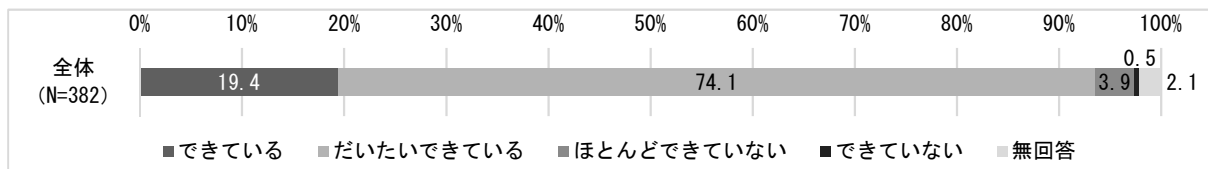


「その他」の回答についてはP.92 参照

【職員：全体】

職員に、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができているかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合が合わせて93.5%でした。

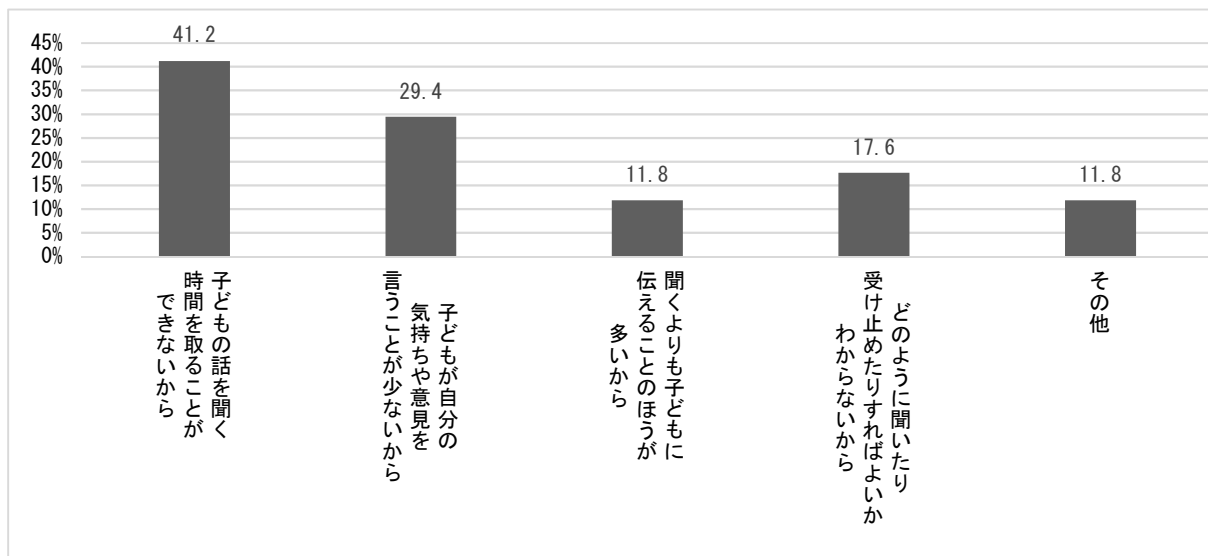
図 37 Q 9 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができていますか。【職員】



「できている」、「だいたいできている」と回答した人の具体例や工夫についてはP.120 参照

「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した職員に対し、その理由をたずねたところ、「子どもの話を聞く時間を取ることができないから」と回答した割合が最も多く、41.2%でした。

図 38 Q11 Q 9において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きます。その理由は何ですか。（複数選択可）【職員】



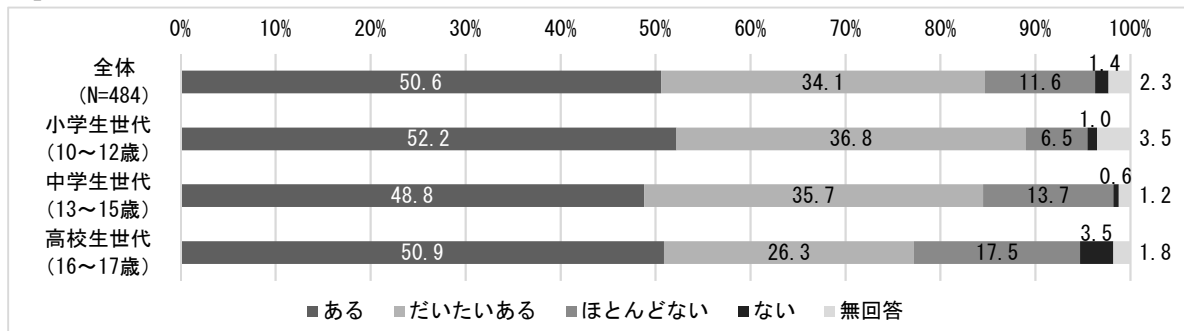
「その他」の回答についてはP.120 参照

(2) 話したことの実現性

【子ども：世代別】

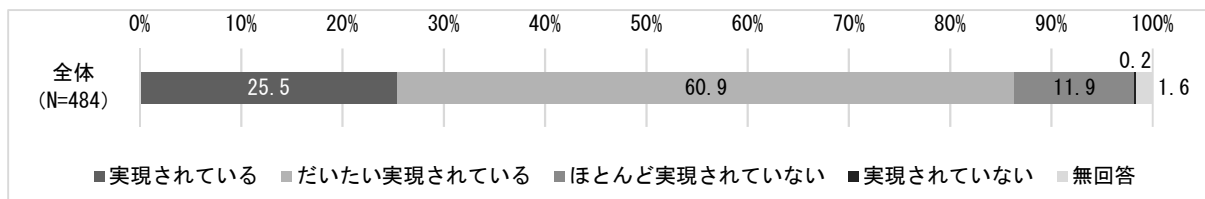
子どもに、家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いているかたずねたところ、子ども全体としては、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が合わせて84.7%でした。

図 39 Q9 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。【子ども：世代別】



「聞いている」または「だいたい聞いている」を選んだ子どもに、聞いてもらった自分自身の意見は実現されたかたずねたところ、86.4%の子どもが「実現されている」、「だいたい実現されている」と答えました。

図 40 Q10 Q9において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。【子ども】

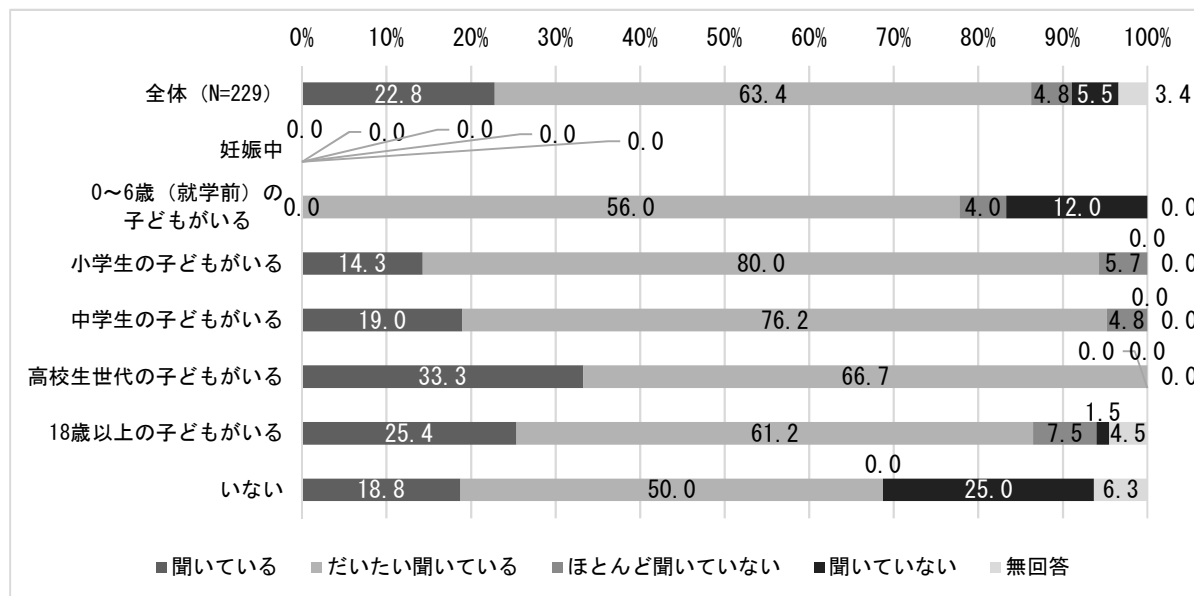


実現されたことで印象に残っていることについてはP.63 参照

【おとな：子どもの有無別】

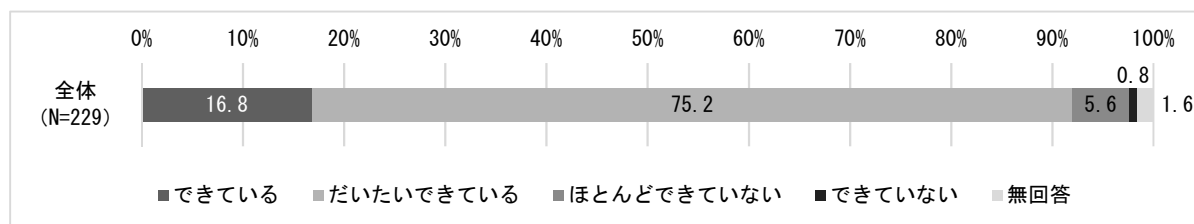
おとなに、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答したおとなは全体で86.2%でした。「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が最も高かったのは、「高校生世代の子どもがいる」おとなでした。反対に、「ほとんど聞いていない」、「聞いていない」と答えたおとなが多かったのは、「妊娠中」と子どもの「いない」おとなを除いて「0~6歳（就学前）の子どもがいる」おとなでした。（図はP.28 図41を参照）

図 41 Q10 あなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな：子どもの有無別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」を選んだおとなに対し、子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができているかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合は合わせて92.0%でした。

図 42 Q11 Q10において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。【おとな】



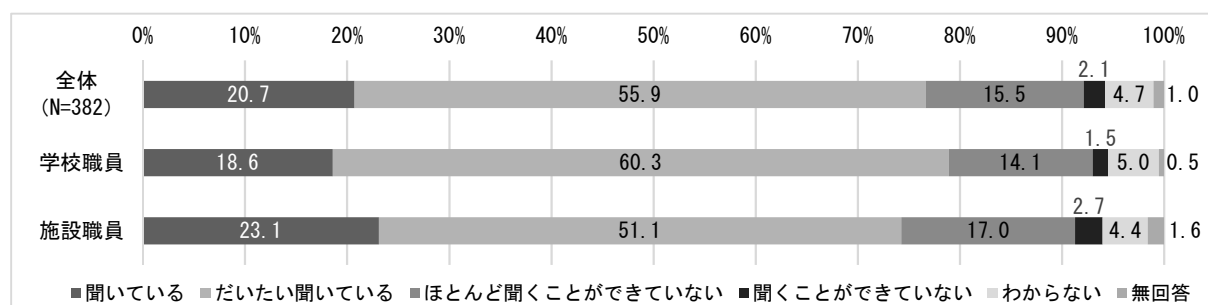
「できている」、「だいたいできている」と回答した人の印象に残っていることについてはP.92 参照

「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した理由についてはP.93 参照

【職員：施設別】

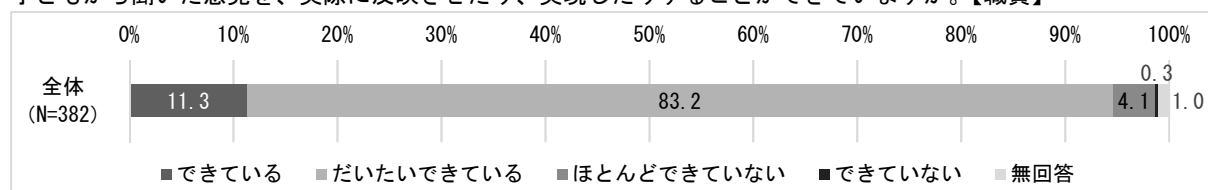
職員に、職場で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いているかをたずねたところ、職員全体では、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は合わせて76.6%でした。（図はP.29 図43を参照）

図 43 Q12 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。【職員：施設別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した職員に対し、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができているかたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合は合わせて 94.5% でした。

図 44 Q13 Q12において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きます。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。【職員】



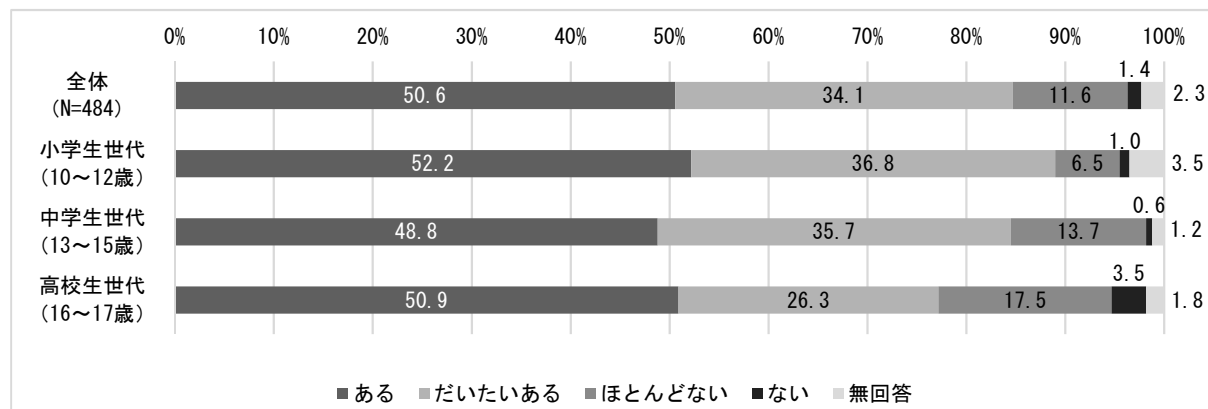
「できている」、「だいたいできている」と回答した人の印象に残っていることについては P. 121 参照

(3) ホットできる時間・場所

【子ども：世代別】

子どもに、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にあるかたずねたところ、子ども全体で「ある」、「ときどきある」と回答した割合は合わせて 84.7% でした。

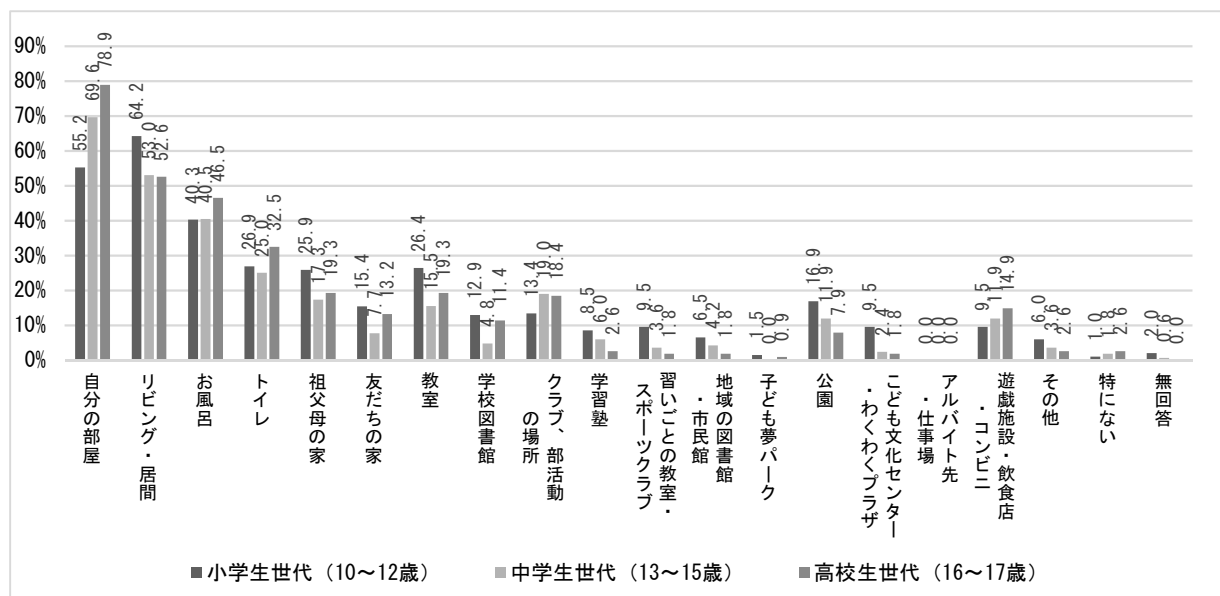
図 45 Q12 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にありますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、ホッとできる場所はどこかたずねたところ、小学生世代は「リビング・居間」と回答した割合が最も多く、中学生世代と高校生世代では「自分の部屋」と回答した割合が最も高くなりました。

図 46 Q13 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。(複数選択可)【子ども：世代別】

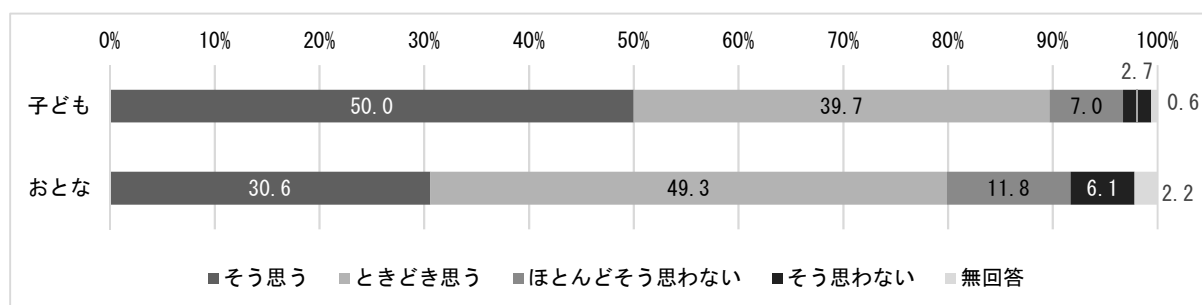


(4) 大切にされているか

【子ども、おとな】

子どもとおとなに、生活のなかで文化・国籍などのちがいを、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思うかたずねたところ、「そう思う」と答える割合は子どもが50.0%だったのに対し、おとなは30.6%でした。「そう思う」、「ときどき思う」を合わせると、子どもは89.7%、おとなは79.9%と肯定的な回答をした割合は子どもの方が高く、おとなと約10ポイントの差がありました。

図 47 Q15 (「おとな」はQ17) あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがいを、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。【子ども、おとな】



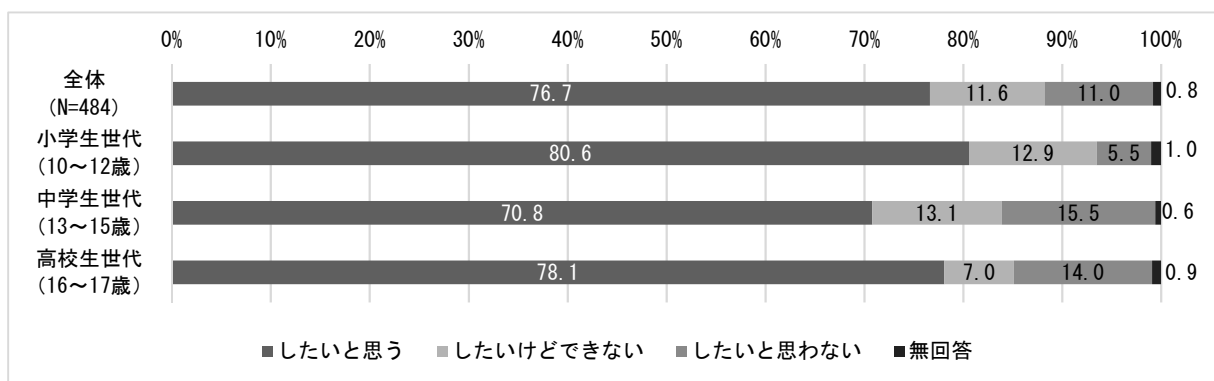
3 相談するところについて

(1) 相談する相手

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が76.7%でした。世代別にみると、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代が80.6%と最も高くなりました。

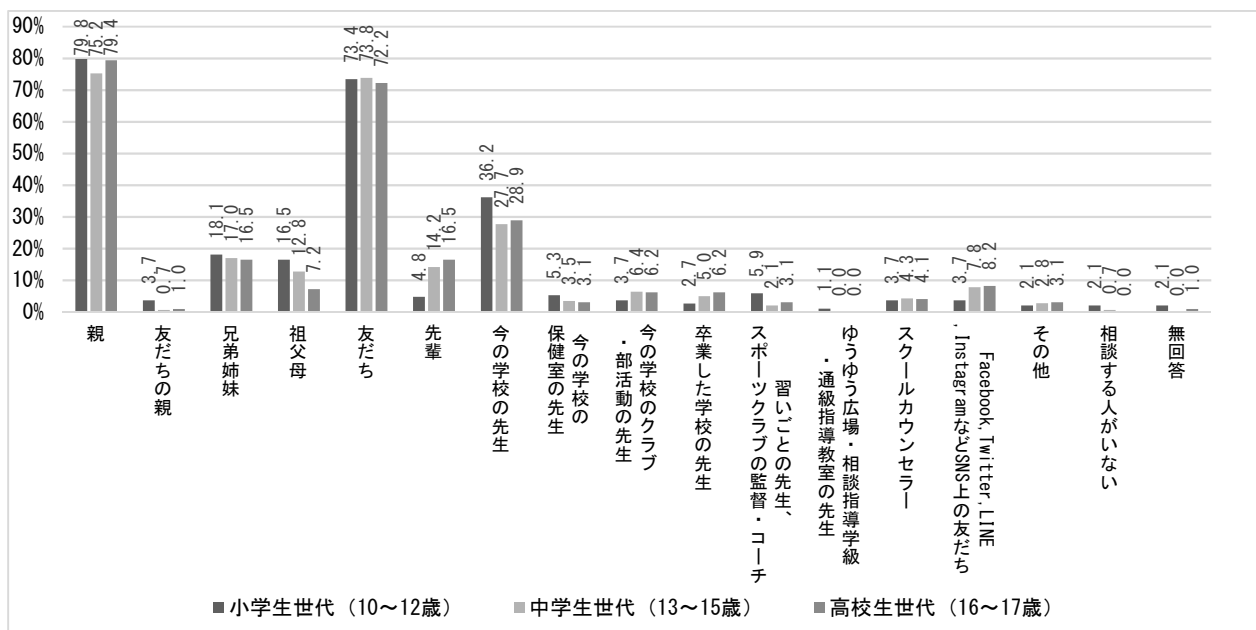
図48 Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談するかをたずねたところ、全世代で「親」と回答した割合が最も高くなりました。

図49 Q17 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(複数選択可)【子ども：世代別】

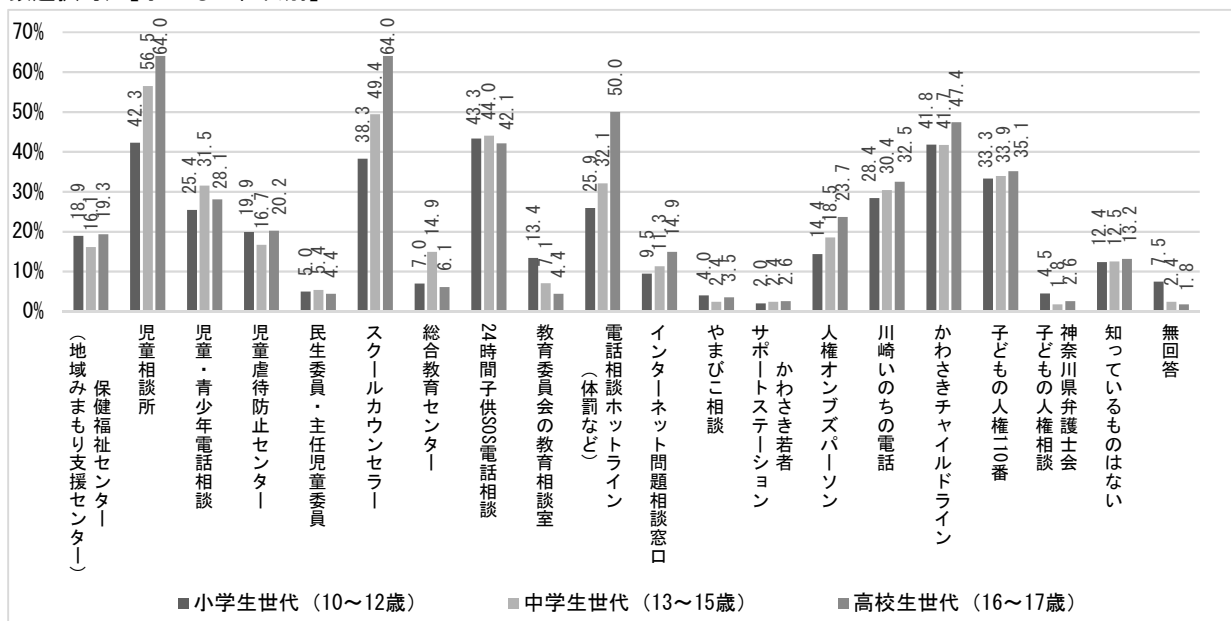


(2) 相談する場所

【子ども：世代別】

子どもに、知っている川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）をたずねたところ、小学生世代は「24時間子供SOS電話相談」、中学生世代は、「児童相談所」、高校生世代は「児童相談所」「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

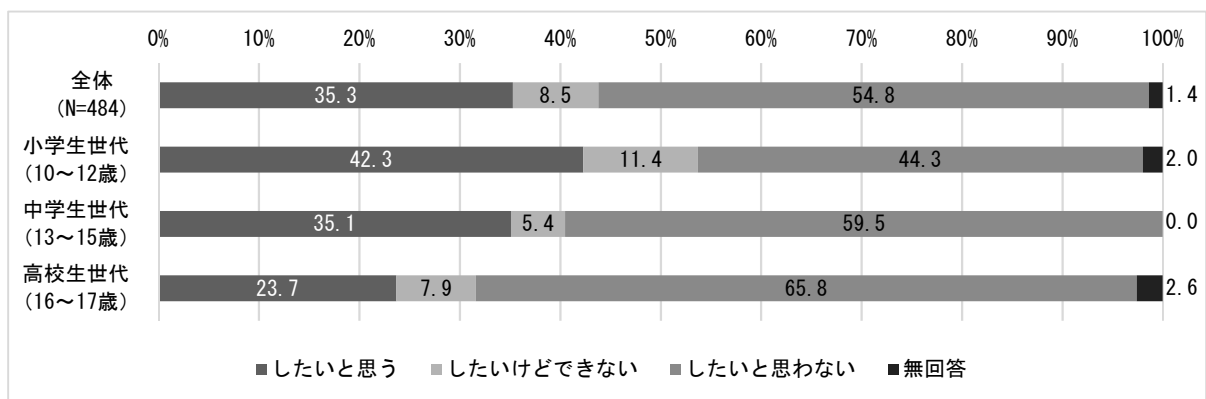
図 50 Q18 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。（複数選択可）【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいかをたずねたところ、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代で42.3%、中学生世代は35.1%、高校生世代は23.7%でした。「したいけどできない」と回答した割合は、小学生世代で11.4%、中学生世代は5.4%、高校生世代は7.9%でした。

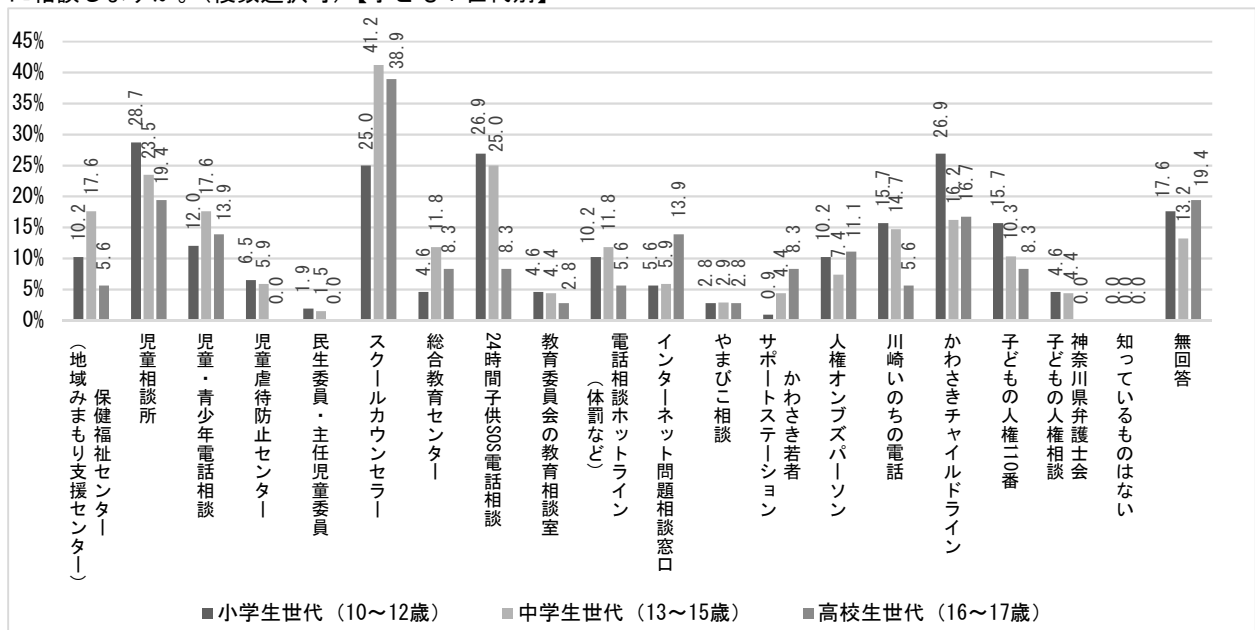
図 51 Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談するかをたずねたところ、小学生世代では「児童相談所」と回答した割合が最も高く、中学生世代と高校生世代では「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

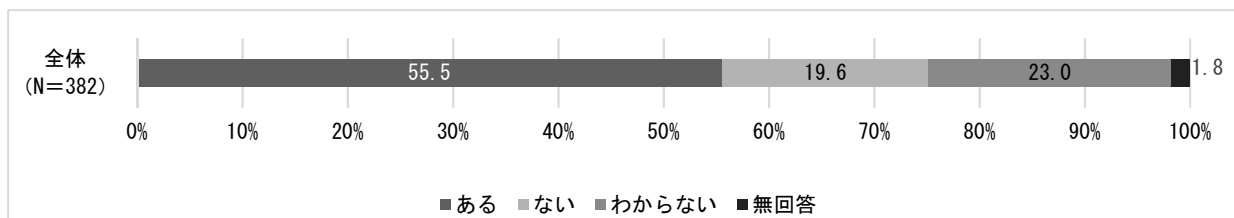
図 52 Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談しますか。(複数選択可)【子ども：世代別】



【職員：全体】

職員に、職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことの仕組みがあるかをたずねたところ、全体で「ある」と答えた回答は55.5%でした。

図 53 Q16 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。【職員：全体】



「わからない」と回答した理由についてはP.122 参照

「ある」と回答した人の職場で設けられている仕組みについてはP.123 参照

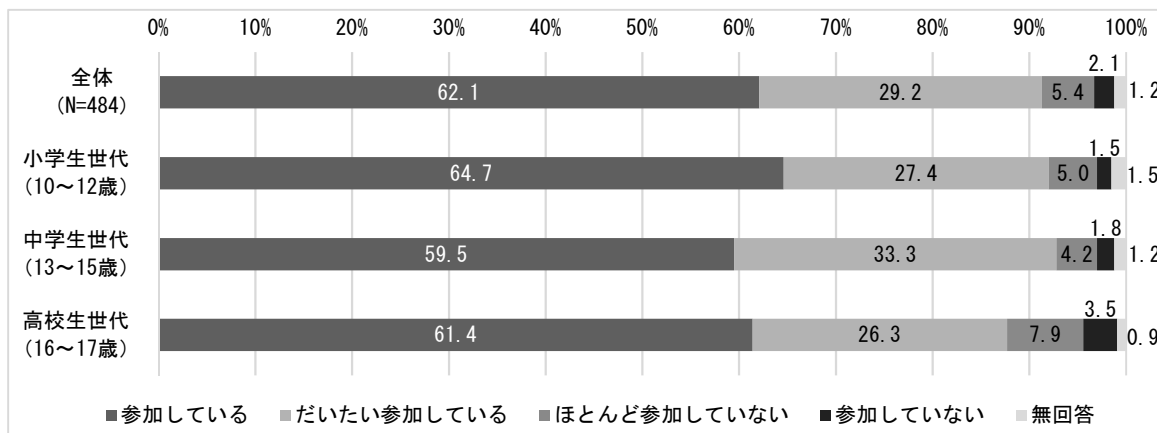
4 学校・地域のことについて

(1) 学校のこと

【子ども：世代別】

子どもに、学校の行事や話し合いに参加しているかをたずねたところ、子ども全体で「参加している」、「だいたい参加している」と回答した割合が合わせて91.3%でした。

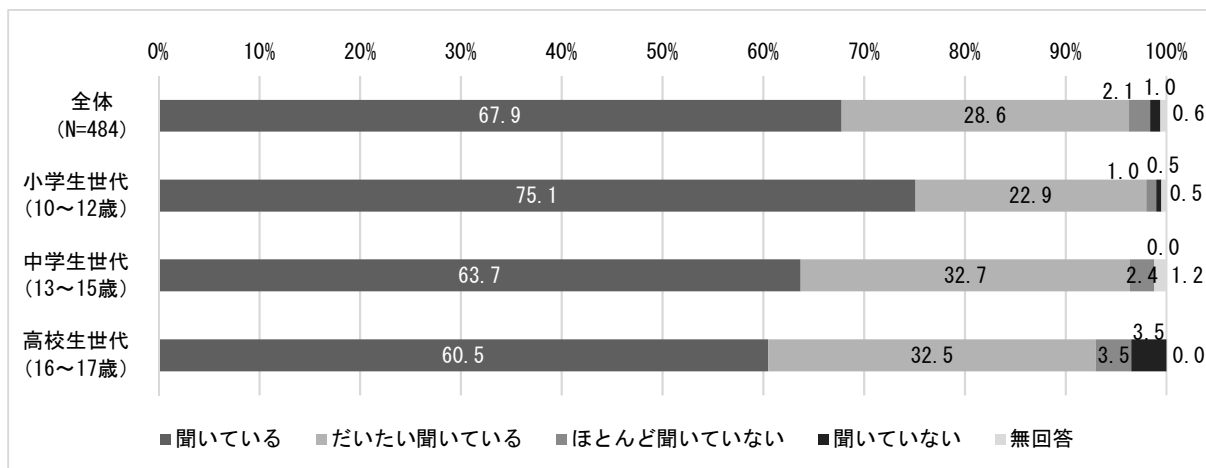
図 54 Q22 あなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

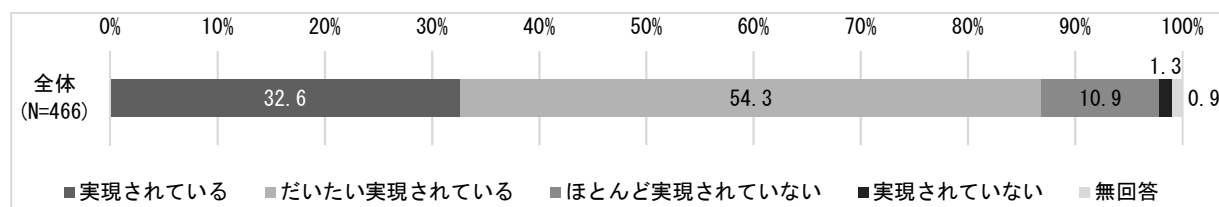
子どもに、学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、子ども全体で「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が合わせて96.5%でした。

図 55 Q23 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。【子ども：世代別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した子どもに対し、先生が聞いた子どもの意見は実現されているかをたずねたところ、子ども全体で「実現されている」、「だいたい実現されている」と回答した割合が合わせて86.9%でした。

図 56 Q24 Q23において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。先生が聞いた子どもの意見は実現されていますか。【子ども】

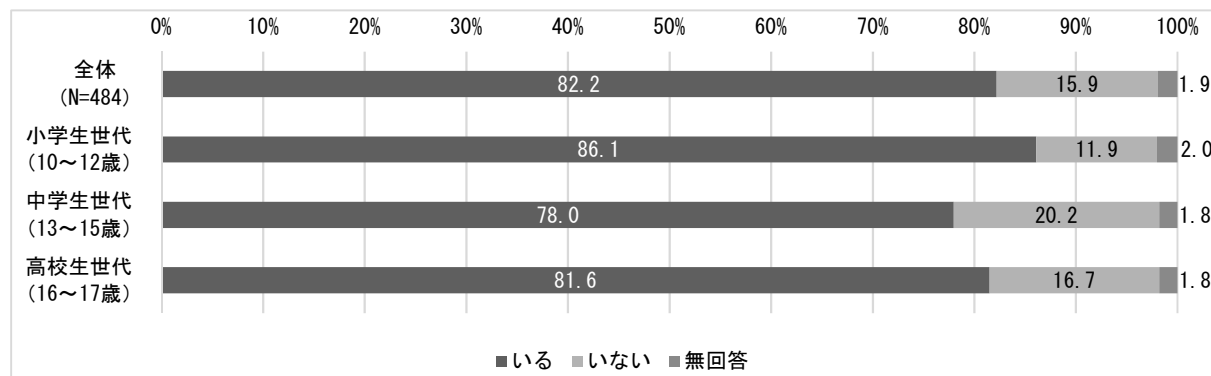


「実現されている」、「だいたい実現されている」と回答した子どもの印象に残っていることについてはP.71 参照

【子ども：世代別】

子どもに、学校にはあなたの話をよく聞いてくれる先生や職員（給食の調理員や事務の人も含む）がいるかをたずねたところ、「いる」と回答した子どもの割合は、小学生世代が86.1%、中学生世代が78.0%、高校生世代が81.6%でした。

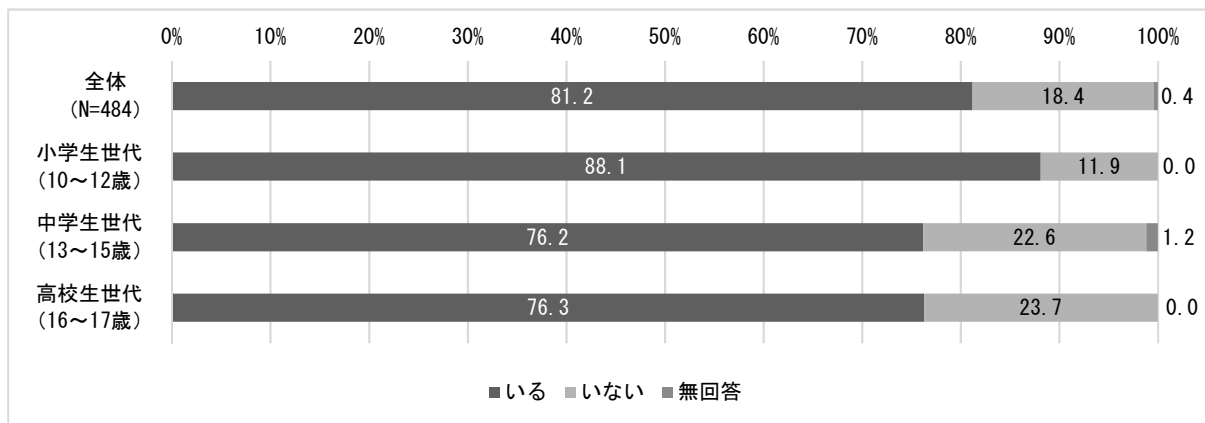
図 57 Q26 学校にはあなたの話をよく聞いてくれる先生や職員（給食の調理員や事務の人も含む）がいますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、学校に何でも話せる友だち（先輩や後輩も含む）がいるかをたずねたところ、「いる」と回答した子どもの割合は、小学生世代が88.1%、中学生世代が76.2%、高校生世代が76.3%でした。

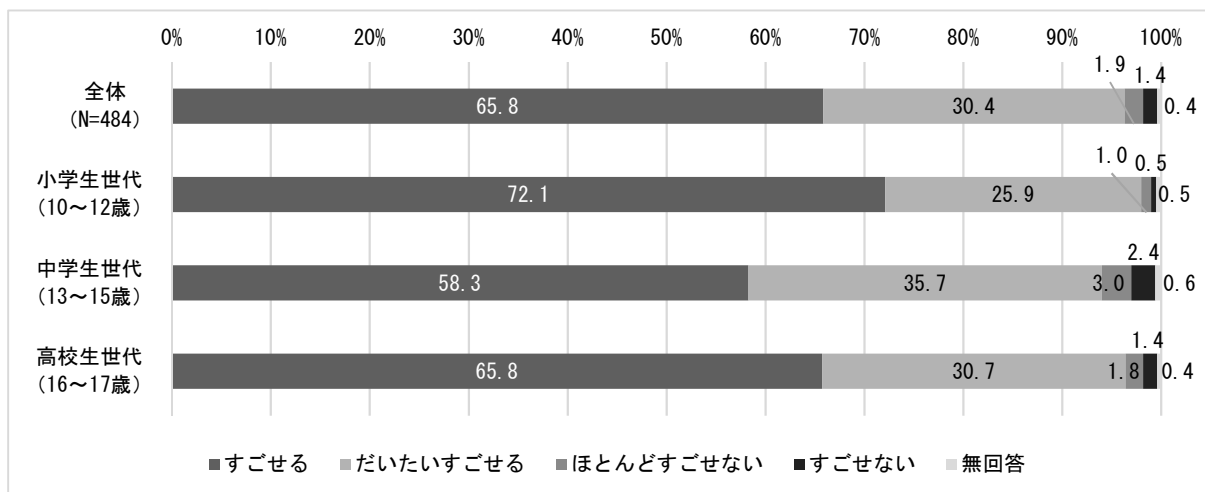
図 58 Q27 あなたは、学校に何でも話せる友だち（先輩や後輩も含む）がいますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、学校で休み時間や放課後、安心してすごせるかたずねたところ、「すごせる」、「だいたいすごせる」と回答した割合は、小学生世代は98.0%、中学生世代は94.0%、高校生世代は96.5%でした。

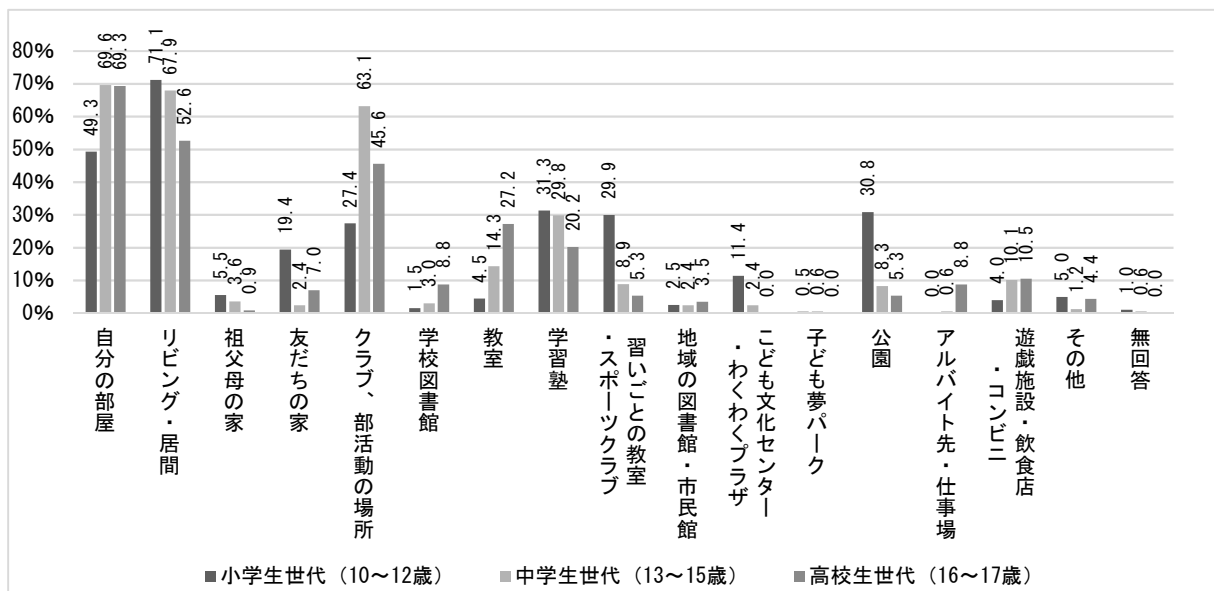
図 59 Q28 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心してすごせますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、放課後どこで過ごすかたずねたところ、小学生世代は「リビング・居間」が、中学生世代と高校生世代では「自分の部屋」と回答した割合が最も高くなりました。

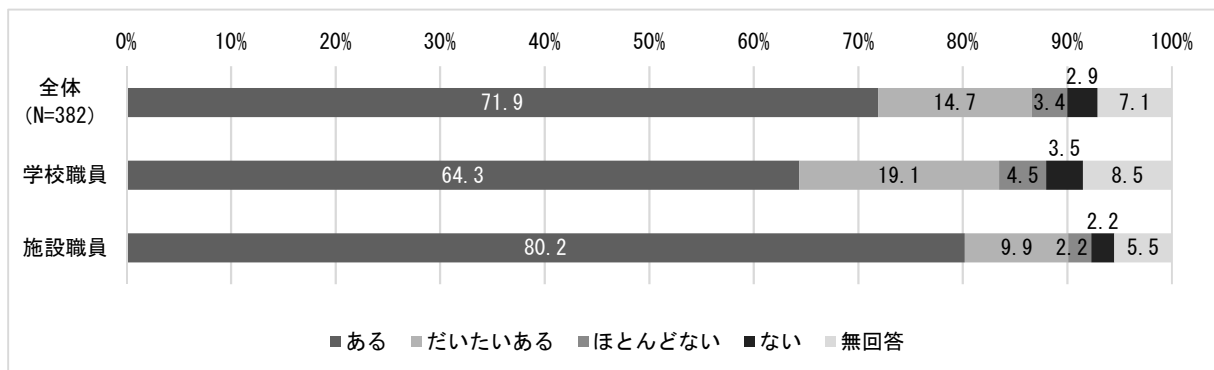
図 60 Q29 あなたは、放課後どこですごしますか。(複数選択可)【子ども：世代別】



【職員：施設別】

職員に、職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがあるかたずねたところ、「ある」、「だいたいある」と回答した割合が、全体で86.6%でした。施設別に見ると、学校職員の回答した割合は83.4%、施設職員の回答した割合は90.1%でした。

図 61 Q19 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含め答えてください。【職員：施設別】

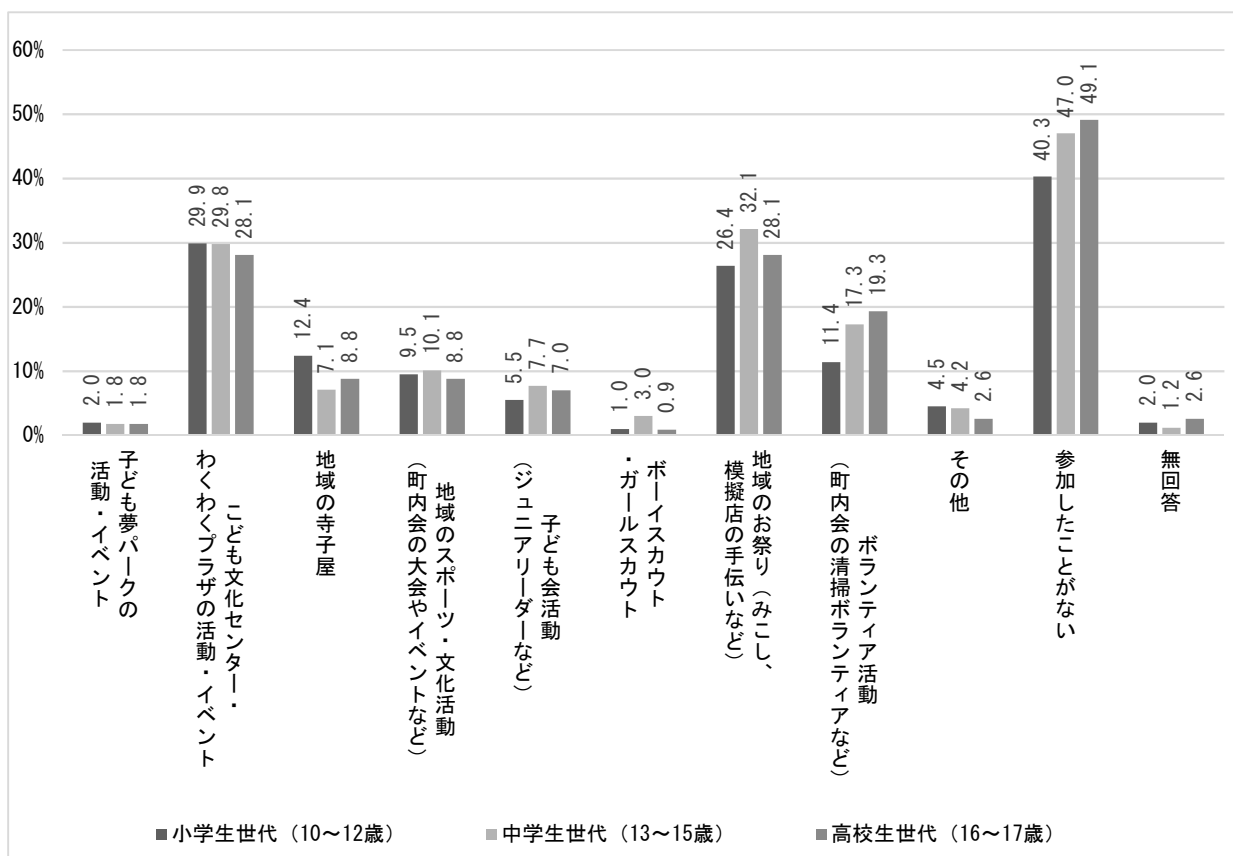


(2) 地域のこと

【子ども：世代別】

子どもに、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがあるかをたずねたところ、全世代で「参加したことがない」と回答した割合が最も高くなりました。

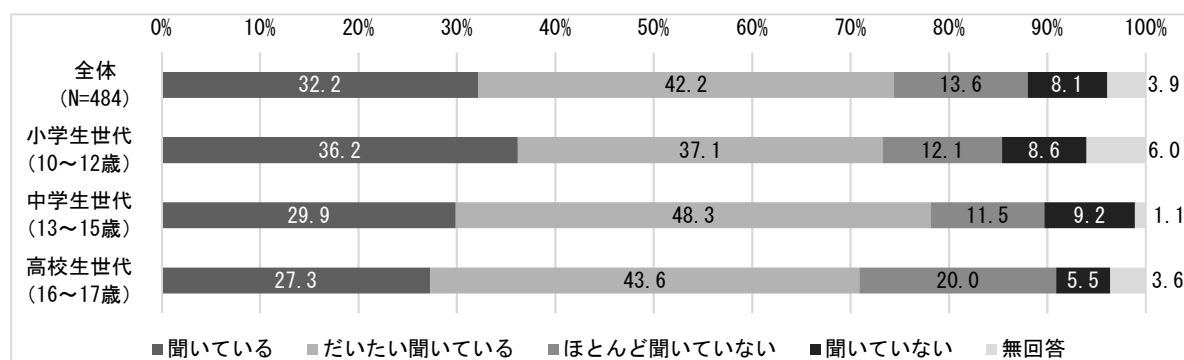
図 62 Q30 あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。(複数選択可)
【子ども：世代別】



Q30の10項目のうち、「参加したことがない」を選んだ子どもと無回答の子どもを除いた9項目を選んだ子どもに対し、地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は、全体で74.4%でした。

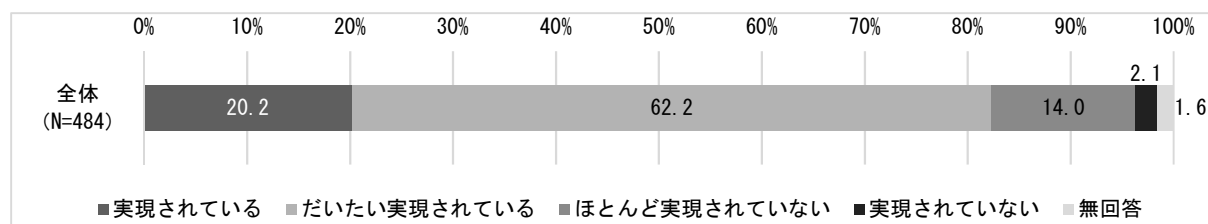
図63 Q31 Q30において、1～9*を選んだ人にお聞きします。地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いていますか。【子ども：世代別】

※Q30の回答項目のうち、「参加したことがない」子どもと無回答の子どもを除いた9項目を示す



「聞いている」、「だいたい聞いている」を選んだ子どもに、おとなが聞いた子どもの意見は実現されているかをたずねたところ、「実現されている」、「だいたい実現されている」を選んだ子どもは合わせて82.4%でした。

図64 Q32 Q31において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。おとなが聞いた子どもの意見は実現されていますか。【子ども】

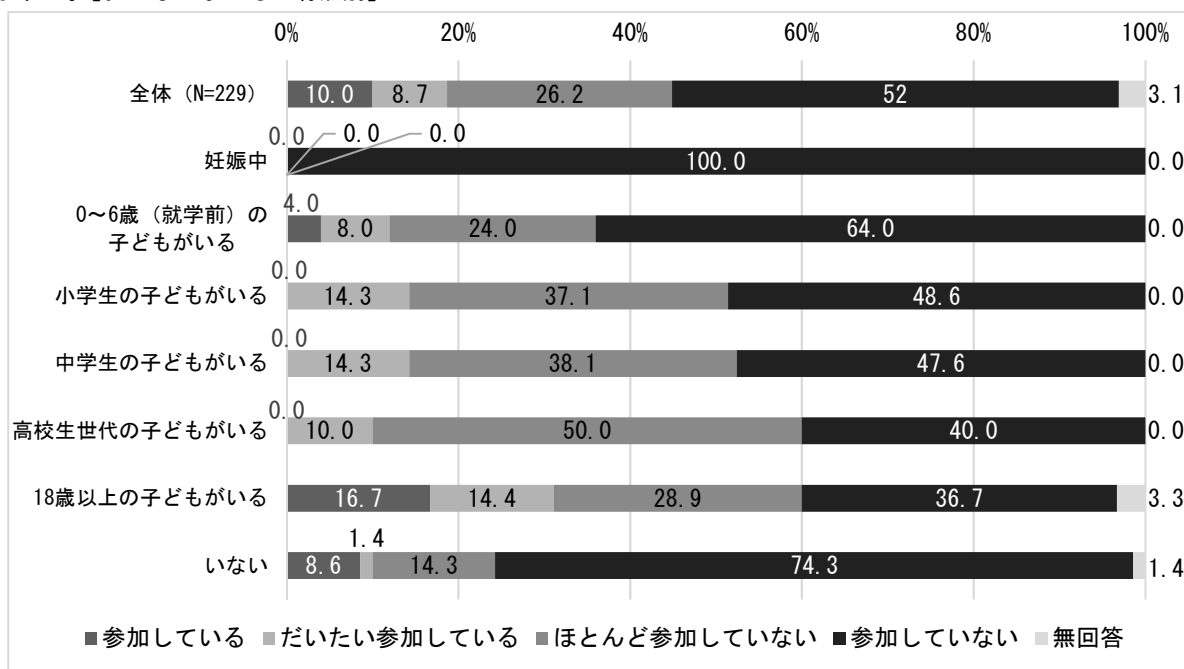


「実現されている」「だいたい実現されている」と回答した子どもの印象に残っていることについてはP.74参照

【おとな：子どもの有無別】

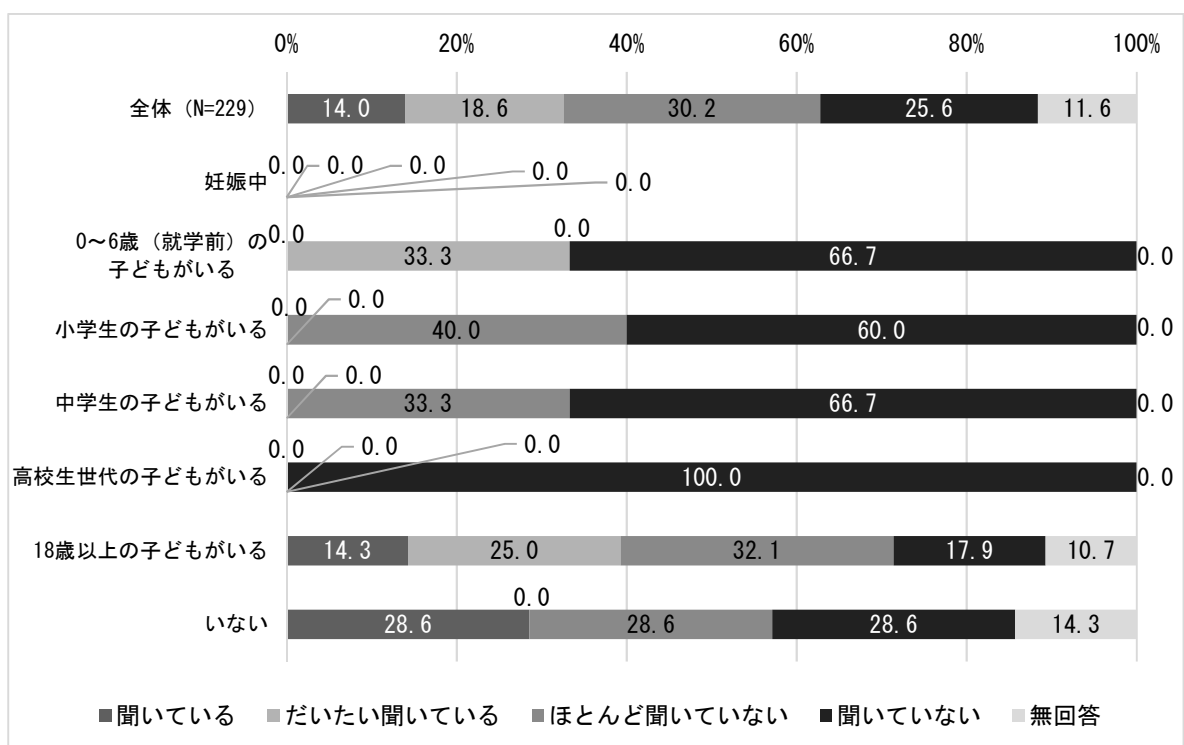
おとなに、ボランティア活動や町内会・自治会活動など、地域の活動や行事・イベントに参加しているかたずねたところ、「参加している」、「だいたい参加している」と回答した割合が最も高かったのは「18歳以上の子どもがいる」おとなで、31.1%でした。(図はP.40図65を参照)

図 65 Q23 あなたは、ボランティア活動や町内会・自治会活動など、地域の活動や行事・イベントに参加していますか。【おとな：子どもの有無別】



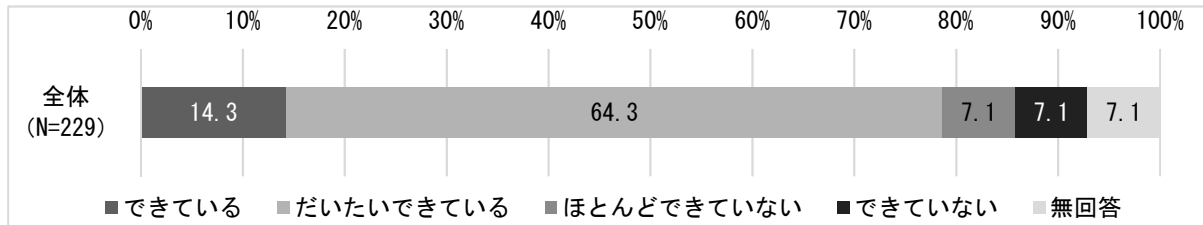
「参加している」、「だいたい参加している」と回答したおとなに対し、地域で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が最も高かったのは「18歳以上の子どもがいる」おとなで、39.3%でした。

図 66 Q24 Q23において、「1参加している」または「2だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。あなたは、地域で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな：子どもの有無別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答したおとなに対し、子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができているかたずねたところ、「できている」「だいたいできている」と回答した割合は全体で78.6%でした。

図 67 Q25 Q24において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。【おとな】



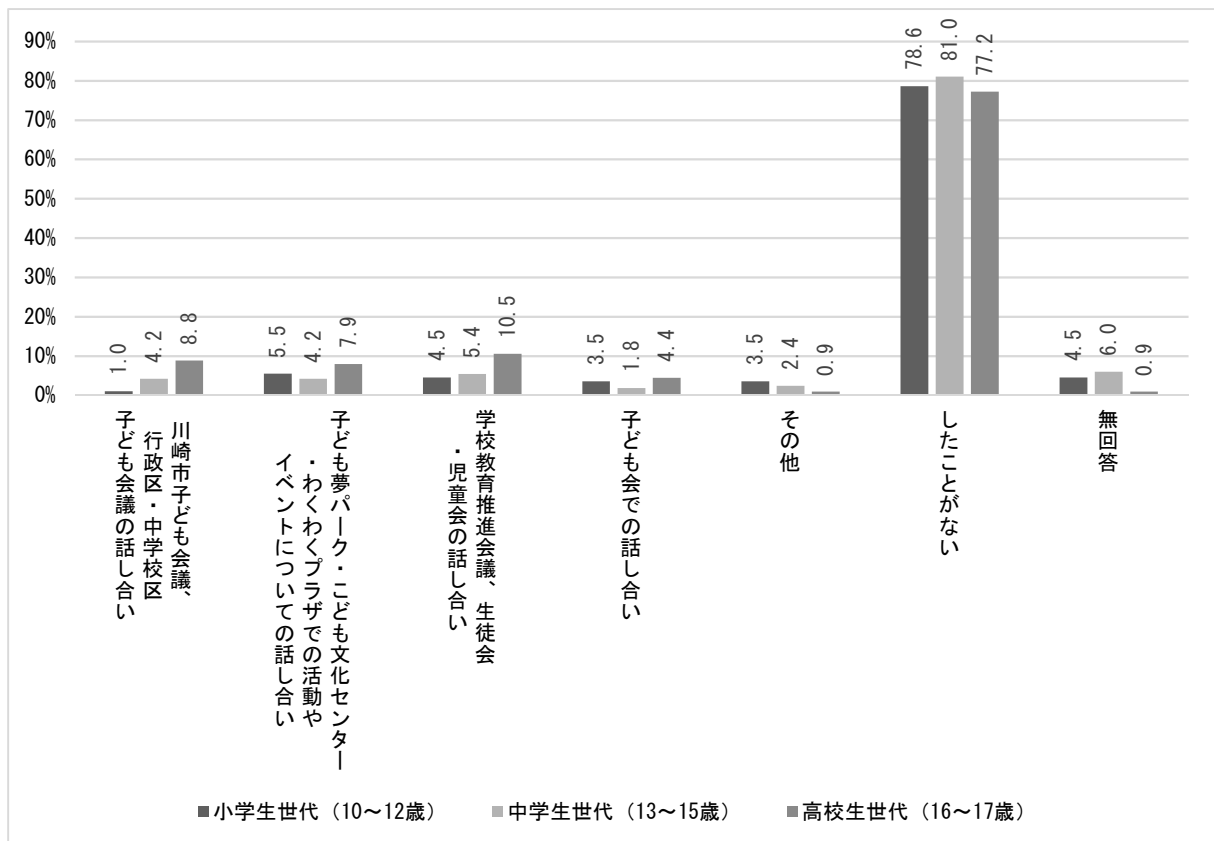
「できている」「だいたいできている」と回答したおとなの印象に残っていることについてはP.97 参照

「ほとんどできていない」「できていない」と回答したおとなの理由についてはP.98 参照

【子ども：世代別】

子どもに、地域の活動の場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがあるかたずねたところ、「したことがない」と回答した割合が最も高くなりました。

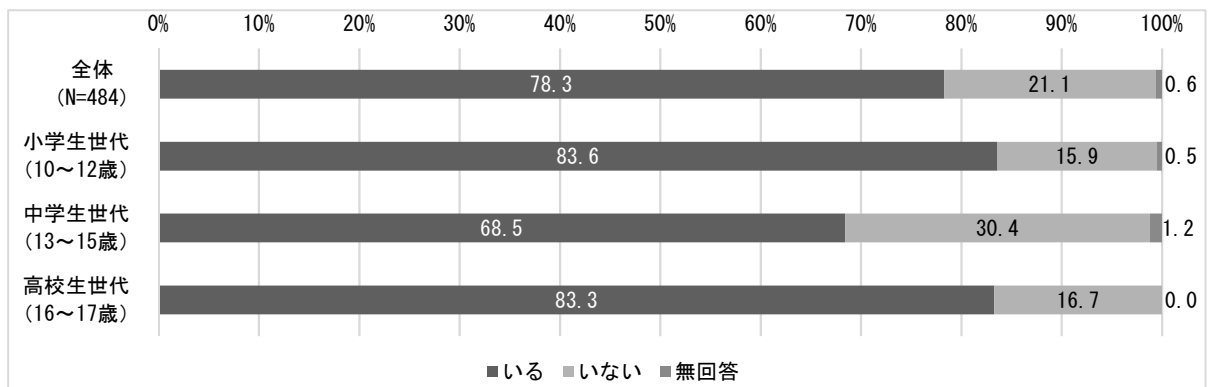
図 68 Q34 あなたは、次のような場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがありますか。(複数選択可)【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、地域（学校以外）と一緒に遊んだり話したりする友だちがいるかたずねたところ、「いる」と回答した割合は全体で78.3%でした。世代別にみると、小学生世代が83.6%と最も高く、続いて高校生が83.3%、中学生世代が68.5%でした。

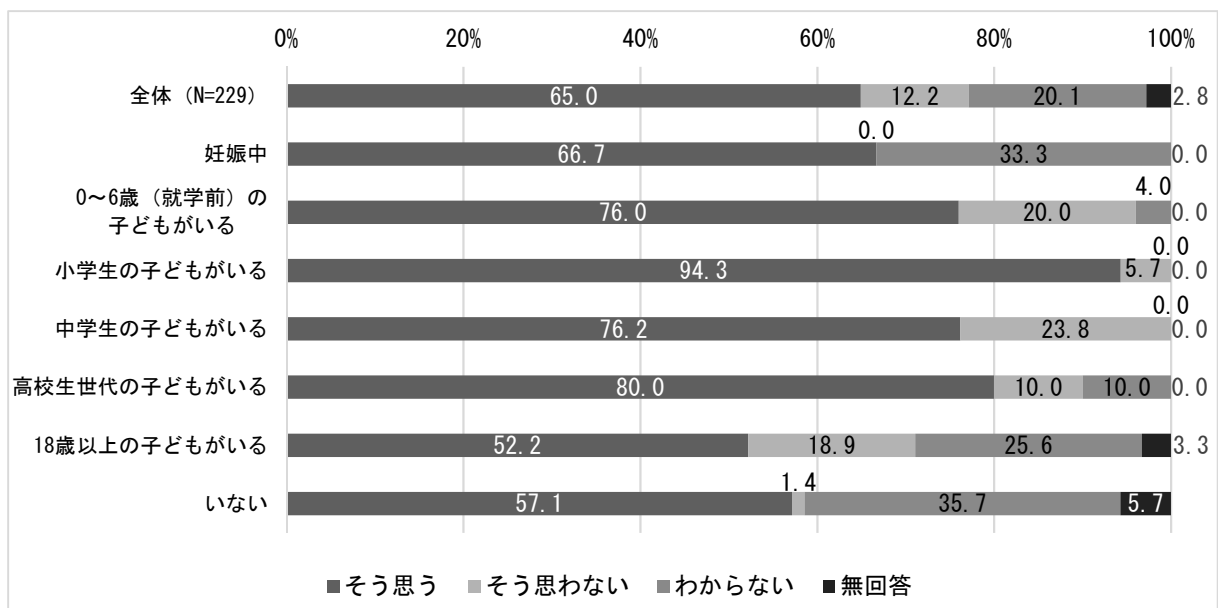
図 69 Q35 地域（学校以外）に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。【子ども：世代別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに、子どもには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいると思うかたずねたところ、「そう思う」と回答した割合は、「小学生の子どもがいる」おとなが94.3%と最も高くなりました。

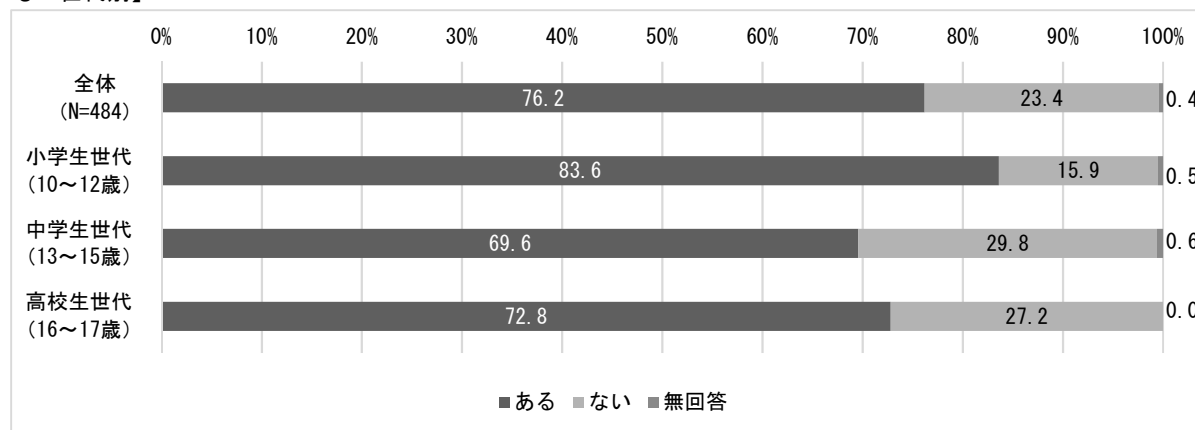
図 70 Q28 子どもには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。【おとな：子どもの有無別】



【子ども：世代別】

子どもに、地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所があるかたずねたところ、「ある」と回答した割合は全体で76.2%でした。世代別にみると、小学生世代が83.6%、中学生世代が69.6%、高校生世代が72.8%でした。

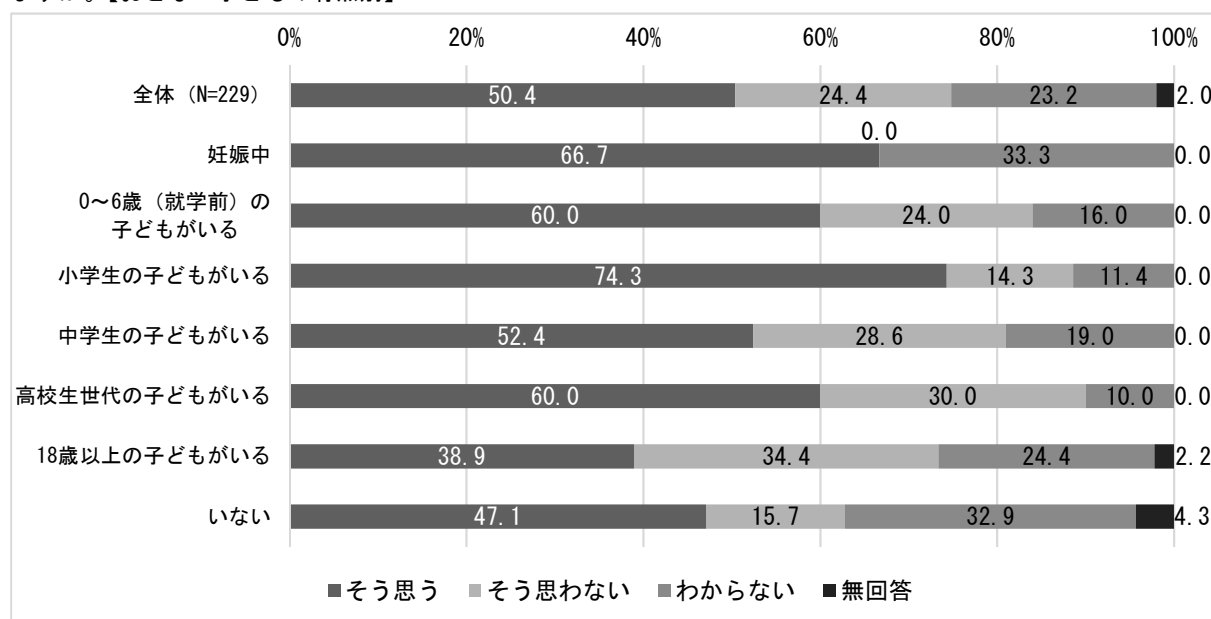
図71 Q36 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。【子ども：世代別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに、子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所があると思うかたずねたところ、「そう思う」と回答した割合は全体で50.4%でした。子どもの有無別にみると、「小学生の子どもがいる」おとなが74.3%と最も高く、次いで「妊娠中」のおとなの66.7%でした。

図72 Q29 子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所があると思いますか。【おとな：子どもの有無別】



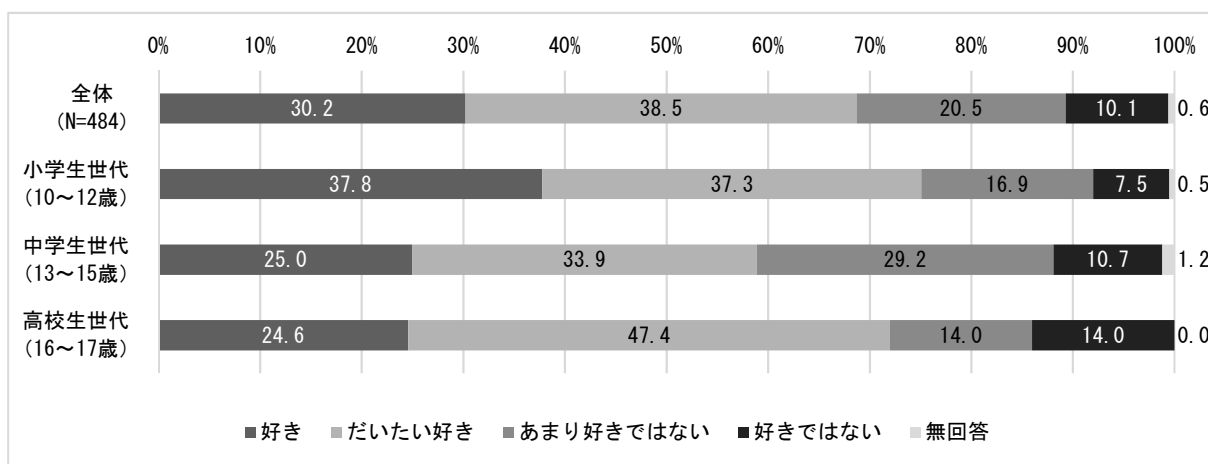
5 あなたの思いについて

(1) 自己に対する評価について

【子ども：世代別】

子どもに、自分が好きかをたずねたところ、子ども全体で「好き」、「だいたい好き」と回答した割合は合わせて68.7%でした。世代別にみると、小学生世代が75.1%と最も高くなりました。

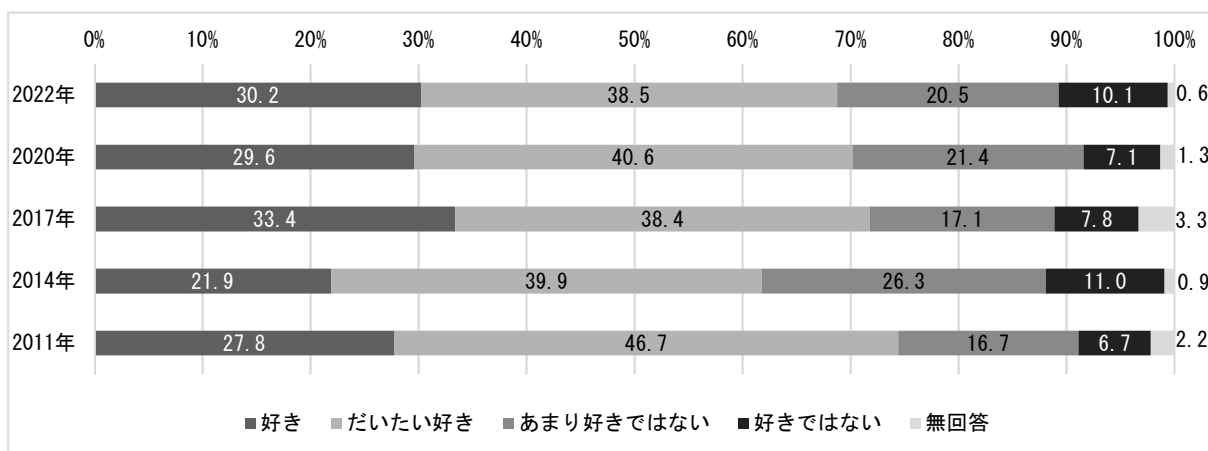
図73 Q37 あなたは、自分が好きですか。【子ども：世代別】



【子ども：経年比較】

「好き」、「だいたい好き」と回答した割合は、前回調査が70.2%だったのに対し、今回調査では68.7%と減少しました。

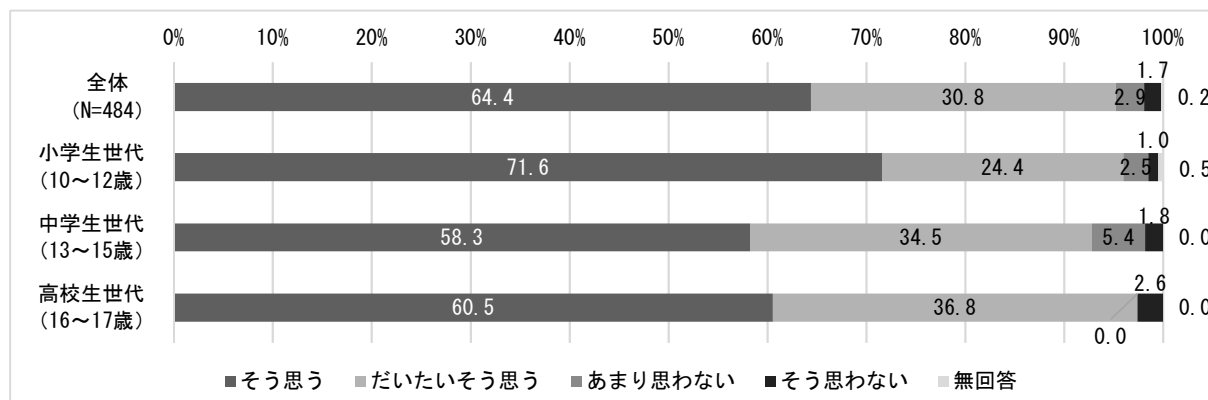
図74 Q37 あなたは、自分が好きですか。【子ども：経年比較】



【子ども：世代別】

子どもに、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じるかをたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて95.2%でした。世代別にみると、小学生世代が96.0%と最も高くなりました。

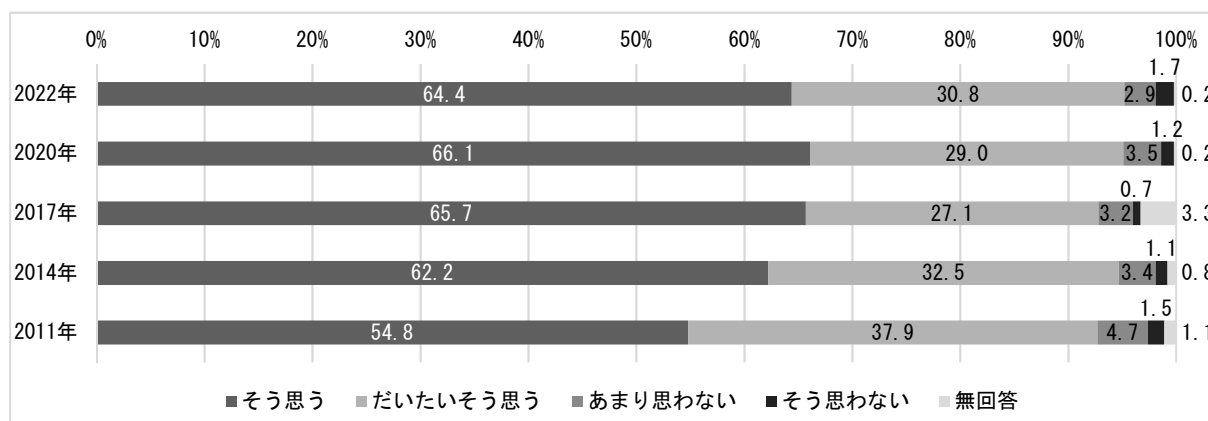
図 75 Q38 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども：世代別】



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は、前回調査が95.1%だったのに対し、今回調査では95.2%とほぼ同じ割合でした。

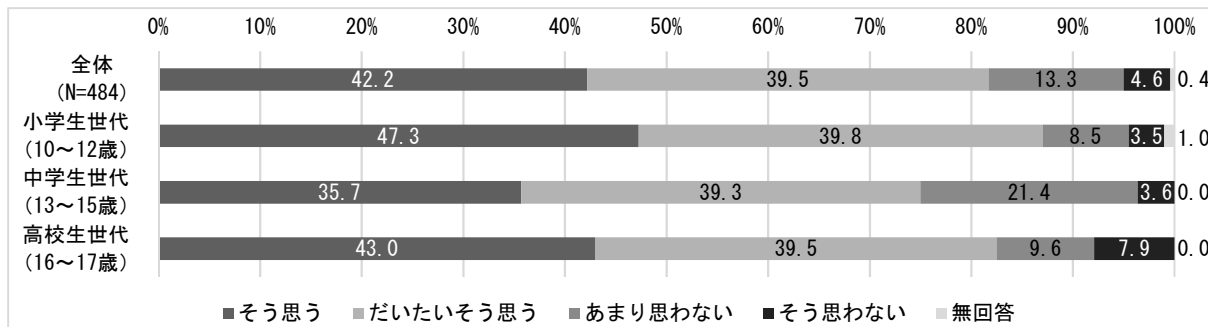
図 76 Q38 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども：経年比較】



【子ども：世代別】

子どもに、自分は友だちにとって大切だと思うかたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて81.7%でした。世代別にみると、小学生世代が87.1%と最も高くなりました。(図はP. 46 図 77 を参照)

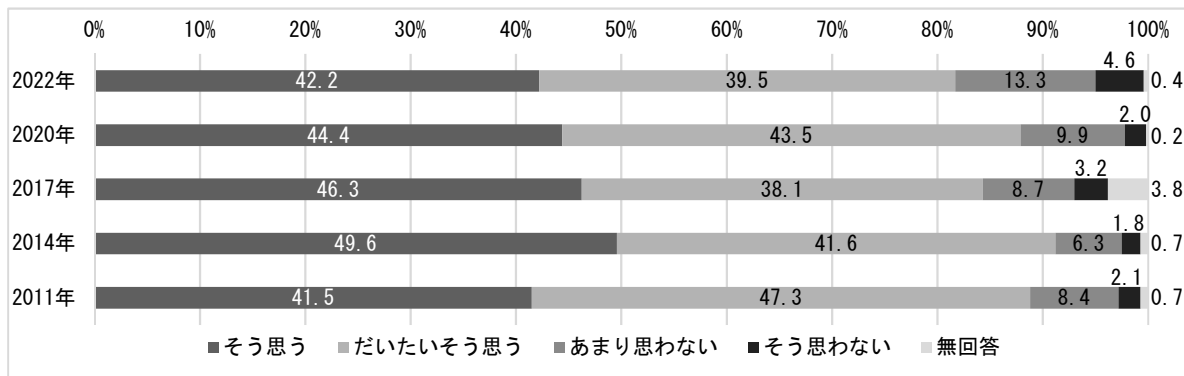
図 77 Q39 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：世代別】



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は、前回調査が 87.9%だったのに対し、今回調査では 81.7%と減少しました。

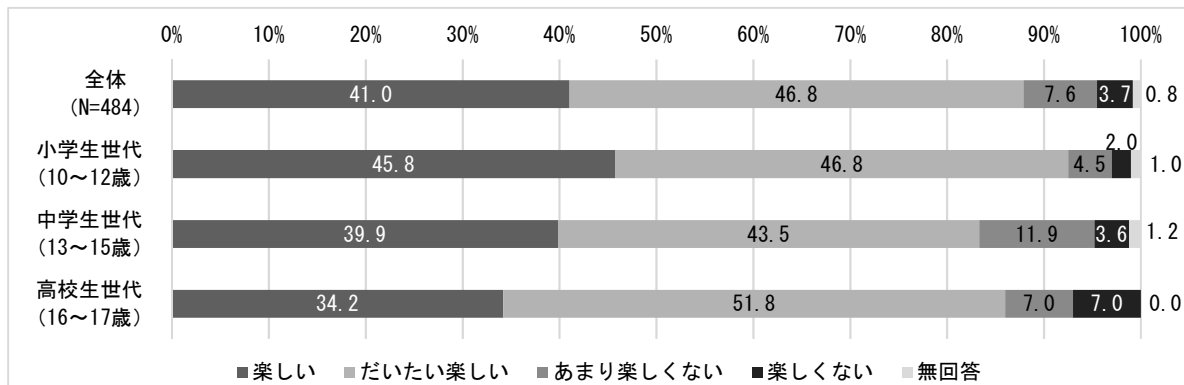
図 78 Q39 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：経年比較】



【子ども：世代別】

子どもに、毎日が楽しいかたずねたところ、子ども全体で「楽しい」、「だいたい楽しい」と回答した割合は合わせて 87.8%でした。世代別にみると、小学生世代が 92.6%と最も高く、続いて高校生世代が 86.0%、中学生世代が 83.4%でした。

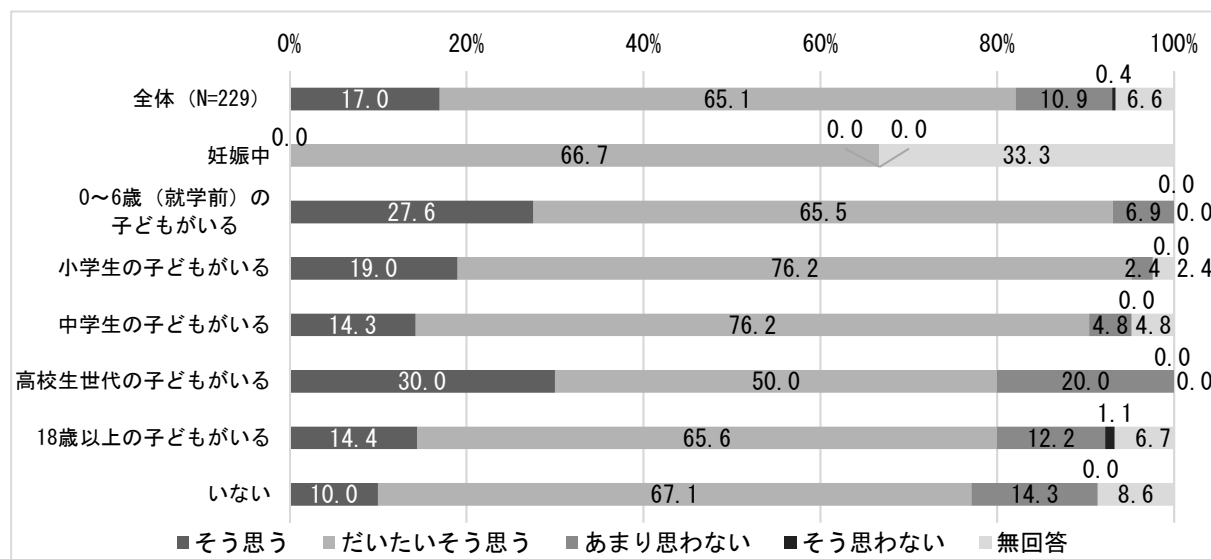
図 79 Q40 あなたは、毎日が楽しいですか。【子ども：世代別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに、子どもは、毎日が楽しいと感じていると思うかをたずねたところ、おとな全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて82.1%でした。子どもの有無別にみると、小学生の子どもがいるおとなの回答が95.2%と最も高く、続いて0～6歳（就学前）の子どもがいるおとなが93.1%、中学生の子どもがいるおとなが90.5%となりました。

図 80 Q33 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。【おとな：子どもの有無別】



(2) 安心して生きていくために大切だと思うこと

【子ども、おとな、職員】

子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思うか、自由に書いてもらった内容については、子ども P. 76～参照、おとな P. 99～参照、職員 P. 129～参照。

【職員】

職員に、あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できる子どもの権利を保障していくうえで、課題と感じていることを具体的に書いてもらった内容については、P. 125 参照。

(3) コロナ禍の生活について

【子ども、おとな】

新型コロナウイルス感染症によって、自身の生活（家・学校・職場・地域）の中で、悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを自由に書いてもらった内容については、子ども P. 78～参照、おとな P. 101～参照。

【職員】

新型コロナウイルス感染症によって職場の中で子どもに対する際に悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを書いてもらった内容については、P. 131～参照。

I 単純集計表

1 単純集計表（こども）

I 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 知っている	86	17.8%
2 聞いたことはあるが内容はよくわからない	203	41.9%
3 知らない	187	38.6%
無回答	8	1.7%
合計	484	100.0%

Q2 川崎市子どもの権利をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の先生の話	154	53.3%
2 施設の職員の話	11	3.8%
3 親や友だちの話	17	5.9%
4 学校で配布されたパンフレット	173	59.9%
5 川崎市ホームページ	29	10.0%
6 ポスター	60	20.8%
7 ちらし	35	12.1%
8 新聞、テレビなど	25	8.7%
9 その他	11	3.8%

（無回答=4、N値=289）

【その他】

- ・夏に市民館に映画を見に行ったとき、映画の前に流れたビデオを見て（15歳）
- ・塾の先生（12歳）
- ・映像（16歳）
- ・ニュースアプリで（17歳）
- ・総合的な学習（13歳）
- ・川崎市のアート
- ・スポーツに関してネットで調べた際見ました（17歳）
- ・塾のテキスト（11歳）

Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 かわさき子どもの権利の日	139	28.7%
2 川崎市子ども会議	242	50.0%
3 川崎市人権オンブズパーソン	103	21.3%
4 川崎市子どもの権利委員会	47	9.7%
5 子どもの権利に関する行動計画	20	4.1%
6 一つも知らない	141	29.1%

（無回答=18、N値=484）

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか。あてはまるものを最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	190	39.3%
2 ありのままの自分である権利	118	24.4%
3 自分を守り、守られる権利	49	10.1%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	13	2.7%
5 自分で決める権利	40	8.3%
6 参加する権利	20	4.1%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	7	1.4%

（無回答=41、N値=484）

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	33	6.8%
2 ありのままの自分である権利	99	20.5%
3 自分を守り、守られる権利	63	13.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	20	4.1%
5 自分で決める権利	63	13.0%
6 参加する権利	10	2.1%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	18	3.7%

(無回答=178、N 値=484)

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	16	3.3%
2 ありのままの自分である権利	31	6.4%
3 自分を守り、守られる権利	41	8.5%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	27	5.6%
5 自分で決める権利	50	10.3%
6 参加する権利	29	6.0%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	42	8.7%

(無回答=248、N 値=484)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

小学生世代

- ・やっぱり安全に生きていくことが切だと思ったから (他 51 件)
- ・人生で1番大切なのは「生きる」だから (他 6 件)
- ・ないと生きられないから (他 1 件)
- ・人は何もしばられず自由にすごすことが思い出になるから
- ・差別を受けないことや安心
- ・安全に生活をしていけることはこれからの未来にもつながることだと思うので大切だと思います (他 23 件)
- ・事件などが発生しないため
- ・愛情と理解をもっと育てられることで、子供も安心して過ごせるから (他 4 件)
- ・心配しようだから
- ・親から大切にされると、友だちを大切にできるから
- ・子どもから大人になったとき回りに助けがないと困るから
- ・自分の家が好きだから
- ・自分の意見は大切だから
- ・子どもが子供らしくいられることは大切だと思うからです

中学生世代

- ・愛情と理解を感じられてはじめて、成長できると思うから
- ・安心・安全に生きることは命にもつながるから
- ・子どもが自分らしくあるためには環境が大切だと思うから
- ・川崎市は1番治安の悪い市だから
- ・安心して暮らすことができるというのは生きていく上で大切だと思う
- ・差別を受けていたら安心して生活できないから
- ・未成年でまだ何も一人でできないから
- ・私は家にいるとき安心して生きられなかったので、自分が殺されるかもと怖がることなく生活できる場所はあるほしいと思います
- ・子供のころから、ストレスのない生活を送ることで、立派な大人になると思うから
- ・そのように育てられなかった場合、人を信用できなくなって引きこもりになって楽しく、幸せな人生が送れなくなるかもしれない
- ・虐待をなくしてほしいから
- ・きちんとした大人になれるから

・最近だと育児放棄などが相次いでいることがあると思います。そんな中で子供達をどうやってやれば安心した生活が送れるのかどうしたら未来に希望が持てるのかなどさまざまある中で生きていかなければならないからです
高校生世代

- ・子どもには愛情と理解は不可欠だと思う（他3件）
- ・優しい気持ちになるからです
- ・子どもは大人が守ってあげないといけないから
- ・安全・安心に過ごせる環境は人間にとって絶対必要だと思うから（他24件）
- ・人がありのままに生きる土台であるから（他3件）
- ・余裕をもつことはいろいろな面で重要だと思ったから
- ・過去で、日本は戦争で負けました。そこから、日本はこれ以上無駄な犠牲者を出さないと近い、そこから現在、日本は安全な国で世界でも信頼されている国です。それを壊しては、過去で学んだことが無意味なので、過去の人々にも申し訳ないと思います
- ・ダメな所で受入れ、肯定されていくことで、自己肯定感が育つと思ったから
- ・理解してくれるのはうれしいことだから
- ・親や先生にとわず子どもが成長していくためには、大人のたいおうやかんきょう作りが必要になる。周りを気にしながらずっと個性も失われていってしまう、と思うからです
- ・精神的安心は世の中をよりよくする原動力となるから
- ・個人の自由が大切だと思った
- ・自己肯定をできる子に育つと思うから
- ・親に守られて生活できる
- ・「生まれてきたい」と思って生まれてきたわけではないのに親から見離されたり、安心して過ごせないのは無責任だと思うから
- ・子供は親に左右されやすいから、模範となるような行動をしなければいけないと思っているから

2 ありのままの自分でいる権利

小学生世代

- ・ありのままの自分でいなければつかれてしまうから（他16件）
- ・自分の人生だから
- ・ホッとできる場所でのしくあそんだりできるから（他4件）
- ・自分をこうかいしてしまうから。
- ・この条例があれば、差別が無くなると思うから（他1件）
- ・外では声を出して話せないから。
- ・休んだりできなかつたら人は壊れるんだと思いました（他1件）
- ・みんなで楽しく遊びたいから
- ・一人一人の個性が大切だからです（他35件）
- ・友だちに気をつかうことなく、遊ぶことができる
- ・子供は親の管理下だからという理由で自分の自由がなくなるのはおかしいから（他2件）
- ・友達と楽しく遊べるから。
- ・子どもの意見をとりいれることは大切だと思うから
- ・クラスでわたしはあまりめだたないんですがじゅくや家だとあかるく話せます。
- ・世の中が平等になるようになってほしいから。
- ・人権がよくニュースとかで出るから
- ・みんなが楽しく生きられるから
- ・他の人との違いを支え合って生きていけるから（他9件）
- ・秘密が守られて、自分が大切だと思うことができるから。これからも大切にしていきたい。

中学生世代

- ・自分が自分らしくいられる場所があるといいと思うし、自分なりに表現して、尊重していくことが大事だと思うからです（他25件）
- ・ほっとできる場所で楽しく遊べるのはよいことだから
- ・体を休ませるのは大事だから（他5件）
- ・自分の気持ちをがまんして伝えないなどあってはならないから（他3件）
- ・子どもも大人にかかわらず大切だと思うから（他8件）
- ・自分にとって大切な場所がある
- ・100人いるなら100人分100個の個性があるのにそれが尊重される人とされない人がいるのはおかしい(他23件)
- ・自分に好きなことを自由にやりたいから（他3件）
- ・プライバシーが守らないと安心できないから（他4件）
- ・人には向き不向きがある。なにかできなくたって他にできることがあると思う。
- ・自分が周りの子と違うところがたくさんあって、周りに合わせなければならない時もあるけど、そのままの自分で、

向き合いたいから。(他 12 件)

高校生世代

- ・自分は何事をするにものんびりしていて、時間がかかるタイプだが、友人や家族がそれを理解してくれて生活を送れている。ありのままの自分である権利は重要だし周りの人の理解が必要だと思ったから (他 14 件)
- ・人に決められるのではなく、自分自身がしたいことをしたほうがいいため
- ・これがないことにはどうにもならない (他 1 件)
- ・生活を行う上で休息というものはとても大切なものであり、それを行うことに対する重要性を感じているから (他 1 件)
- ・愛情等は社会が働きかけなくても家庭によってもらえるところがあるが、個性が大切にされるには社会の空気によってかわるし、自分の意見をいったり自分で決められる「5」か「6」にもつながるから。(他 23 件)
- ・自分のしたい事を思うぞんぶん出来る社会、誰かに言われるままにするのではなく楽しむ社会を望んでいます。(他 3 件)
- ・居場所は大事だから
- ・子供の間は楽しく過ごすことが大事だと思う。
- ・心が落ちつくと思ってるからです。
- ・同調圧力の度が過ぎる事はいけないと思っているから
- ・自分を大切にできるから
- ・自分の存在を認めて欲しいからです。
- ・人と違う所があるからこそ今までにない発想が生まれたり物ができたりすると思うから。(他 7 件)
- ・安心できる場所がなかったり、秘密が守られなければ生きていく気がしないから。(他 1 件)

3 自分を守り、守られる権利

小学生世代

- ・自分を守り、守られるのは、できたほうがよくて、できたほうがあぜん (他 6 件)
- ・自分の意見が尊重されて、自分が考えているように物事が進むと、とてもうれしいし、自分の意見がみんなに伝わるのもうれしいから。(他 5 件)
- ・いじめなどが相談できたりすると安心できると思うから。(他 25 件)
- ・相談したりする所がなかったら自分の命もあぶないから
- ・自分や相手を大切にしたいから。
- ・生きていく中でもっとも大事だと思ったから (他 1 件)
- ・いたいのはいやだから
- ・子供が辛くなった時の逃げ場があればもし虐待をされたとしても心に余裕を持てるから (他 9 件)
- ・小学校のときにクラスメイトに嫌なことをされたことがあるから
- ・相談できたらすけてもらえるし自分の意見が大切にされるから (他 5 件)
- ・もしなにかがあったとき、自分が守られることが大事だから。
- ・7と少しにている気がするけど分かりやすいし国のちがいや障がい差別されるのも守るに入ると思う
- ・自分で自分を守ったりするのは、役に立つから
- ・自分でかかえると、どんどん悪い方向へ向かってしまうから
- ・人からいじめられたり、体罰されたりしたままでは、よくないし、相談しないと解決できないこともあるからです。(他 1 件)
- ・守ったり、守られたりすることで安心感が得られるし、他の権利にもつながっていると思ったから

中学生世代

- ・皆が安心して学校にいけるようにするべきだから。
- ・命に関わる場合もあるから (他 1 件)
- ・どんなに幼くても一人の意見として尊重すべきだから。(他 6 件)
- ・いじめや虐待などが問題になっていると思うので、大事だと思った。(他 13 件)
- ・自分を守り、自愛していることは一番大切です。人生の基準です。
- ・こわいから
- ・いじめや虐待はあってはならないもので、自分を大切にすることなどにも繋がると思う (他 6 件)
- ・自分もつらいことがあったときに、それを相談することで、楽になれたから。(他 5 件)
- ・逃げてもいいと思えるとそれだけでも心の支えになるから。
- ・男女平等が今社会で言われているのでそこをもっと大切にしたい方いいと思うから。
- ・毎日心身ともに健康に生きることが何よりも大切であると思うから。
- ・個人的な内容をさらして、逮捕される人もいるから。(14 歳)
- ・自分を守れる環境があると (他人に対してもそんな気持ちになれると思うから大切だと思う
- ・これができないから皆困っている
- ・気づかない内に思い悩むことを、解消すべきだから。
- ・ぼうりよく反対
- ・守られないとその人が辛くなってしまふから
- ・ぎゃくたいや体罰は、子どもにとって、いやなことだから。(他 1 件)

高校生世代

- ・必要に応じて守ってもらえることは安心することだから。
- ・7つ全て大切だと思うが、命があることが前提になってくと思うから (他3件)
- ・いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したり出来る。(他4件)
- ・もし辛い思いを経験したとしたら、それは一生の傷となるから。(他1件)
- ・周りにどう思われ見えていても自分が嫌ならそれは問題だと助けをもとめ、助けてもらった方がよい。相談だけでも変ることもあると思うからです。(他5件)
- ・個人の自由が大切だと思った
- ・他者に身体的自由や精神の自由を奪う権利はないから
- ・川崎市は川崎駅の方面を中心にそこの悪いイメージがついているのがじじつです。家庭中の環境をととのえることで一人一人がゆたかにすごせるのでは。
- ・人権で保証されてる以上、行政が守る必要があると思うから
- ・子どもは弱い存在であるからこそ、守られるべきであると思うから。
- ・いじめ・虐待・体罰はあってはならないと思うから。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

小学生世代

- ・子どもはお友達や人と遊んで学ぶこともあるので4番にしました。あと、自分に自信を持つことは非常に大事なことでなので勇気づけてあげたいです!! 4番の内容は現代の子どもたちにとって一番大事な事だと思います!! SNS 社会で人との関わりが軽薄になりつつあるのでやはりお友達や人の関わりで学ぶことはもっとも大切だと思います。(他14件)
- ・将来のためや、子どもの楽しいという気持ちのためにも、学んだり遊んだりということは必要 (他1件)
- ・ひていることはよくないから
- ・人と人の関係を保つ中で大切なことが書いてあるから
- ・勉強だけでは学べないことがあるから (他1件)

中学生世代

- ・いろんな意見が言えたりすれば考える力がつくと思うから
- ・励まされるのは大切だと思うから (他4件)
- ・成長と自信は大人になったとき、かけがえのないものになると思うから (他3件)
- ・自分を成長させられるきかいを1つ1つ大切にされないとこの個性だって伸びないしそこからの可能性もあるから
- ・成長することは大切なことだと思います。ずーっと立ち止まっていたら豊かな人生をおくれられない。前に進む力をつけていくことが大切だと思うからです。
- ・自信がもともとあるなんて人はこの世には滅多に居ない。ほとんどが何かを懸命に取り組んで達成感や賞賛を得た時に積み重なるものであろう。それを経験しなければ、あるいは挫折感や非難を多く受ければ自信はなくなり、劣等感へと繋がります。これは精神が健康であるためには非常に重要なものであり、これが保障されなければ生きていくこと自体が苦となり、自暴自棄な考えに繋がると思います。
- ・学業や、運動に大きな影響を与えるから、応援は大事。
- ・やりたい時にやるのが大切と思う

高校生世代

- ・励まされるとそれが自信となり前へ進むことができるから (他3件)
- ・自分の成長のために必要だから (他5件)
- ・自分のやりたいことは率先してやるべきだ
- ・自分を高め、視野を広げるために必要。
- ・やりたい人がやりたいことをやれるというのは大切
- ・グローバルな社会において活躍するには、4のような環境で生活するのが良いのではないと思うから。そのような環境が守られれば良いと思う。
- ・人間かん係や友達とのつきあいがうまくできることに安心する(17歳)
- ・日本において協調性は大事だから。
- ・勉強することは大切だから。

5 自分で決める権利

小学生世代

- ・自分の気持ちややりたいことを尊重できて考えてもらえるから。(他2件)
- ・自分で自分のことを決められるのは大事だから。(他11件)
- ・人よりも自分で決めたほうが、やる気や自信になるから (他10件)
- ・自分のことを自分で決められないと、不自由だから。(他9件)
- ・自分が大人になっても自分の考えをつたえられるようになるから (他2件)
- ・何もかも自分ではなくちがう人に決めさせるわけではなく、ちゃんと自分が「これがいい」と思うことが大切。もしくは、自分では、決められないことがあったなら、大人にたよる。(他2件)

- ・先生に言われてやるより自分で行動するほうがいいから
- ・そもそも憲法では自己決定権が認められており、子供には適応されないなどの事だとあまりにも理不尽極まりないから。
- ・2番とおなじで一人のいけんを大切にしている所。
- ・自分のことを好きに決められないと生活にふまんを感じるから。
- ・自分の事を自分で決める決断力が自分には足りないから。(他1件)
- ・自分で考えて決める事ができる歳になってきたと思うから。
- ・他人に全部決められてもつまらないと思ったから。(他6件)
- ・人にすべて決められるのは、辛いし・大変だから。(他3件)

中学生世代

- ・自分のことを自分で決めることで、自分を理解することができるから。(他5件)
- ・親などが全て決めるのではなくて、一人の人として物事を決める事は大事だと思う。
- ・当たり前自分のことは自分で決めているけど、実は大事だと思う。(他11件)
- ・自分のことを自分で決めることは責任感を重じている。(他1件)
- ・誰でも大人に強制されることなく自由に生きれることを保障されているから。他1件)
- ・自分なりの目標や自分の進路を見つけるうえでとても大事な事だと思ったから。自分の行きたい学校を自分の将来の夢で、様々な人からサポートしてもらいながら目指せるから。(他5件)
- ・自分のことを決めるときに、周りの人に助けられたことがあるから(他3件)
- ・逃げることも戦うことも食べることは生きること死ぬこと、全部自分が決めることだと思うから。
- ・自分の意見の拒否権は他人にはないから
- ・自分で決めたい事が沢山あるから。
- ・なんやかんやで自分の考え方があっても実践したことは少ないから
- ・自分が賛成できない意見に従いたくないから。
- ・自分で決められないとなると、何もできなくなるから。
- ・だれもが様々な意見を言ってほしいから
- ・自分で決められなかったら、1人ぼっちになるから
- ・中学2年生だから、自分のことは自分で決めることが多いから。
- ・大人に色々言われず自分で物事を決め行動するのは大事だと思う。

高校生世代

- ・責任を感じて何を決定するということを学べると思うから(他4件)
- ・自由権・自己決定権は尊重されるべきだと思うから(他6件)
- ・子どもであっても幾らかの責任を伴う自己決定権があるべきだが、そこには適切な情報提供が不可欠であるから。
- ・自分のしたい事、やりたい事を自分で決められることは大切だから
- ・自分の将来だから自分でしたいようにできるべき(他3件)
- ・自分の進路を決めるとき親の提案をききながら最後は自分で決めて今満足しているから(他5件)
- ・理由は、迷わず自分の意見を言えないとまず相手に言いたいことを伝えられないから
- ・選択肢があるのに自分で決められない、そもそもで強制的なのはある意味虐待だと思うから。
- ・自分の意志を尊重し、周りに振り回されないことが大切だと思うから。
- ・自主性、(他人事になることを減らすことは人類の進歩に於て大切だから。
- ・学費・給食代など自分にかかるお金を自らはあくできるシステムをつくることで自分で自分を確立し、自かくもてると思うから。
- ・他人に左右されることなく、自分で生きる道を決めたい(他4件)
- ・自分の生活だから

6 参加する権利

小学生世代

- ・子どもの声をより多く聞くことができるから。(他6件)
- ・コミュニケーションをしたり、自分の意見をいうことは大切だから。
- ・差別などがなくみんなが意見を言った方が色々な意見が出せるしその方がいいと思ったから。(他1件)
- ・自分の意見を表現できないと社会で活動することが難しくなるから(他3件)
- ・参加を拒否されたら言われた側は悲しいと思うから。
- ・仲間を作ったほうが人生、楽しいからです(他1件)
- ・自分の意見が言えない人がいるから(他1件)
- ・理由は大人も子供も皆で決めた方が色んな知識が集まって良い意見が出てくると思うからです。
- ・参加する権利は、授業とか、学校の勉強も大切だから。
- ・理由はなにかに参加したりすることで2のようなありのままの自分でいられると思ったから
- ・子どもも参加することで、子どもの意見が聞けるので、川崎市がよりよくなると思うから。(他2件)
- ・表現してくわしく分かってもらおうようにだと思います。

中学生世代

- ・自分の意見を言うのは大切だしそれを認める事も大切。でも正直、仲間のつくるってことが分からない（他6件）
- ・なぜなら参加することは大切だから
- ・他者に制限されないことが必要だと思ったから。
- ・将来的にも僕たちは政治に参加することになると思うので、自分の意見を持つことを今のうちにやっておかないといけないなと思ったから。自分に何が必要かを伝えることで民案が納得するような社会ができるのかなと思ったから。（他2件）
- ・権利だけでなく、子供の参加しようという気持ちも重要だと思う。
- ・自分だけ意見を否定されたり、我慢する必要はない。
- ・自分を表現することで、自分を大切にできると思ったから
- ・子どもの時に自分を表現できていないと、大人になってからも楽しくなれないと思う。
- ・私は自分の意見や気持ちを周りの大人や友達に言うのが苦手です。それでも言いやすいように環境を整えるのが大切だと思います。

高校生世代

- ・意見交流をすることで新しい視点で物事を考えられるから。（他3件）
- ・自己同一性に関与する社会的に重要なことだから。
- ・子供の社会進出は大切なことだから
- ・今の社会を良くしないと自分達の未来の社会も良くならないから
- ・子どもが行動する事はよっぽど悪いことじゃないと止めちゃいけないと思うから。
- ・「子どもだから」と無視されがちだけど子どもも1人の人間だから
- ・ディスカッション・発表は嫌がられてもやるべき。今の社会は自己主張がないと意味ない。
- ・自分の好きなことが出来る。（16歳）
- ・自分の意見を言えるひとは少ないと思う。自分のまわりにもまわりに流される人が多いから

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

小学生世代

- ・子供1人1人苦手なこと、好きなことがちがうから、助けてもらえると安心できる（他7件）
- ・障がいや国せきで差別されない社会をつくるべきだから。（他12件）
- ・助けがなきゃなにかもエスカレートすると思うから。
- ・安心して外国へ行けないから。
- ・今の時代に重視されている多様性を最も大切にしている権利だと思ったから。
- ・自分で決めたい事が沢山あるから。
- ・現代バリアフリーがすすんでいる世の中。人それぞれ違うのに全員平等というのはおかしいと思う
- ・みんな同じ人間で、よしなどが違っても平等にあつかわれるから（他1件）

中学生世代

- ・私は教室で授業を受けることが苦手です。私にとって個人の必要に応じての支援はとても助かるなと思います。自分に合った方法で授業を受けることができればもっと受けやすくなると思うからです。（他3件）
- ・差別は良くなって、社会に参加し交流していくことが大切だと思いました。（他8件）
- ・将来の中で楽しくいけることができる ・他人との格差が生じにくい（他1件）
- ・今、ウクライナの子供たちが日本に来て何もしてもらえなく何もできないのは違うと思うから。だから、ウクライナの子供たち以外にも同じことが言えると思う。
- ・障害を持ち生まれてきた人は、障害がなければみんなと変わらない普通の人間です。なので障害を持っているだけで普通の人とは、違う対応をされてしまうなどと言ったとがあるのは、おかしいです。なのでこの権利は、大切だと思います。
- ・障害や国の違いによるハンディキャップを認め、配慮することは生きやすい社会を作ることにつながると思うから。
- ・じぶんをくるしんでいるものや大変なことだから少しでも解放されるかもしれないから
- ・今、自分の学校にそのような子がいて助け合うことでとても楽しく、安心して暮らせるから
- ・障害を持っている人も安心して暮らせる社会になってほしいから。

高校生世代

- ・みんな豊かに生活をする必要があるため
- ・個性に応じた生き方があるから
- ・全ての子どもは平等なのに差別があるのはおかしい。みんなが楽しく生活できるように支援をしたほうがいい（他5件）
- ・川崎駅でデモをやっている外国人をみたから
- ・みんなが平等に生活するべきだと思うから
- ・違いがあるのは、あたりまえだけれどその人にとっていきにくい環境であるなら生きやすく暮しやすい場所を作っていく、また人との交流で人の違いを理解していく
- ・助けを待っている子供がいるかもしれないから
- ・SNSが身近にあるこの時代で、ネットにある他人の意見を信じてしまうことが多いけど、それって無意識に差

別になってしまっている意見も多いと思ったから、無意識に起きてしまった差別で傷ついてしまった人を助ける権利は大切だと思ったから

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	26	5.4%
2 ありのままの自分である権利	31	6.4%
3 自分を守り、守られる権利	58	12.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	10	2.1%
5 自分で決める権利	18	3.7%
6 参加する権利	14	2.9%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	23	4.8%

(無回答=304、N値=484)

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	8	1.7%
2 ありのままの自分である権利	13	2.7%
3 自分を守り、守られる権利	10	2.1%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	3	0.6%
5 自分で決める権利	10	2.1%
6 参加する権利	6	1.2%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	9	1.9%

(無回答=425、N値=484)

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	6	1.2%
2 ありのままの自分である権利	4	0.8%
3 自分を守り、守られる権利	5	1.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	4	0.8%
5 自分で決める権利	3	0.6%
6 参加する権利	6	1.2%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	9	1.9%

(無回答=447、N値=484)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

小学生世代

- ・自分のクラスに話しにくい子がいるからみんなさげていることがもんだい。
- ・安心は多分無い
- ・世界には幅広い所で貧困が多く安心した生活がおくれていない
- ・戦争、災害が怖い
- ・日本にも世界にも路上生活をしている子どもがたくさんいるから。
- ・子どもが受情をもって育てられず虐待を受けてしまうから。(他1件)
- ・妹や弟と喧嘩したとき、私だけよく怒られている気がするから。
- ・今でもようしや生活環境の選別されている人がいるから
- ・あれこれやらされているから。
- ・ごく稀にだが、差別を受けている人がいたから
- ・安心して生きられないとストレスがたまってしまうから

- ・最近では自殺のニュースも多いから守られていないと思います

中学生世代

- ・ガードレールが設置されていない通学路(商店街)がある。
- ・安心できないと勉強に専念できないから
- ・虐待を受けている子もいるから (他 4 件)
- ・自分の子供のことを全然理解してない親もいる
- ・今の時代は差別を受けたり、家がなくて安心して暮らせない子供もいるかもしれないから。
- ・差別とか受けちゃダメだ思うし愛情、理解を持ってくれる大人が周りにいればいいなって思った (他 5 件)
- ・自分が辛いと思っていたり些細なことで口に出さない子がいると思ったから。

高校生世代

- ・虐待のニュースをよく耳にするからです。(他 1 件)
- ・ニュースでそういう事件を見る
- ・全てが自分に該当するわけではないが、子供が差別を受けることで 7 つの子どもの権利、全部が守られてないように感じる (他 2 件)
- ・好き嫌いで評価されるという、実質上の差別を公務員である教師に受けたから
- ・実感がない。母子家庭への支えなどは充実しているのでしょうか・・・??
- ・自分の子供であるという自覚が大人には足りていないところがまだあると思う

2 ありのままの自分でいる権利

小学生世代

- ・ありのままですすぎると嫌われるから (他 3 件)
- ・個性を大切にしているにもかかわらず言われてしまう
- ・他の人とのちがいを大切にしてほしいけれど、たまに、大切にしないでその人をいじめてしまったりしているのをよく見かけるからです。(他 3 件)

中学生世代

- ・親に縛られ親が怖くてありのままの自分に等なれなかった。そんな家庭はたくさんあると思います。実っさい私がそうです。今は平気ですが、家族とはなんでしょう。
- ・今の私がありのままにいられていないから (他 3 件)
- ・いじめがなくなるから。
- ・校則だったりでありのままにいられないから。
- ・どこにあるのかわかんないから。
- ・制限(校則など)のせいで自分がしたいことをできていないから。
- ・ボールを使えない
- ・からかったりするの好きな人が自分の秘密をばくろしたり、うそをついてそれが広まっていることがあると思うから。
- ・大人は未だに本来あるべき型を持っているように思えます。みんなと同じ、できることが当たり前として捉えられていることが多いように感じます。だから、できることではなくできないことに目がいき、非難をする。打開策を持ち出すわけでもなく、否定する人がこの世には存在します。このような考えが広まれば、子供はより自由に発想できるようになると思います。
- ・性のことについての理解が浅いと思い、ありのままにいけない (他 1 件)
- ・結局個性があるから嫌われるし理解されないし、体や心に負担かけられるのが現状。実際に安心は出来てない。(他 8 件)

高校生世代

- ・髪の色が元々明るい子が、黒髪にすることを強要されていた。
- ・集団生活を毎日している状況でありのままの自分を出すのがそもそも難しいと思ったから
- ・権利があるとしても、少なからずいじめはあると思うから
- ・小学校のたてわり制で運動しなくてはいけなかったところ、とべないなわとびを多くの生徒の前でせめなければならないことがトラウマ
- ・これは大人が解決できる事じゃないような気がする。子どもたちの間で守られない事が多い。もちろん先生が認めてくれないこともある
- ・全てが自分に該当するわけではないが、子供が差別を受けることで 7 つの子どもの権利、全部が守られてないように感じる
- ・自由に遊べるような場所が減っている
- ・公園での球技禁止が多く不自由が多い
- ・今の日本ではそれに対しての差別を感じるから。LGBTとか…
- ・学校現場で周りとは違くと笑われたり、はぶかれてしまう人がたくさんいる。
- ・違いや個性が差別になってることがほとんどだと思うし、現に今それで困っている人は少なくないと思う (他 2 件)

3 自分を守り、守られる権利

小学生世代

- ・今でもいじめの話を引きから (他 2 件)
- ・いじめ、虐待、体罰にはあまり表でないため
- ・生徒の自殺があるのはこの環境がととのっていないからだと思う (他 1 件)
- ・いじめの対応として、それがいかに相手を傷つけ苦しめるかをあまり指導していない気がするから。(他 1 件)
- ・みんなの意見を聞かずに物事を進めようとするときがあるため
- ・子どもなので大人の人などに相談できないと思うし、かかえこんでしまう子たちの方が多いと思うからです (他 1 件)
- ・ニュースなどでたびたび子どもの虐待の話題を聞くから。(他 3 件)
- ・虐待とか体罰よくきいたりするから (他 1 件)

中学生世代

- ・それによって傷つき命を落とす人が多いから。
- ・いじめや体罰はニュースでもよく見るから (他 10 件)
- ・学校でいじめや体罰が行われているから。(他 4 件)
- ・親からの虐待です。今はしせつにしているので平気ですが、虐待をなくすにはどうすればいいんでしょうか。今も母が怖いです。
- ・いじめ、虐待、体罰なんてまともに受けてる奴だからこそ相談なんてできるはずがない
- ・どこでも、いじめや差別はたくさんあり、なかなかやめられていない、少し間違えたり、違ったりするだけで、他の人から視線があったりする。直せないものなののでしょうか…
- ・ひどく思い悩んでいる人は、電話をかける勇気がでない。→学校(先生以外)が対応
- ・ニュースなどで子供に食べ物をたべさせなかったりぼうりよくを受けたりなどのぎゃくたいがあったから。(他 2 件)

高校生世代

- ・いじめなどからののがれたり、相談したりできてないから
- ・いじめられている子が果たして自分の意見をもてるのか?と思った。
- ・一番見えてないから。
- ・守られているところもあると思いますが、やはりそのような立場にある子どもが相談をするには、勇気があることだと思うし、周りの人たちが気づくのも難しいのかなと思いました。それでも 1 人でも多くの子ども達が守られたらいいなと思いました。
- ・自分が守られてないと思うことが少しあった。
- ・自分の悩みを打ち明けれる場というのが限られていると思うから。
- ・子供にいくら言っても改善されないことがある。親にも言ってやらないと減らないと考えるため
- ・「避難場所」はあっても、その状態に気づいてあげる環境がないから。(他 1 件)
- ・いじめた方に対する処罰と、その子(いじめた方)へのその後の心のケア・サポートもいじめられた方と同じくらい必要。いじめは心のまずしさから発生するから。(他 1 件)
- ・親や先生も知らないところでの小さくてもいじめなどはあると思う。(他 5 件)
- ・いじめや虐待などがまだ行われていて子供を守れていないから

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

小学生世代

- ・励まされたことはない (他 1 件)
- ・自信がないから

中学生世代

- ・遊べる場所が少なくなっている。ボール遊びやスケートが禁止の公園や、静かに遊ばなければいけないところが多い。また、学校の部活でも声出しをしていたらご近所の住民からクレームが入っていた。確かに近隣の住民の生活も保証されるべきだとは思いますが、近隣に住んでる以上、ある程度理解して欲しい (他 1 件)
- ・はげまされることはないが、この権利は子どもの気持ちのもちようによってはいらぬ権利だと思う
- ・成長や、自信は見えにくいから。(他 1 件)

高校生世代

- ・罵られたり自由に遊んだり学んだりできない人がいる
- ・そもそも遊べる環境が少ない。都市化が進んであらゆる商業施設やマンションが建ち並ぶ中、子どもを励ます以前に、成長する場所が減っていると思う。十分に走り回れて、ボールが使える公園などが必要だと思う。
- ・励まされ、力づけられているってあまり思わないから
- ・学校などが成長のじゃまになるところがあるから
- ・コロナ禍に入って活動の場が減った。また、なかなかできないことが多い
- ・守られていないというか、その権利があることに気づかないくらい、実感が無い。
- ・不当な成績をつけられたことがあるから (他 1 件)

5 自分で決める権利

小学生世代

- ・学校で自分の意見を持ってない人が多い
- ・親や、先生などに、決められていると思う。
- ・友人が友人の親の言うことに従う環境にあるから。
- ・自分で決めたりしてもそのつぎにまたかかって決められてしまうからです。
- ・自分で決める権利はない（他1件）
- ・授業中で異口同音してる人があるから

中学生世代

- ・小学校などでは、やることを指定される場合が多い
- ・必要に情報がどこから、どう得られるか
- ・自分が進みたい進路があっても家庭の事情や親の意見で進めないことがなかにはあると思うから。
- ・「大人の助けを受ける」が、ときに「大人が子どもをコントロールする」ことになっていると感じるから。（他2件）
- ・自分のことを自分で決められない。学校は理不尽な校則だけだし「子供」ってだけなのに。
- ・物事を決めるときに、子供だからと言う理由で決めたいことを決められないことがあるから
- ・正直、今周りにいる大人の助けとか必要だとは思ってないけど、私が生きてきた中で自分で自分の事を決めることが少ない。面倒なことだけ自分で決めさせられてるなーって思ってます

高校生世代

- ・親にしばられている気がするため
- ・大人に相談してもちゃんと解決してくれない
- ・自分で決めるといっても金銭的なことやその自分が決めたことによって発生した問題に対する責任は保護者がとるので、保護者の意見を十分に取り入れなければならない。意見が対立すると調整が困難なこともあると思う。（他2件）
- ・自分のことを自分で決めると選たく扱が少なく（他3件）
- ・多くの悩みをかかえているのに、援助を受けていない子どもを多く見かけるから。

6 参加する権利

小学生世代

- ・社会で活動したり、参加することを学校であまりやらないから
- ・自分の考えを持っていても発表、交流する場があまり無いからです。（他1件）
- ・クラスの男子Tくんは、私の友だちAちゃんにだけはつめたいから。
- ・学校で、いけんをてっていきにひていされたら、（他の場所でも仲間はずれにされる人がある（他1件）
- ・自分の意見を言ったりするのは大切なことだけれども、自分で言いにくかったり、表現しづらかったりする時があるからです。（他1件）

中学生世代

- ・（特に市の政治への参加）子ども会議などで守られてきているが、小中学校で市の政策などに対するアンケートを取るなど、より多くの子どもの意見が反映されるようにしてほしい。
- ・その環境ができてない（他2件）
- ・現実的に仲間をつくって社会で活動できると思わないから。
- ・自分の意見を言っただけなのに差別などを受けている人がある。（他2件）
- ・スマホやパソコンがあるから、自分の意見がいえなくなっている人はいると思うから。（他1件）

高校生世代

- ・社会で今の子供たちが活動しにくい世の中だから（他2件）
- ・子どもが先生に意見を言うてはいけないという空気がある。
- ・全てが自分に該当するわけではないが、子供が差別を受けることで7つの子どもの権利、全部が守られてないように感じる
- ・権利には不断の努力が必要だけど、その努力の仕方が難しくて方法がわからない人が多く、有件）無実化してしまっているから。
- ・守るとは違うかもしれないけど、自分の意見を持っていても、行動にうつす子供が少ないと思う。
- ・自分を表現したりするのがにがてとする子もいるから

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

小学生世代

- ・ボールあそびできる公園が少ない
- ・差別やいじめがなくなっていないから
- ・自分と違う人には、いじめはしないとしてもさけてしまい、交流のきかいをへらしてしまっていることがうると感じたから
- ・たぶんまだちょっと差別されている人もいると思うし、一人一人に合わせて助けられていないかなと思ったからです。（他11件）

- ・ 状況に応じての支援が受けられていない。
- ・ ようちえんに入れないことがあった
- ・ 不自由な方への理解をもっと、深めた方がいいと思う。「障害者」というのはよくないし、そのところへの理解が浅いと感じたから。

中学生世代

- ・ 障害を持っている人や、他国の人を差別してしまいのは、だめという意識を持っていても人は、誰しも同じ考えになるとは、限りません。自分とは、少し違うものなどがあるだけで「なんか嫌だ」と思ってしまう人もいますからです。(他4件)
- ・ 細かくみると本当に欲しい人に届いてないから (他3件)
- ・ 事例がまだたくさん残っているから。

高校生世代

- ・ 小学校とかでも障がいのある子に対する視線が少し気になる。
- ・ 中学校の時、明かに障がいのある子に対して先生が集団行動や座ってられないことをきつく叱りつけていた。もっとその子にあった学校の過ごし方があると感じた。(他4件)
- ・ 国が支援をあまりしないから
- ・ その子供に合わせてと言うが子供の特徴にしか合わせてない気がする (他1件)

II 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 いる	436	90.1%
2 いない	44	9.1%
無回答	4	0.8%
合計	484	100.0%

Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

	件数	%
1 学校の勉強・宿題	243	50.2%
2 学校の規則	85	17.6%
3 クラブ活動・部活動	98	20.2%
4 児童会・生徒会活動	8	1.7%
5 塾の勉強・宿題	97	20.0%
6 おけいこ・習いごと	51	10.5%
7 住んでいる地域のスポーツ活動	3	0.6%
8 親・保護者との関係	54	11.2%
9 兄弟姉妹との関係	36	7.4%
10 祖父母との関係	6	1.2%
11 先生との関係	34	7.0%
12 友だちや先輩との関係	98	20.2%
13 アルバイト・仕事先の間関係	9	1.9%
14 彼氏・彼女との関係	11	2.3%
15 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の間関係	17	3.5%
16 受験・進路	185	38.2%
17 性のこと	23	4.8%
18 自分の身体のこと	48	9.9%
19 家のお金のこと	40	8.3%
20 家事(家の手伝いや家族の世話)	24	5.0%
21 新型コロナウイルス感染症のこと	94	19.4%
22 その他	22	4.5%
23 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない	65	13.4%

【その他】

- ・ 子供(同学年)の考え方がたまにいやになるほど、あほらしいことがある。(11歳)
- ・ いじめのことについて。(11歳)
- ・ 学校でのクラスメートとの関係(15歳)
- ・ 周りの子との違い(14歳)
- ・ 人間関係:友達が自分に合わない、我慢してばかり(13歳) ・ 周りの考え方(13歳)
- ・ 子供達は一緒に遊びと言ったら、ほぼ携帯やゲーム(13歳)
- ・ バスケットの練習ができる場所がない
- ・ 公立の高校の先生が使い物にならない(17歳)
- ・ 顧問が理不尽に怒る(16歳)
- ・ 意味もなく学校に行かされるこの世のシステムに疲れている(16歳)
- ・ 少子高齢化社会の中で将来良い生活ができるとは思えない(17歳)
- ・ ウクライナ侵攻・南海トラフ巨大地震・超大型大台(12歳)
- ・ SDGsを周りの人にもっとやってほしい。(11歳)
- ・ はだかきたないこと、毛が気になります。(うで、足の)(11歳)
- ・ 自己嫌悪感が強いこと(15歳)
- ・ おこずかいが少ない(すぐ使っちゃう)(11歳)

(無回答=15、N値=484)

Q7 あなたは、家で過ごしているときに、自分の気持ちを大人に話すことができますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 できている	183	37.8%
2 だいたいできている	231	47.7%
3 ほとんどできていない	49	10.1%
4 できていない	21	4.3%
無回答	0	0.0%
合計	484	100.0%

Q8 Q7において「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。そのりゆうは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

	件数	%
1 おとなが話を聞いてくれないから	7	10.0%
2 どのように話してよいかわからないから	24	34.3%
3 おとなと話をする時間がないから	6	8.6%
4 話したいと思うことがないから	26	37.1%
5 その他	22	31.4%

(無回答=4、N値=70)

【その他】

- ・言ったとしても自分が欲しい言葉がこないから(13歳)
- ・親に変に心配をさせたくないから(15歳)
- ・聞いてくれたとしてもまともな返答ない(13歳)
- ・話しても、行動を起こしてくれないから。(11歳)
- ・おとなの態度が常に威圧的で話し出しづらいから(16歳)
- ・自分の話をきいてくれなかった。(11歳)
- ・親のことは信じているが、話した所でなんにも変わらないから。(13歳)
- ・話そうとおもっても「どうせわかってくれないから言わない」が先に来るから(10歳)
- ・家の大人は怖くてそうなんなんでできない。信用してない。(13歳)
- ・欲しい返しが返ってこないから(16歳)
- ・話して心配されたくないから(12歳)
- ・人に期待していないから(17歳)
- ・否定されそうだから(12歳)
- ・話したら怒られそうだから(14歳)
- ・おとなに話をしたくないから。(13歳)
- ・話すことがない(11歳)
- ・不満がないから(10歳)
- ・必要と感じていないから(16歳)
- ・話を理解してくれない事があるから(12歳)
- ・大人をこまらせたくないから(11歳)

Q9 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 聞いている	252	52.1%
2 だいたい聞いている	195	40.3%
3 ほとんど聞いていない	24	5.0%
4 聞いていない	4	0.8%
無回答	9	1.9%
合計	484	100.0%

Q10 Q9において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。(〇は1つ)

	件数	%
1 実現されている	114	25.5%
2 だいたい実現されている	272	60.9%
3 ほとんど実現されていない	53	11.9%
4 実現されていない	1	0.2%
無回答	7	1.6%
合計	447	100.0%

Q11 Q10において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることは何ですか。

小学生世代

- ・「受験をしたい」と言ったら、「やってみたら？」と言ってくれたこと。(他1件)
- ・大会を最後まで全力で応援してくれる。
- ・部活動をやりたくないと言ったこと
- ・学校に行かなくていいといってくれたこと。
- ・授業を受けたくないと言ったら休ませてくれた。
- ・学校の夏休みの宿題
- ・いじめがなくなり楽しくなったことです
- ・習い事でやりたいことを言うと実現した。(他14件)
- ・習い事やプレゼント、ごはんのメニュー
- ・習い事をやめたいと相談したら、やめることを許可してくれた。(他1件)
- ・ごはんを何たべるか、食べたいものを聞いてくれるから。(他13件)
- ・私のいけんをしっかりきいてくれて、りょうさきなどをきめてくれたこと (他28件)
- ・友達と遊ぶこと (他2件)
- ・お買い物に行きたいと言ったらお買い物に行ってくれた
- ・スマホをかってくれたこと
- ・ゲームを買ってくれたこと (他2件)
- ・席を変えてもらった
- ・欲しいと思ったものを買ってもらったこと (他20件)
- ・おこづかいの制度を変えてもらった事 (他4件)
- ・やってみようと思って実現している
- ・ゲームの時間を長くしてほしいが実現されて印象に残っている。(他5件)
- ・ゲームのこと
- ・すきなテレビを見る
- ・家具、部屋の配置
- ・誕生日パーティーの詳細
- ・部屋のかたづけをするときにこうしたいというのが実現されている。
- ・学校でクラスみんながお楽しみ会(集会)をしたいと言ったとき担任の先生は優しいのでその日のうちや、次の日などにお楽しみ会をしてくれる。
- ・自分の自由にできて、うれしいという気持ちが印象に残った。
- ・不安だった事ができるようになった。
- ・実現されたことで、うれしく思っている。
- ・ほとんど全て実現されすぎて一つにしぼれない (他1件)
- ・遊んでほしい時に、遊んでくれる

中学生世代

- ・受験する高校を決めるときに、私の意見を尊重してくれたこと。(他16件)
- ・部活動に入りたいと思った時に希望通りの部活動に入る事ができた。(他4件)
- ・自分が学校に行けない事を理解してくれた。
- ・習い事や部活の決め手 (他6件)
- ・塾に入るか、入らないか相談したときに入りたいという自分の意見が実現されました。(他1件)
- ・疲れたとき、習い事を休みたいと言えば休ませてくれる。
- ・野球観戦
- ・習い事できつかった時、解消法を教えてくれたことです。
- ・大事なことではないが、食事のことなどはしっかり聞いてくれている (他11件)
- ・行きたいところに連れて行ってくれたこと (他8件)
- ・皿、茶わんなどの洗い方
- ・デパートだったりショッピングモールにつれていったこと
- ・祖父母の家に弟と2人で行ったとき・趣味のものを買ってくれたこと。(他2件)
- ・撮り鉄に行く時ダメだと思ったらOKで、撮り鉄に行ったら仲間と会ったこと。
- ・必要性を伝えたらスマホを買ってくれたこと (他1件)
- ・服をかってくれた
- ・PCで作曲したいと言ったら、作曲ソフトをダウンロードしてくれた (他2件)
- ・制服でスカートだけでなくスラックスも買ってもらえたこと
- ・欲しいものがもらえる(ペットなど)(文鳥、ねこ、カブトムシ、金魚) (他1件)
- ・プレゼントを贈ってもらおうとき私の意見を聞いてくれた (他6件)

- ・おこづかい up (他 1 件)
- ・お手伝いをしたら 50 円のお小遣いを貰える制度ができた
- ・おこづかいをくれる (他 1 件)
- ・少しだけ家に帰る時間が遅くなっても良くなった。
- ・家事の当番が変わった
- ・机の配置の決めたこと
- ・勉強しなかったときに勉強してと言ってもらうなど…
- ・引っ越し
- ・自分の部屋がほしいと言ったとき、すぐに計画を立て、実行してくれたこと。(他 1 件)
- ・わがままをきいて、なっとくした上で欲しい物、やりたい事に対して応援してくれる。
- ・自分の意見を話した後にお母さんなどの話を聞くと 2 人ともが納得する方を選んだ時に自分の意見が尊重されました。
- ・意見を聞いてくれること
- ・誕生日パーティーのかざりつけやカード
- ・趣味を認めてくれること
- ・自由にしている
- ・家の中や外でも自分の自由な時間があるから
- ・ありすぎておぼえてない!

高校生世代

- ・高校の進路について、いろいろなアドバイスや、やっていく中でのアイデアを教えてくれ、大きなバックアップをしてくれたので、高校に合格できた。(他 22 件)
- ・学校の部活の活動方針について先生に聞かれた時、どうするか言ったとき
- ・軽音部に入りたいと言ったら親は「良い」と言ってくれたこと
- ・高校で部活を続けて全国大会に出たいと言った時、送り出してくれたこと。
- ・学校に自分のことを理解してもらおうとしてよく電話していた。
- ・学校に行けなくなった時に休ませてくれた
- ・転校させてくれた。
- ・引っ越しの際、子どもが良いと言った部屋を検討したり、習い事の今後の意見を聞いてくれたり、常に子どもを優先に考えてくれている。
- ・外国での学習イベントに参加するにあたって時間・労力・代金などを割いてくれた。
- ・進路・課外かつどう・じゅく・洋服・外出 (他 4 件)
- ・習い事をやめさせてくれた
- ・夕飯のリクエストや、行きたい場所など (他 6 件)
- ・旅行の行き先を決めさせてくれた (他 10 件)
- ・辛いことがあったら解決に向けて動いてくれた。
- ・スマホを買ってもらった (他 1 件)
- ・動画アプリのサブスクに加入したこと。
- ・欲しいものや必要なものがあつた時に買ってくれた (他 4 件)
- ・学習環境の改善
- ・お金の管理であったり、バイトのここの相談 (他 1 件)
- ・家庭内でのハード(家具等)、ソフト(仕組み等)面の問題の解決案など。(他 3 件)
- ・自分のやりたいことをやっていいと許可してくれた (他 1 件)
- ・悩み相談をして、自分がこうしたいと意見を言ったとき素直に認めてくれた
- ・ちょっとした、なにかがたべたいや、なにかやりたいときなど
- ・したいことが叶ったから。
- ・日常的にそんな感じなので特に印象には残っていません。
- ・制限された覚えがない
- ・旅行の行先や、食事内容、自分達の使用する電化製品などほとんどすべて

Q12 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にありますか。(○は 1 つ)

	件数	%
1 ある	245	50.6%
2 だいたいある	165	34.1%
3 ほとんどない	56	11.6%
4 ない	7	1.4%
無回答	11	2.3%
合計	484	100.0%

Q13 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。(〇は1つ)

	件数	%
1 自分の部屋	318	65.7%
2 リビング・居間	279	57.6%
3 お風呂	203	41.9%
4 トイレ	134	27.7%
5 祖父母の家	103	21.3%
6 友だちの家	59	12.2%
7 教室	101	20.9%
8 学校図書館	47	9.7%
9 クラブ、部活動の場所	80	16.5%
10 学習塾	30	6.2%
11 習いごとの教室・スポーツクラブ	27	5.6%
12 地域の図書館・市民館	22	4.5%
13 子ども夢パーク	4	0.8%
14 公園	63	13.0%
15 こども文化センター・わくわくプラザ	25	5.2%
16 アルバイト先・仕事場	0	0.0%
17 遊戯施設(カラオケボックスやゲームセンターなど)・飲食店・コンビニ	56	11.6%
18 その他	21	4.3%
19 特にない	8	1.7%

(無回答=5、N値=484)

【その他】

小学生世代

- ・母の部屋
- ・台所
- ・神社
- ・放課後デイ
- ・しんしつ (他5件)
- ・たたみの部屋 (家の中)
- ・今でひとりで居るとき
- ・電車のいすの一番はじ

中学生世代

- ・寝室 (他1件)
- ・本屋・カフェ
- ・両親の部屋

高校生世代

- ・両親のへや
- ・駅
- ・遊園地
- ・臨海部

Q14 あなたは、おとな(親、先生など)からたたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたり、無視されたりすることがありますか。(〇はひとつ)

	件数	%
1 ある	93	19.2%
2 ない	390	80.6%
無回答	1	0.2%
合計	484	100.0%

Q15 あなたは、生活の中で文化・国籍などのちがひ、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	242	50.0%
2 ときどき思う	192	39.7%
3 ほとんどそう思わない	34	7.0%
4 そう思わない	13	2.7%
無回答	3	0.6%
合計	484	100.0%

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q16 あなたは、困った地悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	371	76.7%
2 したいけどできない	56	11.6%
3 したいと思わない	53	11.0%
無回答	4	0.8%
合計	484	100.0%

【「したいけどできない」理由】

小学生世代

- ・こわいから。
- ・きんちょうする
- ・恥ずかしかったり自分で解決したいとき（他1件）
- ・誰に相談したらよく聞いてくれるのか分からないから
- ・一人の時間がほとんどないから。
- ・なにもしてくれないから
- ・したいけどちっちゃいことでめいわくをかけるかも
- ・相手を困らせてしまうから
- ・不安と嫌なことがありすぎる
- ・普段からあまり人に大切なことを話さないから
- ・むずかしい
- ・どう言えばいいか分からない
- ・そのタイミングがないから。
- ・自分で悩んでいることを人に聞かれないから
- ・相談しても本当にそれであっているかわからない
- ・内容によります。
- ・すっきりしないから

中学生世代

- ・勇気が必要だから
- ・怖い、甘えられない、後悔したくない
- ・する人がいないから。
- ・中々自分から人に話す事ができない（他2件）
- ・しようとしても上手に説明できないから（他3件）
- ・兄弟が多い為
- ・そこまでの仲の人はいないから
- ・誰かにばらされるのが怖いから
- ・友達などの相談相手にめいわくな気がするから
- ・迷惑じゃないかと不安になるから
- ・相談した相手に負担をかけてしまうと思うから
- ・めんどくさいから。
- ・どうすればいいのか

高校生世代

- ・自分なんか頼っちゃいけないと思ってしまう
- ・分からない所がある
- ・家族や先生などには言いにくいことだから
- ・自分の意見を話すのが苦手だから
- ・すぐに相談できる訳じゃなくて何となく隠してしまうから。
- ・最終的には話すことが多い。

【「したいと思わない」理由】

小学生世代

- ・する内容がないこまってない
- ・自分の中の方が気が楽だから。
- ・めんどろ
- ・相手が悲しむかもしれないから
- ・そのだれかにめいわくをかける。
- ・言ったら負けな気がする

中学生世代

- ・自分の中で割りきって考えるようにしている。
- ・自分の中に存在する別の環境で解消している
- ・一人で解決したいから
- ・めんどくさいから
- ・しても解決しないと思うから（他2件）
- ・他人に心配をさせたくないから
- ・相談できる大人がいないから
- ・話を上手く出来る人が少ない。理解をされない。普通に話しててこっちが不快になる。自分も何話していいか特にわかんないんですよね、悩む事とか考えることが多すぎて。
- ・人に話して周りにばれたらいやだから
- ・相談するのが嫌だから。
- ・メリットにつながるとは限らないから

高校生世代

- ・そもそもそこまで大事な悩みがないから（他2件）
- ・分からない所がある
- ・自分で解決する能力も大切だと思うから
- ・大抵のことは自分で解決できるから。（他3件）
- ・めんどくさい
- ・しても意味が無い（他1件）

Q17 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 親	334	78.2%
2 友だちの親	9	2.1%
3 兄弟姉妹	74	17.3%
4 祖父母	56	13.1%
5 友だち	312	73.1%
6 先輩	45	10.5%
7 今の学校の先生	135	31.6%
8 今の学校の保健室の先生	18	4.2%
9 今の学校のクラブ・部活動の先生	22	5.2%
10 卒業した学校の先生	18	4.2%
11 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ	17	4.0%
12 ゆうゆう広場・相談指導学級・通級指導教室の先生	2	0.5%
13 スクールカウンセラー	17	4.0%
14 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の友だち	26	6.1%
15 その他	11	2.6%
16 相談する人がいない	5	1.2%

(無回答=5、N値=427)

【その他】

- ・児童相談所(16歳)
- ・放課後デイの先生(10歳)
- ・しせつの職員(13歳)
- ・通級の先生(11歳)
- ・かわさきチャイルドライン(10歳)
- ・去年と1年生の時の担任の先生(11歳)
- ・じゅくの先生(14歳)
- ・ネットで知り合った大人の女性(15歳)
- ・生きてないもの、ぬいぐるみなど(15歳)
- ・相談せず自分で考えることもある(16歳)

Q18 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関(相談を受けてくれるところ)を知っていますか。(知っているすべてに○)

	件数	%
1 保健福祉センター(地域みまもり支援センター)	87	18.0%
2 児童相談所	253	52.3%
3 児童・青少年電話相談	136	28.1%
4 児童虐待防止センター	91	18.8%
5 民生委員・主任児童委員	24	5.0%
6 スクールカウンセラー	233	48.1%
7 総合教育センター	46	9.5%
8 24時間子供SOS電話相談	209	43.2%
9 教育委員会の教育相談室	44	9.1%
10 電話相談ホットライン(体罰など)	163	33.7%
11 インターネット問題相談窓口	55	11.4%
12 やまびこ相談	16	3.3%
13 かわさき若者サポートステーション	11	2.3%
14 人権オンブズパーソン	87	18.0%
15 川崎いのちの電話	145	30.0%
16 かわさきチャイルドライン	208	43.0%
17 子どもの人権110番	164	33.9%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	15	3.1%
19 知っているものはない	61	12.6%

(無回答=22、N値=484)

Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。

	件数	%
1 したいと思う	171	35.3%
2 したいけどできない	41	8.5%
3 したいと思わない	265	54.8%

(無回答=7、N値=484)

【「したいけどできない」理由】

小学生世代

- ・自分の悩みがそこまで相談するほどでもない (他1件)
- ・めんどくさいからです。
- ・電話をできない!!行く勇気がない
- ・時間があまりない
- ・大事になりたくない。
- ・知らない人だと相談しにくいし、そもそもどうするかわからない
- ・携帯電話のような通信機械は持ってないし、行くとしても場所がわからない。
- ・緊張してしまう1人になれる時間がないので、電話できない
- ・そのような (他人よりも、身近な人にそうだししたいから。(母や父、友達などに) (他5件)
- ・なんていったらいいかわからない
- ・知られるとはずかしいから
- ・母が駄目と言っているから。
- ・電話のりれきを親に見られたらやだ
- ・親に「だめ」って言われそうだから
- ・いつもそのような手段を使わないから。
- ・一度相談したことがあったが、役に立たなかつたから。

中学生世代

- ・迷惑かなと言うのと、相談するところでもないかなと思うからです。(他1件)
- ・困ってない
- ・勇気が必要だから
- ・電話する場所がないし、LINEもやっていないから
- ・恥ずかしいから
- ・自分のことをよく知らない人にあまり相談ができない。(他1件)
- ・親や友達のほうが慣れがあって話しやすいから。逆に初対面の人とは話しづらいかもかもしれないと思ったから。(他4件)
- ・手間がかかるから
- ・自分で考えた方が納得出来て早い (他2件)
- ・したことがないから
- ・初対面では私のことを全く知らない状態からの相談となるので、どんな性分かをさぐられたり詳しく話をしなくてはいけなくなったりと面倒なことが多い。
- ・具体的にどこにあるか分からないから
- ・実際に行動しなければ環境は変わらないから。影響力のある人や上の立場の人に訴えなければ変わらない。また、私事は人に相談したところで変わらないと思っているから。

高校生世代

- ・困ることがそうそうない、他人に悩みを聞いてもらいたいとは思わない
- ・そういう機関に相談するほどの悩みが無いから
- ・あまり身近な存在に感じない。
- ・辛い時、本当に大事な人に相談するのも勇気がいるのに、自分の事情を何も知らない人に相談する気にはなれない。(他4件)
- ・電話などで聞いてもらうのはハードルが高いから
- ・もうすぐ成人するので、法律上子どもじゃなくなるから
- ・電話かけるのに抵抗があるLINEとかならできなくもない
- ・するメリットが分からない
- ・親、兄弟、友人、先生など相談出来る人がいるから (他6件)
- ・何が辛いのか明確じゃないから

【「したいと思わない」理由】

小学生世代

- ・特に困ったことはない (他4件)
- ・おおごとなことじゃないから
- ・親や友人が聞いてくれるだけで十分だから (他17件)
- ・友達でいいから (他6件)
- ・自分の信頼している人に相談したい (他7件)
- ・自分で解決できると思うから (他1件)
- ・あんまり知らない人にそうだしたくない (他12件)
- ・自分のことをあまり知らないから
- ・自分の個人情報を行政に渡すことになるから。
- ・大人とはなしたくない
- ・話した事について、カウンセラーさんが内心どんな事を思っているかが分からず怖いから
- ・ちゃんと対応してくれないと思う。
- ・友達が相だんしてもはげまして終わりだと言っていたから
- ・でんわする勇気がない (他1件)
- ・相手が大人の場合!!話しづらい・めんどくさい

中学生世代

- ・まだ相談するような悩みではないから (他6件)
- ・自分で解決したりしたいから (他2件)
- ・そこまでひどいことをされたことはないし、家族や先生、友達に相談すればすぐに解決出来ることがほとんどだったので、思ったことはないです。(他7件)
- ・機関に相談しなくても友達に相談すれば解決するからわざわざよくわからない人に相談したいと思わない (他6件)
- ・大体解決できるから
- ・結局話せないと思う
- ・知らない人に相談するより、知ってる人にする方が安心できるから (他8件)
- ・専門の機関でも知らない人だから相談しづらい (他12件)
- ・1人1人の子どもを知っていると思わないから (他1件)
- ・実質的な解決には繋がらないと思ってるから。(他6件)
- ・自分の些末な悩みで相談に消費して真に相談をするべき人の窓口を奪いたくないから
- ・迷惑をかけそうだから
- ・めんどくさい・時間がない・電話は少し怖い (他3件)

- ・困ったり悩んだりした時、随時に解決できるため
- ・なんか気まずい
- ・恥ずかしいから

- ・めんどくさいから (他 2 件)
- ・自分のためになると思わない。
- ・話す内容がわからない

高校生世代

- ・(相談) したいことがあんまりないから (他 1 件)
- ・深刻な悩みだと思わないから (他 1 件)
- ・今のところは親との話で解決できている。もしかすると使うかもしれない。(他 1 件)
- ・そのような状況になったことがないから分からないのと、なったとして 1 番話しやすいのは友達かなと思うから。(他 3 件)
- ・相談するとしたら近くにいる人に相談したい、知らない人に相談するのが嫌 (他 10 件)
- ・大抵のことは自分で解決できるから。
- ・素性のしれない人に自分のことを話したくない。(他 6 件)
- ・すぐに理解してもらえとは思わない。
- ・近寄りたがたい雰囲気があるから (他 1 件)
- ・あまり信用していないから (他 2 件)

- ・話したところでどうにかなると思っていない (他 6 件)
- ・相談、救済機関に相談する程、重い相談内容なのだろうかと考えてしまうから。
- ・恥ずかしいから
- ・行くのが面倒。周りの人で十分かと思ったから
- ・電話する暇がない
- ・ほぼ電話中で、うけつけしてもらえないらしいので。きゅうりょうあげるべきです。
- ・周囲で解決できないほど深刻な問題
- ・行ったことがないからです
- ・解決までに時間がかかるイメージがあるため。また対人関係などは常に変化するため。

Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、Q18 のような相談・救済機関の内のどこに相談しますか。(あてはまる数字をすべて書いてください)

	件数	%
1 保健福祉センター (地域みまもり支援センター)	25	11.8%
2 児童相談所	54	25.5%
3 児童・青少年電話相談	30	14.2%
4 児童虐待防止センター	11	5.2%
5 民生委員・主任児童委員	3	1.4%
6 スクールカウンセラー	69	32.5%
7 総合教育センター	16	7.5%
8 24時間子供 SOS 電話相談	49	23.1%
9 教育委員会の教育相談室	9	4.2%
10 電話相談ホットライン (体罰など)	21	9.9%
11 インターネット問題相談窓口	15	7.1%
12 やまびこ相談	6	2.8%
13 かわさき若者サポートステーション	7	3.3%
14 人権オンブズパーソン	20	9.4%
15 川崎いのちの電話	29	13.7%
16 かわさきチャイルドライン	46	21.7%
17 子どもの人権 110 番	27	12.7%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	8	3.8%
19 知っているものはない	0	0.0%

(無回答=35、N 値=212)

Q21 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。

小学生世代

- ・市直営の所
- ・民営の団体
- ・学校
- ・親や友だち、頼れる人がいるから相談所ではなくても大丈夫だと思う (他 23 件)
- ・学校などの中で人目を気にせず話せる場所 ・気軽に声も顔もわからない状態で相談できる所
- ・1年に一回ワンツーマンで学校にせんもんにきてほしい!!
- ・LINE などのメッセージでのやりとりができる場所 (他 3 件)
- ・私は他人と話すのが苦手なので、手紙で送る相談所。
- ・面と人とで話せる所 (他 1 件)

- ・子供のしせんになって考えてくれる人。(他 2 件)
- ・家から近くで信頼できる大人がいる場所 (他 1 件)
- ・電話でも相談できる場所 (他 1 件)
- ・24時間やっていてなんでもそうだんできる場所 ・安心できる場所 (他 4 件)
- ・相談したことに対して、秘密をもらしたり行動を起こしたりしない場所。(他 9 件)
- ・気軽に相談できる。1対1で話す(複数は好みません) (他 2 件)
- ・自分の話が安心して言えてちゃんと聞いてくれる場所。(他 16 件)
- ・よく話を聞いてくれて具体的なアドバイスをしてくれる所 (他 3 件)
- ・私と同じ悩みをもって、心を開けそうな人に相談したい

- ・自由に自分の悩みや相談したいことが言えるようなところで
す (他 10 件)
- ・私のことをよく理解してくれる
・親切に対応してくれるところ (他 8 件)

中学生世代

- ・スクールカウンセラー (他 2 件)
- ・知っている人、仲の良い人 (他 18 件)
- ・学校に定期的に来るとか効果的だと思いますけど。
- ・学校にあるような相談室
- ・同じくらいの年代の子が相談にのってくれるところ (他 1 件)
- ・地域見守り支援センター
- ・同じような境遇の同じくらいの歳の子
- ・相談したら心がおちつくところ (他 2 件)
- ・家から近くで信頼できる大人がいる場所 (他 2 件)
- ・初対面の人が話をきいてくれるところ
- ・否定しない、匿名)、親身
- ・SNS 上でお互いの顔や個人情報が分からないところ。(他 1 件)
- ・どんなことでも、私をよく知らない大人なんかには話すことはありません。私が傷ついてしまいます
- ・基本的に外部機関などには相談しない (他 1 件)
- ・もう一人の自分?
- ・言葉で話すのではなく、LINE やメールなどで相談できるところ (他 5 件)
- ・電話で気軽に相談できるところ
- ・顔の直接見える人
- ・信頼があるところ (他 4 件)
- ・各地域に相談所があって、そこに自由に入出入りできる、入りやすいところ (他 5 件)
- ・いつでも行ける近所にあるところ、秘密で行けるところ (他 1 件)
- ・自分が発言した内容が守られるところ。自分が話したことが周りに知られないこと。(他 10 件)
- ・心が落ちつくところ (家や学校のだれもないところ) (他 2 件)
- ・自分を受け入れてくれるところ悩みの解決方法を考えてくれるところ (他 3 件)
- ・認めてくれて、受け入れてくれるところ (他 2 件)
- ・24 時間いつでもできるから (他 1 件)
- ・自分の意見を認めて、理解してくれて、共感してくれたりちゃんと会話になって、否定ばかりでは無いところ。(他 12 件)
- ・優しく暖かく接してくれるところ。親身にきいてくれるところ。(他 4 件)

高校生世代

- ・スクールカウンセラーや学校の先生とか (他 1 件)
- ・学校、習いごと先
- ・療育センター
- ・A I
- ・身内や親友に直接相談したい (他 6 件)
- ・対面、例えば学校にカウンセラーがいるなど
- ・年齢がより近い人とお話年が離れていると話しづらいこともあるのではないかと思います
- ・大人と楽しく生活できるところ
- ・電話やラインでもできると知ったから
- ・自分が親に相談できなくて匿名で相談できるような問題があったら相談したい。(他 2 件)
- ・どんなところでも知らない人には相談しなと思います。(他 1 件)
- ・声ではなくて文字上でやりとりができる機関。(顔を合わせずに) (他 2 件)
- ・私は悩みとかはあくまであまりそう言うのを考えたことがないけど、そういう相談をしたいと思うのは身近に相談できる人がいないと考えられます。なので、個人的にはインターネットなどを利用した方がいいと思います。ただ、誰もがネットを使える環境にいる訳では無いとも思う。
- ・弁護士と話したい奴なんかいるわけないでしょかたくるしいです
- ・電話で相談できるところ、相談内容が誰にも話されず守られるところ (他 1 件)
- ・情報もれない (他 5 件)
- ・対面。例えば学校にカウンセラーがいるなど ・小さい悩みでもいいところ
- ・ボランティアにお金をあげて人数を増やし、電話したいときにすぐに電話に出てくれるところ。あとはゆうどう的にカウンセラー? 病院などのしょうたいについて話さず、とにかく状況をきいて理解してあげて下さい
- ・自分がよく知っている身近なところ。また、よく用件を聞くで評判のよいところ。(他 1 件)
- ・自分から何を話せばいいかわからなくても、ゆっくり質問したりしてくれるところ (他 5 件)
- ・話をきくだけでなく、具体的な解決案を教えてくれる所 (他 7 件)
- ・自分が信頼をおける人がいるところ。(他 2 件)
- ・安全そうなところ (他 2 件)
- ・どんな相談でも親身に聞いてくれて、全肯定してくれるところ (他 6 件)
- ・自分のことを否定しないところ (他 1 件)
- ・ちゃんと理解してくれる (他 1 件)

IV 『学校・地域のこと』についてお聞きします。(これまでの学校生活や地域での過ごし方について教えてください。)

Q22 あなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 参加している	301	62.2%
2 だいたい参加している	141	29.1%
3 ほとんど参加していない	26	5.4%
4 参加していない	10	2.1%
無回答	6	1.2%
合計	484	100.0%

Q23 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。(○は1つ)

	件数	%
1 聞いている	328	67.8%
2 だいたい聞いている	138	28.5%
3 ほとんど聞いていない	10	2.1%
4 聞いていない	5	1.0%
無回答	3	0.6%
合計	484	100.0%

Q24 Q23において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。先生が聞いた子どもの意見は実現されていますか。(○は1つ)

	件数	%
1 実現されている	152	32.6%
2 だいたい実現されている	253	54.3%
3 ほとんど実現されていない	51	10.9%
4 実現されていない	6	1.3%
無回答	4	0.9%
合計	466	100.0%

Q25 Q24において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることは何ですか。

小学生世代

- ・運動会でやりたい競技を話し合っそれが決まったこと。(他6件)
- ・クラスや学年のレク (他32件)
- ・オリジナル自然教室(自分達でしかくした)(他2件)
- ・修学旅行の部屋決めをまかせていただきました。とてもうれしかったです。(他2件)
- ・2~3年のときに野菜のよい育て方をプロの人に来てもらい、教えてもらった
- ・数学の先生に、プールの時間の前だから早めに授業をおわらせてほしいとみんながたのんだら、5分前に授業をおわらせてくれた
- ・図工や総合での調べ学習や野外学習等の時間の延長(他1件)
- ・プールが中止になった時外で遊んだ。
- ・そうじ担当の日にちを割りふったところ。
- ・総合の時間で「ここに問い合わせをして見学して勉強したい」と言ったら実現した
- ・理科の受験で自分で考えた実験方法をためしてみようと言ってくれた。(他1件)
- ・遊びを考えて言った時、ちゃんと聞いてくれて、日にち、ルールなどをいっしょに考えたりして、実現している。(他4件)
- ・係活動のこうほしたものをだいたい実現させてもらえていること。
- ・学びゆう会でやりたいことをさせてくれて、手伝ってくれたとき。(他2件)
- ・クラス目標など全体で一つのことを決めるとき、人それぞれの意見を合体していたこと。(他23件)
- ・席替えとかでこどもの意見をきいてくれる(他2件)
- ・ごほうび
- ・係でしたいこと
- ・小学校の時、話し合いをして、先生のサプライズしたり、あそんだ
- ・実現されたことをきちんと守ったりしている。(他2件)
- ・もく食中に音楽を流すこと
- ・「何かをみんなで作ろう！」となったときに、必要なものがあって先生に頼んだら用意してくれたこと。(他1件)
- ・ポスターなどを書いたりすると次の日ぐらいにはけいじさされている
- ・給食の時に音楽を流す時、日直がやるというのが実現され印象に残っている
- ・卒アルの写真のポーズや話したいことをやってくれたりしたから。
- ・昼学は、校でいであそんでいいときょうとうせんせいに言ってくれて、会話がひらかれるようになった!
- ・中学校で教室に置く木についてで、小説などだけではなく、マンガも置いてほしいという意見がでてから、マンガも置かれるようになった。
- ・当番決めで、子どもの意見のやりかたで進めている。
- ・部活が合併した
- ・部活で必要な物をたのんだときにすぐによいしてもらえた。

中学生世代

- ・体育祭や運動会での装飾。文化祭などの発表案など。クラスのお楽しみ会。生徒会活動。(他2件)
- ・みんなの意見をあつめる投書箱が設置された(他1件)
- ・クラスのTシャツや運動会の種目決め(他1件)
- ・遠足の部屋を決める時など
- ・校則が変わった(他11件)
- ・席替えの席(他6件)
- ・修学旅行のルール(他1件)
- ・私の学校では学校説明会を正と運営しているので生徒の意見がほとんど実現されていると思います。(他4件)
- ・自然教室でやったキャンドルファイヤーのげきでどういふきにするか話し合っ意見が多かった「ハリーポッター」になったこと
- ・修学旅行に行けないことを考えていろいろな遊びを提案してくれたり、実行してくれたこと
- ・生徒がこれを知りたいと言ったら時間をとってくれたことです。

- ・学級会などで、一人一人の意見を尊重し、すべての意見を入れた内容にしてくれたこと。
- ・学級テーマを決める時などにクラスの全員の意見も取り入れて考えてくれる。(他 11 件)
- ・合唱コンクールの曲を候補の中から決める時に、私たちに手を挙げてと言ってくれてたり、意見を言う時間もあるので手を挙げたのが多かった曲に選ばれ歌えたことです。(他 1 件)
- ・行事も色々とみんなで話しながら、先生も一緒に考えてすすめてくれる (他 9 件)
- ・体育祭や運動会での装飾。文化祭などの発表案など。クラスのお楽しみ会。生徒会活動。(他 2 件)
- ・みんなの意見をあつめる投書箱が設置された (他 1 件)
- ・クラスの T シャツや運動会の種目決め (他 1 件)
- ・遠足の部屋を決める時など
- ・校則が変わった (他 11 件)
- ・席替えの席 (他 6 件)
- ・学級会などで、一人一人の意見を尊重し、すべての意見を入れた内容にしてくれたこと。
- ・学級テーマを決める時などにクラスの全員の意見も取り入れて考えてくれる。(他 11 件)
- ・合唱コンクールの曲を候補の中から決める時に、私たちに手を挙げてと言ってくれてたり、意見を言う時間もあるので手を挙げたのが多かった曲に選ばれ歌えたことです。(他 1 件)
- ・行事も色々とみんなで話しながら、先生も一緒に考えてすすめてくれる (他 9 件)
- ・教室のかざりを決めるとき、子どもの意見を実現されたから、みんな教室のかざりなっとくしている。(他 2 件)
- ・先生の意見をよく聞きその案をもっといいものにするときに意見を出しその意見が通ったことがある。
- ・学校ですこし否安な所があつてつたえてもらいすこしかいぜんしてもらった。(他 3 件)
- ・「研究」という授業ができた。席替えの方法が変わった
- ・掃除が当番制になった。
- ・運動会をがんばったから宿題なしとかドッチボールをしたいと言つたらいっしょにしてくれた
- ・きゅうしょくのエプロン忘れ防止に毎週もつてくるよう、ルールをつくった
- ・学校の自動販売機で、パスモの使用が可能になった。
- ・中学校の中庭に時計が設置された
- ・学級の委員長を決めたり、班長を決めたりしたこと。
- ・数学とかで分からない事を教えてくれる
- ・文化祭、運動会、例年生徒主導で行われている (他 2 件)
- ・3 年生の放課後の勉強室が作られた
- ・新しい部活を作つたり、見に行きたい場所を見学させてもらつたり。(他 1 件)
- ・コロナで修学旅行や行事などが無くなり文化祭の出し物を決めるときに、生徒みんなで自由に決めることができた。(他 8 件)
- ・1 年生の前期中間テストで平均点が発表されなかったことに対して、詳しくきいたり、「次回から発表してください」とお願いしたところ、本当に発表してくれた。
- ・校外学習で手持ちせんぷうきを持っていいかをきいたら OK になったこと

高校生世代

- ・クラスの目標を決める時
- ・行事でやりたい企画をやらせてくれた (他 3 件)
- ・修学旅行の行き先
- ・席替えの方法 (他 7 件)
- ・意見が通る
- ・校則がかわつたとき (他 7 件)
- ・もう高校生なので先生もあまり介入してこない
- ・テスト対策のプリントがほしいと言つたら、もらえました。
- ・分からないことがあつた時に相談したら丁寧に教えてくれたからです。
- ・クラス T シャツのデザイン等々 (他 1 件)
- ・図書室に望んだ本がくる
- ・清掃が当番制になり、効率的かつ早く下校できるようになった。
- ・資料の確認など
- ・先生がお菓子買ってきてくれた
- ・学校のコロナ対策(案のうちのいくつか)など。
- ・先生も話し合いに参加している
- ・体育祭などで、話し合った内容が実現されている (他 7 件)
- ・部活内でのコーチの方針について(相談)
- ・文化祭で生徒がやりたかつた展示や発表の案が通つた。(他 22 件)

Q26 学校にあなたの話をよく聞いてくれる先生や職員(給食の調理員や事務の人も含む)がいますか。(○は1つ)

	件数	%
1 いる	397	82.0%
2 いない	78	16.1%
無回答	9	1.9%
合計	484	100.0%

Q27 あなたは、学校に何でも話せる友だち(先輩や後輩も含む)がいますか。(○は1つ)

	件数	%
1 いる	393	81.2%
2 いない	89	18.4%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

Q28 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心してすごせますか。(○は1つ)

	件数	%
1 すごせる	319	65.9%
2 だいたいすごせる	147	30.4%
3 ほとんどすごせない	9	1.9%
4 すごせない	7	1.4%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

Q29 あなたは、放課後どこですごしますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 自分の部屋	295	61.0%
2 リビング・居間	318	65.7%
3 祖父母の家	18	3.7%
4 友だちの家	51	10.5%
5 クラブ、部活動の場所	214	44.2%
6 学校図書館	18	3.7%
7 教室	64	13.2%
8 学習塾	136	28.1%
9 習いごとの教室・スポーツクラブ	81	16.7%
10 地域の図書館・市民館	13	2.7%
11 こども文化センター・わくわくプラザ	27	5.6%
12 子ども夢パーク	2	0.4%
13 公園	82	16.9%
14 アルバイト先・仕事場	11	2.3%
15 遊戯施設(カラオケボックスやゲームセンターなど)・飲食店・コンビニ	37	7.6%
16 その他	17	3.5%

【その他】

- ・学校の実習部屋(17歳)
- ・学校の自習室(17歳)
- ・学校内(16歳)
- ・校庭であそぶ(11歳)
- ・学校の授業が終わった後に校庭で遊んでいる。(11歳)
- ・すぐ帰るなど(11歳)
- ・自分の勉強机(12歳)
- ・マンションのエントランス(11歳)
- ・放課後ディ(10歳)
- ・自しゅ学どうほいくささのはクラブ(10歳)
- ・カフェ、書店(13歳)
- ・野球地(11歳)
- ・しせつのリビングで友だちとすごしています。(13歳)
- ・遊園地(16歳)
- ・アニメイト(12歳)
- ・駅、臨海部(子供が出かけていい時間の範囲で)(16歳)

(無回答=3、N値=484)

Q30 あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 子ども夢パークの活動・イベント	9	1.9%
2 こども文化センター・わくわくプラザの活動・イベント	142	29.3%
3 地域の寺子屋	47	9.7%
4 地域のスポーツ・文化活動(町内会の大会やイベントなど)	46	9.5%
5 子ども会活動(ジュニアリーダーなど)	32	6.6%
6 ボーイスカウト・ガールスカウト	8	1.7%
7 地域のお祭り(みこし、模擬店の手伝いなど)	140	28.9%
8 ボランティア活動(町内会の清掃ボランティアなど)	74	15.3%
9 その他	20	4.1%
10 参加したことがない	216	44.6%

【その他】

- ・ごみひろい(12歳)
- ・多摩川のゴミ拾い(11歳)
- ・みこしはしてないけど祭りには行ってる(11歳)
- ・防災訓練(12歳)
- ・ししまい(17歳)
- ・町内会の行事(11歳)
- ・ラジオ体操(14歳)
- ・学校の運動会など(13歳)
- ・保育園(17歳)
- ・ミニカワサキ(14歳)
- ・市民館ジャック企画会議(13歳)
- ・川崎市ふれ合いサマーキャンプ(13歳)
- ・青少年の家のチャレンジクラブ(11歳)
- ・シニアスマホ説明会(17歳)
- ・町のテーブル(食品おすそわけ会)(12歳)

(無回答=9、N値=484)

Q31 Q30 において、1～9を選んだ人にお聞きします。地域で何かをしたり、決めたりするとき、大人は子どもの意見を聞いていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 聞いている	83	32.0%
2 だいたい聞いている	110	42.5%
3 ほとんど聞いていない	35	13.5%
4 聞いていない	21	8.1%
無回答	10	3.9%
合計	259	100.0%

Q32 Q31 において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。おとなが書いた子どもの意見は実現されていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 実現されている	39	20.2%
2 だいたい実現されている	120	62.2%
3 ほとんど実現されていない	27	14.0%
4 実現されていない	4	2.1%
無回答	3	1.6%
合計	193	100.0%

Q33 Q32 において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることは何ですか。

小学生世代

- ・子供で考えた遊びなどをみんなでやったりできた時 (他 5件)
- ・はじめをおさえてくれた
- ・おみこしの順番を前と後ろでかえてくれた
- ・もちつきやり方をくわしくおしえてくれた。
- ・子ども会のリーダーの意見が進まる。
- ・子どもがたのしめたりするためにいろいろきいてくれた。
- ・ジュースのゴミとかをひろうとくにてつだってくれた。
- ・山のそうじでいっしょに行った。
- ・子供夢パークに行きたいので付いてきてっていったら一緒に来てくれた
- ・お祭りをする事。(他 1件)
- ・いろいろ話を聞いてくれる。(他 1件)

中学生世代

- ・やりたいことが叶った。(他 4件)
- ・お祭りで出すお店の内容 (他 4件)
- ・コロナの中でもオンラインという形で「ミニカワサキ」の文化をつなげることができた
- ・楽しい行事を計画してくれた。(クリスマス会など) (他 1件)
- ・子供文化センターの飾り付けをした。
- ・いい案を思いついた時に話を聞いてくれる。
- ・今年は夏祭りを数年ぶりにやるらしい
- ・クリスマス会
- ・まず子供が意見を言っている所を見たことがない
- ・コロナの影響で祭りなどを出来ていないためない。(他 1件)

高校生世代

- ・やりたいことをやらせてくれた (他 3件)
- ・こども文化センターの用具の使用ルールなど。
- ・子ども会のイベントなど (他 1件)
- ・子ども会議で出た、道のせまの改善。
- ・町内会で花火大会がかいさいされたこと。
- ・友達と長時間自由に遊び、過ごしていた。
- ・J Lのうでを上げるための研修

Q34 あなたは、次のような場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 川崎市子ども会議、行政区・中学校区子ども会議の話し合い	19	3.9%
2 子ども夢パーク・こども文化センター・わくわくプラザでの活動やイベントについての話し合い	27	5.6%
3 学校教育推進会議、生徒会・児童会の話し合い	30	6.2%
4 子ども会での話し合い	15	3.1%
5 その他	12	2.5%
6 したことがない	382	78.9%

(無回答=21、N値=484)

【その他】

- ・学校(12歳)
- ・授業中など(11歳)
- ・生徒評議会(14歳)
- ・委員会(11歳)
- ・〈じゅく〉国語のじゅぎょうで話し合いをした。(12歳)
- ・市民館ジャック企画会議(13歳)
- ・山村留学(17歳)
- ・大人が全て決めて、子どもはいわれた通りにうごく(13歳)

Q35 地域(学校以外)に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。(○は1つ)

	件数	%
1 いる	379	78.3%
2 いない	102	21.1%
無回答	3	0.6%
合計	484	100.0%

Q36 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。(○は1つ)

	件数	%
1 ある	368	76.0%
2 ない	114	23.6%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q37 あなたは、自分が好きですか。(○は1つ)

	件数	%
1 好き	146	30.2%
2 だいたい好き	186	38.4%
3 あまり好きではない	99	20.5%
4 好きではない	49	10.1%
無回答	4	0.8%
合計	484	100.0%

Q38 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。(○は1つ)

	件数	%
1 そう思う	311	64.3%
2 だいたいそう思う	149	30.8%
3 あまり思わない	14	2.9%
4 そう思わない	8	1.7%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

Q39 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	204	42.1%
2 だいたいそう思う	191	39.5%
3 あまり思わない	64	13.2%
4 そう思わない	22	4.5%
無回答	3	0.6%
合計	484	100.0%

Q40 あなたは、毎日が楽しいですか。(〇は1つ)

	件数	%
1 楽しい	198	40.9%
2 だいたい楽しい	226	46.7%
3 あまり楽しくない	37	7.6%
4 楽しくない	18	3.7%
無回答	5	1.0%
合計	484	100.0%

Q41 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

小学生世代

- ・周りの人々もその人の個性を認め合い、また、その人も進んで自分の意見を言い、周りの人もその意見を大切にすること (他 11 件)
- ・一人ひとりみとめ合うこと。(他 12 件)
- ・支え合う (他 2 件)
- ・自分の為、みんなの為に、社会のどんな事も前向きに取り組んでいく事が大切だと思う。(他 4 件)
- ・さべつがなくじゆうにいきていくことが大切だと思う (他 11 件)
- ・大人が表向きだけの善良な行いをして、子供の意見や考えを絶対に殺してしまわないようにする必要があると思う。大人は生きていく為にビジネスにならない事はほとんどしないので意見が届かない可能性がある。(他 6 件)
- ・子供のことを信じてあげること。協力すること (他 9 件)
- ・笑顔 (他 1 件)
- ・意見を言い互いに尊重する (他 23 件)
- ・自分は、良い事をして大人が守もってくれ戦争などで大人達が亡ならない事
- ・いじめや差別がなくなっていく世の中になること。(他 8 件)
- ・子どものしせつを増やしたら安心できそう
- ・差別をなくしてだれでもせいとうに楽しく生きられることがとても大切だと思います! (他 11 件)
- ・自分が安心できる空間を見つけることが大切だと思う。(他 3 件)
- ・自分の個性を捨てないで、色々な人との交流をたくさんする。(他 16 件)
- ・もっと地域の活動を増やして、社会への貢献を小さい頃から身近にする。(他 2 件)
- ・家の家事の手伝いや、遊びと勉強など、すべてバランスよく行うことが大切だと思う。
- ・川崎市のことをよく知る。たとえば「川崎市子どもの権利に関する条例」のことを一つでもいいから知ること。(他 10 件)
- ・その子どもを守る、周りの大人たちや、その子どものための環境作りなどが大切だと思います (他 2 件)
- ・子どものうちからいろいろなことをけいけんする。(他 1 件)
- ・物価が下がること (他 1 件)
- ・子どもが守られて、自分で決めたり参加できること (他 3 件)
- ・犯罪がない街にする (他 3 件)
- ・子どもが参加したいと思えるイベントを作ったり、川崎に今あるものやしせつで工夫してイベントを作ったらいいなと思います。(他 1 件)

中学生世代

- ・1人1人の個性や考えが認められること。(他 9 件)
- ・自由になること。(他 9 件)
- ・お互いを認め合って協力して仲良く暮らしていくことが1番だと思います。(他 6 件)
- ・周りの人がお互いを尊重し合い、協力していくことで安心して楽しい日々を送ることができると思う。(他 2 件)

- ・もっともっと考えなどを自由に言えるようにしたらもっと良くなると思う (他 21 件)
- ・自分から何か意見など積極的に言ったり人間関係を築くことが大事だと思います。(他 4 件)
- ・大人が子どもの気持ちを理解して困っていたら助けてあげたりすることが大切だと思った。(他 8 件)
- ・周りの大人や環境がしっかりしていること (他 4 件)
- ・いろいろな経験を積むこと。(他 1 件)
- ・いじめがなくて楽しく暮らせる。(他 3 件)
- ・差別やイジメがない (他 4 件)
- ・友達を増やすこと。周りの大人や環境がしっかりしていること。(他 5 件)
- ・たのしむ
- ・自分が社会に参加して成長したいと思う気持ちが 1 番大切だと思う。次に、家族などの身近な人が社会に参加させようとしてくれることが大切だと思う。(他 1 件)
- ・学校の授業でもっと川崎市についてや社会についての勉強をする。(他 8 件)
- ・意味のわからない校則をなくす。(他 2 件)
- ・周りの環境 (他 3 件)
- ・犯罪などの取り締まり
- ・政治家の方がそういう社会にしていく・子供の悩みなどを無くす・国連がそういう社会にする (他 2 件)
- ・税金を高くしてでも、子どもを学校に行かせるのに必要な親はらうお金を全て国が負担する。(他 2 件)
- ・安心していられる場所がある事だと思います。(他 13 件)
- ・どのような環境でも自信がある人生は大切だと思います。(他 3 件)
- ・自分で考える力
- ・子どもが自由に参加できるシポジウムや講演会等が開催されるといいなあ〜と (他 2 件)

高校生世代

- ・一人一人の個性を受け入れ、認めること (他 3 件)
- ・何にでも挑戦させること (他 1 件)
- ・お互いの存在を認め合うことが大切だと思います。たった 1 人でも自分を認めてくれる人がいたら、きっと毎日安心して幸せに暮らせると思います (他 5 件)
- ・周りの人達の支えは必要不可欠だと思います。たくさんコミュニケーションをとることも重要だと思います。(他 1 件)
- ・自分の意見を持ってそれを発言できるようになること。(他 9 件)
- ・差別がないこと
- ・生活の軸となる規則を作ることとある程度のことを子どもたちで決められる自由 (他 6 件)
- ・大人の人たちが、自分達のアピールではなく、本当に子どものことを思っていることが大切だと思います。今の川崎市はそれができているように思えてすごく良いと思います。また、社会に参加していく中で、川崎市として高校のときの進路を決めるときにインターンなどしてほしいです。(他 7 件)
- ・まわりの大人がその環境をつくっていくこと。(他 7 件)
- ・まわりの環境 (他 2 件)
- ・大人が大変なのは分かるけど、それを子供にまで遺伝させてはいけない。子供も一人の人間だから、自分の考えをもって生きているから、周りの大人の方で押しつぶされてほしくない。(他 2 件)
- ・子どもが自分はココにいていいんだなと思えるような環境をつくる。(他 6 件)
- ・さまざまな人と円滑にコミュニケーションをとること。(他 2 件)
- ・自立心を持つこと
- ・社会に参加していくことで自分が生きやすく変っていってくれるという実感ができるようにしていったり学校内でのアンケートではなくもっと大きくまとめて見るようなアンケートを学校でおこなう、ちょっときょうせいで (他 3 件)
- ・家では、家事をするとか家族の役に立つことが大切だと思います。
- ・学校の規則を変えた方がいい。すっぴんだったりすると自分に自信がなくなり、自分がいやになる。死にたくなる。色んなものを統一しすぎて個性がなくなっている気がする。もっと海外の学校を見て比べてほしい。
- ・子供を守るための社会システム (他 4 件)
- ・周りに危ない人がいない (他 1 件)
- ・経済的に心配することのない社会をつくることから始めることが大切だと思う (他 2 件)
- ・自分がしょう来なりたい職業の体験ができるような取り組みがあるといい (他 1 件)
- ・どこでどんなイベントがやっているかをもっと積極的に知らせること。

Q42 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活(家・学校・職場・地域など)の中で、悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

【「悩んだり難しかった」こと】

小学生世代

- ・学校がなくなったり、分散登校になったりして友達に会えなくなった。(他4件)
- ・コロナウイルスに感染したとき(他11件)
- ・いろいろな行事がなくなった(他8件)
- ・外に長い間出れなくてつらかった(他11件)
- ・かんきをしたいけどエアコンの風がにげていく。
- ・密な場所で大声でしゃべっている人が不快だった。
- ・コロナにかかったらつらいのかなと不安
- ・周りの人が感染症対策をしないのが気にかかります。それと自分が感染しないか不安になります。
- ・学校が遠いから電車に乗るのがちょっと怖い時があった
- ・体調がすぐれないこと
- ・ワクチンを打ちたくない(ちゅうしゃがいたそう)
- ・友達に、首やうでをベタベタ触られているので、気持ち悪くて、とても嫌です。
- ・コロナはいつ終わるのか
- ・歌うこと
- ・友達と好きに遊ぶことができなかった。(他10件)
- ・祭りなどが開きいされず、前とちがう夏をすごしたりしたこと。
- ・学校へ行けないからべん強が進まないこと(他7件)
- ・給食中にだれもしゃべらない(他7件)
- ・マスクをはずすかははずさないかのタイミングが難しい。友達とマスクをはずして会話していいのか(他42件)

中学生世代

- ・学校の行事が中止になったり、いろいろなことが制限されたこと(他5件)
- ・行事がなくなった。(他9件)
- ・自分にもしかかたらどうしようと心配。
- ・いくら気をつけても周りの子がなった時にどのように対処すればいいか(他8件)
- ・外に遊びにいけない(他8件)
- ・中国に住んでいたことをなかなか言えなかった。
- ・東京に遊びに行く、多人数で遊ぶ
- ・アルコールのにおいがきつい
- ・祖父母との関わり方
- ・家族といっしょにすぎで、うるさいなと感じました。
- ・思い出が少ない
- ・たいさく
- ・コロナは怖くないです。皆はさわいでるけど1回かかったらもうかからないと思うし、ワクチンのイミもよく分からない。私は打ちたくないですね。でも周りかどうしよってあわててるのでこまりました。
- ・感染対策を徹底し混雑を避けること。
- ・自律が難しかった
- ・中学校の生徒全員が手洗いやタオルを持ってくるようにしようとしたとき
- ・友達と会えなかったためSNSでの会話が増え、相手の気持ちが読み取りにくく、喧嘩気味になったこともあった。(他12件)
- ・部活動が減ってしまって残念だった(他6件)
- ・外国へ行けないから本物の発音やフレーズが分からない。
- ・校外学習などが減り、クラスのみなどと交流する場数が少なく、友達作りが少し難しかった。
- ・リモート授業でGIGA端末の画質が悪かったことで、黒板が見えなかったこと。勉強が分からなかった。GIGA端末が重くて、よくフリーズしていた(他1件)
- ・マスクをしていることが日常的になっているので、家族以外の人の中でマスクをとるのに抵抗感があること。(他19件)
- ・マスクの中でのコミュニケーションが難かしくなった。(他7件)
- ・マスクが暑苦しい(他9件)
- ・給食の時間中、班で話して交流するということがなくなったので、深い友達関係を中学校になってから作りづらくて困った。(他2件)
- ・ワクチンをうたないと参加できないものがあったり差別される。濃厚接しよく者ってだけで差別される。

高校生世代

- ・フィールドワークとか話し合いが少なくなった。(他1件)
- ・電車内で手すりに掴まること。
- ・コロナにかかってしまったらどうなるかわからないので不安です。(他6件)
- ・人格が変わった。
- ・高校3年間の学校業事がつまらなかった(他20件)
- ・むしろ生活が楽になった
- ・自粛をどこまですればいいか分からなかった。(他8件)
- ・感染防止
- ・外出できないと、ゲームに没頭しがちになるけど、ゲームばかりしている自分が許せなかった
- ・リモートワークに移行してから父親がずっと家にいて息が詰まることがあった。
- ・自分はよくても人は嫌かなと気をつかった
- ・対策で判断が難しいこと
- ・強いて言えば親戚に会えなかったりしたこと。
- ・部活が思うようにできなかったこと(他4件)
- ・たくさん思い通りにいかないことはありますが、順応していくしかないのだと感じています。
- ・家の人と距離が近すぎて全くうまくいかない
- ・家以外で話せなくて病む(他3件)
- ・学校の授業がオンライン授業になったことで内容が雑になった。(他5件)
- ・マスクをつけて夏は苦しくてしんどいと思ったからです。(他9件)
- ・マスク生活に慣れすぎて、マスクを外すのが嫌になった。元はイケメンなのに、マスクを外したら印象が変わってしまうだろうから…。(他11件)
- ・お昼ご飯食べるときに黙食すること学校行事全部なくなった
- ・ワクチンの副反応で授業を休まなければならない可能性があること。

【工夫したこと】

小学生世代

- meet や zoom など、直接的ではなく、交流できる方法をつかっていること
- ネットで買い物をしたりすることが出来る
- 感染したら自分のへやからあまりでない
- 5分～10分間ごとにまどをあけたりしている
- やわらかいマスクにする。
- ソーシャルディスタンス・店でのアクリル板？のせつち (他 4 件)
- 手洗い、うがい、消毒をちゃんとする・話すときはマスクをつける。(他 63 件)
- 人が、いないところではマスクを外す。(他 11 件)
- 前向き給食、給食中喋らない (他 5 件)
- マスクをえらぶなどをして、楽しんでる (エンジョイ！)
- 家では、おもいっきりはずす。
- 電社やバスのつかかわを持たない。
- ヤクルトを飲んで免疫力を高める
- マスクをビニール袋に入れて捨てることで、手に飛沫がつかないようにしている。
- できるだけ公共交通機関を使わない
- はなさず、ジェスチャーで物事をつたえる
- 近くで旅行したり遊んだりしている。家で、手を使い捨ての紙を使っている。
- 給食で、食缶前にいるとき、しゃべらないように、指で「1・2・3」をあらわし、おおめ、すくなめをしゃべらずあらわしたこと。
- 給食は食べることだけ考える
- 学校で、コロナでできないことを先生たちと相談して工夫してかさいしていること。
- マスクは「ニキビなどが見えないようにする」と自分にいいかせたこと。
- 家に帰ったらお着がえをしている (一人で)
- 人をばかにしたりしない
- かかっていた時期はペットにいっさいさわらなかつた。テレビもゲームもがまんした。むりはしなかつた。家から出なかつた。
- 密にならないようなものを考えたり、みんなで意見を出し合っている
- 分散登校で学校に行った
- プールの男女わけ(密をさける)
- 家族みんな、自分の思っていることを言う。
- 軽い運動
- 自分の好きなことをする。
- 少人数で話す
- いつもじゃなく週に何回かにして外に遊びに行く。
- 電話で話さきかいを増している。
- 友達と泣き、慰め合い、学年全員で団結しました。これはコロナがなければ出来なかつたことなかもかもしれません。でもやっぱり、コロナがあつてよかつたなんて一ミリも思えません。それでも私達は、コロナが有るこの時代を生きていきます。可哀想なんかじゃないよつて、大人の人達に伝えたいです。

中学生世代

- インターネット上でのやりとり (他 5 件)
- 毎日検温 (他 1 件)
- 人と距離をとる (他 4 件)
- 体育館の上に窓をつくり、そこを開け換気する
- 手洗いタオルを分ける荷物にも消毒
- 手あらい、マスク、消毒の徹底、うがい (他 43 件)
- 表じょうを分かりやすくする
- 体育などの運動する時は、マスクを外す。(他 3 件)
- 予備のマスクをリュックに入れておく。
- 給食を食べるときなどマスクをはずさなくてはならないときは「しょうがない」と振り切る。
- 電話で終わらせる。
- 前より人と接することを大切にしたりした。
- 不織布とウレタン (スポンジ) を作り分ける (他 1 件)
- しょくじ中だまつたべること (13 歳)
- 話すときは、より、人の目を見ることを意識して、顔や顔色見ることのできるようにしている。
- マスクを着用する・物の共有をできるだけしない・悪霊退散を神仏に祈る
- 家族内でいつ感染者が出ても対応できるよう、ある程度の水や食料、れいぞうこやオープンなどがそろっているかくり部屋がある
- あまり人がいない 20 時あたりで、走るようにしている
- 毎日笑う
- はぐしない (13 歳)
- 行動を少し早めて混雑のない時間に行動すること。
- コロナにならないために、家族みんなあまり外に出かけないようにしている (11 歳) (他 7 件)
- 家で過ごす時間が多くなつた分、家で様々な事をするようになった。(13 歳) (他 3 件)
- コロナ禍だから出来ることと考え 1 つの思い出(良い思い出とはいえないが)として日々過ごしている。(13 歳)
- 変わった形だったが、自分のためだとできる限り我慢して楽しんだ (13 歳)
- 楽しいこととつまらないことをセットで考える。(13 歳)
- 呼吸を整えることを意識している
- マスクごしでもわかりやすいよう、表情のふれはばをできるだけ大きくしている (13 歳) (他 5 件)
- 1 日のスケジュールを計画して、その通りにやります。(14 歳)
- コロナ禍でない学校生活を知らない。学校のパンフレットを見る。
- 帰国子女とたくさん話して本物の英語を学んでいます。
- 日焼け止めをぬる。(他 1 件)
- 自習したり部活のことで一人でもできることを考えて家で実行した。(他 1 件)
- 学校のクラスメイトに授業でやつた範囲を教えてもらつたりしていること。

高校生世代

- ・友達とラインする・友達と電話(zoom)する (他 2 件)
- ・テーブルゲームがけっこうもりあがる。
- ・感染対策をしっかりしていることです。(他 32 件)
- ・人がいないところでははずす。(他 3 件)
- ・リモートを使ってみんなでトレーニング素振りの動画を送ってアドバイスをもらう
- ・コロナ対策・自分で地域のスポーツサークルに入った (他 1 件)
- ・ストレスは、友達との LINE や通話で解消した。なんとかして、勉強の意欲をかき立てた
- ・コロナで失ったものをできるだけ取り返そうと毎日みんなで楽しむ!!
- ・無くなった行事のことは考えないようにする。
- ・体を使ってアピールする(マスクで顔が見えないため)
- ・ネットコミュニケーションに依ぞんせず、現実でしゃべる。
- ・人と喋らない
- ・LINE で話す
- ・家にいてもできることがないか探して、だらだら過ごすだけにならないようにしている
- ・他のことをして楽しむ
- ・マスクを外さなくてもできるようなことを極力しています。
- ・学校図書館やカフェに行き、一人で勉強したり本を読んだりできる時間を作るようにしている。
- ・自分になじみのあるタブレット等で授業に参加している。
- ・空気せいがいいマスクを着ける
- ・マスクの中にキッチンペーパーなどを入れ 5 重くらいの構造にしていること。
- ・マスクをつける、距離を空ける、パーテーションを立てる (他 1 件)
- ・マスクを外して話さない。黙食 ・周りに感染者が出たら、家から出ないようにしている

『あなた自身のこと』についてお聞きします。(この回答で書いた人がわかることはありません。)

F-1 あなたの令和 4 (2022) 年 4 月 2 日時点での年齢をおしえてください。(〇は 1 つ)

	件数	%
ア 10 歳	21	4.3%
イ 11 歳	98	20.2%
ウ 12 歳	82	16.9%
エ 13 歳	57	11.8%
オ 14 歳	61	12.6%
カ 15 歳	50	10.3%
キ 16 歳	57	11.8%
ク 17 歳	57	11.8%
無回答	1	0.2%
合計	484	100.0%

F-2 あなたの住んでいるところをおしえてください。(〇は 1 つ)

	件数	%
ア 川崎区	74	15.3%
イ 幸区	63	13.0%
ウ 中原区	88	18.2%
エ 高津区	73	15.1%
オ 宮前区	75	15.5%
カ 多摩区	47	9.7%
キ 麻生区	62	12.8%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

F-3 あなたは、川崎市に住んで、どのくらいになりますか。(○は1つ)

	件数	%
ア 1年未満	6	1.2%
イ 1年以上5年未満	27	5.6%
ウ 5年以上10年未満	64	13.2%
エ 10年以上	384	79.3%
無回答	3	0.6%
合計	484	100.0%

F-4 あなたは、誰と暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
ア 父	442	91.3%
イ 母	479	99.0%
ウ 祖父	31	6.4%
エ 祖母	39	8.1%
オ 兄弟姉妹	370	76.4%
カ おじ	1	0.2%
キ おば	6	1.2%
ク その他	22	4.5%

(無回答=1、N値=484)

F-5 あなたは平日(月曜日から金曜日まで)の日中におもに何をしていますか。(○は1つ)

	件数	%
ア 学校で過ごしている	465	96.1%
イ 学校以外のところで過ごしている	16	3.3%
ウ 働いている	1	0.2%
無回答	2	0.4%
合計	484	100.0%

2 単純集計表（おとな）

I 平成 12（2000）年 12 月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q 1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は 1 つ）

	件数	%
1 知っている	23	10.0%
2 聞いたことはあるが内容はよくわからない	74	32.3%
3 知らない	128	55.9%
無回答	4	1.7%
合計	229	100.0%

Q 2 川崎市子どもの権利をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の先生の話	6	6.2%
2 施設の職員の話	1	1.0%
3 知人・友人の話	4	4.1%
4 学校で配布されたパンフレット	37	38.1%
5 川崎市ホームページ	23	23.7%
6 ポスター	18	18.6%
7 ちらし	9	9.3%
8 新聞、テレビなど	22	22.7%
9 その他	14	14.4%

（無回答=2、N 値=97）

【その他】

- ・市の広報紙（他 3 件）
- ・町内会の会報やホームページ（他 1 件）
- ・スポーツ施設・職場の研修など（他 1 件）
- ・毎年、保護者と子どもの権利について話し合っている。
- ・テレビのニュース
- ・母子手帳のうしろだったような（あいまいな記憶）。
- ・知らなかった、見たことがない。（他 5 件）

Q 3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 かわさき子どもの権利の日	29	12.7%
2 川崎市子ども会議	54	23.6%
3 川崎市人権オンブズパーソン	41	17.9%
4 川崎市子どもの権利委員会	15	6.6%
5 子どもの権利に関する行動計画	8	3.5%
6 一つも知らない	136	59.4%

（無回答=11、N 値=229）

Q 4-1 7 つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。あてはまるものを最大 3 つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	152	66.4%
2 ありのままの自分である権利	12	5.2%
3 自分を守り、守られる権利	33	14.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	2	0.9%
5 自分で決める権利	8	3.5%
6 参加する権利	1	0.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	3	1.3%

（無回答=18、N 値=229）

2番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	17	7.4%
2 ありのままの自分である権利	46	20.1%
3 自分を守り、守られる権利	68	29.7%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	13	5.7%
5 自分で決める権利	11	4.8%
6 参加する権利	1	0.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	7	3.1%

(無回答=66、N値=229)

3番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	4	1.7%
2 ありのままの自分である権利	19	8.3%
3 自分を守り、守られる権利	30	13.1%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	15	6.6%
5 自分で決める権利	22	9.6%
6 参加する権利	11	4.8%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	41	17.9%

(無回答=87、N値=229)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・愛情を持って育てられることは大切なことだから (他 10 件)
- ・親の愛情、又は他人であっても、子どものことを見守ってくれる人が 1 人でもいること (他 2 件)
- ・どんな子供も愛情を受けて育てられるべきだが、あたり前の安全・安心を感じられていない子供が多いと思う (他 1 件)
- ・大人中心の世界になりがちで、その大人になるには子供の時に受けた愛情があつてこそ、豊かな世界を育てる大人になると思う
- ・子どものときに、どれだけ愛情を注がれるかによって、大人になったときの生き方、価値観が大きく左右されるから。(他 6 件)
- ・基本的な事であり、命が一番大切だと思うので。(他 2 件)
- ・生きる、成長する上で基本的な権利だと思います。(他 23 件)
- ・子どもが成長していく過程で、最も必要だと思うから。(他 16 件)
- ・子どもは将来の社会の担い手であり、子どもが安心して生活できることは、大人として社会全体で最低限確保すべきことだから。(他 1 件)
- ・生きていく上で不可欠な要素だから。(他 4 件)
- ・一番大切な人としての土台となる部分。(他 8 件)
- ・子供に限らないことだが、安心して生きる権利は何者にも侵害されてはならないと思うから 1 は特に大切と考えます。
- ・2～7番があつて、1番が成り立っているから。
- ・当然の権利だと考える。(他 2 件)
- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。
- ・愛情や安心は誰にでも必要であるものだと思うから。(他 2 件)
- ・周りのもの(者、物、環境)が寄りそい、また、育むことが必要であり、それらを子どもたちは享受する権利があると考えます。
- ・毎日が安全・安心に生活して、差別がない事 (他 5 件)
- ・子供が選択できないから (他 1 件)
- ・子供は、どの子も差別なく遊ぶ権利が必要である。
- ・安心してらせるということ。ただ、差別を強調するとなんでも差別差別となり大切なことをみおとすと思う
- ・生まれた国、肌の色、育ったかんきょう、そんなことで人の上下を決める心を、基本は同じ人間という心をもってほしい。
- ・毎日安心していられることにより、健全な心身がつけられる源であるから。
- ・子供は本人が思っているほど、しっかりしていません。やりたい事があれば、どんどん進んでやります。時には集中すればとびだしますし、何も見えなくなります。でも出来るだけ見守り突進してほしいものです。なので安全にやりたいことを止められることなく、やって欲しいと思っています。

- ・周りの環境を整えるのが大切で安心して遊べる場所や勉強
- ・スポーツできる場所を作っただけのこと。(他 2 件)
- ・安心・安全、衣食住がまともであること。不足してはだめ
- ・どこへ行っても安全・安心でいたい。
- ・川崎出身という、「治安悪いよね」というイメージをどうにかしてほしい。
- ・事件事故に巻き込まれない社会を作らなければならないと思う。(他 1 件)
- ・現在は不安定な時代
- ・最近社会が左に向かっているため。
- ・親、家族は子供を大切に育てましょう。
- ・集団行動が始まると色々な出来事がありますが、どんなことがあっても家の中は安心基地であることを心がけていくことが大切。
- ・心も身体も健全にあることが大切だと思うから。(他 1 件)
- ・たのしく生きるから。
- ・一日の生活にストレスのない安心の生活
- ・貧困母子家庭の増加
- ・のびのびと成長してほしい。
- ・子供は国の宝で有り人としての人権を保障すること。
- ・最低限の大人の義務だから。
- ・安心して過ごせなければ未来に希望が持てない。
- ・子どもは弱く、守られるものであることは大前提である。
- ・生を受けたのなら、寿命をまっとうするのが人の使命だと思うから。
- ・まず、安全、安心を、思う事ができないと、何もできない。
- ・川崎の街で生まれ育ったことを後悔してほしくないから。
- ・安心して生きられないと、ありのままの自分を自分で認めてあげられなくなってしまうから。

2 ありのままの自分でいる権利

- ・虐待、いじめ等もそうですが、子供の安らげる場所が必要かと思います。(他 4 件)
- ・ありのままの自分でいられる場所が必要
- ・個性を生かすことを学んで欲しい(社会の中で)
- ・現代のネット社会の中で、場所も心もホッと出来る所が大切と考える。(他 1 件)
- ・昨今、SNSなどで誹謗中傷などで、子供の世界も大人と変わらずたくさん心が傷ついたりすると思います。
- ・自分を認めてもらえ、守られている、安全な場所があることによって好奇心や挑戦しようとする気持ちが生まれてくると思うから。(他 1 件)
- ・リラックスできる環境が自分らしさを育てます
- ・公園がすくなく、子供の遊び場がない。公園でもボールはダメなど制限が多い。子供の成長を大人が抑制することなく、子供本来の姿でありのままに遊べる環境が欲しい。
- ・大人の見守りが必要だが、社会全体で関わっている事を子ども達に伝えるべきと思う。
- ・それぞれ、生きること、成長することの基本的な権利であると思います。(他 3 件)
- ・ADHA等広く認識されつつあるのに、それを受け入れるだけの社会ではないと感じるため
- ・子供大人にかかわらず、一人の人としてあらゆる偏見や差別はあってはならないと思うから。(他 2 件)
- ・一人の人として、ありのままの自分を認め受け入れられることが、大切だと思うから。他の6つの権利は、この権利を守るために必要な権利だと思うから。
- ・1度しかない人生だからありのまま自分らしく生きて欲しい。(他 3 件)
- ・他人と違うことは個性であり素晴らしいことだと思うから。(他 3 件)
- ・これが実現されれば、どのような子どもであっても自分らしく生きていくことができ、とても大事な事だと思うため。
- ・それぞれの個性を受け入れることが生きやすさに通じると思うので(他 1 件)
- ・性別や生き方など他の人との違い(多様性)を認められる社会になってほしい。(他 4 件)
- ・得意不得意があるように、個性もそれぞれ。普通という概念を型にはめず理解できるようになってほしい。本人も友達にも個性があり、人それぞれということを知ってほしいです。(他 5 件)
- ・風潮に惑わされる人が多いから
- ・個性を伸ばすことが大切だから
- ・子供は未成長の過程だから
- ・精神的な安定につながるものだから。
- ・子供を産んだら責任を持って育てること。
- ・1と3の権利が守られた上で、その次に2が必要だと思うからです。4～7もとても大切だけど、1と3が守られ、2が守られることで、やっと4～7を実行できるため。

3 自分を守り、守られる権利

- ・自分も他人も大切に育て、健やかに育ててほしいから
- ・生命にかかわることだから。(他 4 件)

- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。
- ・いじめ、虐待、体罰は、子どもの成長を阻害する最たるものだから、守る・守られる権利は大切だと思います。
- ・いじめ、虐待、体罰に共通する理不尽さから逃れれることは子どもの大きな安心に繋がると思うから。(他2件)
- ・この権利が侵害されることで、自殺等につながる危険性があるから。(他1件)
- ・命に関わること、周りの大人が気付き、守っていかなければならない。(他1件)
- ・いじめ・虐待・体罰で命を落とすことはあってはならない。(他2件)
- ・とにかく生きる事が大事、他の人に命をおびやかされないでほしい。
- ・非常事態に対しての最低限のセーフティーネットであるため。
- ・心身がまず大切なため守られるべき。(他1件)
- ・いじめ、虐待はどの時代でも共通の課題 (他2件)
- ・最も守らねばならない現代の社会問題だと認識している。
- ・子供本人の権利を守る
- ・生きていく上で一番必要、最低限の権利だと思うから。(他8件)
- ・子は親をえらべないから。
- ・いじめ、虐待、体罰はどんなことがあっても避けなければいけないと思う。(他2件)
- ・自分を大切にできるよう困難なことをサポートしてもらうことは必要と思うから。(他2件)
- ・何かあれば(いじめ虐待等)相談ができる事 (他9件)
- ・起こらないようにするのも大切。
- ・子どもだからと決めつけず本人の意見が最も重要だと思う。(他7件)
- ・いじめ、等に対する、逃れる場所があることが助けになる。(他3件)
- ・最近マスコミ等で子供へのいじめや虐待が数多く報告されており、早急に対策を講じ子供が安心して生活できる社会を構築することが喫緊の課題となっているからです。(他1件)
- ・子供は学校、家庭、地域で一体になり守られなければならないから。(他16件)
- ・自分を守り、守られる権利いじめとかの問題をよく耳にするから。(他1件)
- ・子どもの心と身体を傷つけることは親でさえあってはならず、周囲のサポートが大事だと思う。(他1件)
- ・親等による虐待があとをたちません。生きる権利とセットだと思います。(他1件)
- ・いじめも生涯に影響を与えるから。(他1件)
- ・実際にこれらの行動が出来るか?
- ・身体的な安定につながるものだから。
- ・人の話を聞かない人が多いから。
- ・いじめや体罰などは受ける側の身辺かの人のが加害者となる人が多く声を上げにくいから。
- ・いじめ、虐待などの狭い世界で起きていることはなくせると思う。
- ・守られていない話。事件などを多く耳にする。自分の軸を持つ大切な時期だから。
- ・いじめ・虐待・体罰などは、やっている方が悪いこととわかっていないのが一番の問題と思う。自分は楽しくても(又楽したいでも)相手は死にたい程辛いということを知ってほしい。
- ・目に見えない事もこれから増えるでしょうし、増やすでしょう。でも、傷ついたり、傷つけたりはしてほしく無い。いじめを見たら止めてほしいけれど、それでいじめの対象になってしまうのも不安です。なぜだめなのか、隠し事の良し悪しを理解できるようになってほしいです。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・自分を豊かにし、力づけられる権利自分探しをし、それぞれの人生を思う存分楽しんで欲しい。
- ・自分を大切に思える様に、心を豊かに持てる様に。
- ・人間をつくる基本と考える。(他1件)
- ・子に限らず人間は人からの励ましにより、大きく成長できるから。(他2件)
- ・得意な事や興味のある事を認めてもらうことで励まされる。
- ・将来に役立つ。
- ・自信を持つ事で色々な事に意欲的に行動出来るような人になれると思うから。(他1件)
- ・さまざまな経験を重ねて、人は成長して行く、良いこと、悪いこと、無駄な経験はひとつもないから、ひとつでも多くのことを学んで欲しい。(他3件)
- ・自分以外の誰かと関わりながら自分のあり方や他人のあり方などの人間関係を築く大切さを知って欲しい。
- ・国際比較でも、日本人は自分に自信や誇りを持つ人の割合が子どもの時点で、とても低く、これからグローバルな世界で活躍するにあたり深刻であるから。
- ・現在のサポート体制が不十分。強化の要。
- ・遊び場も減り、学びも学校の先生自体が悩んで父母会で愚痴をこぼしてる。

5 自分で決める権利

- ・子どもか大人かにかかわらず、どのような状況にあるかにかかわらず、自分に関することを自身の意思で決められることが個人として尊重されるもっとも大事なことだと思うから。(他2件)
- ・子どもを枠の中にあてはめて見守るのは大人の都合によるものであってはいけない。子どもの意見の中に大人に対するヒントがある。

- ・大切なライフイベントが多い時期に、親や、まわりの根強い偏見、環境にふりまわされがち→親がそのように育っていない(自立していくのに最も大切なことだから)。
- ・最終的に自分できめるべきだと思うから。(他 1 件)
- ・一人の人間としての権利だと思う。
- ・自分の意志をはっきり言える環境であってほしい。
- ・親が子の行動に感傷し過ぎるように思う。
- ・自分のことは、自分で決めて、行動することを子どものうちから考えたほうがいいから。(他 4 件)
- ・自分で判断し決断していく力が将来必要となるから。(他 1 件)
- ・何があっても、後々自分で決めたと意識を持てる。
- ・責任を持って考えられることが大切です。(他 2 件)
- ・子供が子供自身で自分のことを決め、周囲の大人が支援する。(他 3 件)
- ・自己主張しない子供が多くなったと感じられるため。(他 1 件)
- ・自分で決められれば、いざという時に逃げられる。
- ・成長、育ちを見守るうえで必要だと思う。愛されて育ったうえで、自主性を育てたい。
- ・集団や管理が優先され自分で決めることができないように扱われている。

6 参加する権利

- ・家族で決めるとき、子供だからと親だけで決めないようにしている。
- ・親の経済格差などにより子どもの参加する権利は大きい差があり放置されている。
- ・将来、社会で仕事をするときに、集団に参加することに慣れる必要があるから。(他 1 件)
- ・自分を表現でき、社会で活動しやすくする。
- ・自分の意見が素直に言える社会になるとよい。
- ・表現をする意欲をもぎとらず、道がそれていないかをみていくと、わりと子どもってしっかりした大人になっていきます。(他 1 件)
- ・子どもも人格を持った人間なので。

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・その子どもに合った環境の中で助けられながら生活を送れる街であってほしい。
- ・これがあたり前になると、どの子どもにとっても生きやすくなると思うから。
- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。(他 1 件)
- ・くじける事があっても再びチャレンジ出来る様に支えが必要
- ・社会活動に参加することで、様々な知識や経験を得られるから。
- ・差別なく、障がいなどで、社会に出れる機会を増やしていける様にしてほしいので。
- ・支援の必要な子が多くなり、一人一人に必要な支援が受けられ、自らの困まり感を「たすけて下さい。」と言えることが大切。
- ・あらゆる差別を受けず、助けてもらえる社会が必要。(他 7 件)
- ・公共機関でしか支えられない。
- ・以前に比べてインクルーシブ教育などが一般的になりつつあるが、まだ生きづらさを抱える子供がいて、そのサポートは充分ではないと感じるから。(他 1 件)
- ・もれる子のないように実現させたいですね。
- ・多様性の社会の中で差別や障害に偏見を持たせない為。
- ・差別されず、支えてもらえる社会で育った子供は良い親になります。
- ・人間として他者と違う(外見、行動様式、考え方等)からといって排除することはあってはならないと思うから。(他 2 件)
- ・国籍や障がいなど差別なく、社会の参加、交流は大切と思う。(他 4 件)
- ・ハンデは個性だからそれに囚われることなく生活できてほしい。助けが必要なのであれば、するべき。
- ・多様性について柔軟な考えを持てるようにならないと将来困るだろうから。
- ・その権利がない状態=差別があたりまえの環境。そういった環境は子供の人格形成に大きく影響する。

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	29	12.7%
2 ありのままの自分での権利	22	9.6%
3 自分を守り、守られる権利	56	24.5%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	5	2.2%
5 自分で決める権利	11	4.8%
6 参加する権利	2	0.9%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	15	6.6%

(無回答=89、N値=229)

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	9	3.9%
2 ありのままの自分である権利	17	7.4%
3 自分を守り、守られる権利	23	10.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	4	1.7%
5 自分で決める権利	15	6.6%
6 参加する権利	6	2.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	13	5.7%

(無回答=142、N 値=229)

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	8	3.5%
2 ありのままの自分である権利	7	3.1%
3 自分を守り、守られる権利	6	2.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	4	1.7%
5 自分で決める権利	5	2.2%
6 参加する権利	6	2.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	17	7.4%

(無回答=176、N 値=229)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・全ての子供が愛情を受けているのであれば、起こりようのない事件が世の中に多いから。(他 1 件)
- ・現実には差別があり、安心が守られていないから。(他 4 件)
- ・学校での暴力
- ・親しかり不審者しかり子供を危険な目にあわせる大人が一定数いる(と思う)。(他 2 件)
- ・子どもを愛すべき家庭に問題があるのに対処できていないから。(他 5 件)
- ・安全・安心に生活できているか、その権利があることを理解しているか疑問。(他 1 件)
- ・社会が不安定→家庭(親)が不安定を思うから。(他 3 件)
- ・小学校の環境が劣悪。川崎独自のフロンターレドリルなどいらない。
- ・可哀想な事件をメディアで見聴するとそう思う(虐待、育児放棄、不審者による事件等)。(他 5 件)
- ・虐待、いじめが普遍的に存在している。(他 1 件)
- ・守られるべき、具体的な内容が不明確。
- ・虐待やヘイトスピーチなどまだまだ十分ではないと思います。
- ・公園の近くの住人が、子供の遊ぶ声がうるさいの、苦情を言う人が居るが、自分のお世話になる訳だから、大目に見てやらなければならない。
- ・生まれてきたことは素敵なことなのにどこか上手くいかない子供たちがいることがやっぱり悲しい。
- ・法定速度を守らないで運転している人が多いような気がする。安全確保が重要。
- ・特に高齢者の自転車など運転に危険を感じる事が多い。

2 ありのままの自分である権利

- ・子供達の安心して過ごせる場所、仲間(友達)ができない。・守られるべき、具体的な内容が不明確。
- ・子供のうちは(小中学生)学校に行く事が前提になっており、学校以外の居場所、学ぶ場所がなかなかなく、苦しんでいる方達が一杯いるから。学校がづらい人達にはオンライン学習の選択があるべきでは。1 人 1 台パソコンがあるのに…。
- ・ネットでの情報、通信の発展で、プライベートが守られていない。(他 1 件)
- ・秘密が守られているか、…理解して大人が行動しているか？(他 2 件)
- ・個性や秘密、対象年齢によって一律には語れない。
- ・他との競争から生じる発言を耳にする。
- ・個性をどのように受け止めるか。受け止める側の学びも必要と感じる。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。(他 4 件)
- ・小学校の先生が公の場で他の子との違いや劣っている事を指摘したりしている。
- ・人種差別や個性を認めないような社会がまだ続いていると思うので。(他 5 件)
- ・いじめ問題等はその場しのぎで解決しようとして、社会全体の問題として考えられていないから。

- ・人と違うといじめに会うことがまだまだあります。(他 3 件)
- ・237 共うわさで聞きます。
- ・幼少期から 18 歳まで、各家庭で何が起きているか他人が知ることはないから。
- ・あらゆる点で、経済差が広がっていること、未来への不安が強まっていることが大きな要因ではないのかと思います。
- ・けっこうありのままでいたくても出来ないのかな。
- ・当然のことであるが、1 部守られていない。

3 自分を守り、守られる権利

- ・いじめや虐待がなかなか無くならない。(他 9 件)
- ・虐待、親の見識、親に対する教育にも。
- ・いじめ、虐待は、なかなか表にでてこないところで行なわれるので、権利があってもむずかしい。(他 2 件)
- ・親の支配下に置かれ、個人の自由な思考、行動に抑制的すぎるように思います。
- ・いじめは、残念ながら大人でもある。人格を認められていない。
- ・いじめへの対応が出来ていない。
- ・虐待、いじめが増え、子供の命さえ守ってあげられない。子供の命の大切さが重要。(他 6 件)
- ・自分を守り、守られる権利虐待や虐待のない社会を実現したい。
- ・いじめ、体罰等の相談をしても、特に教育委員会は全て保身の対応していると思います。
- ・予防をできるようにした方が良い(親に対しても)。
- ・単に足りていない。
- ・子供が事件に巻き込まれるニュースを見ると、守られていないと思う。(他 12 件)
- ・児童相談所や、警察がもっと介入できるようになって欲しい。
- ・いじめや虐待をうける子供が逃れたり相談するという行動が起こせるのか。(他 6 件)
- ・やはり、相談できる人(場)がない、と思っている子が多いから。
- ・子どもが声や行動に出すのは大変なこと。しっかり受け取る体制が必要。
- ・いじめや虐待、体罰について相談や逃げる先がどこか不明。(他 2 件)
- ・いじめについての学校の対応は？ニュース等を見ると問題がある。(他 3 件)
- ・いじめや虐待などを全てみつける事がむずかしい。(他 3 件)
- ・ネットでの情報、通信の発展で、プライベートが守られていない。
- ・自分を守り、守られる権利→コロナ禍での学校の対応でより強く感じました。
- ・人のことを考えられないこと(人)が多い、“相手を尊重する”親は教えているのか？
- ・他人事と比べ、自分のことと比べ行動していない教育者も同様
- ・あらゆる点で、経済差が広がっていること、未来への不安が強まっていることが大きな要因ではないのかと思います。
- ・娘達には小学時トラブルは無かったが、放置子が増えていると感じている。
- ・私の子供の頃は虐待が社会的に問題視されていなかったと思う。
- ・私の中では日本では子供が社会で活動している。という認識がないです。なので守られているとも思えません。
- ・家庭や学校で潜在化してしまい明るみになりたくないから。
- ・社会全体でいじめ・体罰など許さないという考えが弱い。
- ・いじめ、虐待、体罰などの撲滅が社会的に叫ばれているが未だ対策が不十分であり、さらに充実した対策を構ずる必要がある。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・励まし、力づけよりもしかられる、おこられる場面を多く見るから。
- ・教育者の意識向上を、愛のある言葉を子供達にかけて下さい。(他 1 件)
- ・子供達は、今、励まされるのではなく、分けられている様に思う。
- ・現在は競争社会の為勝っていない時には、必ずしも励ませるだけではない事が多く感じるから。
- ・子供が日常生活の中で自信をもって成長して行ける環境作りが急務だと思うからです。
- ・各国比較で日本は自分に自信や誇りを持つ子どもの割合が低いから。
- ・コロナにより学校行事、地域行事がなくなっている。子供への制限が厳しい。
- ・守られるべき、具体的な内容が不明確。

5 自分で決める権利

- ・子供は判断できないと勝手に思い、大人の意見を押しつけている事が多く感じるから。(他 1 件)
- ・親の意見がまだまだ影響が大きいように思う。(他 5 件)
- ・致し方ない部分もあるが、大人が子供に決断をさせる場面が作りづらいつと感じる。
- ・環境や状況で決定権を得られない時があるから。
- ・権利として、きちんと認識されることが親や関係者にないと思えます。生活や大人に余裕がなくなるとますます子どもの権利がおびやかされる。
- ・自分で決めるまでの判断力とぼしいので意見するのは、ある意味ゆうどう、しているようなもの。
- ・自己主張しない子供が多くなったと感じられるため。(他 1 件)

- ・子供が自分の意見を述べる機会はもともと多くないように感じる。
- ・子どもの権利とうたっているが、正直、何さいからの年れいを対象にしているのかがあいまいすぎる。
- ・今一番出来ていない事が、自分で決める事が出来ないのでは。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。
- ・大人が手をかけ過ぎがちで子供本位のわがままな行動を見かける。
- ・中学受験において、東京と教科書が異なるのは不利としかいえない。
- ・自分で決める権利→コロナ禍での学校の対応でより強く感じました。
- ・健康な体にマスクをつけるデメリットを子どもに教えた方が良いと思います。成長にも大きく関わります。デメリットの方がはるかに大きいですよ。
- ・割と不親切な対応を区役所でされたことがある。

6 参加する権利

- ・子供の社会的参加をうながす活動が必要です。(他3件)
- ・引合により参加/不参加がある。
- ・コロナ禍により活動は、制限されていると思う。
- ・学校などで取り組まれていると思うが、社会に出てからの若者が難しいと感じる。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。
- ・社会活動に参加している子供をあまり見ない。そのような自由があることを知らないのかもしれない。(他1件)

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・国の違い等でかなりちがいがあがると思う
- ・まだまだ差別されず支えられる世の中ではない。(他5件)
- ・川崎市のコリアンに対する差別は根強い。若い世代が変えていくしかない。
- ・差別をしない、させない日常を支援してない。(他1件)
- ・移民、難民受け入れにうしろ向きな日本。
- ・国民性、宗教にトラブル発生の要素があると思う。
- ・子供はそういう制度があることを知らない。
- ・国の違いなので社会に参加して交流できる場所が少ない。
- ・具体的な策を聞いたことがないから。
- ・様々な国、人、文化の事を知る時間を幼少期より必要。
- ・その子どもの個性が、尊重されているのか？社会参加は強制ではない。
- ・小さなことに囚われて時にそれに対して意地悪をするような子が育つ環境がなくなることが悲しい。
- ・成長が著しい時には助けてもらえますが、その逆の時は延ばしてほしい。その判断は親にあるようですが、学校で先生が気づいた時など、飛級制度のような、もっとやってみるといふ環境も作って欲しい。
- ・障がい者、人権の違いで、差別を余儀なくされている社会で、それぞれの障害、人種の違いによって社会生活が送れるかが重要視される中で必要だと思う。
- ・身体の障がいがあると、この(日本の)町は動きにくい。例、車いすの移動は大変、等。
- ・まだまだ足りない、健常者も理解できるような社会を作りたい見えない障がい者にはなかなかつらいから。(他3件)
- ・そもそも障害を持っている子どもは親の手助けが必要となるので本人自身では無理なのでは？
- ・個別の支援は受けられるようになってきている部分もあるが、分けて支援するのみで社会の中に参加させながら必要な支援をするという視点が欠けていると思うから。
- ・個別の支援は必要だが、一人一人には対応しきれない。(他2件)
- ・もっと子供に対する国からの支援があってもよいと思うよ。(他1件)
- ・教育環境格差も起因していると思います。

1～7の区別のない意見

- ・どの条例も守られて欲しい。
- ・守られていないと思うが、個別には判断つきません。
- ・どれも全ての人に守られているのか、といえば、どれも守られていないのではないかと思います。それぞれの家庭や学校等の対応によるので。(他1件)

Ⅱ 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。（○は1つ）

	件数	%
1 家事	33	14.4%
2 お金のこと	95	41.5%
3 自分の身体のこと	80	34.9%
4 自分の将来	63	27.5%
5 いじめ・嫌がらせ・シカト	27	11.8%
6 就職	8	3.5%
7 介護	36	15.7%
8 近所づきあい	15	6.6%
9 町内会の活動	7	3.1%
10 自分の親との関係	14	6.1%
11 友人関係	11	4.8%
12 職場の人間関係	24	10.5%
13 配偶者やパートナー（彼氏・彼女）との関係	19	8.3%
14 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の人間関係	21	9.2%
15 いわゆる「舅・姑」「婿・嫁」との関係	9	3.9%
16 自分（配偶者）の仕事	24	10.5%
17 子どもとのコミュニケーション	18	7.9%
18 子どものしつけ	25	10.9%
19 子供の進路・将来	53	23.1%
20 子どもの友人関係	21	9.2%
21 子どものいじめ	28	12.2%
22 子どもの不登校・ひきこもり・中退	14	6.1%
23 子どもの非行・暴力	12	5.2%
24 同居家族（子ども以外）からの暴力	2	0.9%
25 新型コロナウイルス感染症のこと	43	18.8%
26 その他	13	5.7%
27 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない	18	7.9%

（無回答=14、N値=229）

【その他】

- ・小姑との関係
- ・兄姉の協力がまるでない(実親 に対して)
- ・病気治療中の子どもの対応
- ・子供自身の生活状態
- ・共働きで家事(特に食事)に対する負担が大きい
- ・子育て中は⑮⑦⑬⑳㉑㉒㉓で悩み、コロナ禍で友人達と疎遠になりとても孤独。家族の会話が無く、有るのは自由時間だけ
- ・人間が地球を壊している良いニュースがない。環境問題や人間の争い子供が減っている。
- ・戦争、気候危機、日本の軍備増強など不安が大きい。最低賃金や不安定雇用が改善されない。物価高。
- ・心の優しい人が少なくなり逆にずるい人が多くなってきていること→いい人と思いだまされそうになる。
- ・先の生活に対する不安
- ・自分の健康のこと
- ・学校は子ども達から健康を奪っています。毎日。いい加減気づきましょう。学校側の保守の為にマスクをつけさせないで下さい。私は仕事以外では一切マスクはつけていません。子どもにも、学校以外ではつけさせていません。本当は学校でも付けさせたくないのです。
- ・全てにおいて考え悩みます。

Q6 あなたは、家で自由な時間はありますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 ある	204	89.1%
2 ない	13	5.7%
無回答	12	5.2%
合計	229	100.0%

Q7 あなたは、家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 できている	22	9.6%
2 だいたいできている	93	40.6%
3 ほとんどできていない	24	10.5%
4 できていない	6	2.6%
5 子どもはいない	73	31.9%
無回答	11	4.8%
合計	229	100.0%

Q8 Q7において「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。その具体例や工夫していることは何ですか。

- ・子供との会話。子供の目線に合った生活リズムを作ること。
- ・こまめに連絡をとりあう。
- ・一緒にあそんだり出かけたり、よくしゃべっている。(他2件)
- ・やりたいことにつきあう。
- ・忙しくても、子供と過ごす時間を作るようにしている。(他6件)
- ・月に1回必ず家族全員でモーニングに行っている。
- ・子ども部屋をつくらず、いつもみんながリビングで過ごすようにしている。
- ・一緒にいる時には、話す時間を多く持つようにしている。(他9件)
- ・子供の行動をみて、少しでも普段と違うと思った時に声をかけるようにしている。
- ・まだ話すことができないので、気持ちを代弁したり、たくさん話しかけることを意識しています。(他1件)
- ・家事の手を止める。その時聞けなかった場合は、必ず後で聞くようにする。(他5件)
- ・正面で聞くときと、場合によって横に座って聞く。
- ・子どもの言うことを優先している。(他2件)
- ・もう子供も大きいので聞きすぎないようにしている。
- ・とにかく相手の懐に入ること。
- ・毎日食事を共にして、子供の話を聞くようにしている。(他13件)
- ・一緒におやつを食べながら、その日の出来事を話したり、リビングでゆっくり過ごす。
- ・お風呂に入ってる時や、食事の際に聞いたりしている。(他2件)
- ・お風呂に一緒に入る時に話をするようにしている。(他1件)
- ・子供は成人し別居中だができるだけ家に集まり会話する様にしている。
- ・帰宅した時、食事、就寝する時に今日の話の繰り返し聞いています。聞いた話の質問や気持ちなど。どう思ったかなどを聞くようにしています。
- ・日頃の学校生活や友人関係等を意識して聞いている。(他3件)
- ・出来るだけ楽しかった事を聞くようにしている。
- ・食べたいものを相談して決める。
- ・子供に1日の出来事を聞く等、コミュニケーションをとるようにしている。(他3件)
- ・家族とのコミュニケーションは大切と考え、常に心がけているから。
- ・ラインで家族グループを持ち、お互いの状況を相互理解している。(他2件)
- ・子どもの話を途中で遮らない。どう？と意見を求めたりしている。(他1件)
- ・子供からの話を、聞く。受けとめる。否定はしない。(他2件)
- ・相手の思っていることをしっかり、聞いてあげる。(他10件)
- ・相づちを打ったり内容をくり返して言うことで話を聞く意志を見せている。
- ・共働きの嫁の家へ毎週平日2泊3日で通い続けてますが、その日の出来事等聞く様にはしているが、子供も塾やけいこ事etcで忙しく何々ゆっくり沢山話す時間がない。
- ・話しを最後まで聞き、子供が話をした事に対して、受け答えをしている。(他3件)
- ・自分の意見を先に言わずに、子供がどう思っているのか、心配な事などがなくさらっと聞く様にしている。
- ・その日のできごと、今どんなことをしているかなど、聞くようにしている。話しやすように具体的に質問する。
- ・会話していた時に、ほめれる部分は見つけて積極的にほめてあげる。
- ・特に工夫はしていませんが、子供達が自然に話せる様な環境を作る様努めています。
- ・心配事、困っている事をオープンにできる関係を子供が小さい頃から築いている。
- ・話かけられれば返事をしたり共感したりする。反抗的な時は背景を考察したりする。
- ・言葉でなくどういう気持ちで言っている言葉なのか考えたいとは思っている。
- ・子供の人数に対して大人の人数が多い状況にいるようにする。
- ・親にあずけられるから(もうダメだと思ったら)リフレッシュできる。
- ・子どもも成長し、それぞれの家庭で親となり生活しているので、それなりに育ったのではないかと思います。

Q9 Q7において「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	9	30.0%
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	10	33.3%
3 聞くよりも子供に伝えることのほうが多いから	3	10.0%
4 どのように聞いたり受け止めたりすればよいかわからないから	4	13.3%
5 その他	7	23.3%

（無回答=4、N値=30）

【その他】

- ・一緒に住んでいないから。（他1件）
- ・女の子は話をするが、男の子は父親の方に良く話をしている。
- ・妻が聞いてあげれていると思うから。
- ・父親、兄を見て育ったので二男は心を閉ざしてしまっている。家は寛げず、自室が1番安心。
- ・子どもがいないから。（他1件）
- ・一緒に住んでいないから。（他1件）
- ・女の子は話をするが、男の子は父親の方に良く話をしている。
- ・妻が聞いてあげれていると思うから。
- ・父親、兄を見て育ったので二男は心を閉ざしてしまっている。家は寛げず、自室が1番安心。
- ・子どもがいないから。（他1件）

Q10 あなたは家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 聞いている	33	22.8%
2 だいたい聞いている	92	63.4%
3 ほとんど聞いていない	7	4.8%
4 聞いていない	8	5.5%
無回答	5	3.4%
合計	145	100.0%

Q11 Q10において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。（○は一つ）

	件数	%
1 できている	21	16.8%
2 だいたいできている	94	75.2%
3 ほとんどできていない	7	5.6%
4 できていない	1	0.8%
無回答	2	1.6%
合計	125	100.0%

Q12 Q11において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・子供のやりたい話を話し合ってきた。（他5件）
- ・習い事に関しての選択。（他8件）
- ・例えば旅行の予定でどっちがいいか、とか意見を聞き、話合う。（他16件）
- ・休日の過ごし方、食事の内容、など簡単なことばかりだけど聞くことによって相談されたら喜んでくれる。（他3件）
- ・何が食べたいかを聞いて、答えた物を作ってあげた。（他7件）
- ・家の相続。
- ・弟の名前
- ・学校から帰ってきてからの、宿題や遊ぶ時間のルール決め。（他3件）
- ・帰宅時間を自分で決めさせて、それを守っている。
- ・友達とのつき合い。（他2件）
- ・子どもの部屋のものは、どんなにちらかっているもさわらない→自分で片づけはじめた。
- ・休日の過ごし方について意見を尊重している。（他4件）
- ・本人の希望する、お絵描きや工作の材料や環境を整える。（他1件）
- ・物を捨てる時など意見を聞いてから捨てます。・子供の提案を参考にして決めている。（他1件）
- ・子供自身の事や子供が関係する事は子供の意見もとり入れる。（他1件）
- ・お互いに問題点を話し合い、意見を聞き入れてる。（他2件）
- ・コツを教えたらできるようになる。
- ・家族で楽しいと思う事が多い。親が、こうしたいなと思う気持ちを子どもも、そうしたい。と言ってくれることが多い。また子どもの言葉で動くようにしている。
- ・どう思うか、を聞くと自分の言葉で話してくれる・決めつけず選択できるようにすると子どもは答えやすい。
- ・親との約束を守れなかった時、自分で目標や反省点を考え、それを実現して行動している。考える手助けをしている。（他2件）
- ・日常的に様々なことで互いにサポートしている。

- ・学校の進路等について。(他 17 件)
- ・学校のことをよく聞いている。むりな時は休ませたりしている。(他 1 件)
- ・家を新築する際、部屋の仕様を、子供の意見を聞きながら設計した。(他 1 件)
- ・家具などと買う時など家族全員が過ごしやすい場にする為、子供も一緒に選び、みんなで考えている。
- ・子供が使用するものはどれにするのか、大切に使えるかなど約束も合わせてしています。
- ・問題の解決方法が的確だから成長を感じる。台風の水害の際に優先順位と作業方法を進める事が出来た。
- ・感謝の気持ちを言われたとき。(他 1 件)
- ・屈託のない笑顔。
- ・それぞれ自力しているから
- ・子供が好きな所につれて行くと、はしゃぐ姿。
- ・何って事はないが、子供の一言との、純粋な、意見は、決断力は大きい。

Q13 Q11において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

- ・自己中心的な考え方が多かった。
- ・意見が異なる事が多い。
- ・子供の意見を聞くまではするが、あまりにも突拍子もないことを言ったり、現実的ではないことを言うため、なかなか意見を反映できない場合が多い。
- ・出来る限り子供の意見は反映させてあげたいが、コロナ禍や今のご時世では実現が難しいと感じる部分はあった。1人で公園に行きたいなどの場合、治安的に安心して行っておいでとは言にくい。代替案などを子供に提示してしまう部分があると感じた為。
- ・約束事を決めてもほとんど(孫)が守らない事が多く、反抗期も少し入り始め、毎日バトルする事が多くなっている最近です。
- ・家庭内が安心できる場所ではないので二男はほとんど会話せず意見を言わない。長男はおしゃべりなので家長の様に干渉してくる。各々性格が違うので反応が違うのは仕方ない。
- ・時間やお金に余裕がなく、行きたいところをやりたい事をさせてあげられないと感じる。

Q14 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが、少なくとも一人はいると思いますか。(○はひとつ)

	件数	%
1 そう思う	167	72.9%
2 そう思わない	49	21.4%
無回答	13	5.7%
合計	229	100.0%

Q15 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 あると思う	66	28.8%
2 だいたいあると思う	125	54.6%
3 ほとんどないと思う	25	10.9%
4 ないと思う	2	0.9%
無回答	11	4.8%
合計	229	100.0%

Q16 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 自分の部屋	134	58.5%
2 リビング・居間	153	66.8%
3 お風呂	65	28.4%
4 トイレ	41	17.9%
5 祖父母の家	54	23.6%
6 友だちの家	19	8.3%
7 教室	18	7.9%
8 学校図書館	12	5.2%
9 クラブ、部活動の場所	28	12.2%
10 学習塾	6	2.6%
11 習いごとの教室・スポーツクラブ	13	5.7%
12 地域の図書館・市民館	5	2.2%
13 子ども夢パーク	2	0.9%
14 公園	31	13.5%
15 こども文化センター・わくわくプラザ	15	6.6%
16 アルバイト先・仕事場	4	1.7%
17 遊戯施設（カラオケボックスやゲームセンターなど）・飲食店・コンビニ	9	3.9%
18 その他	15	6.6%
19 特になし	0	0.0%

【その他】

- ・友達のいる学校
- ・放課後の学校
- ・地域の学童クラブ
- ・公園
- ・ベッドの上（他1件）
- ・洗面所→ドライヤー・スマホ見
- ・映画館
- ・就労移行支援施設
- ・川崎市子どもの権利1.2.3が守られていれば、ほぼ全ての場所。守られていなければホッとできる場所など存在しない。
- ・自分がその場面においてリラックスする場所。
- ・不安な時は、何処にいても不安なままなので心を落ち着かせる場所はないかと思います。
- ・その子にとってどこかはここできめられない

（無回答=11、N値=229）

Q17 日常生活で、文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	70	30.6%
2 ときどき思う	113	49.3%
3 ほとんどそう思わない	27	11.8%
4 そう思わない	14	6.1%
無回答	5	2.2%
合計	229	100.0%

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q18 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。（○は1つ）

	件数	%
1 いる	199	86.9%
2 いない	26	11.4%
無回答	4	1.7%
合計	229	100.0%

Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 自分の親、義理の親	89	38.9%
2 自分の子ども	66	28.8%
3 親戚	9	3.9%
4 兄弟姉妹	60	26.2%
5 夫・妻、パートナー	144	62.9%
6 友だち	118	51.5%
7 職場の同僚	40	17.5%
8 職場の先輩	16	7.0%
9 職場の上司・管理職	13	5.7%
10 近所の人	6	2.6%
11 保健師	1	0.4%
12 医師	16	7.0%
13 民生委員・主任児童委員	2	0.9%
14 子どもの担任の先生	8	3.5%
15 子どものクラブ・部活動の先生	0	0.0%
16 校長先生、教頭先生	0	0.0%
17 ゆうゆう広場・相談学級の先生	0	0.0%
18 スクールカウンセラー	0	0.0%
19 心理カウンセラー	1	0.4%
20 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の友だち	2	0.9%
21 その他	9	3.9%

（無回答=7、N値=229）

【その他】

- ・グループホームの職員
- ・娘の友達の親で仲良くしている人。
- ・以前お世話になったスクールサイコロジスト（アメリカ）、役所の担当者
- ・弁護士等の専門職の人（他1件）
- ・川崎市の相談ダイヤル、でも経験がない等、対応する人には逆に落ち込んで電話を切る。相談ダイヤルが有料は有り得ない。
- ・相談する人は誰もいない。（他1件）

Q20 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。（知っているものすべてに○）

	件数	%
1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター）	102	44.5%
2 児童相談所	144	62.9%
3 児童・青少年電話相談	44	19.2%
4 児童虐待防止センター	27	11.8%
5 民生委員・主任児童委員	68	29.7%
6 スクールカウンセラー	63	27.5%
7 総合教育センター	14	6.1%
8 24時間子供 SOS 電話相談	40	17.5%
9 教育委員会の教育相談室	18	7.9%
10 電話相談ホットライン	37	16.2%
11 インターネット問題相談窓口	11	4.8%
12 やまびこ相談	3	1.3%
13 かわさき若者サポートステーション	7	3.1%
14 人権オンブズパーソン	27	11.8%
15 川崎いのちの電話	75	32.8%
16 かわさきチャイルドライン	28	12.2%
17 子どもの人権 110 番	53	23.1%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	8	3.5%
19 知っているものはない	40	17.5%

（無回答=8、N値=229）

Q21 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q20のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 したいと思う	114	49.8%
2 したいけどできない	14	6.1%
3 したいと思わない	83	36.2%
無回答	18	7.9%
合計	229	100.0%

【「したいけどできない」理由】

- ・行政に相談をするという行動に勇気が必要
- ・望んでいるように、すぐに動いてくれるのか不安です。また、ネーミングにも相談してみようかな。と思わない。
- ・子供の目線になった際に、相談したくても出来ないとは感じた。
- ・窓口時間が短いから。
- ・子どもにあまり普及していない、または知られていないのではないかと感じた。(他1件)

- ・私が相談をする場合、親や友だちにまず相談すると感じた為。
- ・解決しなそう。
- ・相談先が多すぎてどの窓口が適切かわからないから。・耳がきこえないため。
- ・色々、他の人のことを考えると相談できないかもしれないと思う。
- ・どう受け取ってくれるかわからないため。

【「したいと思わない」理由】

- ・それほど相談は今のところないから。(他15件)
- ・なんとか自分で解決する。(他2件)
- ・自分の周りの人に相談すれば、解決するので。(他8件)
- ・不安の方が先に立ってしまう。
- ・身近な場所ではない為、自分を知っている人に相談したい。
- ・面倒。したところだと思う。(他1件)
- ・はずかしい。対応してもらえない恐れ。
- ・何て言えばいいかわからない。もっと大変な人がいる。
- ・解決するには思えないから。(他7件)
- ・役所は民間人の生活内容を知らなさすぎる。(他2件)
- ・以前相談して、時間だけかかり、何の解決もしてくれない。(他1件)
- ・以前別件で公共の相談に問い合わせしたが、対応が冷たく他人事だった。

- ・しても無駄だったから。知合いの校長にスクールカウンセラーだけは相談しちゃダメ！と言われた。
- ・スクールカウンセラーに相談したら、母親のしつけが悪いと言われたため。他の所では、そんなことは言われなかった。
- ・対応が雑だと聞いたことがあるため。
- ・機関があまりにも多い。(他1件)
- ・昔、他の町の民生委員の人が「ラ」近所のうわさを話していて、外の人には、悩み聞かれたくないと思う。
- ・名称でイメージできるが、具体的な業務区分が不明のため。
- ・相談内容にもよるが、「自分の身体的コンプレックスなどを話さなくても良いような内容」の場合は相談したいと思う。
- ・Q19で解決しない場合、利用したい。
- ・次に困るとしたら、自分の介護についてだろうから。

Q22 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

- ・まず、家族に。(他1件)
- ・昔からの友人なら、相談しやすい。(他1件)
- ・身の回りの人たちに相談して分からないことがあれば相談する。(他1件)
- ・学校、身近な存在の機関(他1件) ・土日でも対応してくれるところ。(他1件)
- ・自分がその時に困ったり、悩んだりした事に対して、一番合いそうな場所に、電話がすぐできるのが良いと思う。
- ・気軽にアクセスできる場所にあり、すぐに話をきいてくれるところ。(他3件)
- ・様々な手段(対面、インターネット、電話、チャット、昼夜平日休日問わず受付)がある機関なら相談しやすいと思います。(他2件)
- ・場所や機関はどういうのも良く、勇気を持って相談した子どもたちに対して、第一声を掛ける大人がどれだけその子どもに寄り添った声掛けができるかどうかだと思う。
- ・考え方が多少違っていても、すべて受入れて、聞いてくれるところ。(他6件)
- ・安心、信頼できる場所(他3件)
- ・親身になって寄り添ってくれる所。(他7件)
- ・信頼できる人(他2件)
- ・きちんとアドバイスしてくれるところ。(他3件)
- ・いのちの電話的な匿名で、状況を聞いてほしいだけの相談機関(他1件)

- ・ずっと話を聞いてくれてほめてくれるところ。
- ・守秘義務がしっかりしているところ。(他8件)
- ・問題を解決に導いて守ってもらえる。(他4件)
- ・区役所の担当者がまず最初かなと思っている。
- ・きちんと行動に移してくれる所。(他3件)
- ・専門家のいるところ。(他6件)
- ・事前にどのような場所でどのような相談ができるのか、ネットなどで検索でき様子がわかる場所。
- ・相談することが子どもにとって良い結果を生むと思えるところ。
- ・同じ悩みを持つ人同士でないと共感してもらえない部分があると思うので、そういったコミュニティに相談する。(他1件)
- ・まず相談に応じて交通整理をしてどの窓口が適切か案内してくれるところがあったらわかりやすいと思う。
- ・何処にも相談しない。相談する、しないの問題ではなく個々の環境次第ではと考えています。相談された人は自分の時間を割いてまで、時間を費やす人がどれ程いるのでしょうか。また、相談する場所を提供するのも素晴らしいことですが、問題を解決するという事に重きを置いているのであれば人員数が少な過ぎるので、何処にも相談しない。(他1件)
- ・実際に利用を考える頃にはそこへ行く事すらむずかしい状態かもしれないので。
- ・川崎市役所等の機関は信用していない。ひどすぎると思った。
- ・いじめ等が心配される時、適切な相談ができる所(他1件)

- ・過去に児相に相談した事があるが、川崎市は離島がないので大丈夫と思いますが、人口の少ない地域では対応が出来ないと言われ子供がDVを受け裁判になったので、24時間子供SOSに相談してみたいと思う。
- ・相談内容を書面で返答してくれる所。 ・寺や教会 ・まずは自分でよく考える。
- ・相談しようとしたことがないので分からない。(他4件)
- ・人間関係
- ・今、困っている事
- ・現在は相談する事例がありません。(他13件)
- ・子供が不登校とか、不良グループにはいった時
- ・夫が考えが古く、新しい考えを持とうとしない為、子供がだんだんと近づかなくなり、会話も減り、従来の親子関係が失われているのですが、基の親子関係に戻す事ができない。
- ・自分の家族に危険・不利益が生じるような出来事があれば相談したい。
- ・思ったことはないが、人生がどうしようもなく生きるのが辛くなった時
- ・自分では結論が出せない悩みがある場合。又はネガティブな結論にしか行きつかない場合。
- ・お金がもしもつきてしまったときに、たて直しを手伝ってくれるような所。万が一のときには「こういう所があるから・・・」と思えると大抵の事はどうでもよくなる(悩まない)

IV 『地域のこと』についてお聞きします。※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども(近所や親せきの子どもなど)や子ども一般のことについてお答えください。

Q23 あなたは、ボランティア活動や町内会・自治会活動など、地域の活動や行事・イベントに参加していますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 参加している	23	10.0%
2 だいたい参加している	20	8.7%
3 ほとんど参加していない	60	26.2%
4 参加していない	119	52.0%
無回答	7	3.1%
合計	229	100.0%

Q24 Q23において、「1 参加している」または「2 だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。先生が聞いた子どもの意見は実現されていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 聞いている	6	14.0%
2 だいたい聞いている	8	18.6%
3 ほとんど聞いていない	13	30.2%
4 聞いていない	11	25.6%
無回答	5	11.6%
合計	43	100.0%

Q25 Q24において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 できている	2	14.3%
2 だいたいできている	9	64.3%
3 ほとんどできていない	1	7.1%
4 できていない	1	7.1%
無回答	1	7.1%
合計	14	100.0%

Q26 Q25において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで、印象に残っていることは何ですか。

- ・地域のまつりなど。
- ・子どもの遊びたいことを尊重している。
- ・AED操作訓練(町内会主催)の際に、子供達から見学したい旨要望があったこと。
- ・司会を姉妹でしてくれ、みんなほほえましく、和やかな雰囲気であった。
- ・伸び伸び遊んでいる姿
- ・自身の活動が多い中で、子供目線から見た意見を大切にしている。
- ・地域の班長をやった事があるが、公園の遊具等の買い入れ等の仕事でほめられた事がある。

Q27 Q25において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人におききます。できていない理由は何ですか。

- ・低学年、未就学の子供には説明しますが、高学年の子供が参加しない(親が参加させない)親がバカ。
- ・親と子供の意見が合わないから

Q28 子どもには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 そう思う	141	61.6%
2 そう思わない	27	11.8%
3 わからない	52	22.7%
無回答	9	3.9%
合計	229	100.0%

Q29 子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所はあると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 そう思う	111	48.5%
2 そう思わない	55	24.0%
3 わからない	55	24.0%
無回答	8	3.5%
合計	229	100.0%

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q30 あなたは、自分が好きですか。

	件数	%
1 好き	46	20.1%
2 だいたい好き	128	55.9%
3 あまり好きではない	38	16.6%
4 好きではない	10	4.4%
無回答	7	3.1%
合計	229	100.0%

Q31 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。(○は1つ)

	件数	%
1 感じる	71	31.0%
2 だいたい感じる	125	54.6%
3 あまり感じない	22	9.6%
4 感じない	3	1.3%
無回答	8	3.5%
合計	229	100.0%

Q32 あなたは、毎日が楽しいですか。(○は1つ)

	件数	%
1 楽しい	40	17.5%
2 だいたい楽しい	141	61.6%
3 あまり楽しくない	35	15.3%
4 楽しくない	8	3.5%
無回答	5	2.2%
合計	229	100.0%

Q33 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	39	17.0%
2 だいたいそう思う	149	65.1%
3 あまり思わない	25	10.9%
4 そう思わない	1	0.4%
無回答	15	6.6%
合計	229	100.0%

Q34 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。自由に書いてください。

- ・自分らしく生き社会に参加しながら他人様となかよくする事が大切だと思います。(他2件)
- ・自分のやりたいこと、自分の才能を見つけること。そして、それを伸ばせる環境を得ること。そうすれば、自信もつき、人間関係や社会性も身に付くと思う。(他4件)
- ・子供を守りつつ、子供の成長、取り組みを大切に、自分で自由と伸び伸び生活できる様見守っていく事が大切。(他6件)
- ・失敗しても大丈夫だと思えるような社会。今の日本は学校に行き始めてから社会に出るまで正しいルールを進まないと働けないようなムードがある。(就活や正社員の年齢制限など)何回失敗しても、学校をやめたり、仕事をやめたりしてもハンデをおわらないような社会づくりが大切だと思います。(他1件)
- ・社会に参加することが大事なのであれば、子供にとっての社会が学校一択にならないことが必要であり、子供自身が選択して参加できる社会の選択肢が提示されることが好ましい。(他1件)
- ・多様性を認められるよう風土が作られていること。
- ・それぞれの子どもが受け入れられ、自分を必要としてくれる・認めてくれる環境を大人が作ること。大人自身も自分や周りの大人・子どもを大切に・尊重するという意識をそれぞれもつこと。(他12件)
- ・まずは、子供たちの声を聞き、その声を逃さないこと、その声を優しく受け止めること、その声を応援してあげることが大事かなと思います。今回のアンケートでさまざまな機関があることを知って、川崎市が子供たちを大切に考えているんだなと嬉しくなりました。これらの機関を頼ることが特別なことではないと子供たちが感じれば、もっと安心してのびのび過ごせるのではないかと思います。私自身も何かできることはないか、考えるきっかけになりました。(他1件)
- ・社会や学校が子供を"人"として受けとめ対応すること。行政がきちんと理解すること。困った人のことを困っているひとのことを流れ"作業"としてあつかわず、"人"として対応できる職員を育てて下さい。子供を育てるよりも大人の人としての職員教育が必要だと思います。
- ・おとながすべての子どもに対し、同じ社会を構成する同志であるという意識を持つこと。
- ・集団生活において、もっと小人数の意見や個性にも耳を傾けてほしいと思う。また、将来の進路においても、そういう子がどのように進んでいったらいいのか、選択肢の情報がもっとほしいです。(過去の事例など)
- ・子どもは大切な存在であることを大人が分かりやすく伝えていく事。(他1件)
- ・やはり自立・自律心を育てることが大切だと思います。人に指示されてからでないと動けないような人間はなかなか世間に出てからもきびしい所があると思います。(他2件)
- ・家庭環境の差で社会的な差別を受けないためのサポート体制の充実を図ること。(他1件)
- ・家族が仲良く生活でき、家が安心できるという思い信頼することが大切だと思います。(他5件)
- ・親や地域が愛情をもって子どもの成長をみまもること、またうまく子供を育てることができない親に対しては地域が一定程度サポート(情報提供も含む)することが必要だと思う。(他1件)
- ・親自身が生活の中で良い姿勢をみせて、家族での教育に興味を持って欲しい。(他5件)
- ・親でなくても、周りにいる成人が気にかけてあげられる状態で、すぐに必要なサポートにてをのばせる環境。大人の手をかりながら、自分のことを考えられる時間。親がいるなら、正しい教育に対する知識と意識。学校以外のところで学ぶことができる場所。(塾など有料ではなく、地域のもので)
- ・川崎市子どもの権利1. 2. 3が、幼少期から各家庭で守られていること。学校の環境も大切だけど、赤ちゃんから続く最も重要なものが家庭環境、親子関係、兄弟姉妹関係、だからです。(他1件)
- ・教育機関の早い対応と親の姿勢 ・日本が経済的に豊かで、若い人口が増えること
- ・教育費の支援が必要です。子ども一人あたり大学卒業までで1千数百万かかる時代、お金を稼ぐことに時間や労力を奪われ子供との時間も少なくなっています。お金の支援が回り回って子どもの生活環境につながっていると思います。(他6件)
- ・貧困や虐待をなくしてほしい。くだらない職業の方が給料が高くて、なくてはならないエッセンシャルワーカーの方が低いなんておかしい。児童相談所はもっと専門の人をおいてしっかりやってもらいたい。
- ・小さい頃から地域の中で育つことができると良い。昔のようにみんなが見守って、悪いことをしたら真剣に叱ってくれる。家族のようなつながりが大切だと思うが、現在の親も、ゆとり世代であったり、核家族で一生懸命生活し、子どもものを叱ったことがない家も多い気がする。(他10件)

- ・地域において全世代が交流する機会が少なく、子どもも親、年寄が片よった考えを持っている。川崎市だけの問題ではない。（他 2 件）
- ・乳幼時期から、親を含めた地域との関わりがもてると良いが、保育園、幼稚園、小学校の役割を大事に、余裕がもてるカリキュラムが組めるとよい（地域の人々との関わりをふやして）
- ・学校以外にも、つながりの場所があり、様々な人達と関わりながら成長していく事。大人になると選択の幅がとたんに広がるけど、小中学生のうち、自分の通っている学校が全ての所があり、せまいなあと感じる。習い事や、塾以外に子供たちが活動できる所がもっと増えてほしいと思う。（他 3 件）
- ・小学校では登校班で登校させ、高学年の子どもとの接点があると良いと思う。
- ・いじめとか虐待をなくすために、地域、行政等がアイデアを出し合って解決しなければならないと思います。（他 3 件）
- ・1人で悩まない状況・環境を準備出来ていること。心理的安全が担保され、必要な情報・データが提供され、また必要な支援がなされて、自己実現に支障がないことが肝要である。
- ・どんな所でもいいが、ここに居ると楽しいと思える場所があると良いと思います。
- ・安心して遊べる場所や、運動できる場所がほしい。（他 3 件）
- ・親、学校等関わる人々の愛情。
- ・保護者、周りの大人が、安心、安全な場所、人、でいてあげること。（他 12 件）
- ・大人と子供のほどよい距離感で、支え合っていくつつ、安心、安全に毎日過ごせる環境と、様々なお仕事や、ボランティア活動など社会にふれる機会をもっと増やしていった方が、良いと思う。
- ・差別などなくみんなが安心して暮らせる世界。優しさが広がる世界。
- ・学校生活の充実（他 1 件）
- ・家庭や学校、地域の相談所などが連携して不安や悩みを解決していく事（他 1 件）
- ・なやんだりした時に相談できる場所があることを知ってほしい。（他 1 件）
- ・子供の権利と条例を作っていますが、声をあげられない低学年には無理があるのではないのでしょうか？！大切な成長する低学年の時期に、いつでも悩みや相談ができる場所がある事の認識をさせる必要があるのではないのでしょうか！
- ・規則正しく不自由のない環境づくり
- ・ギャンブルのない社会が大切です！
- ・犯罪が発生しない、安全な街づくりが必要。困った事が起きた場合、速やかにサポートしてくれる窓口が必要。救済機関からも積極的に受け身ではなく、働きかけが必要。（何が課題なのか?）
- ・住んでいるところの治安がよく、地域社会が充実している。（他 1 件）
- ・どんな状況下でも子供たちが正しい情報を得られるようにする。（他 1 件）
- ・社会に参加すると「こんな良い事があるよ」という事を教えること。
- ・やりたいことをやり通す、周りの援助。（他 1 件）
- ・参加する際に親も子も安心して活動できる場所であること。ゴミ拾いなどのボランティア活動の際も子供だけにせず、小グループごとにスタッフなどの大人がついているような場所なら安心して親も子供に参加させてあげたいと思えると思う。
- ・周りの大人が愛情を持って育てること。周りの大人同士が力を合せること。（他 2 件）
- ・大人・子供も意見を聞き話し合い、協力し合いながら過ごすことが大切。みんなに愛されること。
- ・全ての点において、大人の介入が不可欠で大切だと考えます。基本的に子供は本能的な動くものなので、「自分らしく生きる」という部分は半分実行出来てはいるが半分は物事の善し悪しがわからない事もあるので、そこには大人の介入が不可欠だと。「子供が安心して」「社会に参加しながら」この二点についても、大人の介入が必要不可欠であると考えます。
- ・大人が、子供の背中を緩やかに支えてあげる程度に手助け出来れば良いのではと。
- ・メディアに惑わされず、自分らしく生き生きと人生を楽しんでいる大人の存在。言うだけではなく、行動を見せる大人。これは基本だと思っています。子どもは大人を見て成長していくと思っています。（他 3 件）
- ・娘達は中学から私立に進学しているのだけれど、川崎と東京の差には本当に驚かされます。何故、川崎独自色が必要なののでしょうか？本当にそれは役立っていますか？東京都と教科書を別にするけれども、受験するならば不利です。私立の高校受験に関してもそうでしょう。また都立の小学校の設備の良さ、室内プールなど、悲しくなります。コロナ中の対応も都立とは違いすぎました。本当にひどい大学入学後も、出身を聞かれて「川崎」と答えると「ちょっとアレな地域でしょ」と言われるほどです。川崎の子も大学に大勢いますが、ほぼ私立出身です。
- ・自分自身の能力範囲内で身の丈の暮らしが出来ればよいと考える。

Q35 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活(家・学校・職場・地域など)の中で、悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

【悩んだり難しかったこと】

- ・誰かと会うことが制限されてしまったこと。(他 10 件)
- ・リモートが増えて、人と話さなくなった。
- ・人と対面して接することができなくなり、スポーツをしたり、飲み会をするなどコミュニケーションが取りづらくなったこと。(他 3 件)
- ・喋る機会が減って話すのが苦手になった。Wi-Fi のつながりが悪い。
- ・会議の持ちよう。
- ・なかなか、直接会うことができなくて疎遠になった。(他 3 件)
- ・子どもの遊び場所がない。(他 1 件)
- ・子どもを広場で遊ばせるときに、他の子と触れ合わせるのが難しい。(相手が感染しているかもしれないし、相手の親にも同じ不安な思いをさせてしまうから)。(他 1 件)
- ・家にいる時間が長く、家族関係がギスギスした。(他 1 件)
- ・パートナーが完全在宅となり 1 人時間が持ちづらくなった。
- ・実家が遠く、交通機関も利用する為、今までのようには頻繁には帰省できない。(他 5 件)
- ・親が亡くなっても会えず皆同じだと思うことはむずかしかった。(他 1 件)
- ・子どもが以前のように友達と家など行き来して遊べなくなったこと。(他 4 件)
- ・子供の友人ともどの様に過ごせば良いのかなど。
- ・家からあまり出ない事 (他 9 件)
- ・食事を一緒にとることが、感染リスクを上げてしまうので、困った。(他 2 件)
- ・新型コロナウイルス感染症に患らないよう外食には十分注意した。(他 2 件)
- ・行く場所が制限されてしまったこと。(他 2 件)
- ・マスクすべき範囲がわかりにくかった。(他 2 件)
- ・場所や時間の制限で思うように活動出来なかった。(他 2 件)
- ・外出できない、買い物に行くのが大変だった。(他 1 件)
- ・具合が悪くなくても医者にかかりづらくなった。(他 1 件)
- ・新型コロナウイルスに子供→自分(母)の順でかかった際、子どもは小児科で検査できたが、自分は混んでいて検査を受けることができませんでした。発熱外来だけでなく、一般病院にももっと受診できるようにしてほしいです。
- ・最初の一年は外出も控えていたので体調が悪くなり、腰痛もできました。体を動かすことを意識して増やし少しずつ体調も戻ってきた。(他 2 件)
- ・真夏時の外出のマスク着用が正直なところ厳しい。
- ・家族が感染しないように室内でもマスクを使用する事がむずかしい。(他 1 件)
- ・毎日するマスクを話をしたりマスクをしたまま食物をかんだりすると、少しずつ、下に下がってしまう。
- ・感染が拡大した始めの頃はマスクが手に入らずこまりました。
- ・何をどこまで気をつけて生活すれば良いのか。(他 1 件)
- ・感染者との隔離
- ・外出時に出来るだけ近くにいる人とのきより間を保つこと。
- ・テレワーク体制 (他 1 件)
- ・コロナに対する考え方、心配の度合い、が人によってちがうところ。(他 2 件)
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患しないようにすること。(他 4 件)
- ・仕事が不安定になった。
- ・持病がある人との接し方 (他 1 件)
- ・大切な人にうつさないようにする。(他 2 件)
- ・症状が軽いにも関わらず、10 日間の自宅療養が必要であったこと。
- ・失職した。
- ・家族がコロナに感染した時に、マンション住まいで隔離が出来ず、家族 5 人が狭い家の中で長時間過ごさなければならなかった事。(他 1 件)
- ・子供が小さいので、誰かが感染した場合にかかりするのが難しいと思った。(他 1 件)
- ・少し体調が悪いかと思った時に、検査までする勇気がなかなかもてなかった。
- ・自分がコロナにかかったかもしれないと思った時は、同時期にマスク越しでも長時間話した人が心配になったこと。その人が知り合いではなく、一般企業の窓口の人で、対応に迷った。
- ・情報過多の中、自分らしい活き方が激変し、Web が生活の中に大きく占めてきたこと。
- ・感染経路に関する情報が少ない。
- ・同調圧力
- ・気分転換の方法
- ・お金
- ・第 1 回目のワクチン接種の場所を探すのが大変だった。(他 1 件)
- ・私自身は 3 回接種をしていますが同居の姉は未接種ですので感染が心配です。
- ・遺伝子組み替えワクチンについて。
- ・差別(ワクチンなど)
- ・子どものワクチン接種
- ・少しでも子供が風邪の症状になると、幼稚園や学校を休まなければならなかったこと。
- ・保育園が休園になり、自宅で面どうをみる必要になったとき。(他 3 件)
- ・仕事をしていたが、エッセンシャルワーカーではなかったのも、学童にあずけづらかった。(他 1 件)
- ・訪問介護の仕事に従事しています。電車通勤のため、不特定多数の方々との接触も多く感染予防には意識しました。リモートワークできない職種ですし、高齢者や持病ある方との接触する仕事なので今も気をつけています。(他 4 件)
- ・緊急事態宣言中でも仕事に行かねばならず感染のリスクに晒された事。(他 4 件)
- ・仕事の上での感染予防 ・職場の人とのコミュニケーションが取りにくく難しい。(他 1 件)
- ・勤務状況が出社から在宅へ変わった事により気持ちが少し不安定になった。
- ・当時 2 歳の子どもを見ながら在宅勤務をする事が、みんなにとってストレスで大変だった。(他 2 件)
- ・仕事が今までどおり出来るのか、一番の不安でした。実際はあまり影響はなかった。(他 3 件)
- ・会社のコロナ関連の給付金 etc の不正というかグレーゾーンの使用。
- ・親の思いと、学校の対応に大きな違いがあったことです。子(生徒)への対応は、もう少し柔軟にしてもよかったと思います。今でも思っています。(他 1 件)
- ・リモート授業が多かった。試験勉強が学校でできなかった。
- ・子どもがオンラインの授業についていくのが難しかった。(他 1 件)
- ・子供 2 人がコロナ禍共に受験生で、実際に学校を見に行くことがなかなかできず大変だった。(他 1 件)

- ・オンライン授業が主体になったとき、あとから聞いたけどどう状態になっていたと打ち明けられました。いつも笑顔でいてくれたのに気づけなかったくやしき...
- ・子供の学校行事(修学旅行・体育祭・文化祭・部活動等)がことごとく中止になり、楽しい高校生活を送ることが出来ず、子供も親も辛かった。(他3件)
- ・学校行事が中止になる中、大人は飲みに行ったり旅行したり出来ていて、納得がいけないことが多かった。
- ・健康な我が子が、学校でマスクを強いられている事。外では外しなさいと親が言っているのに「しなきゃいけない」「皆がしているから」という周りを気にする空気になっている学校や大人の存在。
- ・子どもがスマホに夢中になってしまった。勉強をしなくなってしまった。生活リズムがおかしくなってしまった。
- ・自宅学習が多かった時は、お友達との交流が減り、気分転換が難しかった。

【工夫したこと】

- ・感染対策をする。(他2件)
- ・手洗い、うがい、消毒、マスクの着用など。(他27件)
- ・素手では食べない。
- ・マスクを2重にしたり、フェースシールドの装着。(他1件)
- ・親が必ずマスクを着用する。
- ・室内、乗りものではマスク・外ではマスクしない(子ども)。
- ・子どもがコロナに感染する可能性よりも、健康な体にマスクをして不健康になる可能性の方が高いと子どもに分かりやすく説明した。学校にも、話をさせていただいた。
- ・毎日の体温の測定
- ・ワクチンの接種 (他2件)
- ・密にならない (他1件)
- ・なるべく外で密にならないように遊ぶ。
- ・三密は勿論だが、自分が人にうつさないように注意した。
- ・電車やエレベーターなどできるだけ間隔を空けて立つようにした。(他1件)
- ・電車の中などつり皮や棒などさわらないように気をつけました。(他1件)
- ・外食する時は、少人数・ソーシャルディスタンス換気がされているお店を選ぶようにしている。
- ・出来るだけ外出しない。(他8件)
- ・外出、外食を減らした。(他4件)
- ・人混みをさける、公園等は、人の少ない時間に行く。(他4件)
- ・乗り物(バス、電車)等はなるべく乗らず、電車なら二駅分は歩いた。バスも徒歩で30分位の所は歩いた。(他2件)
- ・買い物オンライン中心にした事。(他1件)
- ・テレワークで仕事する。(他2件)
- ・当時は保育園利用中であつたが、休む家庭が多かった。仕事との両立をする上で家族や、両親をたよってなるべく子供の不安をとりのぞくようにしていた。(他1件)
- ・通勤時間を早朝にしたり、ピーク時をなるべく避けた。(他1件)
- ・なるべく顔を合わさない
- ・交通(電車)やめて、マイカー通勤、帰宅すると(冬でも)直に全衣類交換シャワー浴をおこなっています。
- ・夫と自分どちらかが在宅勤務になった日は家にいる方が夕食を作ったりしていた。2人共在宅の日片方がリビングで仕事しなくてはならずうちあわせなど周りにきこえてほしくない仕事るときはその時間帯のみ書斎と代わってもらったりしていた。
- ・テレビ用のヘッドホンを購入し、狭い空間で遊びや在宅勤務それぞれが出来るようにした。

- ・家のなかにいることが多くそのためテレビゲームやオンライン授業などで子どもの視力が大幅に低下したことがコロナで悩んだことです。
- ・町内会活動が、会費・赤十字と赤い葉の募金の集金以外皆無になった。
- ・全ての公園で使用される子供達にその公園管理事務方は礼儀作法を教育して欲しい。使用している所に入っても申し訳ないの一言もない。礼で始まり礼で終わる日本人の良いマナーを厳守させる教育が必要です。道徳心をしっかり身につけて大人になって欲しい。トップの方はデスクワークだけでなく現場を見て職員を自ら明るく暮らしい安い町作りを希望いたします。
- ・コロナだからといって、以前と大きく変わらない生活をしているので悩みはほとんどない。(他1件)

- ・自ら声をかけるようにし、業務のことを含めつつ軽い雑談をするようにした。
- ・自分の状況より、お客様の事を優先する事を心掛けました。
- ・なるべく電話で用を済むようにした。(他2件)
- ・オンライン上でも人と話した。(他2件)
- ・SNSなどで極力連絡は取るようにした(長続きはしなかったが)。
- ・Te e 1をかけた近所の人とまめに会うようにした。
- ・近所の人と草取りや、花の手入れをして今もして、がんばっています。
- ・休日、出かけることが出来なかった近所の子供に、イチゴやブルーベリー等のもぎ取りをやらせています。(自宅の畑で)
- ・スーパーに回数を減らして行き、自宅で食事をした。ベランダに花を植え心が安らぐようにし、子供服でマスクを作ったり、外食が出来なかった時は、行ったつむりのワンプレート料理や、メニューも外国料理を取り入れてみた。
- ・テーブルについたてを設置。・窓をあけ、換気をした。・大皿で出さず、それぞれの皿にわけて出した。・食べる時間をずらした。(個食になってしまい、楽しい食事の時間ではなくなりました。)(他1件)
- ・家の中にはいたる所にアルコール消毒を置いた。(他4件)
- ・とにかく清潔に生活してます。(他1件)
- ・生活全般を見直し、すべてにおいてシンプルにすることを目指した。
- ・初期の頃は部屋をわけたり、工夫したが、今は普通にしている。(他1件)
- ・定期的にファミリー会、食事会を開いて対話の機会をつくった。情報交換をしながらコロナ禍を無事すごしてきた。
- ・できるだけ家族全員でサポートするようになった。
- ・趣味を探した、ないしは再度はじめた。
- ・静かにお互いの務めに向き合った。(関係性の破たんは無かった)
- ・家族での活動を増やした。
- ・家族でおしゃべりする時間を楽しんだり、お菓子を作ったり自宅で楽しめる事を探した。(他6件)
- ・夫と協力して買い物に行けるよう、分担したりした。
- ・子供達とのコミュニケーション
- ・やってみたくて言われたことに対しては、その意欲を大切にしようと思い、まずはさせてみました。家での役割もわりなく与えました。(いつのまにか本来の姿に戻ってくれて安心しました...)
- ・学校の先生と相談した。

- ・親が神経質にならないように心掛けました。子が不安にならないよう、状況が変化するたびに話題にあげ、子の疑問に答えたり不満、不安を話す場を意識して作るようにしました。
- ・帰宅後に時間の使い方をゲームも含めて考えた。外で遊べる時は近所の公園で友達と遊んだりしている。・節約や貯金
- ・塾を1回やめて、本人が受験すると言い出した時に再入会した。
- ・在宅勤務で子供との時間が増え、前よりも話を聞くようにしている。
- ・自分の事は自分で責任を持つよう「自由と責任」について話した。
- ・図書館を利用した。すこし遠めの所へ行くことでいいリフレッシュになった。
- ・少しは身体を動かさねばならないと思い、毎日ラジオ体操をやっている。(他6件)
- ・自分で出来ることをやってストレスがたまらないようにした。
- ・社会の流れに逆わない
- ・PC周りの設備を見直し
- ・今後どうありたいかを真剣に考え、情報を取捨選択しながら、Web利用で自分の価値、貢献出来ることを実践してみています。
- ・他人の意見に惑わされず、自分で考えて行動したこと。
- ・悪いことはみてもみぬふりをする。
- ・コロナの感染数などに一喜一憂することなくやるべきことをやる。(他3件)
- ・家族のテレワークが有ったりで、電話も遠のき、工夫しようもなく、疎遠になり、子どもも成人すると会話もなくなり、ただ孤独になり、マンション生活にもなったので、孤独に慣れる、諦めるしかなかった。
- ・インターネット使用出来ない30~40%の方を指導して下さい。現場を見て仕事をして下さい。
- ・工夫しても結局感染した。

『あなた自身のこと』についてお聞きします。(この回答で書いた人がわかることはありません。)

F-1 あなたの令和4(2022)年4月2日時点での年齢をおしえてください。(〇は1つ)

	件数	%
ア 10歳代	4	1.7%
イ 20歳代	16	7.0%
ウ 30歳代	40	17.5%
エ 40歳代	46	20.1%
オ 50歳代	39	17.0%
カ 60歳代	37	16.2%
キ 70歳代	35	15.3%
ク 80歳以上	11	4.8%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-2 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに〇)

	件数	%
ア 妊娠中	3	1.3%
イ 0~2歳の子どもがいる	11	4.8%
ウ 3~6歳(就学前)の子どもがいる	18	7.9%
エ 小学1~3年生の子どもがいる	25	10.9%
オ 小学4~6年生の子どもがいる	17	7.4%
カ 中学生がいる	21	9.2%
キ 18歳未満(4月2日現在)の高校生世代がいる	10	4.4%
ク 18歳以上(4月2日現在)の子どもがいる	90	39.3%
ケ いない	70	30.6%

(無回答=5、N値=229)

F-3 あなたの住んでいるところをおしえてください。(〇は1つ)

	件数	%
ア 川崎区	34	14.8%
イ 幸区	17	7.4%
ウ 中原区	44	19.2%
エ 高津区	28	12.2%
オ 宮前区	33	14.4%
カ 多摩区	35	15.3%
キ 麻生区	37	16.2%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-4 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（○は1つ）

	件数	%
ア 1年未満	8	3.5%
イ 1年以上5年未満	21	9.2%
ウ 5年以上10年未満	26	11.4%
エ 10年以上	173	75.5%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-5 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
ア 父	13	5.7%
イ 母	20	8.7%
ウ 祖父	1	0.4%
エ 祖母	1	0.4%
オ 兄弟姉妹	13	5.7%
カ 夫・妻・配偶者・パートナー	162	70.7%
キ おじ	0	0.0%
ク おば	1	0.4%
ケ 子ども	103	45.0%
コ 孫	5	2.2%
サ 一人暮らし	35	15.3%
シ その他	1	0.4%

（無回答=1、N値=229）

3 単純集計表（職員）

I 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 知っている	312	81.7%
2 聞いたことはあるが内容はよくわからない	62	16.2%
3 知らない	5	1.3%
無回答	3	0.8%
合計	382	100.0%

Q2 川崎市子どもの権利をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 職場での話	272	72.7%
2 職場以外の講座や学習会、研修会	114	30.5%
3 パンフレット	230	61.5%
4 川崎市ホームページ	77	20.6%
5 ポスター	115	30.7%
6 ちらし	71	19.0%
7 新聞、テレビなど	23	6.1%
8 その他	19	5.1%

【その他】

- ・林区
- ・職場の研修
- ・人権教育だより
- ・市政だより
- ・定期的に職場で取り組んでいる
- ・学校で子どもの権利について学習する
- ・教育委員会から配布される資料
- ・子どもの在籍している学校の授業
- ・個人的な、地域や自治体の活動
- ・小・中学生の時に子ども座談会で話題になった
- ・職場に送られてくる夢パーク通信などでみている。
- ・自分の子どもが学校からもらったパンフレット
- ・授業として実施（他2件）
- ・子ども会議に参加
- ・学校からのおたより
- ・大学の授業

（無回答=1、N値=374）

Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 かわさき子どもの権利の日	283	74.1%
2 川崎市子ども会議	289	75.7%
3 川崎市人権オンブズパーソン	267	69.9%
4 川崎市子どもの権利委員会	97	25.4%
5 子どもの権利に関する行動計画	64	16.8%
6 一つも知らない	21	5.5%

（無回答=5、N値=382）

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか。あてはまるものを最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	314	82.2%
2 ありのままの自分である権利	29	7.6%
3 自分を守り、守られる権利	23	6.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	2	0.5%
5 自分で決める権利	2	0.5%
6 参加する権利	0	0.0%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	4	1.0%

（無回答=8、N値=382）

2番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	13	3.4%
2 ありのままの自分である権利	127	33.2%
3 自分を守り、守られる権利	113	29.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	16	4.2%
5 自分で決める権利	32	8.4%
6 参加する権利	3	0.8%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	17	4.5%

（無回答=61、N値=382）

3番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	9	2.4%
2 ありのままの自分である権利	41	10.7%
3 自分を守り、守られる権利	75	19.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	26	6.8%
5 自分で決める権利	52	13.6%
6 参加する権利	12	3.1%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	72	18.8%

（無回答=95、N値=382）

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・子どもは一番大切にされ、守られる存在である。
- ・愛情をもって育まれることが一番大切。（他1件）
- ・子どもは未来への宝物。命はもとより、愛情を受け、安全、安心に生活して欲しい。（他1件）
- ・子どもはひとりでは生きられず、大人の元で心配事なくのびのびと成長しなければならないから。（他1件）
- ・特に乳幼児期にこの権利が保障されることがその子たちの一生を考える土台になると思うので。
- ・安心して親や周囲の人たちから守られることは当然のことと思います。（他1件）
- ・この世に生をうけ誰もが当たり前持つべき権利だと思うから。（他2件）
- ・これがあたりまえだと大人も子どもも思えるような世の中でありたいと願うため。（他2件）
- ・家庭や学校など子供達が普通に生活出来ることが当たり前だから。
- ・安全安心に生活できることはとても大切だから。（他1件）
- ・生きていく為にとっても重要。（他4件）
- ・情緒を安定させ、生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけるためにとっても大切なことである。
- ・全ての人に平等に与えられているもの。（他4件）
- ・基本的人権の尊重と同等のものだから。
- ・安心して公平に生きられることが大切だと思うから。
- ・安心、安全が大切なキーワードだと思う。
- ・まず何よりも安心して生きることが保障されていることが子どもが生きて行く上で何よりも優先されるべきだと思うため。（他38件）
- ・子どもはやはり安心安全に生きるべきだから。（他18件）
- ・すべての権利の土台だと思う。（他25件）
- ・生きていくうえで、安心・安全が基盤になると思うから。（他44件）
- ・安心して生きてこそ、自分らしく生きていけるから。（他4件）
- ・心の安定を図ることが生きていく上で重要だと思うため。（他2件）
- ・安心できなければ、楽しむことや幸せを感じるなど難しいと思う。
- ・安心して生きることが、子どもの成長の上で何より大切だと思うから。（他14件）
- ・安全・安心な所で育つことが、子どもにとって最大の利益になると思うから。
- ・子どもとお年寄りが安心して生きられる社会がよい社会だと思うから。
- ・子どもは自分が愛されて生まれて来たということが自分の存在価値になると思う。それがなければ安心とは言えないから。（他1件）

- ・家庭が一番最初の小さな社会、両親の愛を受けた子は他に対して愛が芽ばえる。よい連鎖が続くと考える。（他 1 件）
- ・親だけではなく周りの人々からも沢山の愛情をもって育てられる事で安心感がうまれ伸び伸びと成長出来ると思います。（他 14 件）
- ・子どもたちが愛情(正しい愛情)を受けて育つことが、人間育成で重要であると思います。幸せを感じる力となると思います。
- ・子どもは育つ環境で大きく心身の成長に影響が出ます。愛情深い環境で育つことで、自己肯定感高め社会性を身につけ、他者に寄り添う心が育まれます。（他 3 件）
- ・こどもは愛情をたくさん感じるとのびのび過ごすことができるから。（他 1 件）
- ・愛情を受けて育った子どもは、愛情豊かになると思う。
- ・大切に育てられることが次の世代へと繋がっていくと考えるから。（他 2 件）
- ・愛情と安全と安心の中で、子どもたちは育てられる事が大切だと思います。
- ・子どもは守られるべきもの。安心できることが、成長に大きくかかわる。（他 2 件）
- ・わがままを言える人がいることは成長にとって大切。
- ・安心して暮らしていくためには、人種、貧困、学習不振、家庭問題などで差別されない社会を形成していかなければならない。子どもたちが健やかに心豊かに生活していくために大事にしていく権利である。（他 1 件）
- ・安全・安心に生活できることが人格形成に大切だと思うため。
- ・子どもたちが、安心して過ごすことのできる居場所があることが、健やかに生きる基礎だと思うから。（他 9 件）
- ・安心して生きる、つまり安心して過ごせる学校という場でこそ、学びも豊かになり、深まっていくと考えるから。（他 1 件）
- ・安心した環境の中で、特定の大人との愛着が育まれないと、その後の人生の人間関係において、人を信じられなくなる等大きな影響となるため。
- ・川崎市で安心して過ごしていけるように、地域で支え、子どもが安心して過ごせるようにする必要があるため。
- ・全ての子どもたちが安心できる国、世界。同等に老人なども同じことが言える。
- ・安心できる空気と場と人、仕事、関係性を守り守られること。
- ・安心して生きていられないと苦痛を感じるから。（他 2 件）
- ・愛情が生きていく上でのエネルギーになるから。（他 3 件）
- ・様々な環境で育ってきたこどもたちは、”自分なんて愛されるわけない”と思っている子も多い。そうではないことを伝えていきたい、知ってほしい。
- ・自分を受け入れてもらえる安心感、肯定感を高めてほしい。
- ・差別は世界的にも大きな問題である。
- ・心理的安全性で何が挑戦できるかわ変わると考えているから。（他 3 件）
- ・誰からも差別されず、だれからも愛情を深く受けることこそが、子どもの成長に大きな影響を与えると考えているから。（他 5 件）
- ・存在を否定されるほど残こくなことはないと思うから。
- ・差別を受けずに安心、安全に過ごす事は命を守ることにつながるから。（他 1 件）
- ・子どもを大切に差別を受けない環境を整備していく。
- ・まずは命を大切にされることが必要。（他 16 件）
- ・あたり前のことをあたり前にするため。
- ・生命が維持でき、健康安全がなければ、他の権利は、保障できないから。
- ・生命の保持は人として大切なこと、子どもは特に大人に守られて安全安心して過ごすべきと思う。（他 1 件）
- ・命の保障があることによって生活が成り立つ。
- ・虐待やネグレクト等問題視されている為。
- ・子どもが安心して学校生活を送れるようにしていきたいから。（他 2 件）
- ・まずは安心して生きられる環境がないと希望をもって生きられないから。（他 3 件）
- ・産まれた環境で左右されてしまう事は残念ながらあると感じてしまう。それでも、全ての子ども達が安全、安心が基本として生きていける権利を社会が保障していけたらよいと思う。（他 8 件）
- ・差別、虐待などをうけることなく、安心して社会で生きることが大切、命が一番大切。
- ・どの子も大切な存在であり、生まれてきただけでも素晴らしいことなのだと思いたい。どの子にも幸せになる権利、愛情を受け、安心して生きる権利があると思うから。（他 1 件）
- ・どの子も心も体も元気でいてほしいから。
- ・一人では生きていけないからみんなで守る。

2 ありのままの自分でいる権利

- ・一人一人の個性を大切にしたいから。（他 14 件）
- ・みんな同じような世の中はつまらない。
- ・7つの中で個人を大切にしているかなと思います。
- ・個人を尊重する社会でいたい。（他 1 件）
- ・今、様々な子どもたちがいる中で、自分をかくして過ごしている子どもも多いと感じたから。（他 1 件）
- ・今は「生きる力」が大切だとされており、自分自身の個性を大切に、自分らしさを発揮することが大切だから。（他 11 件）
- ・大人でも、子どもでも個としての大切な存在であり「～でなければならない」ということは、ないと思う。
- ・自分の「好き」を素直に言える環境であってほしいから。

- ・様々な活動参加の基盤となるから。
- ・世界の中でも将来の夢をもち、自信をもって自分の価値に気づいている子が少ないという日本なので自分らしく生きることを大切にしてほしいから。（他 6 件）
- ・個性が尊重され、ありのままの自分が受け入れられ、守られる雰囲気があることが、安心して自己表現や自己実現をすることにつながると思うから。（他 2 件）
- ・ありのままの自分を受け入れてもらえることで、自信にも繋がり愛されてると感じるため。
- ・自分のありのままを出せて、受け入れてもらったり違っていても認めてもらい、共に暮らせること。（他 1 件）
- ・ありのままを受けとめてもらえることで自己肯定感が上がると思うから。（他 4 件）
- ・自己表現ができ、その姿を認めてもらえることで自己肯定感が育まれる。
- ・自己肯定感を育むことこそ、生きる上で大切。（他 4 件）
- ・自己有用感をもつために大切だから。
- ・自分がありのままの自分で良いのだと言う自己肯定感を持ち、お互いをお互いに大切にしたい生きることが大切だと思います。（他 1 件）
- ・ありのままの自分を受け入れ自分を大切にしながら成長することが望しいから。（他 1 件）
- ・自分らしく自信をもって成長してほしいから。
- ・ありのままの自分であること。（他 12 件）
- ・子どもが一人として家庭や社会の中で大切にされ、自分である事を保障されるのは、自立した大人になるために欠くことのできない要素だから。
- ・自分を表現し、肯定されることで自己肯定感を養いありのままにいられるから。
- ・自分らしくいられることが大事。（他 9 件）
- ・2 がすべての権利の中心となると考えるから。
- ・自分らしく自信をもって生活していけるようになるから。
- ・当然の権利だと考えるため。
- ・その子らしさが受け止められることで、自分で決めたり参加したりできるなどの他の権利も保障されていくと思います。
- ・ありのままの姿やその子らしさ、良さが保障されるように。
- ・安全安心が基本だと思うから。
- ・ありのままの自分を受け入れられていると感じることは重要。
- ・自分らしくいられることは、子どもが子どもらしく子ども時代を過ごす上で、重要なことだと思う
- ・子どもが生きていく上で、一番大事にされるべき。
- ・生きる上で大切だと思うから。（他 4 件）
- ・これが大切にされないと安心して生活できないから。（他 6 件）
- ・安心が人格形成の中で土台となると思うから。
- ・休む場所が保障されてほしい。（他 2 件）
- ・これが土台となり、自分の人生を生きていけると思うので。（他 1 件）
- ・自分を受け入れてもらうために、ありのままの姿を見せることが大切。
- ・ありのままに良いんだよ、かけがえのない存在なんだよと伝えていきたいし、これも安心して暮らすことにつながると思う。
- ・ありのままの自分を受け入れてくれる場所や人間関係は今後とても大切なことだと感じるため。（他 6 件）
- ・ホッとできる居場所が子どもたちには大切だと思います。（他 6 件）
- ・愛情を感じられ落ち着ける場所が生きていく上でのエネルギーになるから。
- ・自分の心や気持ちに素直で安心していられるようにしてあげたいと思う。（他 1 件）
- ・息苦しくなく、思ったことを言える環境が大切だから。（他 1 件）
- ・生命・いのちに直接的につながる権利だから。（他 1 件）
- ・心の安定がとても大事だから。
- ・個性や秘密が守られることは心に大きく影響する大切な問題なので。（他 1 件）
- ・多様性が言われているが、自分らしく生きられたら、自分の力も発揮できると思う。
- ・せっかくの能力がのびなかったり大人になってから後悔させてしまう可能性があるため。
- ・自分を素直に出せる場があることで、主体性や他者を思いやることへの発展に繋がると考えるから。
- ・大人でもむずかしい「ありのまま」という感覚が子どものうちに知らなければ、大人になって他人を大切にすることがむずかしい。
- ・自分らしく生きられることができて初めて、その人の人生を歩んでいると言えると思うため。
- ・学校、公共の施設、家庭と顔が異なる子が多いから。
- ・これが守られ、他の権利も成り立つと思える
- ・子どもは遊びが仕事と思う。毎日楽しく思いっきり遊んでほしい。
- ・今は大人の目が行き届きすぎ、必要以上にしつけや教育という名の指導によって、その子がそのまま生き育つことが難しく逆に弊外を生じている場面を見る。（他 3 件）
- ・なぜ生きるかが自分の中でわかるために大切。
- ・家庭環境や個性に関わらず、その子が認められ生きられる場所があるべきだと思う。（他 1 件）
- ・まだまだ「わがまま論」が残っている。子ども同士、大人同士、子どもと大人が互いに認めあえる文化が必要だから。
- ・多様な社会の現在では、一人一人の個性が大事にされているし、そういった人が生きやすい社会を作るためにも必

要だと思うから。(他2件)

- ・違いを認め合うことで、誰もが自分らしくいられると安心するから。(他4件)
- ・現状の社会ではみんな同じであることを求められることが多く、みんなとは違うことに劣等感あるいは優越感を感じる場面も多いように思います。これらの感情は差別的な考えを生みやすいのではないのでしょうか。これからの未来を担う子どもたちに、互いを尊重し合い、自分自身を大切に思っていてほしいと願います。(他3件)
- ・課題や問題を抱えていたりマイノリティであってもその個性をそのまま受け入れることが必要であるから。(他3件)
- ・1人1人違いがあるのはあたり前のことであるから。(他2件)
- ・もう少し日本のムラ意識というか「他人の目」を評価基準とする価値観が変わった方がいいと思う。
- ・「自分らしく生きる」ことが認められれば他人にもそういう考えで接することができる。(他1件)
- ・特に乳幼児期にこの権利が十分に保障されることでしかこの権利が実態として身に付くことはないと思うので。
- ・この権利たちはすべてがつながり重なっていると思うので、何かひとつをしっかりと深く実行しようとするれば他のことも叶うと思うが、ありのままの自分であることを保障すればより幅ひろく大きく他へのつながりやすい感覚があったので2を選んだ。2をやろうとしてたどりつきにくい気がしたのが3や7で、そこも含めて捉えておくことで、人がもつ権利をより丸ごと保障することにつながるきがしたため。(他1件)
- ・1、3みたされてはじめて、ありのままにいられると思うから。(他1件)

3 自分を守り、守られる権利

- ・これが土台となり、自分の人生を生きていけると思うので。
- ・基本的な人権だから。(他1件)
- ・子どもであっても人権について知識を身につけ実践する必要性を感じるから。
- ・子どもが生きていく上で、一番大事にされるべき。
- ・当然の権利だと考えるため。
- ・どんな子どもでも存在そのものが大切にされる。(他3件)
- ・虐待を防ぐことが大切なので。
- ・虐待やいじめ、傷つけ傷つく行為はあってはならないため。(他15件)
- ・いじめ、虐待は特に重大な社会問題だから。
- ・過去に虐められた経験がある為。
- ・いじめや虐待はその子をないがしろにしていると思うから。
- ・いじめや虐待等がなくなる現実があるから。(他2件)
- ・様々な面において、虐待を受けている子どもが多いと感じられるから。(他1件)
- ・いじめはずっと前から問題になっており、それらを守っていく必要があると考えたから。
- ・子どもにとって最もつらいのは、いじめにあうことだと思うから。
- ・いじめ等を相談できる場所がないと、いじめから逃れられることができないから。(他1件)
- ・いじめ、虐待、体罰は、その子どもの人生において大きく左右するものであり、場合によっては命に関わるものであるから。(他8件)
- ・虐待、体罰は絶対によくないこと。将来に大きな影響をおよぼすことである。(他3件)
- ・いじめ、虐待、体罰は昨今の社会で大きな問題となっている。子どもたちを守っていかなければならないし、自分が大事にされていると思ってもらいたい。そして、子どもたちが気軽に相談できる学校、機関を充実させていくべきである。(他2件)
- ・身体的・精神的に子どもたちが守られることは大切だと思うから。(他1件)
- ・とにかく、子どもが心を痛めることは絶対に排除しなければならないと思っている。いじめ、虐待、体罰、ネグレクト、ヤングケアラーなど、自分を含めた大人が見て見ぬふりをする傍観者にはなあってほしくない。大人だけでなく子どもの人権を尊重すべきだと思っている。個々が考えを発信し、個々の考えが大事に扱われる世の中へと変えていきたいと思っている。
- ・自分は守られる存在なのだと思える必要があると思うから。
- ・家族のルールが当たり前となり、他者のアプローチを聞き入れる事が難しくなっている。しつくと称した体罰、虐待が絶えない。むしろ増えている。(他1件)
- ・大人として、地域と協力しながら暮せる街にしたいと思うため。
- ・守り守られることが命、生きることにつながるから。(他8件)
- ・どんな状況でも、自分の命を守ることが最優先にできる環境であってほしいから。
- ・生きる上で大切な自分の命や心を守り、守られていることを感じられる。
- ・生命の安全が確保されてこそ、すこやかに育つことができると思う。(他2件)
- ・自分の命を守る主導権は自身にあり、そのために社会に守られることも当然の権利であるから。(他1件)
- ・身体の安全が大切だと思うから。(他1件)
- ・守られる権利は大切、重要である。(他4件)
- ・どれだけ自分を高めようと努力しても、あってはならない外的な攻撃でそれが損なわれてはいけなない。(他1件)
- ・家の中でも外でも、安心して生活できることが大切だと思うから。(他2件)
- ・頼れる人、場所の大切さ。信頼関係の構築。(他4件)
- ・生命の安全が第1であると思う。

- ・命に関わる危険な目に合わないことが重要だから。
- ・子どもは誰からも大切にされ、不安に思うことなく生活できることが大切だから。
- ・子どもは守られるべき存在だと思うから。（他 6 件）
- ・子どもたちも 1 人の人間。ただ守る所は守ってあげるべきだと思うので。
- ・集団で生きていて中で人とかかわりが、大事と考えるその中で、必要ない攻撃からは守らなければいけない。
- ・家でも、外に出ても、子どもの安心・安全な生活が保障されてほしいから。
- ・子どもは成長過程にあり、弱い立場になりがち。保護や配慮が必要。
- ・自分を守り、守られることが大事だと思う。（他 5 件）
- ・守られるだけではなく、自分で守る手段やきっかけが必要だと思うから。（他 1 件）
- ・自らを守ること・守られることは、自身の意見を尊重するとともに、生きていく上で社会が考えていくべき内容と考えるため。
- ・自分を守るとは自分自身しかできないこともあるから。
- ・自分を大事にできるためには、大切な権利だから。（他 1 件）
- ・安心して成長するために必要なことだから。（他 4 件）
- ・自分の考え、意見が守られることが大切。
- ・まずは安心・安全な生活が最優先だと考えるからです。（他 2 件）
- ・いじめ、虐待、体罰により、精神的、肉体的共に傷つく事から守られる。（他 7 件）
- ・大人の社会の歪みが子どもたちの生活に暗く重い影を落としていると感じることが多いので。
- ・いじめはあってはいけませんが困ったときにすぐに相談したり話したりできることが大切。（他 17 件）
- ・困難にぶつかった時に救われる場があることは大切。（他 1 件）
- ・被害に遭ったときに逃げられないと、対応（状況改善）ができないため。（他 1 件）
- ・危険な生活になったとしたら、そこから逃れる方法が必要。
- ・自分から、助けてと発信できない子どもたち、大人に守られる経験をつむことで自分も周囲に手助けが出来るようになってほしい。（他 1 件）
- ・周囲の大人からたくさん愛情をもらい自分自身を大事にしてもらうことで、自分の思いや心、身体、気持ちを大切にできる人になってもらいたい→そのことがまた他の人を大切に作る気持ちへとつながっていくと思います。（他 1 件）
- ・自分自身はもちろん他者からも守られることで必要とされていると感じることはとても重要だと思います。
- ・守られる権利があると分かっているだけで安心して過ごせるに繋がるのではと思うため。（他 2 件）
- ・守ってもらえることで心も豊かになると思うから。（他 1 件）
- ・子どもの意見が大切にされるべきだと思うから。（他 2 件）
- ・大丈夫だと思い生活し、相手を尊重することは大事。
- ・自分の人生は自分のものだから。
- ・被害を受けることは自分のせいだと思うことで、自己肯定感がさがり、存在を認められなくなってしまう。嫌なことは嫌だと言っていること、その意見はとても大切だと伝えたいため。
- ・自分のことを聞き入れられることが大切。
- ・心体を守ること、大切に生きていくことが大事だから。
- ・どのような時、場所においても自己と他者の個人の安全や人権を守り、尊重すべきものだと思うから。（これは子どもに限ったことではありませんが。）
- ・いじめや虐待、体罰などからは、自分だけで逃れることは難しいから。また、小さいうちから自尊心を育てたいと思うから。
- ・相手に傷つけられたり嫌な思いをしない生活を大切にしていきたいから。
- ・友人とのトラブルの原因になっているから。
- ・1 と関連していて、困ったときに助けてもらったり相談できる環境が大切だと思うから。（他 6 件）
- ・これが守られ、他の権利も成り立つと思えるから。（他 2 件）

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・他者との比較ではなく、自分自身の成長を実感できるよう、ひとりひとりに合わせた環境を大人が整えていくことが大切だと思います。全ての子どもたちの自己肯定感が高まり、能動的に社会生活に参加できる世の中は素晴らしいのではと感じます。（他 6 件）
- ・相談先があること、相談相手や本人が心ゆるせる育成者が励まし、受け入れることで自己肯定感は高まり自身が自立して生きる力が得られる。
- ・成長のための活動、他者からの応援は情操づくりにかかせない。
- ・成長し、自信がつくことで心が豊かになり、挑戦する力が身に付く。（他 3 件）
- ・励まされ、勇気づけられながら自分自身に自信を他者を大切に作る気持ちを育ててほしいから。（他 1 件）
- ・自分のやりたい事を決められること、できること、は力になる。（他 1 件）
- ・様々な経験を通じて自ら出来ることが増えて自信を持ってほしいから。（他 1 件）
- ・子どもの成長の中で遊びの時間が社会生活の礎となる大切な時間のため。
- ・自分自身を成長させてほしいから。（他 3 件）

- ・生きていく中で、自分とよりよく成長させる、仲間との絆が大切。
- ・学びや向上心が生きる上で欠かせないから。（他 1 件）
- ・心身の成長に必要な援助、教育が与えられることは大切。豊かに生きていく為の芽を育てていくことが大切と考える。
- ・様々な体験や経験を経て、人は成長するものだと考えると、そういう環境が守られるべきだと考えるから。（他 2 件）
- ・多様化する現代の社会において、自分の能力を発揮できるような分野を見つけ、自分の可能性を伸ばしていったいから。
- ・子ども時代の経験はその後の人生に大きな影響を与えると思う。
- ・人生を楽しめるもの、生きることはすてきだととらえてほしいので。
- ・結局は自分で生きていかなければならない。
- ・将来この力があるなしでは自信が違うから。
- ・自分自身を豊かにすることは考え方を広げ、多面的・多角的に考えられると言うことである。成長していくにつれ、さまざまな意見でぶつかるが増える。そう言った社会の中で、さまざまな考えを持ち、さまざまな考えを受け入れる力は必要不可欠であると考え。（他 2 件）

5 自分で決める権利

- ・自分で考えて行動できる子どもに育ってほしい。（他 1 件）
- ・こどもの可能性は無限であり、自分のやりたいこと。なりたいたいことを表現できるようになってほしいです。
- ・誰かの言われた通りにするのではなく、相談しながらも自分で決めることが大切だと思うから。（他 7 件）
- ・自分で決められる年齢になったら、自分で決められることは大事だと思う。
- ・人まかせにせず自分の意志を大切にしてほしいため。（他 1 件）
- ・子どもが自分の人生を主体的に生きることが大切だと思うから。（他 5 件）
- ・自分の道を自分で選択し、責任とやりがいをもって生きてほしい。（他 1 件）
- ・生きていく上で大切になっていくから。（他 7 件）
- ・子どもも「1 人の人間」であるため、決定に関して尊重するべき、危険等ない限り自己決定は、成長し、成人したときにも必要な力であるため。
- ・自己決定を積み重ねることで主体性が育まれると思うから。（他 1 件）
- ・子どもの主体性を大切にすることで、自分で決める力、考える力が養われると思うから。
- ・この権利が守られるということは、その子らしく生きられるということだから。（他 1 件）
- ・子どもが自分のことを自分で決めることは大切である。しかし、その機会を我々大人が奪ってはいないだろうか。大人は未完全な子どもを受け入れることができず、完全な者にさせたいというエゴを満たす言動を行ってしまっている。この状況は顕在化することが非常に少なく改善することが難しいと感じる。そういった視点でこの権利が大切だと考える。（他 4 件）
- ・子どもは大人の所有物ではありません。生きていく上で自己選択、自己決定、も大切。（他 3 件）
- ・大事なことほど、親や身近な大人の思いに左右されてはいけなから。（他 1 件）
- ・大人や親の指示ではなく自分が決めることの大切さは誰にでもあると思うし、そういう力をつけないと自立できないと思うから。
- ・社会へ向けて自立するためには、自己理解と判断力が必要。
- ・「自分で決めること」が権利であると感じるため。（他 3 件）
- ・これからの社会では、自分で考えて決断することが必要になってくるから。（他 3 件）
- ・自分のことは自分で決める。また、そのために必要な情報を得ることができることは子どもの自由を保障することにつながるから。（他 3 件）
- ・自分で考える、決める力は大切。そのために大人に「どうしたら?」と聞く力をつけることで、他者意識にもつながる。（他 1 件）
- ・自分で決めるクセを付けることで、様々な物事に深い関心を持ち、考える能力が向上します。決める責任が生まれ、どのように他者や社会と繋がっているのか気付き、自身の存在意義を感じるきっかけにもなります。
- ・子どもだからできないといった事は無いです。子どもの意思の尊重の大切さや、子どもにも知る権利があると思います。決める時に未熟な姿を感じたら、大人がサポートし、自分で決める事で生きる力にもなると思います。
- ・自分のことを自分で決めることが生活の基本となるから。
- ・よりよく生きていくために。
- ・まちづくり、学校の企画や運営に当事者の参画は大切だから。
- ・子どもであっても自分の意見は大切だと思う。
- ・自己決定できない子もいるため。（他 1 件）
- ・どんな子どもでも意志を持っているから。（他 1 件）
- ・命、個性、安心は自分の手で掴み守り、そのために周りに翻弄されることのない力を付けていくために必要だと思うから。
- ・守られたり支援を受けたりしても、決定権が自分になれば意味がない。（他 1 件）
- ・子どもであっても誰かにしぼられず、生きていけるとよいと思うから。
- ・最終的には自身で選択して生きていかななくてはならないから。

6 参加する権利

- ・自分を表現できる場所が子どもには必要だと思うから。
- ・まちづくり、学校の企画や運営に当事者の参画は大切だから。

- ・活動的に生活を営む、主体的な活動を社会に出てから行う為に必要です。他に足を付けて歩んでいる実感を持ってほしい。
- ・行動にうつすことができるようにしてほしいため。
- ・様々な事に参加して、様々な一員だと思いをもちたい。居場所にもつながると思う。(他1件)
- ・人は決して一人では生きていけない、社会とつながることが大事。(他1件)
- ・子どもの時から自分の意見を主張したりすることで、大人になった時にも自分の意見をしっかりとつなげられると思うから。
- ・権利を侵害されたときに、反対意見を述べたり主張したりして変えていけることは大切だから。(他1件)
- ・自分の意見を自由に言える世の中は素晴らしい。
- ・コロナで集まるのが減ったから。
- ・いろいろなことに参加していくことが大切。
- ・社会性が必要だから。

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・様々な環境や境遇にいる子ども全てが、同等に社会と関わる事ができるためには、大事な権利だから。
- ・子どもが成長していくのに重要なことであると思うので。
- ・個別の必要に応じて必要な権利を与えられるのは、国や障害などに関らず最も大切なことだと考えるからです。
- ・差別はあってはならないことで、誰もが社会の一員として認められるべきであるから。(他2件)
- ・障害や国の違いで差別があってはならないと思うから。(他5件)
- ・差別され、社会に参加できない状況はよくないと思うから。(他1件)
- ・障害グレーで差別や悪く思われる機会を目にすることがあるから。
- ・差別されることで自己否定につながると思うから。
- ・それがないと平等じゃないから。
- ・国の違い、障がいによる差別は大人でも起こりうる中で子どもは最も守られるべきだから。
- ・差別されず、支えられるべきだから。(他1件)
- ・社会的に弱い立場になりやすいため。
- ・困ったときに支援を受けることは子どもにとっての大切な権利だと考えるから。
- ・必要に応じた支援を受けることはとても大切だと思う。(他5件)
- ・その子の特性に応じて支援を受ける。(他8件)
- ・努力でなんともできない部分には支援が必要。
- ・障害や国の違いによって個別に支援する必要がある。
- ・公的支援を必要とする。(他1件)
- ・いろいろな背景の子ども、みんな平等に支援を受けてほしい。(他1件)
- ・個別に支援をうけられることがあたりまえになってほしい。
- ・いまさまざまな支援を必要としている人たちがいます。その人たちが安心して生きられるようにするためには個別の配慮が必要だと思うから。
- ・発達、能力に差があり、受けられる福祉がまだ不十分だと思うから。
- ・できない子を切り捨てる学校もあるので、学力が低くても参加できる学校でありたいと思うため。
- ・支援が必要な子どもが増えているため、全ての子どもが生きやすい社会にするため。(他3件)
- ・どうしても支援が必要な場面が障がい者はある。
- ・児童発達支援施設に従事しておりますが、全ての障害児者とそのご家族が社会から孤立せず、必要な支援を受けられるよう強く願っています。障害を理由に参加できないこと、交流できないことはかなり多いです。(他2件)
- ・個別に理解され支えられることが伸びしろを多くする条件になると思うから。
- ・必要であれば平等に社会が子どもを守る、という制度が整えられ、周知されることで、当たり前の機会をうばわれずにすむと思う。
- ・子どもが、のびのびと活動できる環境が、整えられてほしいから。(他1件)
- ・全ての子どもが同等の社会生活を送れる環境が望ましいと思うため。
- ・海外からの移住が多くなってきたので、より手厚い支援やコミュニティが必要になるため。(他1件)
- ・子どもの多様化に対応すべき。(他3件)
- ・やはり一人一人個性や特徴があり尊重されることが安心につながると思う。(他1件)
- ・同じことを求め、良しとするのではなく違いを理解し受け入れ合ってもらいたいから。
- ・それぞれの違いが認められ、必要な支援を受けられることは、自己肯定感を育むうえで、重要なものであると感じるから。
- ・障がいのある方だけでなく、多種多様な方々がいる中で共に暮らしていく世の中でなければいけないので大切だと思う。
- ・互いが助け合い、関わることで、多様性を受け入れられるようになる。
- ・やさしさ
- ・共生教育を受けることで生きやすい社会になると考えられるから。
- ・色々な子どもがいる中で助け、助けられて生きていけたら互いに豊かになれるのでは。
- ・この権利を知ることでも周りもその人に対する接し方がわかると思うから。
- ・障がいなどがあっても社会と共有できることは当り前の権利だと思う。
- ・様々な障害を抱えた子どもたちや、国籍の違う子どもたちが個に応じた支援を受けることで自信をもち、多くの活動に参加できる社会にしなければならない。ますます国際化が進む日本に必要な権利である。
- ・生活保護や福祉に関する事を税金の無駄と平気でたまたまうような大人になって欲しくない。お金があってもなくても、

障害があってもなくても、マイノリティでも、皆、同じ場所で生きている。平等だし、安心して暮らせるのが当たり前と思う人になって欲しい。紛争や貧困、差別に苦しむ人々のニュースを観て、考える事のできる人がこれからとても必要になると思う。

- ・あらゆる人が生きていきやすい世界になるため。（他1件）
- ・この権利も、安心して生活するために欠かせないと思うため。
- ・どんな子でも「所属感」をもって、自分は価値があると思えてほしい。

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由や問題点を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	40	10.5%
2 ありのままの自分である権利	25	6.5%
3 自分を守り、守られる権利	59	15.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	12	3.1%
5 自分で決める権利	34	8.9%
6 参加する権利	19	5.0%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	50	13.1%

（無回答=143、N値=382）

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	7	1.8%
2 ありのままの自分である権利	23	6.0%
3 自分を守り、守られる権利	24	6.3%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	11	2.9%
5 自分で決める権利	25	6.5%
6 参加する権利	9	2.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	21	5.5%

（無回答=262、N値=382）

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	7	1.8%
2 ありのままの自分である権利	7	1.8%
3 自分を守り、守られる権利	13	3.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	5	1.3%
5 自分で決める権利	11	2.9%
6 参加する権利	6	1.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	14	3.7%

（無回答=319、N値=382）

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・学校に来られない児童が減るどころか増える一方だから。
- ・実際に差別はあると思うし、子どもを愛情をもって育てられない親もいると思う。
- ・家庭の問題等、複雑なことをよく聞くため。（各1件）
- ・家庭が安全・安心して生活できる場であるはずだが、そうではない家庭があるから。（各7件）
- ・人を傷付けたり、自分の命を粗末にしたり…。家庭で大切にされず育った結果だと考える。大人も子どもと一緒に親として成長するものだが、産んですぐ他人に任せ、愛を育むべき時に自分優先の大人が増えた。産みました、オムツ外し

- て下さい。食事与えて下さい。教育して下さいと、母も親になりきれていないままで不の連鎖がすでに始まっている。(他1件)
- ・子どもたちの中には、愛情を持って育ててもらえずに過ごして来た人も実際にいるので、きちんと子育てできない人が子どもを産むこと事態、疑問に思う。大人の勝手に、大切な命を粗末にはならないと思います。
 - ・親や親族からの愛情が行き届かず、こころの成長が止まってしまっている子どもがいる。
 - ・守られていない子供もいると感じる。親が安心して生きていることが大切な条件になると感じる。
 - ・毎日のように、虐待やネグレクト、DVなどのニュースが流れており、守られているとは言えない。子どもに関わる教育、福祉機関と警察又は同等の効力を持つ機関との連携が必要である場合もあると思うが、個人情報の保護は、助けを必要とする子どもや家庭にとっては邪魔になるので、条件を決めて、保護を解除しない限り、なくならないと思う。
 - ・虐待や傷つきが今の子どもたちにまだ多くみられるから。(他3件)
 - ・貧困生活が厳しいのだろうと感じることが日々ある。貧困層ほど保育時間が長く寂しさを感じている。(他1件)
 - ・ヤングケアラーのニュースなどを目にする事が多くなっています。社会の中で、そのような現実にある子どもたちが、救われる世の中であって欲しいと思います。(他3件)
 - ・家庭によって差があり、第3者が介入しにくい所があるため。
 - ・子どもに関心のない保護者が多いと思うから。(他2件)
 - ・ただでさえ、傷ついて児童養護施設に来ているのにその児童養護施設で安心出来る場所を提供できないようでは養育は出来ないと思います。日々の生活の中で子どもから不安をひろってあげる。
 - ・その子どもに合った生活環境を整え安心安全に生活できることが望ましいが、児相の一保の長期化や、不適切な環境下にいる子どもがまだ沢山いる。
 - ・愛情と理解というものは殆どの人にとって結果論で語られがち。
 - ・安心して生活するために愛されているという実感は大切だから。(他1件)
 - ・愛されていないと感じてしまう場面はまだまだ散見される。
 - ・家以外で相談できる場所が少ない。(他2件)
 - ・いじめや虐待などの被害に遭う子どもは後を絶たず、差別などの問題も依然として根深く残っているから。
 - ・残念なことに生存が脅かされ、命を失う子どもたちが川崎も含めているため。(他2件)
 - ・世界から見れば日本は安全な国だが、あらゆるところで戦争などの命の危険なことがおこっている。
 - ・障害を病理学的に見られていること、同僚が目前にいる障害者に配慮なく業務を行っていること。
 - ・地域によっては生活の基盤がしっかりしていない。
 - ・環境によってはかわいそうな人もいる。

2 ありのままの自分でいる権利

- ・家庭、習い事、学校、友達関係色々な事にはさまれている子ども達、本当にありのままにいられる時はどのくらいあるのか…。
- ・川崎をはじめ、日本では型にはめる教育や型にはまった生き方が良いものとされている気がするから。(他2件)
- ・大人の思いに、振りまわされてしまいがち。(他1件)
- ・「こうあるべき」という大人側の固定観念はまだまだ多い。(他1件)
- ・学校や環境によって大人の対応に差異がある。
- ・大人との生活の中ではどうしても抑圧されたり自己表現が出来ない場合もあるため。(他1件)
- ・若者世代に見られるヤングケアラー、親の意志で自分らしさが出せないことなどまだまだ解決されていないことが多くあると思います。(他1件)
- ・社会集団の中ではありのままにいたることの方が生きづらさを感じる子がいます。ありのままということは本質的に難しい。
- ・集団で行動することが求められる場面が多々ある。
- ・学校など集団生活をして行く中では、他の人との違いや個性を尊重しにくい状況だと思います。日本の教育方法や世の中のシステムを変えなければ、中々難しいことだと思います。(他2件)
- ・違いや個性を守ることは必要であるが、学校現場の中でそれを守ることで乱れる規律とのバランスが問題である。
- ・守られていない子どももいると感じる。児童養護施設等では特に「適切な行動」を強く求められる傾向がある。社会的な養護を受ける子どもへの関心が高まるとよい。(他1件)
- ・大人の良かれや社会の目によって動かされる日本人が多く、こどもが一人の人間であると認識され、自分のペースでほっとしたり遊んだりすることで成長していけるから。(他2件)
- ・保護者にもありのままの姿を否定されたり、受け入れられていないことも多い。詰めこみ療育も多く子ども自身がホッとできない環境になっているケースもある。
- ・ありのままにいたることにより、批判があつたりいじめにつながる生きづらい社会だと感じる。(他1件)
- ・どうしても人と比べられることが多いと思う。(他1件)
- ・まだ受け入れられない子どもの姿がある大人がいると思います。その子自身を受け止めてきていないからかその子の選択肢を奪う大人も少なからずいると思います。(他2件)
- ・とにかく日本では世間ていを気にして障害をかくす、必要な支援につながらない状況が多いと思います。必要な支援をうけながら楽に生きられたらよいです。
- ・現行の法律や判例では、子供に限らず、大人もありのままの自分を尊重されてはいないから。

- ・社会的になかなか理解が進んでいない現状があるのではないかな。
- ・違いを悪いと感じたり差別することが今もあるから。
- ・ジェンダー平等などの理解がない。
- ・学校など集団生活のなかで周りとう違うような子は変わった子として扱われてしまうと思うから。（他 2 件）
- ・子供にとって危険な場所が多いと感じるから。
- ・子ども同士は残酷なこともある。
- ・学校に行けず、家庭の中でも居場所のない子どもたちがいるため。（他 1 件）
- ・実際どこにいけばホッとできる所があるのか！大人でもわからない。
- ・家以外で相談できる場所が少ない。
- ・学校、公共の施設、家庭と顔が異なる子が多いから。
- ・定時制では生徒 1 人ひとりの背景が重たく、守られていないように思う。本人のせいなのか、周りの大人のせいなのか、わからない。
- ・あまり、守ってあげられていないように感じる。
- ・メディアを通して“理想の姿”を常に見続けさせられる現代において、同じくらいありのままでよい理想の姿(子・親・教師他)などない“情報も量的にふえるとよい
- ・他の人と違うことを個性と認められ、大切にされている児童もいるが、そうではない児童もいると感じる。
- ・未だにいじめ・虐待に関する悲しいニュースが減らない印象があるから。

3 自分を守り、守られる権利

- ・子どもの意見が大事にされていない場合もあると思うから。（他 2 件）
- ・守られずに不安をかかえるこどもが多すぎる。（他 2 件）
- ・永遠の課題として取り組み続けるべきことであるから。
- ・いじめ、虐待問題があるため。（他 24 件）
- ・しつと促えた関わりが虐待につながっているケースも多い。保護者が必死に子育てをしている、その支援が必要だと思います。
- ・いじめ、虐待は減少しているのでしょうか、大人がどれだけ介入できるか。
- ・虐待対応にもっと素早く対応できるとよい。
- ・家庭の問題は見える部分も多く、複雑であるため。
- ・家庭内のことは詳しくわからないが、子どもの態度、言葉づかいでわかる。（他 1 件）
- ・守っているつもりが、大人に都合の良いように子どもを動かしている、親の所有物的な考えをもつ大人が多いと感じる。
- ・虐待やネグレクト、ヤングケアラーの場合、家庭への介入が難しいため、守ってあげられる子どもがまだまだ少ないから。
- ・いじめ、虐待、体罰などを受けていても、周りに言える環境が整っているとは思えず、自殺や、虐待死も減っているとは言えないと思う。（他 9 件）
- ・子ども、大人問わず、残虐な事件があとを絶たない。
- ・いじめから逃げられる場所が大切だから。
- ・多くの家庭では守られているが、守られていない家庭があり、苦しんでいる子どもがいるから。
- ・児童相談所をはじめ、必要なところに資金や人材が足りていないせいでも十分な援助がない。
- ・子どもへの虐待は、かなり多くあると思うが、事件にならないかぎり発覚しない。虐待されて育った子は虐待する親になると思う。（他 1 件）
- ・いじめ等がわかりづらい社会になっているため。（他 1 件）
- ・日本ではいじめ等、される側が恥ずかしいのだという風潮があり、被害者が周りに相談できず苦しんでしまうことが多いと感じるため。
- ・逃れたり、相談したりできる受け皿はあるが、“いじめをした者”こそ、指導されるべきではないでしょうか。
- ・いじめ、虐待、体罰を受けたと感じても、誰に、いつ、どのように相談して良いのか分からないことが多い。（他 2 件）
- ・いじめや虐待がなかなか減らないのは、相談できる環境が整っていないからなのではないか。（他 3 件）
- ・安心して相談できる大人が身近にいない児童がいる。
- ・相談できないことが多いと思うから。
- ・相談する環境が整っていたとしても、こどもがうまく言葉にできなかつたり、思いを表現しきれないこともあるので、守られているようで守られていないように感じている。（他 3 件）
- ・周りの大人に SOS を発信しても適切に処理されず、苦しんでいる子が沢山いるから。（他 1 件）
- ・そもそも SOS を出せない子が多いのでは。そこを見極め守るべき。
- ・いじめ問題に対し、大人側の対応「やりました」感が強く、子どもの望む解決につながっていない。
- ・守られていない子どももいると感じる。一般的に大人が子どもにかけられる言葉を聞いても「あなたは どうしたい？」「あなたは どう思う？」「何をしてほしい？」の問いが少ないと感じる。子どもに関することを決める時に子どもに聞くことが原則になるとよい。
- ・子どもの意見を重く受けとめない大人は本当に多いのではないかな。
- ・若者世代に見られるヤングケアラー、親の意志で自分らしさが出せないことなどまだまだ解決されていないことが多いと思います。

- ・悲しいニュースが毎日のようにきこえてくるから（川崎市、というわけではないが）。（他 3 件）
- ・身近にひどい虐待があるわけではありませんが、ニュースなどでは、酷いこともおきています。大人のストレスのはけ口になることは、かわいそう。
- ・視野の狭さから自分の状況を客観的に判断できない子どもの特性と、そこに入りこみづらい世の中の体制。
- ・これまでの社会で注目されにくかった。
- ・子どもの学校などでも身近に聞く問題だから。
- ・学校の中だけでなく様々な場で見られるため。
- ・まだ、気がついていない問題はある。注意深く見ていきます。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・適切な力づけを継続的に行うこと
- ・自己肯定感が高い子どもが増えてほしい。（他 2 件）
- ・1人で遊ぶことが増えているため。
- ・日常の中で、自信につながる活動が少ないと感じる。（他 1 件）
- ・親、学校など身近な大人が子どもに成功体験をさせられる場面が少ないと感じる。楽しめない。自信がない。
- ・励ましたり、力づけたりしていない大人がいるから。
- ・貧困、格差は、この権利を拒む。
- ・その子によりそえず、教員や親の主観で声をかけたり、決めたりしてしまう場合も多いから。（他 1 件）
- ・生まれた家によって、大きな差があると思います。（地域の教育力や家庭での家族の状況によってことなります。）（他 1 件）
- ・コロナもあり、子どもの活動が制限されていると思います。（他 3 件）
- ・子どもの時にしか体験できない、のびのびとした遊びの場や時間があまりにも少ないため。（他 1 件）
- ・のびのびと遊べる公園や施設が少なく、遊ぶ場所があっても周りからの否定的な意見を気にしなくてはいけない。なぜ楽しく遊んでいる子供達に「静かに遊んで」などを言わないといけないのか…。
- ・子どもが親や塾の講師に励まされ、力づけられるのは、いい高校、いい大学に行くためであり、子どもの実態から目を背けた大人が無理を強いて、抑圧しているから。
- ・いじめ、虐待などがなくなならない原因や、それらをされている見極めをするときに、励まされているかということとはとても重要だと思うから。
- ・定時制では生徒 1 人ひとりの背景が重たく、守られていないように思う。本人のせいなのか、周りの大人のせいなのか、わからない。

5 自分で決める権利

- ・大人の都合で動かなくてはならない場面もある。全てを思うようにはしてあげられない。（他 1 件）
- ・十分に吟味して選択をする時間が与えられていなかったり、無意識のうちに多数派や発言力のある人の意見に収束することがあるから。
- ・大人の言葉の影響力はとても大きいと思う。自分で考えるという習慣や自分の考えを認められるという感覚を子どもの頃に多く身につけられるように、教育現場の考え方を変えていかなければならないと思う。
- ・親の保護監督という名目で、子供の意思が尊重されていない場面を多く見るから。（他 6 件）
- ・親と子供の意見や考えが一致しない事がある為。
- ・保護者の意思が尊重され、本人が決める文化がない。子ども 1 人に対する大人の割合も問題。囲い込んでいる現状がある。
- ・自分で決めたくても、親が許可してくれなかったり、自分の家庭環境が厳しく決めたくても決められなかったりしていると思う。
- ・子どもの生まれついた親、家庭などの環境により、決められる権利は元より、その選択肢さえ与えられない場合もあると考えます。（他 1 件）
- ・社会の中でまだ大人に決められてしまうことが多いと思う。（他 8 件）
- ・自分で決めたことでなく、大人に決められたことを守る=良い、という考えはまだ日本には多い。
- ・経済的に独立していない以上、枠の中（近くの大人の）での自由しかない。
- ・枠がある。そこからはずれると自由に選択出来るものも制限されることがある。
- ・大人、親のエゴでふりまわされている子もいる。
- ・家庭単位での育児場面において躰と信じて誤った方法で子どもと接している保護者への支援を保育、教育の現場で担っていけると良いと思っています。
- ・子が小さいほど、大人の主観やまだ難しいから、できないからと決めて、子どもの思いや気持ちを聞いたりより添う時間よりも、大人の都合や思いを優先してしまいがちになっている気がし、大人自身に余裕がない、頑張りすぎているところがある。親（特に母親に求められていることの世間の目）の頑張りや努力を求められる傾向がいろいろな場面で多すぎる。
- ・良かれと思って大人が誘導するので、自分で決めたように見せかけてることがほとんどかと。
- ・保護者や教員が行動を決定したり、ルールで縛っているように感じる。（他 1 件）
- ・そもそも大体の生活の場である学校が、子どもの権利について理解し守ろうとしているのかはなはだ疑問であるから。
- ・子どもの声に耳を傾けない大人がたくさんいると感じるため。（他 1 件）

- ・ある程度は仕方がないことと思うが、学校内では制約が多いことと、授業時間数増加のために、特別活動や児童会活動の時間がなかなかとれないことが多い。（他 1 件）
- ・自分のことを自分で決められる機会が少ないと思うから。（他 2 件）
- ・どこまで自分で決められるのか不確かだと感じるため。（他 1 件）
- ・自分で決める状況にない子どももいるのではないか。
- ・受け身である事が、子どもは多いと思う。（他 1 件）
- ・余計な情報もうのみにしがちなのでは。
- ・自分で決めるための情報が少ない。社会としても整っていない。（他 2 件）
- ・子どもがほしい情報を大人がすぐに教えられる環境を作る事が大切と考えている。
- ・施設では、ある程度のルールや決まり事があるが、それに納得のいかない子達の力のぶつける場所などが柔軟に対応できていないと感じる。
- ・校則等は「守るべきもの」になっていて、何故守らなければならないかといった議論を生徒と真直面にやろうとする大人や先生はいない。
- ・中学校の校則が厳しい学校とそうでない学校がある。校長の判断でなく子ども達で決められたらよい。
- ・自分で決める権利には、自己責任も必要。責任を取れないうちは、ある程度決めてあげることもつながる。
- ・子ども自身が、自分で何かを決めるためにはそれを手助けできる大人の存在が大切だと思う。大人でも、案外自分で決められないことがおおいので、様々なことに対応できる多くの情報が必要だし、個々に合った手助けが必要だと思います。（他 1 件）

6 参加する権利

- ・子どもが社会に向けて意見を言う場はまだまだ少ないと感じています。（他 5 件）
- ・参加する場が充分ではない（周知されていない）
- ・社会で活動は難しそう。
- ・子どもだからと言って、参加できないものがある。
- ・なかなか認めてもらえていないかも。
- ・日本人、外国人はどこでも生活を普通に行えているが、障害のある人々に対しての活動場所などが少なすぎる。
- ・子ども会議の場をもう少し拡大する雰囲気が必要かもしれない。もっともっと社会参加、参画意識を日常から取り入れていける仕組みづくりが必要だと思う。
- ・環境や能力で参加されるものが制限される。
- ・このご時世で、社会活動が制限されているから。
- ・今の状況では、子どもが主体的に活動するのは、難しいと思う。
- ・自分の意見を言ったりする機会があまりないと思うから。（他 1 件）
- ・参加できることを知らずに生活している子は多いと思う。また、意見を言ったところで変わらないという気持ちも大きいと思う。（他 1 件）
- ・守られていないというよりは、まだまだ浸透していないと思う。さまざまなアプローチで環境的には整ってきているのだろうが、日本人の気質や教育のあり方等の影響で積極的に参加することまでに至らない子が多いのでは、と感じる（他 1 件）
- ・学校の授業時間の長期化、習い事や親の就労時間の長期化など、あまり自由度はないと思う。
- ・参加することによって窓口が開かれていないように感じる。大人でさえ政治や社会のことを話したり、表現したりするのがタブーなイメージがある日本なので、子どもが参加するのは難しいと感じる。
- ・日本手話を否定されていること→ろう者は日本手話と日本語つまり二言語の世界で生きていくわけだから、日本語指導だけにしておくのではなく、ろう理解の一環として、日本手話をもっと研修して欲しい。
- ・まだ大人が中心の社会。（他 1 件）
- ・いじめが存在する限り、守られているとは思えない。
- ・上手く自分を表現できずにいる場面は子どもはもちろん多く、成長しても続くように感じる。
- ・子どもの意思是、子ども自身も理解できていないことも多く、大人の予測でしか参加の有無を確認できていないこともあるかと思うため。
- ・自らの力で、コミュニケーションやコミュニティに入る力が低下している子が多くなった。その子たちを支援する時間や所が少ない。（他 1 件）

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・個別の支援が必要でも本人保護者が必要としない場合に、うまく支援することが難しい。（他 3 件）
- ・国の違いや宗教、保護者の考えによって守られてないように思う。
- ・思想・宗教・考え方の違いなどからその子に合わせては難しい。（他 1 件）
- ・まだまだ特別な目で見られ、偏見を持つ人も少数でいると思うため。
- ・他者との違いは、以前に比べ理解されるようになってはいるが、間違った理解・そもそも受けいられるような環境が作られていないため。
- ・まだ国籍や障がいの有無等による差別や偏見がたくさんあると思うから。（他 3 件）
- ・なかなか差別はなくならない、また障害などでも周りの理解がまだまだ足りない所はあると思う。（他 2 件）

- ・社会に参加する機会をあまり見かけない(特に障害を持つ子ども)。(他 1 件)
- ・まだまだ偏見や差別がなくなっていないと感じる。(他 4 件)
- ・生まれてくる場所によって差別されるのはおかしいから。
- ・家庭環境などにもより、十分支援を受けられていないと感じる。
- ・日本人の弱い部分、平等でない社会がまだまだある。
- ・制度、施設、設備、予算人員が足りない。
- ・国の違いはどれだけ守られているか、“郷に入ったら郷に・・・”の考え方が日本は強い。
- ・まだまだ社会の中で“集団で生活する”というのが保育園、幼稚園、小学校などでは大事とされている気がするため。
- ・1人1人に応じた学校での学びの場がもっときめこまやかなになるとよい。
- ・学校場面では支援が充実しているとは考えづらい状況です。
- ・個別に支援するためには、環境や人的配置が必要である。学校現場では人員が不足し、きめ細やかに対応できていない状況も見られる。(他 4 件)
- ・ひとりひとりに合わせるというのは簡単ではなく、対応する職員の専門性と十分な体制(人数)が必要です。簡単ではありませんが、後回しにせず対策を講じて進めてほしいです。(他 4 件)
- ・支援者の数が足りておらず、支援が必要なのに見過ごされている子もいると思う。(他 1 件)
- ・支えなくても支える人に理解とマンパワーがたりない。
- ・個別最適な学びを意識した教員、時代の変化に対応した教員育成が必要。気づきが足りない。一斉指導で取りこぼされた対象への学びの保障も確実にあるわけでもない。もっと生活環境などの身近な場所に1人1人を認めるコミュニティが必要。
- ・支援そのものを子どもが知らない、大人の手もたりない。
- ・手助けはまだ十分とはいえないと思う。(他 6 件)
- ・国の違いや障害で差別されず支えられる社会の仕組みがそこまでできているとは思えない。一部では、できているのかもしれないが、当事者になってみたら、仕組みは不十分だと感じます。(他 3 件)
- ・支援の制度が整っていなかったり、制度を知らなかったり、差別がなくならなかったりとまだ守られていないと思う。
- ・個別の支援の必要性について、サービスの拡充が必要だと思うから。
- ・知能や身体の障がい、心の病気などがかかえている方々に対し福祉が不十分。
- ・障がい児保育や医療的ケア児の保育、課題が多くあると感じる。
- ・生活保護や保護者に障害のある家庭への支援制度が乏しい、厳しい。生活保護世帯が医療を即座に受診できない制度は改善すべき。
- ・国の違いや障がい者へのケアはまだまだ一般の人には浸透していないように思うから。(他 2 件)
- ・福祉資源の情報が万人に知らされているわけではなく支援を受ける人とそうでない人で開きがある。
- ・障害のある子や気になる子へのサポート体制は未だ不十分だと感じる。サポートを受けたいと思っても、繋がるまでにとっても時間がかかると感じる。
- ・交流する場への移行がうまくいかなかったり、子どもに合った環境を紹介できているか、と問われるとそうではないように感じる。それぞれの場が増えることも必要だが、仲介する人的要員も足りていないと思う。
- ・「多様性」「ダイバーシティ」うたわれてはいても実際はまだまだな部分多く長期的な我が国の課題なのではと感じる。(他 1 件)
- ・子どもファースト合理的配慮がなされていないと思う(就学や医療サービス利用の制限など)。
- ・ヤングケアラーなど関心を持つべき。
- ・全体的に、年々意識され、改善されているように思います。
- ・差別はありませんが、大人として、個別で配慮できているかは分かりません。子ども同士の遠慮ない声かけの方がよっぽど壁を感じない。(他 1 件)
- ・自分が必要だと感じた時に思い通りにならないことがある。
- ・その子どもにあわせてがあいまい。

1～7の区別のない意見

- ・今の所全てだと思う。川崎市に限らず、日本の世の中全体を見ても成育、教育問題は山積。毎日ニュースで子どもがらみの悲しい事件を目にします。子どもの健やかな育ちは大人たちの心身の健全さによりますので、育児者(親、特に母)や保育者の心のケアが必要不可欠です。子ども中心にスポットを当てるよりも、上記の大人たちのケア、相談場、支援にまず注力すべきと考えます。
- ・全く守られていない訳ではないと思います。ただ、子どもたち自身がこの条例を分かってない様な気がします。自分もそうですが、親たちも『子どもにも権利がある事』を知らない方が沢山いると思います。子供に携わる仕事をしているからこそ知った部分もあるので。

II 『あなたの職場の子どもの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる大人が少なくとも一人はいると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	115	30.1%
2 だいたいそう思う	236	61.8%
3 ほとんどそう思わない	23	6.0%
4 そう思わない	5	1.3%
無回答	3	0.8%
合計	382	100.0%

Q6 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 あると思う	58	15.2%
2 だいたいあると思う	246	64.4%
3 ほとんどないと思う	73	19.1%
4 ないと思う	4	1.0%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q7 あなたは普段子どもと関わったり、支援するときに、子どもの権利や条例の内容を意識して関わっていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 意識している	188	49.2%
2 少し意識している	136	35.6%
3 あまり意識していない	51	13.4%
4 意識していない	6	1.6%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q8 Q7において「1 意識している」「2 少し意識している」を選んだ人にお聞きします。具体的にどのようなことを意識していますか。

- ・その子の全てをしっかりとみつめて接する
- ・こどもにとって大切な内容だから (他4件)
- ・園児全員の名前を覚えている。親からも常に話しかけられやすい雰囲気を作っている
- ・社会に出た時に、よりよく生きる為には、その子に何が必要なかを常に考えているからです。
- ・人に迷惑をかけない。いじめは絶対許さないなど学級経営にとり入れている。
- ・相談する場所は他にも色々あるということ
- ・子どもの権利ノートなどを活用。
- ・権利や条例の内容に関わらず、人として大切にしなければならないことを意識している (他5件)
- ・何かあれば国や自治体が守ってくれると信じている
- ・権利だけでなく、その子にとっての最善の利益は何なのかを考えエンパワメントするよう関わっている。(他11件)
- ・なるべく子どもの背景を考え対応する (他1件)
- ・個性を大切にしている。(他11名)
- ・子どもの表現を大切に。やりたいことはできるだけ応援する。成長しようとする子に、励まし、応援できるようにしている。相談しやすいよう、個々との会話も意識している。(他4件)
- ・職場内研修を行なう機会があり、自分自身の子どもへの関わり方の振り返りとなっている。(他9件)
- ・子どもの思いを丁寧に聞く、これからのことを考えて一緒に解決策を導き出す (他56件)
- ・普段からコミュニケーションをとり、顔色・態度に変化があれば声かけをする。(他5件)
- ・なるべく1人ひとりの個性を尊重して外国籍の子や、障がいを持った子など、皆が楽しくすごせるようにする (他4件)
- ・声のかけ方や子どもの気持ちを聞くことを意識している (他39件)
- ・個々の発達や成長を保護者と一緒に見守り、楽しく過ごせる場である様意識している。(他2件)
- ・子どもに寄り添う気持ちをもつよう努めている。(他15名)
- ・一人の人間として尊重した関わりをしている (他94件)
- ・遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、力づける。(他3件)
- ・こどもの主体性を考える (他28件)
- ・愛情をもって関わるようにしている (他4件)
- ・子供達がホッと出来る居場所作り。(他3件)
- ・オムツ交換や身体測定をする際、まわりの人に見られないように気を付けている。(施設関係)
- ・子どもが安心して過ごせるように意識している (他32件)

- ・個別に対応が必要な子どもには、学校や家庭、関係機関と連携を取りながら、支援策を探っていくようにしている。（他 2 件）
- ・公平・公正等、平等に接すること、片寄りなく接することができるように心がけている（他 12 件）

Q9 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 できている	74	19.4%
2 だいたいできている	283	74.1%
3 ほとんどできていない	15	3.9%
4 できていない	2	0.5%
無回答	8	2.1%
合計	382	100.0%

Q10 Q9において、「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。子どもの気持ちや意見の聴き方についての具体例や、工夫していることは何ですか。

- ・年齢に合わせた言葉でわかりやすく話したり、状況に合わせて時間をかけ丁寧に対応することを心がけている
- ・多数の子どもが同時に対応を求めてきた時にすぐに対応できない児に対しても、「次にきくから待っててね」等。見通しをもたせた上で必ず対応する
- ・様々な手立てをとりながら子どもたちの思い、やりがいを大きくしている。・すぐに聞く（他 3 件）
- ・子どもと関わる時間の中で自由会話場面を設けている
- ・なるべく全員に聞く
- ・できているかどうか職場で、お互いにふりかえる場を会議等で設けている（他 1 件）
- ・自分自身の体調をととのえ心の余裕をもち子どもたちと接する。（他 3 件）
- ・1対1になれる環境でゆったり聞くようにしている（他 22 件）
- ・日頃の関わり方（他 2 件）
- ・子どもの思いをくみとる努力をしている（他 10 件）
- ・教育相談の研修を実施
- ・嬉しいことや辛いことも話せる関係作りをしている（他 12 件）
- ・子どもの立場にたって、視線を合わせながら聞く、共感することも大事である（他 8 件）
- ・個別対応や場所の工夫、話しやすい雰囲気づくり（他 29 件）
- ・自分の意見が言いづらい子供に対しては、選択肢の中から選べるようにしている。（他 4 件）
- ・子どもが決める。こちらは提案をする。（他 2 件）
- ・視線が合うように姿勢を低くする（他 31 件）
- ・本人がどうしたいのかを聞くようにしている。（他 7 件）
- ・直接「方法」について話し合う・選択肢を設ける（他 6 件）
- ・子供の声で話を聞くようにしている。Yes No で答える質問ではなく、子供が思いをのせて答えることが大切だと思っています。（他 9 件）
- ・どう思ったのか質問するようにしている。（他 17 件）
- ・日ごろからよく声をかける（他 18 件）
- ・子どもの話を第一に聞くようにしている（他 72 件）
- ・日頃から子どもの様子を観察し些細な変化も見逃さないように気をつけている（他 18 件）
- ・こちらからの問いかけに対する子どもたちの反応は、大切にしたいと心がけています。（他 1 件）
- ・子どもの意見を尊重するように意識しています。（他 3 件）
- ・子どもが訴えてきた時に子どもの気持ちにそうように話をきいて対応している（他 14 件）
- ・子どもが伝えやすいように共感するようにしている（他 17 件）
- ・忙しいとおざなりになってしまっていることもあると思うが、思いをしっかり受けとめようとしている。（他 15 件）
- ・子どもの気持ちを決めつけず、子どもの気持ちをしっかり聞くよう意識している。（他 9 件）
- ・子どもの気持ちに寄り添うようにし、否定しないようにしている（他 20 件）
- ・待つ、子どもが意見をまとめるのをせかささない（他 14 件）
- ・途中でさえぎらないように、まずは最後まで話をきくようにしている（他 15 件）
- ・その場で流さず、丁寧に説明するなど理由も含めてきちんと聞き、傾聴を心がけている（他 22 件）

Q11 Q9において、「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	7	41.2%
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	5	29.4%
3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから	2	11.8%
4 どのように聞いたり受けとめたりするとよいかわからないから	3	17.6%
5 その他	2	11.8%

（無回答=2、N値=17）

【その他】

- ・子どもが自由に自分の気持ちを伝えられる環境ができていない。
- ・そもそも大人が「できている」「できていない」と決めることではないから。そう思うと「できている」と勝手に決める方が怖いので「できていない」よりになりたい。

Q12 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	79	20.7%
2 だいたい聞いている	213	55.8%
3 ほとんど聞くことができていない	60	15.7%
4 聞くことができていない	8	2.1%
5 わからない	18	4.7%
無回答	4	1.0%
合計	382	100.0%

Q13 Q12において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 できている	33	11.3%
2 だいたいできている	243	83.2%
3 ほとんどできていない	12	4.1%
4 できていない	1	0.3%
無回答	3	1.0%
合計	292	100.0%

Q14 Q13において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・ こども文化センターでの、部屋の交代の仕方をこども達主体の会議を開催し、こども達で決めてもらったこと。
- ・ 子どものやりたい事をプログラム化することで参加する権利を獲得できるようにしている（他1件）
- ・ 本人の希望にそって、現実場面も設定できたので、虐待ケースであったが家にかえすことができた。
- ・ 子どもの意見を出す場を作り、そこから出た意見を元に、児童館内のルールを導き出したこと。
- ・ 失敗も成功も自分で考えて決めてやったことには納得している様子
- ・ キッズリーダーとの話し合い、スタッフ会議で、子どもの希望にそう様に内容を決めているが、最終的に達成感が持てる様配慮しています。
- ・ リクエスト献立や調理保育などで子どもの要望に応える
- ・ 年長児中心にはなるが話し合いを持ち子どもたちの意見を取り入れてすすめている（他2件）
- ・ 赤ちゃんでもしてもいいかな?どうする?どうする?と問いかけると応じている小さい頃から子どもの意見を尊重することはとても大切
- ・ 雨の日にクイズ大会をやりたいといわれて実施。
- ・ 学年レクや遠足等のイベントなど（他2件）
- ・ 意見箱を設置して、やりたいことや、欲しい物、遊びたいものを聞いて可能な限り実施したところ、「また遊びに来たい」と言ってくれました（他3件）
- ・ たてわり保育などでは5才児がリーダーになり3 - 4才をリードしている
- ・ お散歩であそぶ場所や、あそびを子どもの意見を取り入れる。（他14件）
- ・ 商店街の祭りで、こども発信のカフェを運営した。（他1件）
- ・ 夏まつりごっこで「たこやきをやりたい」となり、材料を揃えて一緒に作ったところ「もっと作りたい」「もっとやりたい」と盛りあがった。
- ・ e スポーツゲームを開催した事です。大きなスクリーンで家では味わえないか迫力や周りのお友達の反応を見たり聞いたりいつも特定の子と遊ばない児童も学年の違う子同士が会話したりと子供達が一番やってみたい事が出来ていたと思います。
- ・ 映画会をする際、3つの選択肢を挙げシールを貼って投票制にしている。
- ・ 生徒会活動の中で、「より良い学校にするには？」というテーマで子ども達より意見を出し合った。（他4件）
- ・ 児童会活動の中で、子どもたちが考えた企画が全校で取り組んでいることがいくつもある。（他2件）
- ・ 特別支援学校の場合は、発信の弱い子どもが多いけれど、写真や絵カードを選ばせたり、ipadを使って説明したり、個々に応じてより適した発信を促しています。
- ・ 委員会活動をはじめの時に、めあてを相談して決めたところ。その後はめあてを意識しながらほぼ子ども達だけで活動をすすめることができた。
- ・ 校則について見直しがおこなわれ始めていること。（他7件）
- ・ あいさつ運動へのとりくみ

- ・進路は本人の希望を尊重
- ・新しい委員会や、クラブの立ち上げ。(他 2 件)
- ・子どものすべての考えを実現するのではなく、課題やよさも伝え、導く必要がある。現在では支援が広まりすぎ、指導の必要性(大切さ)も改めるべき
- ・学校の教育方針の根幹にあることなのですべての学校活動においてこれを実施している (他 24 件)
- ・学級目標をみんなの意見を集めてつくったとき、一丸となって喜んでた。(他 5 件)
- ・学級の係活動で、自分がやってみたい係に希望通りになれるようにしている。(他 2 件)
- ・文化的行事など、子どもの意見がとり入れられていると感じる (他 3 件)
- ・行事運営のほぼすべてを子ども主体で行っていること。(他 80 件)
- ・新 1 年生歓迎会をするにあたり、全員の意見で、校庭遊びのやり方を教えつつ、各自が得意な遊びを発表した。
- ・運動会で子どもたちが行う競技内容のやり方やルールについて子どもたちと相談し、子どもが提案したやり方で実際に行った。(他 13 件)
- ・共同作品を作る時のテーマや工夫 (他 2 件)
- ・ワークシートの作り方、書く量について
- ・企業との協力で子どもの考えた事が実現したこと。
- ・ならいごとの選択、係活動の変更(学校関係)
- ・学習で使う言葉に子ども達で手話表現を決めたこと
- ・授業の進め方(学習計画)は子どもと一っしょに決めている (他 14 件)

Q15 Q13において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

- ・職員同士、そのことについて話をしたくても、なかなか時間を確保できない。(他 1 件)
- ・こどもの会議やアンケートを用いて、こどもの思いや考えをきくようにしているが、全員で外出や大がかりな動きをとろうとなると、職員の手が足りなかったり、こどもにとって楽しさにつながるようなケアがしきれないことが要因で、ほとんど叶えられていないのが現状である。
- ・世の中が決めた慣習や、大人の価値観に当てはめなければいけないから。(他 1 件)
- ・コロナ禍になり、行事の中止も相次ぎ、子ども達がやりたいことが出来ないことが増えた。(他 1 件)
- ・子どもの意見を反映させるには、親の考え方の変化が必要になる場合があるため。
- ・予算の問題など。
- ・実際は「あまりできていない」というのが適当。授業の進め方などは子どもの声を反映させられるが、進度については、ある程度無理をしないと学習すべき範囲を終わらせることができない。授業内で十分理解できなかった生徒には補習を行うこともあるが、それでも「全員が十分理解した状態で先へ進む」というのは非常に難しい。
- ・授業や行事の飾りなどは意見を反映できるが反映しきれないものも多い。学年間をまたがると特に準備期間が足りない
- ・衝突する意見を反映させるのは難しい。(他 1 件)
- ・ならいごとの選択、係活動の変更(学校関係)
- ・子どもの思いは幼い利己的な短絡的な意見も多く、みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校づくりにそぐわないことが多いから。権利をまっとうに主張できるほど権利について知らないのに、個人的なわがままを権利として主張してしまう子どもが多いため、論点がずれてしまう。
- ・その内容によって様々な判断が必要であると考えている。その時の状況に応じて対応することが大事（ベターやベストをできるだけ選択したい）と考えているため。

Q16 あなたの職場では、子どもが悩んだりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。

	件数	%
1 ある	212	55.5%
2 ない	75	19.6%
3 わからない	88	23.0%
無回答	7	1.8%
合計	382	100.0%

【「わからない」理由】

- ・あるがなかなか言いづらそう
- ・乳幼児を対象とした職場なので、子どもの困り感に職員が支援していくため。(他 3 件)
- ・未就学児のため、本人が解決するまでいたっていない。(他 4 件)
- ・障害を抱えた子どもたちには自ら解決に向けて動き出すこと自体が難しい。(他 1 件)
- ・障害への理解のある職員が少ない。また障害への理解のあるカウンセラーの不在。
- ・子ども自身が解決ということが具体的にイメージできません。

- ・職場の人とそういった話をしていないため。
- ・教育相談の実施など、続けてきた仕組みはあるが、子どもの困り感を聞くことができて、保護者の理解が得られず結局解決には至らないことが多いから。
- ・学校、家庭と連携することはあるが子どもの自身が解決に向けて動きだす仕組みといえないこと。
- ・時と場合、内容によります。
- ・入口部分をマンパワーに頼りきっているから。
- ・実際に悩んでいる場面にあったことがない。（他 2 件）
- ・具体的に思いつかない。（他 2 件）
- ・解決に向けての十分な取り組みが具体的にどういったものなのか分からないから。
- ・仕組といわれるとわからない。（他 5 件）
- ・仕組みまでとはいかないから。（他 4 件）

Q17 Q16において、「1 ある」を選んだ人にお聞きします。あなたの職場で設けられている仕組みを教えてください。

- ・担任が悩みを聞く。子ども同志で話し合う。クラス全体で（他 16 件）
- ・担任との日記交換（他 1 件）
- ・子どもの話を聞いて必要な手段をとっていく（他 22 件）
- ・子どもの権利ノート（他 1 件）
- ・子どもの行動から読み取った上で面談、ケア会議、第三者委員会、関係機関につなげる様々な支援（他 10 件）
- ・アンケートを行っている。その結果からききとりをしている。（他 17 件）
- ・「あのね」とか「どうして」といったような子どもたちからの意見や相談を受け付けられるポストを用意設置しておりそこに入ってきたものへの回答を掲示してそこからこも自身が考え答えを出し前へ進めるようにしている。（他 26 件）
- ・相談できる所がある。（他 2 件）
- ・カウンセラーとの相談ができる。（他 32 件）
- ・支援コーディネーターに相談して進めている。（他 23 件）
- ・相談できる人がいることを紹介している（他 7 件）
- ・クラス以外の職員に相談するのもよい
- ・「イエローカード」という苦情解決の仕組みがある。施設の職員か第三者に解決してもらいたいか選ぶことも出来る。
- ・仕組みというより、考えられる余裕を持つ様に接したり、周りの職員のサポートを使って対応したりしている。
- ・教育相談アンケートを実施し、教育相談を行います。（他 8 件）
- ・わからない時に聞けるような環境づくりをしています。（他 7 件）
- ・毎週ミーティングがあり、子どもの悩み事、困り事をみんなで共有し、解決に向けて話し合っている。
- ・学校との連絡や相談など連携している（他 17 件）
- ・職員間での共有できる雰囲気（他 12 件）
- ・児童相談所につなげている。（他 2 件）
- ・通級指導教室で積極的にセルフアドボカシーについて話して、SOSを出す大切さについて実践を通して学べるようにしている。
- ・生徒会を通じて、学校全体の問題としてとらえられる機会がある

Q18 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。（知っているものすべてに○）

	件数	%
1 保健福祉センター（地域まもり支援センター）	282	73.8%
2 児童相談所	366	95.8%
3 児童・青少年電話相談	199	52.1%
4 児童虐待防止センター	160	41.9%
5 民生委員・主任児童委員	257	67.3%
6 スクールカウンセラー	315	82.5%
7 総合教育センター	242	63.4%
8 24時間子供 SOS 電話相談	220	57.6%
9 教育委員会の教育相談室	158	41.4%
10 電話相談ホットライン（体罰など）	189	49.5%
11 インターネット問題相談窓口	95	24.9%
12 やまびこ相談	13	3.4%
13 かわさき若者サポートステーション	41	10.7%
14 人権オンブズパーソン	235	61.5%
15 川崎いのちの電話	266	69.6%
16 かわさきチャイルドライン	218	57.1%
17 子どもの人権 110 番	250	65.4%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	31	8.1%
19 知っているものはない	0	0.0%

（無回答=6、N 値=382）

Q19 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含めて教えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	275	72.0%
2 だいたいある	56	14.7%
3 ほとんどない	13	3.4%
4 ない	11	2.9%
無回答	27	7.1%
合計	382	100.0%

【「ある」具体例】

- ・PTAの方々との連携
- ・連携支援の会議などがある（他22件）
- ・カウンセラー（他3件）
- ・小学校や中学校との交流・連携（他11件）
- ・川崎市子ども会議
- ・キッズサポート
- ・子供の困り感によりそう為（他2件）
- ・虐待の疑いなど（他11件）
- ・総合教育センターとの就学に向けて相談支援（他3件）
- ・困難な家庭を区役所の担当が支援に行ってくれている（他1件）
- ・地域（他1件）
- ・支援教育コーディネーターを通して相談できる体制（他2件）
- ・寺子屋（他1件）
- ・児童相談所はすぐに連携をとれるようにしている（他54件）
- ・デイサービス等
- ・情報交換をしたり、関係機関と連携を図っている（他12件）
- ・自立支援
- ・総合教育センターに相談窓口をつなぐ場合がある
- ・状況の整理や支援の方針をこども家庭センターと協働して決めた。（他1件）
- ・子ども支援のため常に関係機関と連携して取り組んでいます（他55件）

- ・カフェ（校内呼称）としてお菓子やジュースなどを用意し生徒の居場所を確保している（毎週月曜）
- ・講師として、音楽の元教員や、地域の日本舞踊の先生を御願ひしている。ATLの派遣のしていただいている。（他1件）
- ・NPO法人のフリースペースたまりばと、集団支援活動や個別支援活動などで連携している。
- ・精神科、心療内科と連携して、摂食障害やメンタルな病気のケアをしている。（他2件）
- ・児童支援家庭センター。不登校児童の対応（他2件）
- ・地域保育園・幼稚園（他1件）
- ・発達障害がある生徒について（他2件）
- ・保健師との連携により、園内では把握できない情報を得る事で子どもの背景を知り、支援している。療育関係では園に見に来てもらう事でアドバイスをもらい、より良い支援につなげている。（他6件）
- ・子どもの心身の安全の為、児相やみまもりセンターと連携（他7件）
- ・民生委員が積極的にかかわってくださっている（他3件）
- ・わくわくプラザ
- ・地域療育センター。発達支援を要する子への対応を学んだり・相談する。（他29件）
- ・スクールソーシャルワーカーと連携して、支援を行なってもらっている。（他6件）

【「だいたいある」具体例】

- ・学校内では子どものことをよく見て、指導することが出来るが、学校外となると、地域の方々などの力も必要となる。普段からの電話でのやり取りなど、些細なことでも連絡し合うようにしている。
- ・私学修学支援センター
- ・日々の報告や定期れんらく会がある（他2件）
- ・療育センター、保健所、地域の老人施設など（他12件）
- ・児相、カウンセラー（他9件）
- ・父母会（一緒に子どもの成長を考える）、消防署（幼年消防クラブ）
- ・療育センター等（他6件）
- ・企業と連携いして、子どもたちの意見をとり入れ形にするときくみ

- ・区の「地域見守り隊」との連携。不登校気味になっていたが、見守り隊の方々子どもを自宅まで迎えに行ってください、登校に繋げてくださったり、家庭内の家事なども必要に応じて行なってくださる。また学校との連絡調整をしてくださるのがありがたいです。
- ・講習会など
- ・防犯教室、剣術鑑賞（ボランティアで無償）パルーン協室
- ・支援が必要な子どもには療育センターなどと連絡をとりあう（他5件）
- ・虐待があった場合に関係機関との連携を取っていただいたり、児童相談所とも関わりがあったりするため（他3件）
- ・家庭内の問題に関して児童相談所と連携。（他1件）

【「ほとんどない」理由】

- ・任意の利用なので継続的な支援が難しい（少ない）ため。
- ・連携の仕方が難しい。
- ・今のところそこまでの事例がない。（他4件）
- ・私学のため。

- ・閉鎖的な施設のため。
- ・ほとんどのケースがスクールカウンセラーとの対応で収まっているため。

【「ない」と回答した理由】

- ・そこまでの事例がない(知らない)。(他7件)
- ・あまり、活動が具体的に見えない。

Q20 あなたの職場では、子どもが自分の権利を学ぶ機会がありますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 ある	119	31.2%
2 だいたいある	124	32.5%
3 ほとんどない	113	29.6%
4 ない	25	6.5%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q21 あなたの職場では、あなたが子どもの権利を学ぶ機会がありますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 ある	185	48.4%
2 だいたいある	117	30.6%
3 ほとんどない	73	19.1%
4 ない	5	1.3%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

Q22 あなたの職場では、文化・国籍等の違い、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 思う	375	98.2%
2 思わない	5	1.3%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

Q23 あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できる子どもの権利を保障していく上で、課題として感じていることがありましたら、具体的に書いてください。

- ・既存事項としてやるべき事と一人ひとりへの配慮のバランスが難しい。
- ・あまりに大勢の子どもの中、障害のある粗暴行為の多い児童に気をつけなくてはならず、他児にとってもその児童みとって環境がよくないので何とかしていきたい。
- ・保護者の背景が様々で状況が日々変化していくが、公立の施設よして最大限利用してもらい、お子さんをあずかっている時間だけでも、子ども達が安心して安全に生活できる場でありたい。常に子どもの見方でありたい。
- ・不登校の子どもたちに対する支援に学校として限界を感じる。学校に来てくれれば様々な対応が可能になるが、学校に足が向かない状況の子どもたちへのアプローチが少ない。
- ・卒業後子どもに合わせた支援の体制がとれるのか不安に思っている
- ・精神科の病院には、いつも予約でいっぱい、かなり先にならないと予約ができない。特性がある生徒だから、予約しても行くことができないこともある。そうするとまた数ヶ月先の予約でそのうち予約もしなくなる。
- ・コロナのせいで以前より、子どもが自由に行動できる場面がへった。かかわりがうすくなってきた気がする(他3件)
- ・外国籍の子どもが受け入れられる中で、言葉の壁があることから、上手くコミュニケーションが取れないことがあるが、翻訳機を使う程度で対策がなされていない(他6件)
- ・教職員の中には、子どもの権利について意識が十分にない者がいる。
- ・高校の入試選抜においては、特に私学の推薦等において違いを認められない状況があり、中学校の指導もその対応が求められる状況がある。このことを課題と感じる。
- ・児童虐待などから子どもを守りたい ・施設に来ない子どもをどうサポートするか
- ・社会に参加する機会が少ない(他1件) ・子どもによる自治的な活動の機会が少ない。(他9件)
- ・子どもの権利を保障する中で「自分らしく」「個性」というのは、どこまでがゆるされ、どこからが、ルールやマナーとして指導していくのが難しい。現代のニーズに合せるのか、これまで通りなのか課題と感じています。(他2件)

- ・まだ自分たちから発信できない年齢なのでどれだけ大人が代弁したり、気持ちをくにとつてあげられるかが課題だと思う。（他 2 件）
- ・こどもの思いを聞く機会を担保することの難しさ（他 6 件）
- ・家庭との連携（他 12 件）
- ・大人が互いに尊重し合う社会になれば、子供も互いを尊重し合い、権利も意識しなくても保障される社会になると思う。（他 13 件）
- ・やるべきことやらなければならぬことに追われ、子どもにじっくり向き合えない（他 5 件）
- ・子ども自身が権利について学ぶ機会はない。（他 10 件）
- ・今までの教育による思い込みや当たり前を払拭すること。（他 1 件）
- ・まず、子ども自身に知識がない。だから友だちを意識せず生活したり傷つけてしまったりする。また、大人も意識が低い。職員同士も相手を思いやって発言したり、行動したりが少ないと感じる研修等もやってみるが、人間性に基づいているのが人権感覚なので改善できるかは難しいと感じる（他 12 件）
- ・権利の保障を職員が振り返る機会が少ない。いまだに子どもを呼びすてにしたり威圧でせかしたり、行動を強制する職員がいる。呼びすて以外はある程度必要な場合も認めるが、常に“もっと上手い誘導や声かけの仕方”を工夫する振り返りを促すシステムが必要（他 1 件）
- ・体格が大きくなったり力が強くなる生徒を守りきれないと感じる場面がある
- ・権利があることを知りながら実際に動くことが難しいように思える。
- ・障がい児（配慮が必要な子）への支援に関しては、机の上での知識はあるが、具体的な支援方法が分からず意図せず無理をさせてしまっていることがあるように思う。
- ・学校現場だけでなく、地域社会（保護者や成人）に「子ども権利」のことを浸透できる場所づくりを行なえるとよいかと思えます（他 2 件）
- ・もうすこし地域との関わりが良いなと感じています。（他 2 件）
- ・多目的トイレがない
- ・全て経済力が大切だと考えます。（他 16 件）
- ・機会や環境の充実（他 6 件）
- ・家庭が協力的でなかったり、環境が整っていない家庭があること。（他 28 件）
- ・日々の忙しさの中で、なかなか意識して取り組めてはいないと思う。子ども達には、何となく伝えている感じではあるが、改めて取り組む機会はなかなか持てていない。（他 2 件）
- ・人権の意識を職員が共通理解していく必要がある。人権週間の取りくみの充実（他 23 件）
- ・LGBTQの生徒への対応が追いついていないと感じる。
- ・集団保育であることで簡単に無視されたり、なんとかそれを知ろう認めようとするためにできることはないかという創意工夫は、ほとんど見られない（他 1 件）
- ・他の子に暴力的な子にどうやって平和に生きていくかを伝えて行動に移す所。ありのままの前提として平和がはげればいけないというところ
- ・保障してあげたくてもできない人員配置（他 24 件）

Ⅲ 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q24 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

	件数	%
1 好き	114	29.8%
2 だいたい好き	209	54.7%
3 あまり好きではない	51	13.4%
4 好きではない	8	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%

Q25 あなたは、周りの人から大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 感じる	132	34.6%
2 だいたい感じる	214	56.0%
3 あまり感じない	33	8.6%
4 感じない	2	0.5%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。

	件数	%
1 楽しい	96	25.1%
2 だいたい楽しい	230	60.2%
3 あまり楽しくない	51	13.4%
4 楽しくない	4	1.0%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q27 あなたは、仕事上の悩みがありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある	135	35.3%
2 ときどきある	198	51.8%
3 あまりない	41	10.7%
4 ない	7	1.8%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q28 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。（○は1つ）

	件数	%
1 いる	355	92.9%
2 いない	27	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%

Q29 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	322	84.3%
2 したいけどできない	25	6.5%
3 したいと思わない	34	8.9%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

【「したくてもできない」理由】

- ・時間がなく相手もおもいあたらない。（他2件）
- ・心を許せるほど話ができる人がいない。（他1件）
- ・その人が遠方において、家庭が複雑で、相談したい時にタイミングよく連絡できないから。
- ・誰が誰とつながっているか…心からのゆだねができない。（他1件）
- ・相手の事情なども考え、相談するタイミングがとりにくい。（他2件）
- ・自分でまだ解決できる問題であるため。
- ・悩み困り事が複合すぎて、どこから話して良いか戸惑う。
- ・人に相談できる内容の悩みではない。
- ・弱音を吐いたらどんどんダメになっていく気がするから。

【「したいと思わない」理由】

- ・相談したい程、困ったり悩んだりしていない。（他2件）
- ・自分しか自分の事は守れないから。
- ・自分のことは自分で決める。人にたよらない。（他7件）
- ・どうせ解決しない。（他4件）
- ・悩みの原因は自分の中にある、とわかっているので、話そうと思わない。
- ・あまり自分の困りごとや悩みごとを周りの人に話したくなることはないが、友人と遊んだり、自分の時間を作ることで解消できていると思う。
- ・現実には人に相談するのは簡単ではないから。個人のことでなければ人に相談したいと思う。（他1件）
- ・人に相談をすることが苦手であるから。自分の生育環境に起因していると思う。
- ・心配や迷惑をかけたくないから。相手のもっている自分のイメージを壊したくないから。
- ・友だち以外には言いたくないから。
- ・知り合いが少ない。
- ・時と場合により家族に相談する事もある。

Q30 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 職場の同僚	253	66.2%
2 職場の先輩	178	46.6%
3 職場の上司・管理職	174	45.5%
4 自分の親、義理の親	146	38.2%
5 自分の子ども	72	18.8%
6 親戚	16	4.2%
7 兄弟姉妹	72	18.8%
8 夫・妻、パートナー	229	59.9%
9 友だち	223	58.4%
10 近所の人	9	2.4%
11 保健師	4	1.0%
12 医師	30	7.9%
13 民生委員・主任児童委員	3	0.8%
14 子どもの担任の先生	18	4.7%
15 子どものクラブ・部活動の先生	1	0.3%
16 校長先生、教頭先生	24	6.3%
17 ゆうゆう広場・相談学級の先生	2	0.5%
18 スクールカウンセラー	8	2.1%
19 心理カウンセラー	13	3.4%
20 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS上の友だち	3	0.8%
21 その他	10	2.6%

（無回答=5、N値=382）

【その他】

- ・長年勤めた施設の長や同僚、保護者や現在の役職の研修などでつながった同業者など。（他1件）
- ・ボランティア活動の先輩
- ・同じ障害の仲間、障害者協会など
- ・弁護士
- ・医療や該当する機関
- ・メンター的な人
- ・仕事や家庭、その悩みによって相談する相手はちがいます。
- ・しない

Q31 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	207	54.2%
2 したいけどできない	27	7.1%
3 したいと思わない	146	38.2%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

【「したいけどできない」理由】

- ・特別相談所みたいなどころには相談しようとは、思わない。
- ・自分が相談した経験がないから初めてする時は少し戸惑うと思う
- ・そこまでじゃないかなと思う。なんか悪い気がする。怖い
- ・どこにすればわからない（他1件）
- ・悩み、困り事が複合すぎてどこから話して良いか戸惑う。
- ・説明が面倒
- ・時間に余裕がない。（他8件）
- ・Q30で解答した相談相手でほしい解決する
- ・他人ではなく家族に相談すると思うから
- ・自分で決める
- ・相談したという事実を知られたくないこともある（他3件）
- ・人と話すのが怖い、できない・わからないことで失望されたくない（他5件）

【「したいと思わない」理由】

- ・した時に何も解決につながらなかったから
- ・するのむづかしい
- ・「どこか」より「誰か」が重要だから
- ・個人的な事の為機関は利用しようと思っていない
- ・相談することが苦手なため（他1件）
- ・どこで漏れるか、わからないから（他2件）
- ・どこかに相談するのは、よっぽどのことだと思っているため（他3件）
- ・理解はなかなかしてもらえないと思う。（他1件）
- ・自分で解決できる（他1件）
- ・根本的な解決にはならないと感じるので。（他5件）
- ・そこまで悩んでないから（他7件）
- ・自分や周囲のことを知らない相手に心を許す気になれない（他6件）
- ・まだ身近な人に相談するところでおさまっているから（他25件）
- ・今、相談できる環境にいるから。（他45件）
- ・ほとんど解決できているので。（他3件）

Q32 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

- ・安心して相談できる場所（他 13 件）
- ・秘密を守ってくれる場所。（他 46 件）
- ・信頼感があり、アドバイスをもらえそうならば、相談したい。また自分と似たような環境の人には相談しやすい。（他 20 件）
- ・匿名でどんな場所でもいつでも気軽に相談できる場所（他 2 件）
- ・一対一で話せる場所
- ・悩みをよく理解し、解決に導いてくれそうな場所や人。（他 6 件）
- ・相談をありのままに受けとめてくれる所（他 10 件）
- ・気軽さがある場所（他 23 件）
- ・相談者の心情に寄りそい、しっかりと話を聞いてくれる場所（他 3 件）
- ・自分を否定しないでいてくれる場所話をきいて、理解してくれる場所（他 3 件）
- ・時間にゆとりを持ってできる所がよい。（他 2 件）
- ・時間的に相談しやすい、相手・場所（他 8 件）
- ・話しをじっくり聞いてくれる場所。上から目線で話さない場所
- ・同世代が集まる場
- ・悩みに適切なアドバイスをくれそうな場所。（他 14 件）
- ・具体的な解決策を提示してくれる場所。（他 16 件）
- ・公平公正な判断が望める機関（他 1 件）
- ・実際に、解決のために動いてくれる場所。（他 1 件）
- ・普段から関りのある人（他 28 件）
- ・ネットツールで気軽に送ることができるものなど、直接話さなくても大丈夫な環境。（他 1 件）
- ・勤務終了後で夜の時間帯でも話を聞いてくれる場所。
- ・家族（他 12 名）
- ・相談をメインにしているのではなく、何かのついでに話を聞いてもらうということをしてほしい
- ・新身になってまじめに相談にのってくれる場所（他 13 件）
- ・仲のいい友だち（他 6 名）
- ・同じ職種の人達の相談できる場（他 4 件）
- ・専門的な信頼度が高い場所（他 24 件）
- ・その悩みにあった相談所 ・完全中立の立場を貫いてくれる、第三者機関に相談したいです。
- ・同性の方がじっくり話を聞いてくれる場（電話）
- ・自分を知らない人に相談しようと思わない。
- ・外部の方に相談しようとは思わない。
- ・無料で、よく知られている部署（他 1 件）
- ・メンタル的に悩んでいるものはいろんな人に聞いてもらうのも一つの手だと思います。
- ・電話をしてみて、話し易いと感じる場所（他 1 件）

Q33 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

- ・子どもの権利を、大人も子どもも理解すること。（他 15 件）
- ・教育（他 3 件）
- ・「権利」と「わがまま」の違いをしっかりと教える
- ・学校教育と入試制度の改革が必要だと思います。
- ・金銭的不安がないようにしたい（他 12 件）
- ・安心して生活できる家族、家庭があること（他 17 件）
- ・子どもの安心というところで、親の働き方も含め、家族での時間を増やすべだと思う
- ・家庭が幹となり学校や地域みんなで育てていくこと（他 2 件）
- ・保護者の家庭教育力向上（他 2 件）
- ・親が自分の手元とはなれ、社会の中で生きる子の責任を果たすこと。学校で起きたことは学校の責任ではなく、我が子に起きたことを自分事とすること（他 1 件）
- ・保護者に対して、支援してくれる場所を増やす。学校だけでは支えられなくなってきています。（他 4 件）
- ・家庭で愛情を受けて育つことが大切だと思います（他 2 件）
- ・子どもの発想を大切にすること、子ども自信が愛されていると感ずること（他 9 件）
- ・信頼できる大人との出会い・自分が大切な存在だと日々あたり前に感じられる環境・衣食住があたり前に守られる生活・たくさんの愛情（他 14 件）
- ・虐待の連鎖をなくす方法を考え、改善していく。

- ・居場所があること（他 11 件）
- ・一人ひとりが自分にことを大切に思える環境（他 6 名）
- ・いつでも相談できる場につながれることが大切（他 8 件）
- ・未来は明るいという保障
- ・学校、家庭、地域との連携がしっかりしていて安全で安心な生活が子ども目線で感じられるようにすること（他 16 名）
- ・認められているありのままを受け入れてもらえる安心感をもたせること（他 8 件）
- ・子供が安心して子供の暮らしができるよう大人が整備すべき（他 2 件）
- ・人と人のかかわり合いが少なくなっている。子どもどうし、親、職員、地域など、かかわり合いが大切だと思う（他 16 件）
- ・まわりの大人、友達にありのまままでよいと認められること（他 14 件）
- ・思いやりの気持ち。
- ・全ての大人、社会が一人一人の子どもの存在価値を認めること。（他 18 名）
- ・尊重される社会。自分、他者が尊重される社会。（他 15 件）
- ・どんな子に対しても“やりたいこと”を形になるような体制が必要だと考えます。居場所や話ができる場所が限られているためか、SNS 等の自由に発言できる場に流れていくのかな、と感じています。“よい、わるい”で判断されるのではなく、自由に思いや考え、様々なことを発せられる場を提供したいです（他 2 件）
- ・大人が子どもに対して場所を提供する事も大事だが、子ども自身も積極的に取り組む事が大事だと思う。（他 1 件）
- ・決定権を持って行動できる環境（他 1 件） ・個性が受け入れられる環境（他 7 件）
- ・自分に自信をもつことがまず大事。おそれず、チャレンジできる環境が大切だと思う。（他 1 件）
- ・子どもが、安心して発言できる環境、発信したことが実現する成功体験（他 9 件）
- ・ありのままを認めてくれる環境（大人からの声掛け）、参加できる環境、参加して認められる経験が大切だと思います。経験を積むことで主体性が芽生えるのではと思います。大人には、観察眼、洞察力が求められます。（他 3 件）
- ・教職員のコミュニケーション、子どもが活躍する場を多く提供する（他 3 件）
- ・子どもがやりたいことややってみたいことに挑戦させてあげる。（他 13 件）
- ・親（保護者）だけでなく周りの大人がなるべく多く関わってあげて様々な経験や体験のできるような環境整備が必要だと思っています。また社会活動などに参加できる機会やチャンスがもう少しあるとよいと思います。（他 2 件）
- ・子どもだけでなく子どもと関わる大人、親に対してもあたたかい目で見守り支援してもらえる、環境を作っていくことが大切だと思う。（他 14 件）
- ・教職員増やす、保育園の環境をよくする。（他 3 件）
- ・地域共生社会の実現が大切だと思う（他 17 件）
- ・学校だけでなく家庭や地域など社会全体で啓発、雰囲気づくりをしていくことが大切（他 8 件）
- ・まずは大人たちが幸せでないといけないとは思いますが、働くことは大変で、自分の幸せが疎かになってしまう。だから、頑張りすぎずほどほどに、大人たち自身も安心して自分らしく生き、社会に参加しながら成長していければいいと思う（他 2 件）
- ・子どもの思いを大切に作る大人の姿勢、かかわり（他 1 件）
- ・子どもだからと思わず、人として大人が対等に関わること
- ・子どものありのままの姿を受け入れ、応援し、子どもの育ちを支えることが大切だと思います。（他 12 件）
- ・子どもが自ら回りの大人に愛されていると自覚する事が大切だと思います。また家族が子ども自身の応援団である事も大切だと思います。
- ・障害の有無や育ってきた環境関係なく、子どもたちが生活できる環境づくりを大人がしてあげる。（他 6 件）
- ・誰かや何かにおびやかされなくて「普通」に暮らしていくことは難しいですが、子ども達が希望を持つためには、今の大人達、社会が魅力的でなければ不可能だと思います。現状ではしばらく難しいかと。（他 5 名）
- ・子どもの権利を、大人も子どもも理解すること（他 4 件）
- ・その子の親が幸せであること。そのために子育てしやすい、社会作りが大切だと思います（他 5 件）
- ・大人の世界で人権がきちんと保障されていて、経済的、精神的な余裕を周囲の大人が持っていること（他 16 件）
- ・子どもの気持ちになって考える事と、大人だからこそできる事を常に二本の柱で両方の側面から意識していく事が大切だと思います。
- ・大人も余裕を持たなくてはならないが、地域、国家を挙げて根本的なところの見直しが必要。
- ・子どもが安心して、自分らしく生きていく為には、関わりを持つ周りの大人も安心して自分らしく生きていく事が大切だと思っています。大人自身も自分を大切に身体も心も健康でなければ、子どもの人権を守っていく事は出来ないと思います。（他 3 件）
- ・子どものありのままを大切にうけいれることだと思う。親やまわりの大人が社会に参加することも大切だと思う。
- ・便利で速いことばかり求めず、失敗と一緒に楽しめること ・とにかく死なせないこと
- ・ろうの尊重、ろうの理解促進←（ろう文化も含む）・日本手話を広める（日本語対応手話ではなく）
- ・子どもの権利条例に書かれている内容。 ・成績をなくす。
- ・いそがせない五感を大切にする生活リズム

Q34 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活（家・学校・職場・地域など）の中で、悩んだり難しかった

たこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

【悩んだり難しかったこと】

- ・子どもの遊びの保障(密になってしまう為)子どもの権利と感染対策のかねあい (他 6 件)
- ・マスクの着用や手指消毒の徹底。遊具貸出しの制限などすい分こどもたちがまんをさせている (他 3 件)
- ・庭での遊び時間をクラスごとにくれたことで十分な時間をとることができない (他 3 件)
- ・由に遊びたい。子ども達に対して「離れて遊んで」「マスクは鼻までして」等注意が増えてしまったこと (他 4 件)
- ・オンラインはできたが、結局対面授業でないと学べないことが多く、限界を感じた。自宅で学習できるなら学校はいらなくなるが、リアルな人との関わりをもたずに育った子どもが、どんな大人になるか想像すると怖い (他 4 件)
- ・陽性が出てしまった子への家庭内学習
- ・出席停止にするか微妙な状況の時 (他 1 件)
- ・親の仕事(休暇)接触者で休むことや職員も有休で休んだこと (他 1 件)
- ・感染拡大した時期のマスク着用・物品の消毒への頻度 (他 3 件)
- ・(感染した人が悪いわけではない)誰が感染しているのか、誰が感染源の可能性が高いのかなどが表だって話題にならないよう、感染者が身近で出る前に、ウィルスや感染症への考え方を指導した (他 5 件)
- ・普だん通りの行事ができないこと (他 17 件)
- ・給食を早く食べ終わった児童への対応
- ・通常の実験学習が制限されたり、子ども同士の関係性が希薄になったこと (他 20 件)
- ・部活動のありかたや、大会に参加できなかったことで悩んだ (他 1 件)
- ・子どもの遊びの保障(密になってしまう為)子どもの権利と感染対策のかねあい
- ・コロナいじめや、疑いをもたれないように配慮すること
- ・密を防ぐために残業が増えている。
- ・一人一人の価値観が違う中で、全体指導をどこまで統一すべきか、という点。
- ・自宅から待ってきたゲーム機 1 台で複数人が一緒に遊んでいるため、3密になり注意してもやめられない子供が多くなる (他 1 件)
- ・指導方法 (他 1 件)
- ・静かにならないこと。
- ・給食中の指導 (他 7 件)
- ・食育
- ・マスクでの会話しかなく、共食ができず食事の楽しさを伝えられないこと
- ・おしゃべりしたいのに、おしゃべりさせないこと
- ・表情が見えない・グループ活動できず、学級経営に影響が出る・給食の黙食 ・臨時休校
- ・オンライン学習、長期欠席の子がいる場合の学級経営
- ・子ども同士の距離をとらせるのが難しい (他 14 件)
- ・落ち着いて電話が出来るスペースが無い。
- ・子どもの行動履歴を把握することが、とても難しらしく、どこまで詳しく報告するかが分からなかった。
- ・自分の感染による事業運営への不安。在宅勤務が成立しない
- ・人員が増えたとおもったら、まだコロナ禍なのに減らされた。現場だけでなんとかしろ、という事自体無理。
- ・日々の消毒作業等に仕事量の増加 (他 3 件)
- ・保護者と十分に話せない (他 3 件)
- ・エビデンスがはっきりしないことが多くやらなければならないことが増え本来の仕事以上のことに気をまわさなければいけないことに悩んだ (他 2 件)
- ・人手が少ない現場での、教具や室内の日々の消毒 (他 1 件)
- ・クラス別保育となり、担任の負担感が増えたように感じた
- ・食事場面で飛沫防止のため、個食になった (他 4 件)
- ・これから先もいつまで続けていくのか
- ・対策・職員間での周知・保護者対応・休園の際の消毒方法
- ・ソーシャルディスタンスを保つ事がとても難しかった。何度も何度も声かけが必要だった。マスクをきちんとつける事が出来ない児童も多かった (他 1 件)
- ・マスクを着けての保育で子どもに影響がないか気になりながらすごしていましたが、子ども達は自然に受け入れてマスクをしていても保育士の区別は出来ていたし子どもは順応性があると感じました
- ・多数の子ども達の遊び方。保護者からの感染、濃厚接触の連絡が遅かったり、なかった事。聞きとりの仕方。
- ・上からの指示→こどものへの指導→きかない生徒→地域からの苦言→上からの指示→きかない生徒…くり返し出停扱い又は欠席扱いなどの判断 (他 1 件)
- ・長期間休まなければならないことを周りに伝えられないこと。登校することができない状況が続き、課題や授業に遅れが出てしまうこと (他 1 件)
- ・濃厚接触者の定義・感染者が出た時の対応
- ・外出自粛と、支援の両立・職員側の安全の保障とのバランス (他 2 件)
- ・コロナに対する感じ方が人それぞれで、価値観が多様な中で学校運営を行うことが非常に困難だった (他 1 件)
- ・面接の中断・対象児童の安全確認など
- ・保育園でどこまで感染対策をやるべきか? (他 2 件)
- ・感染防止するにはどうしたらよいか、感染防止しながら子どもと接するという事 (他 5 件)
- ・外からの目線やいろいろ考えると難しいことではあったけれど、おんぶしたり、ハグしたりひざにすわったり、必要なコミュニケーションをとりにくく感じたこと (他 1 件)
- ・マスクをしても生活で、乳児に保育者の表情が伝わっているのか考え、フェイスシールドを利用した事もあった。
- ・身体的問題でマスクをつけるのが難しい子どもと基礎疾患があり、ワクチン接種ができずコロナに不安感を持つ人が同じ場で過ごす時の場作り。
- ・集団生活の為、外出にかなりの制限をかけなくてはならず、子ども達のストレスが溜まりまくっていたこと (他 2 件)
- ・相談を受ける際に、子どもの所属先(学校圏)の状況がわからないこと。
- ・子供に沢山我慢させた事
- ・マスク熱中症どちらの対策が優先か。
- ・たくさん話した時の対応
- ・個々人の時代になってしまったので交流やグループ活動自体ができず授業がつまらなくなってしまったと思う。
- ・あれもだめ、これもだめ、まだだめ…いつまでダメだと言いつづければいいのか。
- ・コロナにかからないように健康管理すること。
- ・一緒に食事が取れなかった
- ・スキンシップを取る際、ちゅうちょを感じる事
- ・児童がうつに似た状態になってしまったこと
- ・長欠傾向の子どもがコロナ不安と言って学校を休んでしまっていること
- ・いろいろな学校から、施設に入ってくるので、コロナ感染症の状況が学校によってわかりにくい

- ・居場所提供利用の生徒がいる反面、自主通学や ADL 等の能力が高いという理由で学校とのつながりがなくなってしまった子供たちの訴え
- ・結局、多くの卒業生が進学している。何となく安心できる学校を選ぶ生徒が増え、その中でも指定校推薦を希望する生徒が増え、自分が学びたいことが学べるかという視点が疎かになり、ミスマッチのリスクが増大したこと
- ・対応方法がとにかく難しいと思う。未知のものへの対策、またその時々によって情報も変わっていきるので、そのときにあった情報を拾い上げ対応していくのは難しい
- ・子どもにとって大切だと思う活動も、コロナ禍で実施できず、大切な経験の場を奪っているのではないかと感じている（他 9 件）
- ・なかなか信頼関係ができない
- ・当たり前遊びが奪われたこと（他 1 件）
- ・友だちや人との関りが“密”ということで難しく、それをどのように関わりを持つのかまた、関わりを大切だと、どのように伝えていくか（他 14 件）
- ・子どもとのコミュニケーションをどのようにしていくか（他 2 件）
- ・子ども同士のかかわりを離さねばならなかったこと（他 11 件）
- ・マスクによるコミュニケーション阻害→日本手話、日本語力が育ちにくい・コミュニケーションや人と関るのに必要な社会性が育ちにくい
- ・マスクで人の表情が分かりにくいゆえに、表情から感情を読みとる力が弱くなり起きて対人トラブル（他 4 件）
- ・シフトで人がかわる中、連絡の情報共有と守秘。（他 1 件）
- ・密を避け、マスクをした状況でのコミュニケーションのとり方
- ・子どもの成長において・させたい経験を制限せざるを得なかったとき、何が大切か、を精査するのが難しかった（他 3 件）
- ・子どもたちが、社会の状況に対応しきれず不安定になってしまった
- ・幼児期の言語を習得する発達段階で子どもが大人の口の動きが見られないこと。表情が読めないこと（他 3 件）
- ・保護者に現場を見てもらえないので、理解が難しい・交流の機会が持てない（他 2 件）
- ・感染対策に気を使った。また、家庭により感染症への意識の差が大きくあり、休園や自粛に対しての理解を得ることが難しかった。（他 10 件）
- ・場面に応じてマスクを外させること。（体育のときなど）（他 2 件）
- ・マスクをはずせない子どもが増えてきていること（他 3 件）
- ・マスクによる弊害
- ・マスクをつけられない子ども達同士の関わりをどうするか（他 4 件）
- ・マスクしない子への声かけ→何度も声かけしてお互いストレスになった。（他 19 件）
- ・マスクでの会話しかなく、共食ができず食事の楽しさを伝えられないこと
- ・マスクを着用することによってお互いに表情が読み取り辛い（他 19 件）
- ・ソーシャルディスタンスを保つことが非常に難しい。
- ・子どものマスクはすぐにズレてしまうので、困る

【工夫したこと】

- ・遊び方を工夫した（他 14 件）
- ・チャット機能を使い質問しやすい工夫をした（他 3 件）
- ・オンラインでの交流の場を作った（他 10 件）
- ・G I G A 端末の導入で授業が進化した（他 7 件）
- ・e スポーツの開催（施設関係）
- ・不登校の生徒とのつながりにオンラインを活用した。
- ・パーティーを購入し、みんなで食べる環境を整えようとした（他 4 件）
- ・部屋の入れ替えや、戸外での交流など紙面で報告。（他 4 件）
- ・保健室以外で、発熱した子をあずかる。（学校関係）
- ・面接時の対応や、面接後の部屋の対応などをマニュアル化したこと
- ・最低限の基本的な感染対策をひたむきに実施（他 62 件）
- ・行事の内容の見直し（他 10 件）
- ・学校が楽しいと思えることを企画した。
- ・クラスごとに行動（他 5 件）
- ・こまめな声かけをする（他 4 件）
- ・子どもたちと話し合いながら、できることを見つけていったこと（他 30 件）
- ・めやすばこアンケート
- ・連絡帳などで工夫して伝えた
- ・食事の工夫（施設関係）
- ・目元や表情に注目すること（他 10 件）
- ・気持ちをきく（他 2 件）
- ・教師側から積極的にコミュニケーションをとる。
- ・保護者や児童とこまめな連絡（学校関係）
- ・気分てんかんを可能な限り作り、ストレス解消に努める
- ・対面の抱っこを避ける。顔への接触を最低限にする。
- ・特に意識せず、普通に過ごす（施設関係）
- ・遊具をへらしたり、布類の使用をしない等おこなったが充分にあそべない状況がある。
- ・他者の意見がわかるように見える化して経験できない分知るきっかけづくりにつとめている。
- ・見えないウィルスとの共存にむけながら感染対策を適宜見直したことで何とか業務運営を行うことができた。
- ・仲間と協力、仕事の分担。
- ・運動時は自らマスクをはずしたり、声かけをしている。
- ・全員で外すタイミングを作ること。
- ・他人事ではなく当事者意識をもつこと
- ・メリット・デメリットについて考えさせ、共感的に行動できるようにした。
- ・透明マスクの着用。視覚言語であるろう者の私にとっては、正直言ってマスクは迷惑です（泣）。マスク着用を進める国の方針には大変失望しました。早く終わらせて欲しいです。（他 2 件）
- ・積極的にかかわる。
- ・管理職と相談しながら行った。（他 4 件）
- ・励まし続け、できる範囲のことを一生懸命取り組ませるための十分な準備
- ・コロナ感染があった場合、すぐに状況報告書をまとめるための書式（校内用）を用意した。
- ・できる範囲で行事や部活を行い、子どもの満足感を向上させたこと（他 3 件）
- ・子どもがコロナに感染したことが学校から子どもに伝わるようなにしていた。
- ・すぐにまとめる、溜めない。
- ・48 時間は他児との関わりをできるだけ避ける。
- ・同じようにできるように方法を考えた（他 1 件）
- ・コロナ対策を工夫とよべるか…？
- ・給食中に楽しい音楽を流す。・友だちとの関わり価値づけを意識した。
- ・選択肢を増やし、各自が判断して納得して取り組めるようにした。
- ・笑顔で過ごす。

- ・趣味を見つけたり、共通の趣味をもっている友達と関わったりした。家族での団らんを増やした。
- ・勿論どちらの意見も否定はせず、あくまで園の方針として保護者に伝えていくことを優先した。その際、社会の様子に合わせて園全体でどうすべきなのか考える時間を作った。
- ・保護者の方に相談し、支援内容によって透明マスクを使用した。
- ・一人一人に合った支援・子どもたちがまんしてもらったら、「ありがとう」を伝える。
- ・できる範囲での活動を試みたが、なかなか難しいものがあった。
- ・視聴覚機器を利用しできることを考えた。
- ・子どもの育ちにとって不可欠でも、コロナだから・・・と諦めていた部分を、ここ最近では、やっぱり大切だよ、こうなら出来るんじゃないかな、と見直し始めている（他8件）
- ・動画視聴の時間など、話さなければマスクを外してもよいことにした。

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

F-1 あなたの所属を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
ア 学校関係	199	52.1%
イ 施設関係	182	47.6%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

F-2 あなた令和4（2022）年4月1日での勤続年数を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
ア 1年未満	18	4.7%
イ 1年以上5年未満	65	17.0%
ウ 5年以上10年未満	67	17.5%
エ 10年以上20年未満	95	24.9%
オ 20年以上30年未満	70	18.3%
カ 30年以上	67	17.5%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%

Ⅱ 調査票

1 調査票（子ども）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

子ども（11～17歳）用

～ アンケート協力のお願い ～

- お送りしたあて名のご本人がお答えください。
 - 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
 - 答えられる範囲でかまいません。
 - 鉛筆かボールペンで書いてください。
 - 答え終わりましたら、いっしょにお送りした返信用封筒に入れて、送り返してください。（返信用封筒には、切手をはる必要はありません。）
 - **令和4（2022）年7月1日までにポストに入れてください。**
- ※ このアンケートは、川崎市にお住まいの方の中から、コンピュータで3,000人を選んでお送りしています。
- ※ あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。

《 このアンケートをごらんになった保護者の方へ 》

無記名のアンケートであり、個人が特定されることはありません。お子様やご家族にご迷惑がかかることのないよう、十分配慮いたします。お子様が思っていることや考えていることを自由に書くようお願いください。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

https://sc.city.kawasaki.jp/multiform/multiform.php?form_id=7206

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えた

ときは、この調査票は捨ててください。



アクセスはこちらから！



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問い合わせ先】

川崎市子ども未来局 青少年支援室 子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12(2000)年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きます。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている 2 聞いたことはあるが内容はよくわからない 3 知らない
 →1または2を回答した人は、Q2へお進みください →3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
 (あてはまるものすべてに〇)

- 1 学校の先生の話 2 施設の職員の話 3 親や友だちの話
 4 学校で配布されたパンフレット 5 川崎市ホームページ 6 ポスター
 7 ちらし 8 新聞、テレビなど
 9 その他〔具体的に： _____ 〕

Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 かわさき子どもの権利の日 2 川崎市子ども会議
 3 川崎市人権オンブズパーソン 4 川崎市子どもの権利委員会
 5 子どもの権利に関する行動計画 6 一つも知らない

Q4 川崎市子どもの権利条例には、次のような7つの子どもの権利が示されています。

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分である権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるよう励まされ、力づけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けられる

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思ふものはありますか。
あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思ふ順にその番号と理由を書いてください。

番号	大切だと思ふ理由

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思ふものはありますか。
あれば最大3つまで選び、守られていないと思ふ順にその番号と理由を書いてください。

番号	守られていないと思ふ理由

Ⅱ 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。(〇は1つ)

1 いる 2 いない

Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思ふこと、悩んでいることは何ですか。

(あてはまるものすべてに〇)

1 学校の勉強・宿題	2 学校の規則	3 クラブ活動・部活動	4 児童会・生徒会活動
5 塾の勉強・宿題	6 おけいこ・習いごと	7 住んでいる地域のスポーツ活動	
8 親・保護者との関係	9 兄弟姉妹との関係	10 祖父母との関係	
11 先生との関係	12 友だちや先輩との関係	13 アルバイト・仕事先の人間関係	
14 彼氏・彼女との関係	15 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の人間関係		
16 受験・進路	17 性のこと	18 自分の身体のこと	19 家のお金のこと
20 家事（家の手伝いや家族の世話）	21 新型コロナウイルス感染症のこと		
22 その他〔具体的に：			
23 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない			

Q7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができていますか。

(〇は1つ)

1 できている 2 だいたいできている →1または2を回答した人はQ9へお進みください
3 ほとんどできていない 4 できていない →3または4を回答した人はQ8へお進みください

Q8 Q7において、「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 おとなが話を聞いてくれないから | 2 どのように話してよいかわからないから |
| 3 おとなと話をする時間がないから | 4 話したいと思うことがないから |
| 5 その他〔具体的に： _____ 〕 | |

Q9 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。（〇は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|---------------------------|
| 1 聞いている | 2 だいたい聞いている | →1または2を回答した人は、Q10へお進みください |
| 3 ほとんど聞いていない | 4 聞いていない | →3または4を回答した人は、Q12へお進みください |

Q10 Q9において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。（〇は1つ）

- | | | |
|----------------|---------------|---------------------------|
| 1 実現されている | 2 だいたい実現されている | →1または2を回答した人は、Q11へお進みください |
| 3 ほとんど実現されていない | 4 実現されていない | →3または4を回答した人は、Q12へお進みください |

Q11 Q10において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることは何ですか。

具体的に： _____

Q12 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にありますか。

（〇は1つ）

- | | | | |
|------|----------|----------|------|
| 1 ある | 2 だいたいある | 3 ほとんどない | 4 ない |
|------|----------|----------|------|

Q13 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | | | |
|-----------------------------|----------------------|--------------------|---------|
| 1 自分の部屋 | 2 リビング・居間 | 3 お風呂 | 4 トイレ |
| 5 祖父母の家 | 6 友だちの家 | 7 教室 | 8 学校図書館 |
| 9 クラブ、部活動の場所 | 10 学習塾 | 11 習いごとの教室・スポーツクラブ | |
| 12 地域の図書館・市民館 | 13 子ども夢パーク | 14 公園 | |
| 15 こども文化センター・わくわくプラザ | 16 アルバイト先・仕事場 | | |
| 17 遊戯施設（カラオケボックスやゲームセンターなど） | 18 その他〔具体的に： _____ 〕 | 19 特にない | |

Q14 あなたは、おとな（親、先生など）からたたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたり、無視されたりすることがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

Q15 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（〇は1つ）

- | | | | |
|--------|----------|--------------|----------|
| 1 そう思う | 2 ときどき思う | 3 ほとんどそう思わない | 4 そう思わない |
|--------|----------|--------------|----------|

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

- 1 したいと思う 2 したいけどできない（理由： ）
 3 したいと思わない（理由： ） → 3を答えた人は、Q18へお進みください

Q17 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 親 2 友だちの親 3 兄弟姉妹 4 祖父母 5 友だち 6 先輩
 7 今の学校の先生 8 今の学校の保健室の先生 9 今の学校のクラブ・部活動の先生
 10 卒業した学校の先生 11 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ
 12 ゆうゆう広場・相談指導学級・通級指導教室の先生
 13 スクールカウンセラー 14 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の友だち
 15 その他（具体的に： ） 16 相談する人がいない

Q18 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。

（知っているものすべてに○）

- 1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター） 2 児童相談所 3 児童・青少年電話相談
 4 児童虐待防止センター 5 民生委員・主任児童委員 6 スクールカウンセラー
 7 総合教育センター 8 24時間子供SOS電話相談 9 教育委員会の教育相談室
 10 電話相談ホットライン（体罰など） 11 インターネット問題相談窓口
 12 やまびこ相談 13 かわさき若者サポートステーション 14 人権オンブズパーソン
 15 川崎いのちの電話 16 かわさきチャイルドライン 17 子どもの人権110番
 18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談 19 知っているものはない

Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。

- 1 したいと思う 2 したいけどできない（理由： ）
 3 したいと思わない（理由： ） → 3を答えた人は、Q21へお進みください

Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談しますか。（あてはまる数字をすべて書いてください。）

Q21 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

Ⅳ 『学校・地域のこと』についてお聞きします。

※これまでの学校生活や地域での過ごし方について教えてください。

Q22 あなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか。（○は1つ）

- 1 参加している 2 だいたい参加している 3 ほとんど参加していない 4 参加していない

Q23 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|---------------------------|
| 1 聞いている | 2 だいたい聞いている | →1または2を回答した人は、Q24へお進みください |
| 3 ほとんど聞いていない | 4 聞いていない | →3または4を回答した人は、Q26へお進みください |

Q24 Q23において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。先生が聞いた子どもの意見は実現されていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------------------|
| 1 実現されている | 2 だいたい実現されている | →1または2を回答した人は、Q25へお進みください |
| 3 ほとんど実現されていない | 4 実現されていない | →3または4を回答した人は、Q26へお進みください |

Q25 Q24において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることは何ですか。

具体的に：

Q26 学校にはあなたの話をよく聞ってくれる先生や職員（給食の調理員や事務の人も含む）がいますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

Q27 あなたは、学校に何でも話せる友だち（先輩や後輩も含む）がいますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

Q28 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心してすごせますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------|------------|-------------|---------|
| 1 すごせる | 2 だいたいすごせる | 3 ほとんどすごせない | 4 すごせない |
|--------|------------|-------------|---------|

Q29 あなたは、放課後どこですごしますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | | |
|----------------------|--------------------------------------|---------|---------|
| 1 自分の部屋 | 2 リビング・居間 | 3 祖父母の家 | 4 友だちの家 |
| 5 クラブ・部活動の場所 | 6 学校図書館 | 7 教室 | 8 学習塾 |
| 9 習いごとの教室・スポーツクラブ | 10 地域の図書館・市民館 | | |
| 11 こども文化センター・わくわくプラザ | 12 子ども夢パーク | 13 公園 | |
| 14 アルバイト先・仕事場 | 15 遊戯施設(カラオケボックスやゲームセンターなど)・飲食店・コンビニ | | |
| 16 その他〔具体的に： | | | 〕 |

Q38 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。（○は1つ）

1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
--------	------------	-----------	----------

Q39 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思えますか。（○は1つ）

1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
--------	------------	-----------	----------

Q40 あなたは、毎日が楽しいですか。（○は1つ）

1 楽しい	2 だいたい楽しい	3 あまり楽しくない	4 楽しくない
-------	-----------	------------	---------

Q41 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

----- ----- -----

Q42 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活（家・学校・職場・地域など）の中で、悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

悩んだり難しかったこと	工夫していること

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

F-1 あなたの令和4（2022）年4月2日時点での年齢をおしえてください。（○は1つ）

ア 10歳	イ 11歳	ウ 12歳	エ 13歳	オ 14歳	カ 15歳	キ 16歳	ク 17歳
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

F-2 あなたの住んでいるところをおしえてください。（○は1つ）

ア 川崎区	イ 幸区	ウ 中原区	エ 高津区	オ 宮前区	カ 多摩区	キ 麻生区
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

F-3 あなたは、川崎市に住んで、どのくらいになりますか。（○は1つ）

ア 1年未満	イ 1年以上5年未満	ウ 5年以上10年未満	エ 10年以上
--------	------------	-------------	---------

F-4 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

ア 父	イ 母	ウ 祖父	エ 祖母	オ 兄弟姉妹	カ おじ	キ おば	ク その他
-----	-----	------	------	--------	------	------	-------

F-5 あなたは平日（月曜日から金曜日まで）の日中におもに何をしていますか。（○は1つ）

ア 学校ですごしている	イ 学校以外のところでもすごしている	ウ 働いている
-------------	--------------------	---------

2 調査票（おとな）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

おとな（18歳以上）用

～ アンケート協力のお願い ～

- お送りしたあて名のご本人がお答えください。
- 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
- 18歳未満の子どもとお住まいの方は、その子どものことについてお答えください。
子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）または子ども一般のことについてお答えください。
- 答えられる範囲でかまいません。
- 鉛筆かボールペンで書いてください。
- 答え終わりましたら、いっしょにお送りした返信用封筒に入れて、送り返してください。
(返信用封筒には、切手をはる必要はありません。)
- **令和4(2022)年7月1日までにポストに入れてください。**

- ※ このアンケートは、川崎市にお住まいの方の中から、コンピュータで3,000人を選んでお送りしています。
- ※ 川崎市子どもの権利に関する条例では、「子ども」を18歳未満としています。
- ※ あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。
- ※ 外国人市民や障がいのある方などにも読みやすいように、ふりがなを振っています。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

https://sc.city.kawasaki.jp/multiform/multiform.php?form_id=7205

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えた

ときは、この調査票は捨ててください。



アクセスはこちらから↓



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問合せ先】

川崎市 川崎市子ども未来局 青少年支援室 子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12(2000)年12月につくられた「川崎市子どもの権利に関する条例」についてお聞きます。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている 2 聞いたことはあるが内容はよくわからない 3 知らない
 →1または2を回答した人は、Q2へお進みください →3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 学校の先生の話 2 施設の職員の話 3 知人・友人の話
 4 学校で配布されたパンフレット 5 川崎市ホームページ 6 ポスター
 7 ちらし 8 新聞、テレビなど
 9 その他〔具体的に： _____〕

Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 かわさき子どもの権利の日 2 川崎市子ども会議
 3 川崎市人権オンブズパーソン 4 川崎市子どもの権利委員会
 5 子どもの権利に関する行動計画 6 一つも知らない

Q4 川崎市子どもの権利に関する条例には、次のような7つの子どもの権利が示されています。

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分での権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、かづけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、かづけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けてもらえる

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。
 あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。

番号	大切だと思う理由

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。
 あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

番号	守られていないと思う理由

Ⅱ 『あなたや子どもの生活』についてお聞きします。

※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども(近所や親戚の子どもなど)または子ども一般のことについてお答えください。

Q5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家事	2 お金のこと	3 自分の身体のこと	4 自分の将来
5 いじめ・嫌がらせ・シカト	6 就職	7 介護	8 近所づきあい
9 町内会の活動	10 自分の親との関係	11 友人関係	12 職場の人間関係
13 配偶者やパートナー(彼氏・彼女)との関係	14 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の人間関係		
15 いわゆる「舅・姑」「婿・嫁」との関係	16 自分(配偶者)の仕事		
17 子どもとのコミュニケーション	18 子どものしつけ	19 子どもの進路・将来	
20 子どもの友人関係	21 子どものいじめ	22 子どもの不登校・ひきこもり・中退	
23 子どもの非行・暴力	24 同居家族(子ども以外)からの暴力		
25 新型コロナウイルス感染症のこと			
26 その他〔具体的に： _____ 〕			
27 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない			

Q6 あなたは、家で自由な時間がありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

Q7 あなたは、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。（Qは1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------------|
| 1 できている | 2 だいたいできている | →1または2を回答した人はQ8へお進みください |
| 3 ほとんどできていない | 4 できていない | →3または4を回答した人はQ9へお進みください |
| 5 子どもはいない | | →5を回答した人はQ14へお進みください |

Q8 Q7において、「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。その具体例や工夫していることは何ですか。（Qは1つ）

具体的に：
 →Q10へお進みください

Q9 Q7において、「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてにQ）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから | |
| 2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから | |
| 3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから | |
| 4 どのように聞いたり受け止めたりすればよいかわからないから | |
| 5 その他〔具体的に： | 〕 |

Q10 あなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。（Qは1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------------|
| 1 聞いている | 2 だいたい聞いている | →1または2を回答した人はQ11へお進みください |
| 3 ほとんど聞いていない | 4 聞いていない | →3または4を回答した人はQ14へお進みください |

Q11 Q10において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。（Qは1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------------|
| 1 できている | 2 だいたいできている | →1または2を回答した人はQ12へお進みください |
| 3 ほとんどできていない | 4 できていない | →3または4を回答した人はQ13へお進みください |

Q12 Q11において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

具体的に：
 →Q14へお進みください

Q13 Q11において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

具体的に：

Q14 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが、少なくとも一人はいると思いますか。(Qは1つ)

- 1 そう思う 2 そう思わない

Q15 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(Qは1つ)

- 1 あると思う 2 だいたいあると思う 3 ほとんどないと思う 4 ないと思う

Q16 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。(あてはまるものすべてにQ)

- | | | | |
|-----------------------------|---------------|--------------------|---------|
| 1 自分の部屋 | 2 リビング・居間 | 3 お風呂 | 4 トイレ |
| 5 祖父母の家 | 6 友だちの家 | 7 教室 | 8 学校図書館 |
| 9 クラブ、部活動の場所 | 10 学習塾 | 11 習いごとの教室・スポーツクラブ | |
| 12 地域の図書館・市民館 | 13 子ども夢パーク | 14 公園 | |
| 15 こども文化センター・わくわくプラザ | 16 アルバイト先・仕事場 | | |
| 17 遊戯施設（カラオケボックスやゲームセンターなど） | 18 その他〔具体的に： | 19 特にな | |

Q17 日常生活で、文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。(Qは1つ)

- 1 そう思う 2 ときどき思う 3 ほとんどそう思わない 4 そう思わない

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q18 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。(Qは1つ)

- 1 いる 2 いない

Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてにQ)

- | | | | |
|---|---------------|-------------|---------|
| 1 自分の親、義理の親 | 2 自分の子ども | 3 親戚 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 夫・妻、パートナー | 6 友だち | 7 職場の同僚 | 8 職場の先輩 |
| 9 職場の上司・管理職 | 10 近所の人 | 11 保健師 | 12 医師 |
| 13 民生委員・主任児童委員 | 14 子どもの担任の先生 | | |
| 15 子どものクラブ・部活動の先生 | 16 校長先生、教頭先生 | | |
| 17 ゆうゆう広場・相談学級の先生 | 18 スクールカウンセラー | 19 心理カウンセラー | |
| 20 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の友だち | 21 その他〔具体的に： | | |

Q20 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。
（知っているものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター） | 2 児童相談所 |
| 3 児童・青少年電話相談 | 4 児童虐待防止センター |
| 5 民生委員・主任児童委員 | 6 スクールカウンセラー |
| 7 総合教育センター | 8 24時間子供SOS電話相談 |
| 9 教育委員会の教育相談室 | 10 電話相談ホットライン（体罰など） |
| 11 インターネット問題相談窓口 | 12 やまびこ相談 |
| 13 かわさき若者サポートステーション | 14 人権オンフズパーソン |
| 15 川崎いのちの電話 | 16 かわさきチャイルドライン |
| 17 子どもの人権110番 | 18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談 |
| 19 知っているものはない | |

Q21 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q20のような相談・救済機関に相談したいと思いませんか。（○は1つ）

- | | | |
|----------------|-----------------|---|
| 1 したいと思う | 2 したいけどできない（理由） | ） |
| 3 したいと思わない（理由） | | ） |

Q22 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いませんか。自由に書いてください。

IV 『地域のこと』についてお聞きします。

※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）や子ども一般のことについてお答えください。

Q23 あなたは、ボランティア活動や町内会・自治会活動など、地域の活動や行事・イベントに参加していますか。（○は1つ）

- | | | | |
|--------------------------|--------------|--------------------------|-----------|
| 1 参加している | 2 だいたい参加している | 3 ほとんど参加していない | 4 参加していない |
| →1または2を回答した人はQ24へお進みください | | →3または4を回答した人はQ28へお進みください | |

Q24 Q23において、「1 参加している」または「2 だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。あなたは、地域で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------------|
| 1 聞いている | 2 だいたい聞いている | →1または2を回答した人はQ25へお進みください |
| 3 ほとんど聞いていない | 4 聞いていない | →3または4を回答した人はQ28へお進みください |

Q25 Q24において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------------|
| 1 できている | 2 だいたいできている | →1または2を回答した人はQ26へお進みください |
| 3 ほとんどできていない | 4 できていない | →3または4を回答した人はQ27へお進みください |

Q26 Q25において、「1できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。
できたことで印象に残っていることは何ですか。

具体的に：

Q27 Q25において、「3 ほとんどできていない」または「4できていない」を選んだ人にお聞きします。
できていない理由は何ですか。

具体的に：

Q28 子どもには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいると思いますか。(Qは1つ)

1 そう思う 2 そう思わない 3 わからない

Q29 子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所があると思いますか。(Qは1つ)

1 そう思う 2 そう思わない 3 わからない

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q30 あなたは、自分が好きですか。(Qは1つ)

1 好き 2 だいたい好き 3 あまり好きではない 4 好きではない

Q31 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。(Qは1つ)

1 感じる 2 だいたい感じる 3 あまり感じない 4 感じない

Q32 あなたは、毎日が楽しいですか。(Qは1つ)

1 楽しい 2 だいたい楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

Q33 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。(Qは1つ)

1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまり思わない 4 そう思わない

Q34 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

Q 35 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活（家・学校・職場・地域など）の中で、
 悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを書いてください。（お子さんのいる方は子どもと過ごす中でのごことについて書いてください。）

悩んだり難しかったこと	工夫したこと

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

F-1 あなたの令和4（2022）年4月2日時点での年齢をおしえてください。（〇は1つ）

ア 10歳代	イ 20歳代	ウ 30歳代	エ 40歳代	オ 50歳代
カ 60歳代	キ 70歳代	ク 80歳以上		

F-2 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに〇）

ア 妊娠中	イ 0～2歳の子どもがいる
ウ 3～6歳（就学前）の子どもがいる	エ 小学1～3年生の子どもがいる
オ 小学4～6年生の子どもがいる	カ 中学生がいる
キ 18歳未満（4月2日現在）の高校生世代がいる	
ク 18歳以上（4月2日現在）の子どもがいる	ケ いない

F-3 あなたの住んでいるところをおしえてください。（〇は1つ）

ア 川崎市	イ 幸区	ウ 中原区	エ 高津区	オ 宮前区	カ 多摩区	キ 麻生区
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

F-4 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（〇は1つ）

ア 1年未満	イ 1年以上5年未満	ウ 5年以上10年未満	エ 10年以上
--------	------------	-------------	---------

F-5 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに〇）

ア 父	イ 母	ウ 祖父	エ 祖母	オ 兄弟姉妹
カ 夫・妻・配偶者・パートナー	キ おじ	ク おば		
ケ 子ども	コ 孫	サ 一人暮らし	シ その他	

3 調査票（職員）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査
職員用

～ アンケート協力をお願い ～

- 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
- お答えいただける範囲でかまいません。
- 鉛筆かボールペンで書いてください。
- 回答が終わりましたら、一緒にお送りした返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(返信用封筒には、切手を貼る必要はありません。)
- **令和4(2022)年7月1日までに**ポストに投函してください。

- ※ このアンケートは、川崎市内の学校や子どもに関する施設をとおして、子どもに関わっている職員の皆さまにお送りしています。
- ※ あなた個人の回答内容が職場や外部にもれることはありません。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

https://sc.city.kawasaki.jp/multiform/multiform.php?form_id=7207

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えたときは、この調査票は破棄してください。



アクセスはこちらから↑



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問合せ先】

川崎市こども未来局 青少年支援室 子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている 2 聞いたことがあるが内容はよくわからない 3 知らない
 →1または2を回答した人は、Q2へお進みください →3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 職場での話 2 職場以外の講座や学習会、研修会 3 パンフレット
 4 川崎市ホームページ 5 ポスター 6 ちらし
 7 新聞、テレビなど 8 その他〔具体的に： 〕

Q3 川崎市の取組で知っているものは何ですか。（知っているものすべてに○）

- 1 かわさき子どもの権利の日 2 川崎市子ども会議
 3 川崎市人権オンブズパーソン 4 川崎市子どもの権利委員会
 5 子どもの権利に関する行動計画 6 一つも知らない

Q4 川崎市子どもの権利に関する条例には、次の7つの子どもの権利が示されています。

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分でいる権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、カブけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、カブけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けてもらえる

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。あてはまるものを最大3つまで選び、大切だと思う順にその番号と理由を書いてください。

番 号	大切だと思う理由

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と考えられる理由や問題点を書いてください。

番 号	守られていないと思う理由や問題点

Ⅱ 『あなたの職場の子どもの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 ほとんどそう思わない 4 そう思わない

Q6 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(○は1つ)

- 1 あると思う 2 だいたいあると思う 3 ほとんどないと思う 4 ないと思う

Q7 あなたは普段子どもと関わったり、支援するときに、子どもの権利や条例の内容を意識して関わっていますか。(○は1つ)

- 1 意識している 2 少し意識している →1または2を回答した人は、Q8へお進みください
 3 あまり意識していない 4 意識していない →3または4を回答した人は、Q9へお進みください

Q8 Q7において、「1 意識している」「2 少し意識している」を選んだ人にお聞きします。具体的にどのようなことを意識していますか。

具体的に：

Q9 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができていますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|---------------------------|
| 1 できている | 2 だいたいできている | →1または2を回答した人は、Q10へお進みください |
| 3 ほとんどできていない | 4 できていない | →3または4を回答した人は、Q11へお進みください |

Q10 Q9において、「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。子どもの気持ちや意見の聞き方についての具体例や、工夫していることは何ですか。

具体的に：

→Q12へお進みください

Q11 Q9において、「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから |
| 2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから |
| 3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから |
| 4 どのように聞いたり受けとめたりするとよいかわからないから |
| 5 その他〔具体的に： } |

Q12 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------------------|---------------|---------------------------|
| 1 聞いている | 2 だいたい聞いている | →1または2を回答した人は、Q13へお進みください |
| 3 ほとんど聞くことができていない | 4 聞くことができていない | 5 わからない |
| →3、4または5を回答した人は、Q16へお進みください | | |

Q13 Q12において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。

（○は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------|---------------------------|
| 1 できている | 2 だいたいできている | →1または2を回答した人は、Q14へお進みください |
| 3 ほとんどできていない | 4 できていない | →3または4を回答した人は、Q15へお進みください |

Q14 Q13において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

具体的に：

→Q16へお進みください

Q15 Q13において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

具体的に：

Q16 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。（○は1つ）

1 ある 2 ない 3 わからない（理由： ）

→1を回答した人は、Q17へお進みください

→2または3を回答した人は、Q18へお進みください

Q17 Q16において、「1 ある」を選んだ人にお聞きします。あなたの職場で設けられている仕組みを教えてください。

具体的に：

Q18 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。

（知っているものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター） | 2 児童相談所 |
| 3 児童・青少年電話相談 | 4 児童虐待防止センター |
| 5 民生委員・主任児童委員 | 6 スクールカウンセラー |
| 7 総合教育センター | 8 24時間子供SOS電話相談 |
| 9 教育委員会の教育相談室 | 10 電話相談ホットライン(体罰など) |
| 11 インターネット問題相談窓口 | 12 やまびこ相談 |
| 13 かわさき若者サポートステーション | 14 人権オンブズパーソン |
| 15 川崎いのちの電話 | 16 かわさきチャイルドライン |
| 17 子どもの人権110番 | 18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談 |
| 19 知っているものはない | |

Q19 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含め教えてください。（〇は1つ）

1 ある	（具体例：	）
2 だいたいある	（具体例：	）
3 ほとんどない	（理由：	）
4 ない	（理由：	）

Q20 あなたの職場では、子どもが自分の権利を学ぶ機会がありますか。（〇は1つ）

1 ある	2 だいたいある	3 ほとんどない	4 ない
------	----------	----------	------

Q21 あなたの職場では、あなたが子どもの権利を学ぶ機会がありますか。（〇は1つ）

1 ある	2 だいたいある	3 ほとんどない	4 ない
------	----------	----------	------

Q22 あなたの職場では、文化・国籍等の違い、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（〇は1つ）

1 思う	2 思わない
------	--------

Q23 あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できる子どもの権利を保障していくうえで、課題として感じていることがありましたら、具体的に書いてください。

Ⅲ 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q24 あなたは、自分が好きですか。（〇は1つ）

1 好き	2 だいたい好き	3 あまり好きではない	4 好きではない
------	----------	-------------	----------

Q25 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。（〇は1つ）

1 感じる	2 だいたい感じる	3 あまり感じない	4 感じない
-------	-----------	-----------	--------

Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。（〇は1つ）

1 楽しい	2 だいたい楽しい	3 あまり楽しくない	4 楽しくない
-------	-----------	------------	---------

Q27 あなたは、仕事上の悩みがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ときどきある	3 あまりない	4 ない
------	----------	---------	------

Q28 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない
------	-------

Q29 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

1 したいと思う	
2 したいけどできない（理由：	）
3 したいと思わない（理由：	）

Q30 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

1 職場の同僚	2 職場の先輩
3 職場の上司・管理職	4 自分の親、義理の親
5 自分の子ども	6 親戚
7 兄弟姉妹	8 夫・妻、パートナー
9 友だち	10 近所の人
11 保健師	12 医師
13 民生委員・主任児童委員	14 子どもの担任の先生
15 子どものクラブ・部活動の先生	16 校長先生、教頭先生
17 ゆうゆう広場・相談学級の先生	18 スクールカウンセラー
19 心理カウンセラー	20 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の友だち
21 その他〔具体的に：	〕

Q31 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。（○は1つ）

1 したいと思う	
2 したいけどできない（理由：	）
3 したいと思わない（理由：	）

Q32 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

Q33 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

Q34 新型コロナウイルス感染症によって、職場の中で子どもに対する際に悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを書いてください。

悩んだことや難しかったこと	工夫したこと

『あなた自身のこと』についてお聞きします。

F-1 あなたの所属を教えてください。(Oは1つ)

ア 学校関係	イ 施設関係
--------	--------

F-2 あなたの令和4(2022)年4月1日での勤続年数を教えてください。(Oは1つ)

ア 1年未満	イ 1年以上5年未満	ウ 5年以上10年未満
エ 10年以上20年未満	オ 20年以上30年未満	カ 30年以上

川崎市子どもの権利に関する条例

平成 12 (2000) 年 12 月 21 日川崎市条例第 72 号
最近改正 2005 (平成 17) 年 3 月 24 日

目次

前文	
第 1 章 総則 (第 1 条～第 8 条)	
第 2 章 人間としての大切な子どもの権利 (第 9 条～第 16 条)	
第 3 章 家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障	
第 1 節 家庭における子どもの権利の保障 (第 17 条～第 20 条)	
第 2 節 育ち・学ぶ施設における子どもの権利の保障 (第 21 条～第 25 条)	
第 3 節 地域における子どもの権利の保障 (第 26 条～第 28 条)	
第 4 章 子どもの参加 (第 29 条～第 34 条)	
第 5 章 相談及び救済 (第 35 条)	
第 6 章 子どもの権利に関する行動計画 (第 36 条・第 37 条)	
第 7 章 子どもの権利の保障状況の検証 (第 38 条～第 40 条)	
第 8 章 雑則 (第 41 条)	
附則	

子どもは、それぞれが一人の人間である。子どもは、かけがえない価値と尊厳を持っており、個性や他の者との違いが認められ、自分が自分であることを大切にされたいと願っている。

子どもは、権利の全面的な主体である。子どもは、子どもの最善の利益の確保、差別の禁止、子どもの意見の尊重などの国際的な原則の下で、その権利を総合的に、かつ、現実には保障される。子どもにとって権利は、人間としての尊厳をもって、自分を自分として実現し、自分らしく生きていく上で不可欠なものである。

子どもは、その権利が保障される中で、豊かな子ども時代を過ごすことができる。子どもの権利について学習することや実際に行使することなどを通して、子どもは、権利の認識を深め、権利を実現する力、他の者の権利を尊重する力や責任などを身に付けることができる。また、自分の権利が尊重され、保障されるためには、同じように他の者の権利が尊重され、保障されなければならない。それぞれの権利が相互に尊重されることが不可欠である。

子どもは、大人とともに社会を構成するパートナーである。子どもは、現在の社会の一員として、また、未来の社会の担い手として、社会の在り方や形成にかかわる固有の役割があると同時に、そこに参加する権利がある。そのためにも社会は、子どもに開かれる。

子どもは、同時代を生きる地球市民として国内外の子どもと相互の理解と交流を深め、共生と平和を願い、自然を守り、都市のより良い環境を創造することに欠かせない役割を持っている。

市における子どもの権利を保障する取組は、市に生活するすべての人々の共生を進め、その権利の保障につながる。私たちは、子ども最優先などの国際的な原則も踏まえ、それぞれの子どもが一人の人間として生きていく上で必要な権利が保障されるよう努める。

私たちは、こうした考えの下、平成元年 11 月 20 日に国際連合総会で採択された「児童の権利に関する条約」の理念に基づき、子どもの権利の保障を進めることを宣言し、この条例を制定する。

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この条例は、子どもの権利に係る市等の責務、人間としての大切な子どもの権利、家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障等について定めることにより、子どもの権利の保障を図ることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 子ども 市民をはじめとする市に關係のある 18 歳未満の者その他これらの者と等しく権利を認めることが適当と認められる者
- (2) 育ち・学ぶ施設 児童福祉法 (昭和 22 年法律第 164 号) に規定する児童福祉施設、学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) に規定する学校、専修学校、各種学校その他の施設のうち、子どもが育ち、学ぶために入所し、通所し、又は通学する施設
- (3) 親に代わる保護者 児童福祉法に規定する里親その他の親に代わり子どもを養育する者

(責務)

第 3 条 市は、子どもの権利を尊重し、あらゆる施策を通じてその保障に努めるものとする。

- 2 市民は、子どもの権利の保障に努めるべき場において、その権利が保障されるよう市との協働に努めなければならない。
- 3 育ち・学ぶ施設の設置者、管理者及び職員 (以下「施設関係者」という。)のうち、市以外の施設関係者は、市の施策に協力するよう努めるとともに、その育ち・学ぶ施設における子どもの権利が保障されるよう努めなければならない。
- 4 事業者は、雇用される市民が養育する子ども及び雇用される子どもの権利の保障について市の施策に協力するよう努めなければならない。

(国等への要請)

第 4 条 市は、子どもの権利が広く保障されるよう国、他の公共団体等に対し協力を要請し、市外においてもその権利が保障されるよう働きかけを行うものとする。

(かわさき子どもの権利の日)

第 5 条 市民の間に広く子どもの権利についての関心と理解を深めるため、かわさき子どもの権利の日を設ける。

- 2 かわさき子どもの権利の日は、11 月 20 日とする。
- 3 市は、かわさき子どもの権利の日の趣旨にふさわしい事業を実施し、広く市民の参加を求めるものとする。

(広報)

第 6 条 市は、子どもの権利に対する市民の理解を深めるため、その広報に努めるものとする。

(学習等への支援等)

第 7 条 市は、家庭教育、学校教育及び社会教育の中で、子どもの権利についての学習等が推進されるよう必要な条件の整備に努めるものとする。

- 2 市は、施設関係者及び医師、保健師等の子どもの権利の保障に職務上関係のある者に対し、子どもの権利についての理解がより深まるよう研修の機会を提供するものとする。

- 3 市は、子どもによる子どもの権利についての自主的な学習等の取組に対し、必要な支援に努めるものとする。
- (市民活動への支援等)

第8条 市は、子どもの権利の保障に努める市民の活動に対し、その支援に努めるとともに、子どもの権利の保障に努める活動を行うものとの連携を図るものとする。

第2章 人間としての大切な子どもの権利

(子どもの大切な権利)

第9条 この章に規定する権利は、子どもにとって、人間として育ち、学び、生活をしていく上でとりわけ大切なものとして保障されなければならない。

(安心して生きる権利)

第10条 子どもは、安心して生きることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 命が守られ、尊重されること。
- (2) 愛情と理解をもって育はぐくまれること。
- (3) あらゆる形態の差別を受けないこと。
- (4) あらゆる形の暴力を受けず、又は放置されないこと。
- (5) 健康に配慮がなされ、適切な医療が提供され、及び成長にふさわしい生活ができること。
- (6) 平和と安全な環境の下で生活ができること。

(ありのままの自分でいる権利)

第11条 子どもは、ありのままの自分でいることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 個性や他の者との違いが認められ、人格が尊重されること。
- (2) 自分の考えや信仰を持つこと。
- (3) 秘密が侵されないこと。
- (4) 自分に関する情報が不当に収集され、又は利用されないこと。
- (5) 子どもであることをもって不当な取扱いを受けないこと。
- (6) 安心できる場所で自分を休ませ、及び余暇を持つこと。

(自分を守り、守られる権利)

第12条 子どもは、自分を守り、又は自分が守られることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) あらゆる権利の侵害から逃れられること。
- (2) 自分が育つことを妨げる状況から保護されること。
- (3) 状況に応じた適切な相談の機会が、相談にふさわしい雰囲気の中で確保されること。
- (4) 自分の将来に影響を及ぼすことについて他の者が決めるときに、自分の意見を述べるのにふさわしい雰囲気の中で表明し、その意見が尊重されること。
- (5) 自分を回復するに当たり、その回復に適切でふさわしい雰囲気の場合が与えられること。

(自分を豊かにし、かづけられる権利)

第13条 子どもは、その育ちに応じて自分を豊かにし、かづけられることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 遊ぶこと。
- (2) 学ぶこと。
- (3) 文化芸術活動に参加すること。
- (4) 役立つ情報を得ること。
- (5) 幸福を追求すること。

(自分で決める権利)

第14条 子どもは、自分に関することを自分で決めることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 自分に関することを年齢と成熟に応じて決めること。

- (2) 自分に関することを決めるときに、適切な支援及び助言が受けられること。

- (3) 自分に関することを決めるために必要な情報が得られること。

(参加する権利)

第15条 子どもは、参加することができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 自分を表現すること。
- (2) 自分の意見を表明し、その意見が尊重されること。
- (3) 仲間をつくり、仲間と集うこと。
- (4) 参加に際し、適切な支援が受けられること。

(個別の必要に応じて支援を受ける権利)

第16条 子どもは、その置かれた状況に応じ、子どもにとって必要な支援を受けることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 子ども又はその家族の国籍、民族、性別、言語、宗教、出身、財産、障害その他の置かれている状況を原因又は理由とした差別及び不利益を受けないこと。
- (2) 前号の置かれている状況の違いが認められ、尊重される中で共生できること。
- (3) 障害のある子どもが、尊厳を持ち、自立し、かつ、社会への積極的な参加が図られること。
- (4) 国籍、民族、言語等において少数の立場の子どもが、自分の文化等を享受し、学習し、又は表現することが尊重されること。
- (5) 子どもが置かれている状況に応じ、子どもに必要な情報の入手の方法、意見の表明の方法、参加の手法等に工夫及び配慮がなされること。

第3章 家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障

第1節 家庭における子どもの権利の保障

(親等による子どもの権利の保障)

第17条 親又は親に代わる保護者(以下「親等」という。)は、その養育する子どもの権利の保障に努めるべき第一義的な責任者である。

- 2 親等は、その養育する子どもが権利を行使する際に子どもの最善の利益を確保するため、子どもの年齢と成熟に応じた支援に努めなければならない。
- 3 親等は、子どもの最善の利益と一致する限りにおいて、その養育する子どもに代わり、その権利を行使するよう努めなければならない。
- 4 親等は、育ち・学ぶ施設及び保健、医療、児童福祉等の関係機関からその子どもの養育に必要な説明を受けることができる。この場合において、子ども本人の情報を得ようとするときは、子どもの最善の利益を損なわない限りにおいて行うよう努めなければならない。

(養育の支援)

第18条 親等は、その子どもの養育に当たって市から支援を受けることができる。

- 2 市は、親等がその子どもの養育に困難な状況にある場合は、その状況について特に配慮した支援に努めるものとする。
- 3 事業者は、雇用される市民が安心してその子どもを養育できるよう配慮しなければならない。

(虐待及び体罰の禁止)

第19条 親等は、その養育する子どもに対して、虐待及び体罰を行ってはならない。

(虐待からの救済及びその回復)

第20条 市は、虐待を受けた子どもに対する迅速かつ適切な救済及びその回復に努めるものとする。

- 2 前項の救済及びその回復に当たっては、二次的被害が生じないようその子どもの心身の状況に特に配慮しなければならない。
- 3 市は、虐待の早期発見及び虐待を受けた子どもの迅速かつ適切な救済及びその回復のため、関係団体等との連携を図り、その支援に努めるものとする。

第2節 育ち・学ぶ施設における子どもの権利の保障 (育ち・学ぶ環境の整備等)

第21条 育ち・学ぶ施設の設置者及び管理者（以下「施設設置管理者」という。）は、その子どもの権利の保障が図られるよう育ち・学ぶ施設において子どもが自ら育ち、学べる環境の整備に努めなければならない。

- 2 前項の環境の整備に当たっては、その子どもの親等その他地域の住民との連携を図るとともに、育ち・学ぶ施設の職員の主体的な取組を通して行われるよう努めなければならない。

(安全管理体制の整備等)

第22条 施設設置管理者は、育ち・学ぶ施設の活動における子どもの安全を確保するため、災害の発生の防止に努めるとともに、災害が発生した場合にあっても被害の拡大を防げるよう関係機関、親等その他地域の住民との連携を図り、安全管理の体制の整備及びその維持に努めなければならない。

- 2 施設設置管理者は、その子どもの自主的な活動が安全の下で保障されるようその施設及び設備の整備等に配慮しなければならない。

(虐待及び体罰の禁止等)

第23条 施設関係者は、その子どもに対し、虐待及び体罰を行ってはならない。

- 2 施設設置管理者は、その職員に対し、子どもに対する虐待及び体罰の防止に関する研修等の実施に努めなければならない。
- 3 施設設置管理者は、子どもに対する虐待及び体罰に関する相談をその子どもが安心して行うことができる育ち・学ぶ施設における仕組みを整えるよう努めなければならない。
- 4 施設関係者は、虐待及び体罰に関する子どもの相談を受けたときは、子どもの最善の利益を考慮し、その相談の解決に必要な者、関係機関等と連携し、子どもの救済及びその回復に努めなければならない。

(いじめの防止等)

第24条 施設関係者は、いじめの防止に努めなければならない。

- 2 施設関係者は、いじめの防止を図るため、その子どもに対し、子どもの権利が理解されるよう啓発に努めなければならない。
- 3 施設設置管理者は、その職員に対し、いじめの防止に関する研修等の実施に努めなければならない。
- 4 施設設置管理者は、いじめに関する相談をその子どもが安心して行うことができる育ち・学ぶ施設における仕組みを整えるよう努めなければならない。
- 5 施設関係者は、いじめに関する子どもの相談を受けたときは、子どもの最善の利益を考慮し、その相談の解決に必要な者、関係機関等と連携し、子どもの救済及びその回復に努めなければならない。この場合において、施設関係者は、いじめを行った子どもに対しても必要な配慮を行った上で適切な対応を行うよう努めなければならない。

(子ども本人に関する文書等)

第25条 育ち・学ぶ施設における子ども本人に関する文書は、適切に管理され、及び保管されなければならない。

- 2 前項の文書のうち子どもの利害に影響するものにあつては、その作成に当たり、子ども本人又はその親等

の意見を求める等の公正な文書の作成に対する配慮がなされなければならない。

- 3 育ち・学ぶ施設においては、その目的の範囲を超えてその子ども本人に関する情報が収集され、又は保管されてはならない。
- 4 前項の情報は、育ち・学ぶ施設のその目的の範囲を超えて利用され、又は外部に提供されてはならない。
- 5 第1項の文書及び第3項の情報に関しては、子どもの最善の利益を損なわない限りにおいてその子ども本人に提示され、又は提供されるよう文書及び情報の管理等に関する事務が行われなければならない。
- 6 育ち・学ぶ施設において子どもに対する不利益な処分等が行われる場合には、その処分等を決める前に、その子ども本人から事情、意見を聴く場を設ける等の配慮がなされなければならない。

第3節 地域における子どもの権利の保障

(子どもの育ちの場等としての地域)

第26条 地域は、子どもの育ちの場であり、家庭、育ち・学ぶ施設、文化、スポーツ施設等と一体となってその人間関係を豊かなものとする場であることを考慮し、市は、地域において子どもの権利の保障が図られるよう子どもの活動が安全の下で行うことができる子育て及び教育環境の向上を目指したまちづくりに努めるものとする。

- 2 市は、地域において、子ども、その親等、施設関係者その他住民がそれぞれ主体となって、地域における子育て及び教育環境に係る協議その他の活動を行う組織の整備並びにその活動に対し支援に努めるものとする。

(子どもの居場所)

第27条 子どもには、ありのままの自分であること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊び、若しくは活動すること又は安心して人間関係をつくり合うことができる場所（以下「居場所」という。）が大切であることを考慮し、市は、居場所についての考え方の普及並びに居場所の確保及びその存続に努めるものとする。

- 2 市は、子どもに対する居場所の提供等の自主的な活動を行う市民及び関係団体との連携を図り、その支援に努めるものとする。

(地域における子どもの活動)

第28条 地域における子どもの活動が子どもにとって豊かな人間関係の中で育つために大切であることを考慮し、市は、地域における子どもの自治的な活動を奨励するとともにその支援に努めるものとする。

第4章 子どもの参加

(子どもの参加の促進)

第29条 市は、子どもが市政等について市民として意見を表明する機会、育ち・学ぶ施設その他活動の拠点となる場でその運営等について構成員として意見を表明する機会又は地域における文化・スポーツ活動に参加する機会を諸施策において保障することが大切であることを考慮して、子どもの参加を促進し、又はその方策の普及に努めるものとする。

(子ども会議)

第30条 市長は、市政について、子どもの意見を求めるため、川崎市子ども会議（以下「子ども会議」という。）を開催する。

- 2 子ども会議は、子どもの自主的及び自発的な取組により運営されるものとする。
- 3 子ども会議は、その主体である子どもが定める方法により、子どもの総意としての意見等をまとめ、市長に提出することができる。
- 4 市長その他の執行機関は、前項の規定により提出された意見等を尊重するものとする。

5 市長その他の執行機関は、子ども会議にあらゆる子どもの参加が促進され、その会議が円滑に運営されるよう必要な支援を行うものとする。

(参加活動の拠点づくり)

第31条 市は、子どもの自主的及び自発的な参加活動を支援するため、子どもが子どもだけで自由に安心して集うことができる拠点づくりに努めるものとする。

(自治的活動の奨励)

第32条 施設設置管理者は、その構成員としての子どもの自治的な活動を奨励し、支援するよう努めなければならない。

2 前項の自治的な活動による子どもの意見等については、育ち・学ぶ施設の運営について配慮されるよう努めなければならない。

(より開かれた育ち・学ぶ施設)

第33条 施設設置管理者は、子ども、その親等その他地域の住民にとってより開かれた育ち・学ぶ施設を目指すため、それらの者に育ち・学ぶ施設における運営等の説明等を行い、それらの者及び育ち・学ぶ施設の職員とともに育ち・学ぶ施設を支え合うため、定期的に話し合う場を設けるよう努めなければならない。

(市の施設の設置及び運営に関する子どもの意見)

第34条 市は、子どもの利用を目的とした市の施設の設置及び運営に関し、子どもの参加の方法等について配慮し、子どもの意見を聴くよう努めるものとする。

第5章 相談及び救済

(相談及び救済)

第35条 子どもは、川崎市民権オンブズパーソンに対し、権利の侵害について相談し、又は権利の侵害からの救済を求めることができる。

2 市は、川崎市民権オンブズパーソンによるもののほか、子どもの権利の侵害に関する相談又は救済については、関係機関、関係団体等との連携を図るとともに子ども及びその権利の侵害の特性に配慮した対応に努めるものとする。

第6章 子どもの権利に関する行動計画

(行動計画)

第36条 市は、子どもに関する施策の推進に際し子どもの権利の保障が総合的かつ計画的に図られるための川崎市子どもの権利に関する行動計画(以下「行動計画」という。)を策定するものとする。

2 市長その他の執行機関は、行動計画を策定するに当たっては、市民及び第38条に規定する川崎市子どもの権利委員会の意見を聴くものとする。

(子どもに関する施策の推進)

第37条 市の子どもに関する施策は、子どもの権利の保障に資するため、次に掲げる事項に配慮し、推進しなければならない。

- (1) 子どもの最善の利益に基づくものであること。
- (2) 教育、福祉、医療等との連携及び調整が図られた総合的かつ計画的なものであること。
- (3) 親等、施設関係者その他市民との連携を通して一人一人の子どもを支援するものであること。

第7章 子どもの権利の保障状況の検証

(権利委員会)

第38条 子どもに関する施策の充実を図り、子どもの権利の保障を推進するため、川崎市子どもの権利委員会(以下「権利委員会」という。)を置く。

2 権利委員会は、第36条第2項に定めるもののほか、市長その他の執行機関の諮問に応じて、子どもに関す

る施策における子どもの権利の保障の状況について調査審議する。

3 権利委員会は、委員10人以内で組織する。

4 委員は、人権、教育、福祉等の子どもの権利にかかわる分野において学識経験のある者及び市民のうちから、市長が委嘱する。

5 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 第4項の委員のほか、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、権利委員会に臨時委員を置くことができる。

8 委員及び臨時委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

9 前各項に定めるもののほか、権利委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(検証)

第39条 権利委員会は、前条第2項の諮問があったときは、市長その他の執行機関に対し、その諮問に係る施策について評価等を行うべき事項について提示するものとする。

2 市長その他の執行機関は、前項の規定により権利委員会から提示のあった事項について評価等を行い、その結果を権利委員会に報告するものとする。

3 権利委員会は、前項の報告を受けたときは、市民の意見を求めるものとする。

4 権利委員会は、前項の規定により意見を求めるに当たっては、子どもの意見が得られるようその方法等に配慮しなければならない。

5 権利委員会は、第2項の報告及び第3項の意見を総合的に勘案して、子どもの権利の保障の状況について調査審議するものとする。

6 権利委員会は、前項の調査審議により得た検証の結果を市長その他の執行機関に答申するものとする。

(答申に対する措置等)

第40条 市長その他の執行機関は、権利委員会からの答申を尊重し、必要な措置を講ずるものとする。

2 市長は、前条の規定による答申及び前項の規定により講じた措置について公表するものとする。

第8章 雑則

(委任)

第41条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長その他の執行機関が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(権利侵害からの救済等のための体制整備)

2 市は、子どもに対する権利侵害の事実が顕在化しにくく認識されにくいことと併せ、子どもの心身に将来にわたる深刻な影響を及ぼすことを考慮し、子どもが安心して相談し、救済を求めることができるようにするとともに、虐待等の予防、権利侵害からの救済及び回復等を図ることを目的とした新たな体制を早急に整備する。

附 則 (平成13年6月29日条例第15号)

この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成14年3月29日規則第33号で平成14年5月1日から施行)

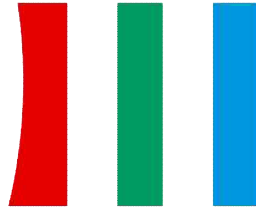
附 則 (平成14年3月28日条例第7号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成17年3月24日条例第7号) 抄

この条例は、公布の日から施行する。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

第8回

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査
報告書

令和5（2023）年3月

発行・調査実施 川崎市

編集 川崎市こども未来局青少年支援室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2344 FAX 044-200-3931